

法華問答正義抄第二卷

(日全著)

立正大学日蓮教学研究所以蔵

一 公亦命經考難解之法致
 二 經之有也言教亦以此法到就其
 三 經之有也言教亦以此法到就其
 四 三情二止事之有也言教亦以此法到就其
 五 六人于起去事之法華之同持致
 六 公之於此經宜也以此法到就其
 七 經之有也言教亦以此法到就其
 八 經之有也言教亦以此法到就其
 九 經之有也言教亦以此法到就其
 十 經之有也言教亦以此法到就其
 十一 經之有也言教亦以此法到就其
 十二 經之有也言教亦以此法到就其
 十三 經之有也言教亦以此法到就其
 十四 經之有也言教亦以此法到就其
 十五 經之有也言教亦以此法到就其
 十六 經之有也言教亦以此法到就其
 十七 經之有也言教亦以此法到就其
 十八 經之有也言教亦以此法到就其
 十九 經之有也言教亦以此法到就其
 二十 經之有也言教亦以此法到就其

一 公亦命經考難解之法致
 二 經之有也言教亦以此法到就其
 三 經之有也言教亦以此法到就其
 四 三情二止事之有也言教亦以此法到就其
 五 六人于起去事之法華之同持致
 六 公之於此經宜也以此法到就其
 七 經之有也言教亦以此法到就其
 八 經之有也言教亦以此法到就其
 九 經之有也言教亦以此法到就其
 十 經之有也言教亦以此法到就其
 十一 經之有也言教亦以此法到就其
 十二 經之有也言教亦以此法到就其
 十三 經之有也言教亦以此法到就其
 十四 經之有也言教亦以此法到就其
 十五 經之有也言教亦以此法到就其
 十六 經之有也言教亦以此法到就其
 十七 經之有也言教亦以此法到就其
 十八 經之有也言教亦以此法到就其
 十九 經之有也言教亦以此法到就其
 二十 經之有也言教亦以此法到就其

凡 例

一、この翻刻は、立正大学日蓮教学研究研究所蔵の『法華問答正義抄』第二卷一冊（平成三年、鳥取常忍寺より寄贈）を底本とするものである。対校本として、立正大学図書館蔵『法華問答正義抄第二』（D0-449-1）を用いた。

一、翻刻にあたっては、次のようにした。

*各葉・各丁の始まり部分の右肩に、丁付を（ ）で注記した。ただし底本には丁付は付されていない。

*各葉毎の終わりを「」によって、各丁毎の終わりを『』によって示した。

*適宜、改行を施した。

*漢字は通行の字体に統一した。仏教語に特有の略字も通行の漢字に直した（例 ミ六↓弥勒、阿ム↓阿耨、ス行↓修行、法ケ↓法花、ヒル↓毘盧）。

*漢字の返り点・送り仮名・振り仮名は、底本通りに示した。

*細字・二行割書等は、できるだけ底本通りに示した。

*難読の文字は、□または「」で示した。

*句点・読点・並列点（。、・）を私に付した。

*異筆による傍注・頭注・脚注・追筆・朱書などは、（ ）「」で示した。

*引用文には、※：△を付し、上欄に典拠として現行刊本の巻数（または号数）・頁数（または丁数）・段を示した。

書名は次の略称によった。正蔵Ⅱ『大正新脩大蔵経』、続蔵『新纂大日本統蔵経』、日蔵Ⅱ『日本大蔵経』、伝全Ⅱ『伝教大師全集』、智全Ⅱ『智証大師全集』、定本Ⅱ『昭和定本日蓮聖人遺文』、宗全Ⅱ『日蓮宗宗学全書』、所報Ⅱ『東洋文化研究所所報』第五号。

*底本の誤字・脱字・衍字には、※を付して校訂し、上欄にそのことを注記した。

*対校本（「異本」）および引用原典（「原」と略記）との相違箇所は、必要に応じて※を付し、上欄にそのことを注記した。

* 返り点・送り仮名・振り仮名は、本文と同筆のものと、異筆で追加されたものがあるが、その区別は示さなかつた。

* 本書巻頭には、「妙覚寺常住日奥」と朱印があり、本文には全体にわたって朱筆による「合」「未」「同」「●」等の印、および傍線や句点が施されている。しかし、これらについては注記を省略した。

一、『法華問答正義抄』は、南北朝時代の中山門流の学僧である少納言律師日全（一二九四〜一三四四）が、正慶から康永年間に著したもので、全二十二巻に及ぶ大著である。本書は、題名が示す通り法華經の正義を問答体によって明らかにしたもので、中山門流の秘書として法華經寺に伝えられていたが、昭和十九年の火災により焼失してしまった。幸い昭和六、七年に齊藤要輪氏が謄写した本が立正大学図書館に所蔵されているが、巻一、巻四、巻十四、巻十五の四巻が欠本であり、残りの巻にも写誤や未読の文字が多く、他の写本の発見が待望されていた。

一、平成三年十二月十五日、鳥取市の常忍寺より立正大学日蓮教学研究所に約二千冊の和本が寄贈されたが、その中に『法華問答正義抄』の第二巻と第十五巻の写本二冊が含まれていた。ここに掲載したのはそのうちの二冊であり、残りの第十五巻については次回以降掲載の予定である。

一、常忍寺旧蔵の『法華問答正義抄』二冊は、袋綴本で、寸法は第二巻が縦二八・一センチ、横一九・五センチ。第十五巻が縦二八・一センチ、横一九・四センチである（修復後）。二冊とも巻頭に「妙覚寺常住日奥」という朱印が押してあり、京都妙覚寺十九世・日蓮宗不受不施派の祖として知られる仏性院日奥（一五六五〜一六三〇）の所持本であったと知られる。本文は一筆で書写されているが、書写奥書はなく、筆者と書写年代は不明である。本文の諸所に別筆でルビ、返り点が補われている。また全体に渡って墨書または朱書による註や校訂、および「合」「未」「同」「●」等の印が加筆されている。この加筆は、筆跡から所持者の仏性院日奥のものであることが明らかである。これらのことは本書の伝来を考える上で重要な手掛かりとなろう。今後さらに写本が発見されることを期待したい。

一、翻刻にさいして、田村完爾・高野聡頭・川上大隆の諸氏の協力を得た。末筆ながら本書を寄贈された常忍寺御住職・武井東紅氏（当時）の御芳情に対し、甚深の謝意を表する次第である。

（都守 基一）

(二)表
一、爾前今經共難解之法歟

二、經云、仏説一解脱義我等亦得此法到於涅槃文。何云無得道耶

三、經云、自説得如是等事。何云禪天魔所為耶

四、三請二止事。花嚴自法華勝耶

五、五千起去事。法華簡機歟

六、經云、諸仏随宜説法意趣難解事。文計出之耶

七、經云、汝等當信仏之所説事

八、經云、是法非思量事。何分別之為他説之信之耶

九、唯以一大事因縁故出現於世文集

十、諸仏如来但教化菩薩文。文意如何

十一、經云、無有余乘若二若三矣。文意如何。爾前円開事也

十二、於一仏乘分別説三事

十三、問、今經正決定性ノ二乘成仏文有之耶

(二)裏
十四、經云、若遇余仏便得決了矣。何限一仏耶

十五、問、何限一經一仏謗他經仏耶

十六、問、今時有三失之人耶。若有之何不令發遣強説法花令謗耶

十七、經云、諸仏所得法無量方便力而為衆生說何毀方便耶

十八、經云、鈍根樂小法事

十九、經云、說時未至故事

二十、經云、十方仏土中事

二十一、經云、十方仏土中○說仏智恵故爾前法花仏恵是為同為異耶

二十二、經云、終不以小乘等云云。付之「文意爾前非小乘」見_{タリ}如何

二十三、若人信帰仏矣。何云無間等耶

二十四、問、今經意說印真言_ヲ耶

二十五、經云、我本立誓願事

二十六、經云、若我遇衆生尽教以仏道矣。衆生成仏下種限法花限_ト歟』

(二丁表)
諸法從本來事。可有藥草品也

「說」_ト脱

二十七、經云、我為說方便說_ト諸尽苦道等○何云方便無得道_ト耶

二十八、經云、唯一無二乘矣。會二破_二一_一乘說歟

二十九、經云、更以異方便助顯第一義矣。異_ノ方便_ト者何物耶

三十、經云、或持戒忍辱精進禪智等矣。何因賊天魔法耶

三十一、經云、入無余涅槃矣。文意如何

三十二、經云、一稱南無仏矣。何云無間業耶。

付種類開會事
付已酬未酬事

三十三、經云、若有聞法者無一不成仏事

三十四、經云、知法常無性事

三十五、經云、仏種從縁起事

三十六、經云、雖示種々道事

三十七、經云、於三七日中事

三十八、經云、喜稱南無仏事」

（二丁裏）
三十九、經云、諸法寂滅相事

四十、經云、讚示涅槃法事

四十一、經云、鈍根小智人○不能信是法事

四十二、經云、於諸菩薩中正直捨方便事

四十三、經云、諸仏興出世事

法花問答正義抄第二 經一方便品騰疑致請下 日全私記之

一 問。爾前今經共難解之法歟。

答。共ニ難解ノ之法ト見タリ。但シ難解ノ意不同也。其ノ故ハ他經ハ易信之難解。今經ハ難信ノ之難解也。

尋云。其証如何。

示云。他經ハ九易ノ故ニ易信ノ之難解也。今ノ經ハ六難ノ故ニ難信難解也。

又今又云、※ 仏所得法甚深難解矣。是レ実智ノ難解也。

又云、※ 有所言說意趣難知一切声聞辟支仏所不能及矣。是ハ權智ノ難解也。』

仏…解 || 正藏九・六中

有…及 || 正藏九・六中

(三丁表)

疑フニ一智ヲ一

初ニハ疑ニ実智ヲ 仏所得法甚深難解矣

一ニハ疑ニ權智ヲ 有所言說意趣難知一切声聞辟支仏所不能及矣

知 || 「解」

示云。諸經ハ易信易解、法花經ハ難信難解事。

經云、第四至三已今當ノ処ニ可レ注レ之ヲ也。

尋云。經并疏釈皆悉以ニ爾前經ヲ為ニ易信易解ト。何ソ云ニ意趣難知ト也。

示云。凡ソ權実ニ一經ヲ定ニ難易ノ之ニ事ハ爾前ハ三乘乃至九界ノ權法矣。終不得成無上菩提ノ法ナル

故ニ当位今意ニ随宜說之故ニ随他意ノ方ハ易信易解也。今經ハ随自意法ニシテ全ク非ニ九界ノ思量ニ。唯仏

与仏ノ境界ナル故ニ云ニ難解難信ト也。取レ其ニ爾前ハ易信易解随他意ニシテ非仏本懷ナレハ易信易解ノ無シ甲

斐一。終不得成仏也。今經ハ随自意ニシテ仏出世之本意ナレハ難信難解ナレ共ソク速疾頓成也。譬ハ如下病人

服ニ良藥ヲ不レ知ニ其ノ藥種ノ法ヲ服レハ之ヲ病即チ癒上カ。今ノ經モ如此。雖レ不レ知ニ其ノ義理ヲ信レ之ヲ者ハ成

舍…解||正藏九・七上

從…也||正藏三四・四九中

初…故||正藏三四・二三下

仏無レ疑也。』(三丁裏)以信得入ト等説ケルハ此意也。但至今經ニ指シテ爾前ノ諸經ヲ云ニ意趣難知ト者私ノ会釈不

可有之。經釈分明也。所謂ル広開ニノ文云、舍利弗諸仏隨宜説法意趣難解矣。

文句四云、從^ニ隨宜所説^ニ下是^レ開方便也○初^ニ明^下仏道隨^ニ三種ノ機宜^ニ説^中方便^上。故^ニ言^フ隨

宜^ト。而^モ仏意在^レ実^ニ物莫^シ能^ク解^{コト}。故^ニ言^フ意趣難解^ト也。

記四云、初明^ニ仏道^{ヨリ}至^{マテ}難知也^ト者施權ノ意也。以^ニ諸教^ノ中^ニ無^ク施^ノ名^一故^{ナリ}。今^マ欲^ス明^レ

開^ラ故^ニ先叙^ス所開^ラ即^チ所施^是也。故^ニ玄文^ニ云^ク為^レ実^ノ施^スハ權^ヲ意在^ニ於^レ実^ニ。開^レ權^ヲ顯^ハ実^ヲ意在^ニ

於^レ權^ニ。当^ニ知^ル以^テ実^ヲ為^レハ權^ト權^ノ名^一隱^レ実^ヲ。開^レ權^ヲ顯^ハ実^ヲ実^カ外^ニ無^ク余^ト。潜^ト之^ト与^レ顯^ト利^ニ

物^ノ情^ニ。常住^ノ本源^ハ未^ダ嘗^ム増減^セ。故^ニ未^ダ開^ノ之前^ニ非^ス但^レ不^レ説^ニ顯^ノ実^ノ名^一。都^テ無^ク施^ノ權^ノ

之^{コト}語^一。故^ニ説^ク宜^ノ權^ノ之^言。即^チ須^ヘキカ^カ顯^ス実^ヲ故^也。故^ニ知^ヌ。「開^レ權^ヲ法華^ノ肝心^ト云^事也。」此^ハ是^レ法花^ノ

宗致、実教^ノ之^源由、釈義^ノ之^旨帰、衆行^ノ之^府蔵^{ナリ}。若^シ不^レ体^レ之^ヲ徒^ニ施^シ徒^ニ運^スル^{ナラン}。毎^レ至^ル

此^ノ意^ニ皆^ナ勤^々者^恐ル、斯^ノ宗^ノ学^者失^ニ經^ノ旨^一故^也」矣。

(朱書)
「呉々開權顯実カ法華ノ魂魄也。故ニ記四云、六章ノ之要莫^レ若^クハ開顯^ニ。」

在…也||正藏三四・二三八中

又^ニ云^ク釈釈^ニ迎^テ章^下、在^レ昔^ニ施^ス權^ヲ尚^ヲ無^ク權^ノ名^一。何^況ヤ有^レレ^ニ實^也。故^ニ今^マ開^レ權^ヲ權^ヲ權^即是^レ

実^{ナリ}。故^ニ云^ヘリ是^レ法^皆為^レ仏乘^ト。故^ニ知^ヌ。述^レハ其^ノ施^ノ權^一意在^ニ開^ニ也^矣。玄籤^一如此^ニ積^有之^云云。

經^ノ釈^ノ意^ハ爾^前隨^宜説^ニ法^ヲ諸^機思^フ真^実。仏^ハ知^ニス^方便^ト。故^ニ云^ク意^趣難^知也。今^マ無^量

義^并法^花爾^前今^經相^對。仏^判ニ^權実^麁妙^等給^時キ、爾^前為^レ法^花ノ^方便^也ケ^リト始^テ知^レル^之ヲ。

雖…乘…正藏九・九中

如此ノ知リ已^テ後ハ易信易解也。是ヲ以^テ經ノ次下ニ云フ雖^モ示種々道其實為^レ仏乘^一矣。

唯…正藏三三・九四九中

或釈云。唯至法花説前教意顯今教意矣。

今…實…正藏三四・一一一中

或云記八、今^マ詔^レテ^ニラ^ヲ為^シ方便^ト即^チ示^レテ^一ヲ^ヲ為^ス眞實^ト矣。

宗論ノ時^キ問答如^ニ上ノ難解難入ノ処^一也云云。

而…乘…正藏三四・四九下

文句四云、而今^マ開^ニト者^ヲ為^レ一ノ弄引^{ナル}耳。如^シ人ノ欲^シテ取^{ント}先^ツ当^ニ与^レルカ^之ヲ。雖^モ説^ニト種々ノ道^一

其^レ實^ニハ為^ニナリ^一乘^一矣。

今…耳…正藏三四・二三三上

記云、今開^ニト者^ヲ開^ニハ在^レ昔^ニ。而^ヲ云^フ今^ト者^ヲ指^ス今^ノ一化^一。從^ニ一乘^一開^ス故^ニ云^フ今^ト耳^一矣。

如此文理至^テ是法非思量ノ処^ニ可^レ注^レ之^ヲ。仍可^レ合見^ニ云也。

尋云、上来文理共能化ノ方ヨリ在^ニト不知義^一見タリ。付^レ之所化ノ心中^モ正^ク不^ト知^ニ爾前諸經之^一

文理^一有^レ之^耶。

仏…趣…正藏九・六中

示云、經ノ次下ニハ、仏説一解脱義我等亦得此法到於涅槃而今不知是義所趣^レ之文意可見^一。是^レ

然…説…正藏九・一〇下

千二百二乗ノ疑已所得下文也。仍分相也。加之舍利弗領解云、然我等不解方便隨宜所説^一矣。四

仏…子…正藏九・一七下

大聲聞領解云、仏知我等心樂小法以方便力隨我等説而我等不知真是^レ仏子^一矣。五百羅漢領解云、

我…知…正藏九・二九中

我等不知故不覺亦不知^一。

相伝云、難解難入^ト云ハ^ン諸經^ヲハ皆捨^テ、不可信歟。口作^ヲシ^テサテハ法花已前ノ諸經^ヲ可^レ捨也。

其ノ故^ハ觀無量壽經ノ無過之難等ノ文ヲ引^テ証^レ之^時彼ノ宗難者、今^マ所^レ引諸文^ハ皆上八品ノ行法^ヲ

指テ如此一説也。正ク法花已前ノ經ヲ易信易解ノ法ト治定スル文ハ宝塔品ニ挙テ六難九易ヲ九易ハ爾前ノ經也。法花ハ六難ト説ケリ。如何。文釈天台妙樂傳教ノ積分明也。如何。サテハ法花ヲ難行ト云事ハ法花ノ文明ナル上へ、龍樹ノ十住毘婆娑論ノ易』(五丁表)行品ニ難易ノ二道分明也。其難行ト者行ニ大乘ヲ者ハ是法甚難久乃可得ト釈シ、執持称名号ノ者ヲハ易行道ト約束スル故ニ法花ハ難行、念仏ハ易行ト云也ト難ルヲ可得意様ハ、觀經阿弥陀經ノ二經ノ文ハ二經ノ所詮ノ理ヲ指テ各々云フ難解ノ法ト故ニ指ス念仏ノ一行ヲ事分明也。

次ニ無量義經領解ノ文ハ觀音勢至正ク指シテ法花已前ノ諸經ヲ云フ終不等ニ故ニ分明也。

次ニ善導法然ノ積自及ヒ末代ノ弟子等并末代ノ孫弟マテ令蒙ラ故ニ難行ノ段勿論也。

次ニ龍樹ノ論ニ正ク入ニ法花ヲ不レ云ニ難行道ト者非難。以ニ念仏ヲ為ニ易行ト云事ハ論下ニハ如是諸世尊今説在十方乃至執持称名号文。上ニ挙テ東西南北四維上下ノ諸仏ヲ畢テ如是結故ニ不二一仏一仏ナラ念シ上ル十方ノ諸仏ヲ事ヲ易行ト積ルニ何ソ汝限ニ一仏ニ捨テ諸仏菩薩等ヲ耶。就中捨テ積尊ノ父母主師親ヲ也云云。

次六難九易弘經人可難説也。然ニ召ニ出シテ地涌ヲ付ニ属之ヲ隨今』(五丁裏)時法ノ大師法主大聖人御出世アテ弘三通之ヲ有耳。＊

有耳ニ異本「給ヘリ」
善：行ニ正藏九・三八六中
隨：解ニ正藏九・五下

次ニ仏正ク指シテ爾前經ヲ説ク下フ難行難解之法ト云。無量義云、善男子我起樹王詣波羅奈○次説方等十二部經摩訶般若花嚴海空宣説菩薩歷劫修行云云。方便品云、隨宜所説意趣難解矣。八万ノ菩

終…故正藏九・三八七上

薩領解シテ云ク、終不得成無上菩提所以者何不知菩提大直道故行於險逕多留難故矣。一乘領解ノ文如上。

若…仏正藏九・九中
貴…雨正藏九・二〇上

次ニ仏正ケ指シテ法花ヲ説ク易行ト云、若有聞法者無一不成仏矣。葉草喩品云、貴賤上下持戒毀

若…提正藏九・三八七上

戒威儀具足及不具足正見邪見利根鈍根等雨法雨矣。八万菩薩領解シテ云ク、若シ有ニ衆生一得聞ニ是

行…故正藏九・三八七中

經一則為ニ大利ト、所以者何。若シ能ク修行スレハ必ス得ニ疾ク成ニコトヲ無上菩提一ヲ矣。仏述成シテ云、行大直

而…悔正藏九・一〇下
無…得正藏九・一七下

道無留難故矣。舍利弗領解シテ云、而今從仏聞所未聞未曾有法斷諸疑悔矣。四大声聞云、無上宝

今…足正藏九・二九上

聚』不求自得矣。五百羅漢云授記品、今乃知レ之如ニ無智ノ者一、所以者何我等心レ得ニ如来ノ智恵一、

世…記正藏九・二九上
菩提原「菩提記」

而モ便チ自ラ謂テ小智ヲ為レリ足ト矣。又云、世尊我今乃知ヌ實ニ是レ菩薩也得レ授ニ阿耨〇菩提一ヲ矣。又

今…答正藏九・二九上

云、今於ニ世尊ノ前ニ自ラ悔ニ諸過咎一ヲ矣。

終…提正藏九・三八七上

私云、爾前今經ニ各々可レキ有ニ難易一也。先ツ爾前經ヲ言ニ難易ト者成仏得道ハ難也。無量義云、終

不得成無上菩提矣。

性…法正藏九・三八六上
前…解正藏三三・八〇〇下

隨ニ衆生ノ好ニ説ニ隨他意ノ法ヲ易ナリ。無量義云、性欲不同種々説法矣。玄十二云、前ノ經ハ是レ已

說隨他意也。彼ニハ不明ニ此ノ意一ヲ。故ニ亦易ク信シ易ク解シ矣。

必…提正藏九・三八六上
若…仏正藏九・九中

次ニ今經ヲ言ニ難易ト者成仏得道ハ易也。無量義云、必得疾成無上菩提矣。方便品云、若有聞法

須…竟正藏九・三一上
是…疑正藏九・五二下

者無一不成仏。法師品云、須臾聞之即得究竟。第七云、是人於仏道決定無有疑矣。

從…後正藏九・三一中

於ニ惡世ノ中ニ信ニ此經一之時、怨ミ嫉ムハ者是レ難也。法師品云、從昔已來未曾顯説而此經者如来

有者正藏九・三六中
好過正藏九・三六下

常惡正藏九・三六下
濁我正藏九・三六下

惡寺正藏九・三六下

現在猶多怨嫉況滅度後矣。(六丁裏)勸持品云、有諸無智人惡口罵詈等及加刀杖者矣。又好出我等過矣。

又云、常在大衆中欲毀我等故向國王大臣波羅門居士及余比丘衆誹謗說我惡矣。又云、濁劫惡世中多有諸恐怖惡鬼入其身罵詈毀辱我矣。又云、惡口而顰蹙數々見擯出遠離於塔寺矣。如此解釈ノ文多之略之。

又妙法ノ躰ノ難解ハ勿論也。唯仏与仏ノ境界ナル故也。舍利弗ノ智恵尚ラ不及。但以信得入ト見タリ。況ヤ我等ヲ耶。

一義云、抑今經ノ難解難入ト者歴劫不成仏ノ難解歟、疾成菩提ノ難解歟。

歴耳伝全二・五一

法華去惑第一云、歴劫ト与ト直道ト如レ説ニ無量義ト。問フ。其ノ無量義ノ所説如何シ耶。答。無量

義經説法品ニ云ク、次説方等十二部經摩訶般若花嚴海空宣説菩薩歴劫修行已上。解云、此レ則説ク

三カ中ノ歴劫ノ菩薩乘大乘門外牛車ヲ。餽食者仏乗耳。次ニ經ニ云ク、善男子是レ(七丁表)則チ諸仏ノ不可思

義甚深ノ境界也。非スニ乗ノ所レ知一。亦非ニ十住ノ菩薩ノ所レ及一。唯仏ト与レ仏乃チ能ク究了已上。經文

是レ則チ大直道不思議無上大乗。無量義經ニ所レ説仏乗也。問、以レカ何ヲ得レ知コトヲ。無量義經ヲ以テ

為レ大直道ト耶。答、無量義經十功德品云、善男子我レ説是ノ經。甚深々々真實甚深。所以者何。

令三カ衆ヲシテ疾ク成セ無上菩提一故ニ。一ヒ聞能持ニ一切ノ法一故ニ。於ニ諸ノ衆生ニ大利益スルカ故ニ。行ニ大直

道一無ニ留難一故ニ已上。又法花經譬喩品ニ与諸菩薩為声聞衆乘此宝乘直至道場已上。是レ兩經ノ文十

七種名ヲ為ニ具足ト同ク大直道也。但開會ノ異ナラク耳。△

若：道 〓 伝全一・七二二

決權実論云十章中、若シ大乘ノ之中ニ不レ立テ權実ヲ者歴劫ト与ニ直道一何ヲ以カ得ニ別異ナルコトヲ。 顕教ト

与ニ秘教一將レ有ニ雜乱ノ失一。故ニ無量義云、次説方等十二部經摩訶般若花嚴海空宣説菩薩歴劫修

行已上。 当ニ知ル、是レ歴劫菩薩乘ノ諸大乘教ハ、者門外ノ牛車所欲諸大乘也。 又云、善男子是レ則

諸仏不可思議甚深境界、非ニ一乘所レ知一、亦非ニ十地ノ菩薩所レ及一、唯仏与レ仏乃能究了シ下フ。 又

云、其レ有ニ衆生ニ不レ得レ聞コトヲ者当ニ知ル是等為レ失ニヘリト大利ヲ、乃至云所以者何不レ知ニ菩提ノ大直

道一故已上。 当ニ知大直道ノ故者露地ノ之牛車所喻於一仏乘也。 〇法花經中正直捨方便但説無上道矣。

又云第十章下、法花序分無量義經明ニ已説ニ井及池江及溪渠大海水等一遮ニ歴劫ノ大乘ヲ存ニ直道仏

乗ヲ。 況ヤ正宗ニ云ニ正直捨方便但説無上道ト。

此ノ經釈ノ意正ク花嚴方等般若ヲ云ヒ歴劫ト又云フ方便ト也。 若シ歴劫方便治定セハ難行難入不可レ有レ

疑也。 文義共穴賢く可秘之。

一義云、法花已前ノ諸經ヲ云ニ易信易解ト者抑其已捨易行歟、已信易行歟。 文〇如上云云。

一義云、二經共難解難入也ト云ハ何ヲ信シ何ヲ可レ捨耶。』

(八丁表) 一義云、他經ハ易信易解也共可捨之。 法花ハ難解難入也トモ只可レ信レ之。 金言有之者如何。

一義云、難解難入ト説故ニ疑ヲナシテ不信歟。 經云、生疑不信者即当墮惡道矣。

一義云、難解難入ノ故不レ信セ謗レ之ヲ歟。 經云、若人不信等云云。

花嚴經云開目抄下引之、一切世界諸ノ群生、尠シ有レト欲レト求ニ声聞乘ヲ。 求ニ緣覺ヲ者轉ク、復ク少シ。

「直」脱

法：道 〓 伝全一・七一九

明 〓 原「時」

江 〓 原「江河」

歴 〓 一

宗云 〓 原「説之中」

生：道 〓 正蔵九・四二上

若：等 〓 正蔵九・一五中

一：勝 〓 正蔵九・四四一上・
定遺五八七

「之」脱

「類」脱

求ニ大乘者甚タ希有也。求ニ大乘者ノ猶ヲ為レ易ト。能ク信コト是ノ法ヲ為ニ甚難ト。況ヤ能ク受持シテ正憶念シ、如ク説クノ修行シシテ眞実ニ解センヤ。若シ以テ三千世界一ノ頂戴スルコト一劫アテ身ヲ不レ動セ、彼ノ之所作未レ為レ難ト。信ニ是ノ法者ノ為ニ甚難ト。大千塵数ノ衆生類ニ、一劫供ニ養セン諸ノ樂具ヲ。彼ノ之功德未レ為レ勝タリト。信ニ是ノ法者ノ為ニ殊勝ト也。若シ以テ掌ヲ持テ十仏刹、於テ虚空ノ中ニ住スルコト一劫セン。彼ノ之所作未レ為レ難ト。信ニ是ノ法者ノ為ニ甚難ト。十仏刹塵ノ衆生類ニ、一劫供ニ養セン諸ノ樂具ヲ。彼ノ之功德未レ為レ勝タリト。信ニ是ノ法者ノ為ニ殊勝ト也。十刹塵数ノ諸ノ如来ヲ、一劫恭敬シテ而供養セン。若シ能ク受ニ持セン此ノ品者、功德於レ彼レ為ニ最^(八丁裏)勝^レリト矣。

仏：槃正藏九・六中

二ニ經ニ云ク、[※] 仏説一解脱義我等亦得此法到於涅槃矣。

文ノ意ハ千二百羅漢於ニ法花已前ニ修ニシテ二乘法一至ニト涅槃ニ云文也。付レ之若シ二乘法無得道無

「云」脱

間業ナラハ何ソ云如此耶。

示云、爾前得道ノ有無如前。又令離諸著ノ如シ。

一義ニ云、修ニシテ二乘法一得ニ其ノ業一見ヘタル故ニ汝チ行レシテ之ヲ可レト得ニ其業一難タル歟。若爾也ト云

從：戒伝全一・四一七

ハ、末法燈明記云山家釈、從ニ其壬子一至ニマテ我カ延曆廿年辛巳一一千四百十歲也。故ニ知ヌ今ノ時ハ是レ

像法最末ノ時也。彼ノ時ノ行事既ニ同シ末法ニ。然ハ則於ニ末法ノ中ニ但有ニ言教一而無ニ行証一。若シ有ニ

戒法一可レシ有ニ破戒一。既ニ無ニ戒法一。由レ破ニルニ何ノ戒ヲ而有ニ破戒一。破戒尚ヲ無シ、何況ヤ持戒一矣。

正…信||伝全一・四一八

又云、正像末法ノ所有ノ行事広ク載リ諸経ニ。内外ノ道俗誰カ不ニヤ披諷セ。豈貪ヲ求シテ自身ノ邪活

隱蔽^{センヤ}持国ノ之正法ヲ乎。但シ今ニ所ハ論末法ニハ唯有ニ名字ノ比丘。此ノ名字為ニ世ノ真宝一更ニ

無ニヤ福田。設シ末法ノ中ニ有ニ持戒一者既ニ怪異ナラン。如ニ市ニ有レカ虎。』此^{九丁表}誰カ可レ信[△]ス云。

正…恵||統蔵三四・九二七上

要集三十五云、正法一千年ノ中ニハ三法具足。像法一千年ニハ唯權教行両法更ニ無ニ証法。末

法ノ之中ニハ唯有レテ教ノ無ニ行恵[△]一矣。

一義云、抑今マ所レ云ニ乗ノ法ヲハハ法花経ニテハ信ヨト説敷。捨ヨト説敷。此義。

義云、令離諸著ノ算下ニ相伝ノ義有之。可見之云云。

一義云、付天台宗、爾前ニ得益有ト説事ハ一向方便ニシテ実益ニ非ト云釈有之如何。

昔…実||正蔵三四・一三三下

文句九云、昔^シ云下^{ヘリ}我^レ坐^シテ道場ニ不^レ得^中一法ノ実^上。七方便並ニ非ニ究竟ノ滅ニ。二涅槃^ト者方便ノ

空拳^也。故ニ知^ヌ、唯虚^也。未^レ見^ニ皆実^{一ナルコトヲ}矣。

稟…出||正蔵三四・三三七上

記九云、稟權出界名^テ為^ニ虚出^ト矣。

一義。爾前所説ノ得益実ニ爾前経ノ益也耶。^(朱書)「久遠下種云云」。止ニ。弘ニ云云。

尋云、三乘方便ハ無量義ノ時^キ既^ニ捨^レテ之^ヲ了^ヌ。何^ソ煩^{シク}法花^ニ全^ク説^レ之耶。

示云。如^ニ令離諸著ノ相義也。

若…別||正蔵四六・七五中

止六云、若^シ爾^ラハ何^ソ用^ニ前^来ノ種々ノ分別^ヲ。但^ダ凡情闇鈍^ニシテ説カ不^レ知^ラ。先^ツ誘^メテ開^レシテ之^ヲ

後^ニ入^ニ正道^一。法花^ニ云^ク、雖^レ説^ニ種々ノ道^一其^レ実^ニハ為^ニ仏乘^一。若^シ得^ニ此^ノ意^一終日^ニ分別^ス共^無レシ

所分別[△]矣。」

若…乘^{||}正藏七四・三二八中

(九丁裏) 一乘要決上云、若^シ望^レ權教^ニ有^リ諸乘^ノ大法^一。若^シ望^レ實教^ニ唯^レ是^レ一^ノ乘^矣。

自…法^{||}正藏九・六中

三^ニ經^ニ、自^レ說^レ得^レ如^レ是、力^無畏^ニ三^昧、禪^定解^脫等、不^可思^義法[△]。何^ソ云^ニ天^魔所^為耶^一。
示云、如^ニ前^々。但^今文^ハ頌^レ疑^ニ權^智下^ノ文^也。

四^三請^一止^ノ事 三^止云^時第一^ノ止^文止^{舍利弗}不^須復^說ヲ^指ナリ。三^請一^止文^見云^云。

問^フ、既^ニ一^ノ大^事ノ法^花也。何^ソ仏^{菩薩}不^レ請^レ之、舍^利弗^一人^請レ^之耶。又^五六^請可^レ有^ル。

何^ソ限^ル三^請耶。是^ヲ以^テ花^嚴經^ニ五^請有^レ之。然^モ仏^{菩薩}請^ニシ^テ非^ニ一^乘ノ請^一見^タリ。若^シ然^者

法^花ハ從^リ花^嚴一^劣ト^可レ^キ云^歟如^何。

答^フ。此^事今^マ始^テ難^ニ非^ス。上^古ノ諍^論也。花^嚴ノ澄^觀法^花劣^ノ證^拠ヲ^出ル^事也。

二…家^{||}正藏三五・七四四中

花^嚴疏^云、二^請余^經容^有、後^之一^請余^經所^無、法^花三^請但^一家^矣。

彼…也^{||}正藏三六・四二九中

又^云、彼^ハ是^レ一^家、此^ハ三^家アリ。一^ノ不^同也。彼^ハ一^家但^聲聞、此^ハ三^家是^レ一^ノ佛^{菩薩}。二^ノ不^同

也。彼^ハ唯^三請、此^ハ有^レ五、三^ノ不^同也。彼^ハ唯^因人^ノ請^也。此^ハ有^レ一^ノ佛^請。四^ノ不^同也。

唯…乘^{||}正藏三三・八〇〇下

天^台破^之云、玄^十 唯^花嚴^ノ中^ニ請^ニ金^剛』藏^ヲ可^レ為^ニ連^類。而^モ人^師偏^ニ著^シテ謂^レ加^ニ於^法

花^ニ言^フ小^乘ノ致^レハ請^ヲ不^レ及^中菩^薩上^ニ。此^ハ見^ニ一^返耳。身^子騰^ニ衆^ノ心^ヲ云^ク、仏^口所^生子、合^掌

瞻仰待、求レレハ諸菩薩、大数有ニ八万、欲レ聞ニ具足ノ道。何ソ獨リ是レ一ノ小乘ノミナラン矣。

本…化…正藏三三・八〇一上

又云、本門ノ中ニ菩薩請三仏ニ説二玉ヘト於仏法一ヲ。豈比^四センヤ菩薩ノ請三ニ菩薩ニ説二菩薩ノ法一ヲ耶。若シ就^二テハ

此ノ意ニ有レリ加^ニレコト於彼ニ。若シ彼ノ列衆十方ノ雲集ハ皆是レ盧舎那仏ノ宿世ノ知識ナリ。此ノ經雲集ノ地

涌ノ菩薩ハ皆從^ニテ釈尊ニ發^レレリ心ヲ。是レ我カ所化^ナリ矣。

法…異…正藏三三・九五〇下

籤十云、法花ノ本門ハ是レ仏説^{玉ヘルナリ}二仏法一ヲ。与^ト下花嚴ノ中ニ加^ニシテ於菩薩ニ説^{シメタル}中菩薩ノ法上^ニ不^レ無^キニ

同異^一矣。

衆…原「數」

此等ノ解釈ノ意今經ニ大衆有八万ト等云フ菩薩ノ請也。諸天龍神乃至轉輪聖王ト等者人天四衆八部

又…法…正藏九・三三二下

衆等ノ請也。第四卷ニ又我分身無量諸仏如恒沙等来欲聽法^ト者仏ノ請也。本門^ヲハハ彌勒為^レレテ首^ト請^ルヲ

之ヲ耶。故ニ知^ヌ。今經^ヲハハ二乘人天菩薩仏一同ニ請^レス之ヲ。又花嚴ハ菩薩請^ニス菩薩ニ説^ト菩薩ノ法一ヲ。今ノ

經ハ仏説^{玉ヘト}二仏法一請^ル故ニ勝劣天地雲泥也^ト破也云云。

此外花嚴法花相對^ニ二十重ノ勝劣有之。具如^二花嚴宗ノ聞書^一。

次ニ於^ニテ当家ニ案ニ立^之ヲ。

一義云、能請ノ多少并人ナラハ且^ク置之。先ッ大段ノ所請ノ之法体ノ劣ル段ハ勿論歟。

尋云、法体ノ勝劣如何。

抄初算^下可見^之ニ示^二云、歷劫^ト直道^ト也。無量義云、花嚴海空宣説菩薩歷劫修行^ト。又云、終不得成無上菩提^一是。

花…行…正藏九・三八六中
終…正藏九・三八七上
正…正藏九・一〇上
四…正藏九・三八六中

次ニ方便^ト真實^ト也。法花云、正直捨方便、但説無上道^一是。次ニ已^ト頭^ト未^ト頭^ト也。無量義云、四十

不…正藏九・一六上
余…正藏九・八上

余年未顯真實^是。次^ニ受^ト不受^ト也。法花云、不受余經一偈矣^是。次^ニ真^ト非真^ト也。經云、余二則

非真矣^是。余略之耶。并釈義等如^二聞書^一云云。

一義云、依此文法花^ニ名撰末帰本帰花嚴云謗法^ヲ成^ル歟。三轉法輪計破也。聞書スト也。

五二千起去事

仏…正藏九・七下
問、法花簡^レ機^ヲ也。其^ノ故^ハ五千罪根甚重^{ナル}故^ニ而不制止之^シ見^{タリ}。是^ヲ以^テ偈頌^ニ云ク、仏

無…正藏九・一六上
威德故去矣。』若^シ如^シ經文^ノ者^ハ当世^ノ造惡^ノ諸人^何ソ^ノ法花^ノ機^{ナラン}耶。サレハ譬喩品^ニハ無^智人中^莫說

此經云。如何。至^ニ無智人中^ノ下^ニ可^レ合得意^一也云云。

示云、先^ツ任^ニ天台妙樂等^ノ釈義^ニ可^レ得意也。

五…也…正藏三四・四八下
文句四云、五千在座^ニ故^ニ如来^ニ止^メ下。今^マ將^ニ許^シ説^ハ威神^ヲ以^テ遣去^シ去^リ。故^ニ名^ク簡衆^ト。

五濁ノ障^リ多^ク亦名^ク罪重^ト。執^レシテ小^ヲ翳^ス大^ヲ名^ク根深^ト。未^レ得^レ謂^レ得^{タリ}名^ク増上慢^ト。未^レ得^レ得^ニ三

果^ヲ、未^レ證^セ無^学。有^ル如此^シ失^ト者^謂障執慢^三種^ノ之^失也。

五…疑…正藏三四・二三一上
記四云、五千在座^{ヨリ}至^マ簡衆^ニ者、或^ハ当^ニ過去^ニ有^ル謗法^ノ縁、或^ハ機未^レ熟^セ聞^テ必^ス生^シ謗^ヲ。

故^ニ仏知^レ時^ヲ神力^ヲ令^レ去^ラ。又^如説^ニ瓔珞經^ニ時^上五千^ノ菩薩^尚從^レ座起^テ去^リニキ。一^ハ彼^ノ譬喩

品^ニ因^テ仏説^ニ法身^ノ功德^一座^中有^ル五千^ノ菩薩^從座起^テ去^ル。目連問^レ仏^ニ、此^ノ諸^ノ正士^修

菩薩^道已^ニ入^レ如来^ノ正法^ノ之^藏。行過^ニ一^乗。何^カ故^ソ聞^説三^身不^レ受^テ而退^ク。仏言^ク。

善男子聞カハ説レテ是ヲ者沸血流レン面ニ。何以ノ故ニ。是レ無數劫ニ恒ニ生ニシキ誹謗ヲ。是ノ輩ハ過去ノ恒沙ノ

仏ノ所ニシテ修行セシトモ六度ヲ起ニ於著想ヲ有ニ悔心一故ニ有ニ退轉一故ニ當ニ更ニ^(一一丁裏)經ニ歴ス勤苦ノ之難ニ。千

仏過去シ玉ヘトモ猶ヲ未ニ得度一。是人雖修ニテ菩薩ノ之道一欲レ得成仏終ニ不可レ得。如下人欲ニトモ於虛

空ニ造ラント室ヲ終ニ不レカ可レ成上。今マ謂ク、此レ乃チ三藏ノ菩薩ノ之心也。機未合セ時ニ若シ聞ニカハ三身ヲ理

合ヘシ生ス謗ヲ。通ニ在ニ衍門ニ生ス謗ヲ義少シ。故ニ知ヌ。今ノ人雖レ欲ニトモ發心一セント不レ簡ニハ偏円一、不レ解ニ

誓ノ境ヲ、未來ニ聞レトモ法ヲ何ソ能ク免レ謗ヲ。問フ、前ニ云ヘリニ止メ玉ヘハハ抑テナリト三請ヲ。今マ何故ソ云レ

由ニルト五千在レ座ニ。答フ、二請シテ已後ニ五千必ス去ル。只一ノ三止用テ當ニレリ一ノ義ニ。於レテ理ニ無シ妨。

有ル時ニハ一ノ法當ニ無量ノ縁ニ。只此ノ二事何ソ足レ生レ疑ヲ矣。

而也正蔵三四・四八下
文句云、而不制止者、上ニ聞ニ略開ニ三頭一^{コトハ}言略シ義隱シタレハ猶未^ス生ス謗ヲ、足レリ作ニ繫珠ノ因

縁ヲ。去則有レ利益。若シ聞ニカハ広開ニ三頭一^ヲ乖テ情ニ起レテ謗ヲ。住シテ則有レ損。是ノ故ニ不^レ制止^シ玉ヘ也。

若耳正蔵三四・四九上
又云、若^ク去住俱ニ謗^セハ宜^ク如^ク喜根ノ強説^ク。今去テハ則有レ利益。那忽^ニ令^メ住^セ。住シテハ則

有レ損。那忽^チニ不^レ遣^ヤ。問フ。五千在レ座ニ即チ不^レ蒙^ラ益ヲ。去テ有^ル何^ノ益^カ。答。此レ非ニ當^ル機^ニ。

是^レ結^ス縁^ノ人^ナラ^ク耳^ミ矣。

若益正蔵三四・二三二下
記云、若^ク去住俱謗^ト等者、聞^レ略^レ不^レ謗^セ。聞^レテハ広^ク必^ス謗^シテシ。故ニ云フ去則有益^ト矣。

昔意正蔵三四・四九上
文句云、昔^シ大通^ノ仏^ノ時^ニ亦^テ有^ル無量^ノ衆生^一心^ニ生^ニシキ疑惑^ヲ。世々^ニ与^レ師^俱生^シテ今^マ皆^得レタリ

度^スルコトヲ。此^ノ人^モ亦^爾也。説^テ大^ニ經^一時^キ万^五千^億人^於是^ノ經^ノ中^ニ不^レ生^セ信心^一。是^ノ人^於未^來ニ

亦当^レ得^レ信^{スルコトヲ}。例^レ此^ニ益在^レ不^レ久^キ。金光明ノ中ニ時ニ閻浮提ニ有^ニ二^ト一種ノ人^一。亦是^レ斯ノ例ノ意^也矣。

説義 正蔵三四・二三二上

記云、説大經時万五千億人^ト等者、師子吼菩薩ノ言ク、如^ニ僂ノ所説^ノ一切衆生能^ク信^ニルハ如^レノ是大涅槃經^一不可思議。世尊是ノ大衆ノ中ニ有^ニ八万五千億ノ人^一。於^ニ是^ノ經ノ中ニ不^レ生^ニ信心^一。故^ニ能^ク信^ル者^ハ不^レ可思議^也矣。

五例 正蔵三四・二三二上

又云、五千雖^モ去^ト已^ニ聞^ケリ略説^ヲ。不久^ト者意亦指^ニ弘經ノ人ノ益^一。金光明^ト等者第七云、一^ニハ者深^ク信^ニス大乘方等^ヲ。二^ニハ者毀^シテ不^レ生^ニ信樂^一。不^レ生^ニ信樂^一者^ハ亦得^レ結^{コトヲ}縁^ヲ。故^ニ引^テ為^レ例^{スルコトヲ}矣。

問 遺 正蔵三四・二三九上

又云此文上有、問^フ。僂若^シ大慈^{イマサハ}何^ソ不^レ令^玉其^ヲ無^シテ謗^{スルコト}生^セ信^ヲ。答^フ。是^レ盲者ノ過^也。非^ニ日月ノ咎^一。法界ノ衆生未^レ益^セ者衆^ヲ。況^ヤ此ノ五千已^ニ蒙^レリ下種^一。滅後ノ時^キ遠^シ。当^々不^レ遺^ラ矣。

若 生 正蔵三三・七五七上

玄六云、若^シ衆生無^ニ僂性^一者^ニ教^ルニ以^テ僂道^一過^ト則^チ属^レ僂^ニ。若^シ有^ニ衆生皆^ナ有^ニ僂性^一迷惑^シテ不^レ受^ケテ過^ト属^ス衆生^一矣。

迷 過 正蔵三三・七五七上
同七〇五上取意カ

又云、迷惑^シテ不^レ受^ケテ過^ト属^ス衆生^一。矇者有^レ過^ト日月非^レ過^也。涅槃經等至^テ下ノ我本立誓願^ニ可^レ注^之。偈頌釈文至^テ可^レ注^之也。

難云、如^レ釈者僂^ヲイタハツテ五千^ヲ令^レ去^ラ也。何^ソ背^テ此^ニ強^テ説^ク之^耶。

示云、釈ノ意略開^ニ聞^テ不^レ謗^セ、聞^ニハ広開^ニ可^レ謗^ス故^ニ令^レ去^見タリ。故^ニ五千^ハ未^レ謗^ノ者^ト聞

菩…因 正藏四六・一〇四上

タリ。然^ニ当世ハ已^レ謗ノ人々也。何^ソ不^レ說之耶。是^ヲ以^テ止觀一二云、菩薩知^三其ノ不信會^{カナラハ}墮^ト地

雖…法 正藏四六・一七四下

獄^ニ。是ノ故強^テ說^テ作^ス後世ノ因^ト矣。弘一云、雖^レ墮^ト地獄^ニ從^ニ地獄^一出^テ、還^テ得^レ聞^{コトヲ}法^ヲ矣。喜根

菩薩ノ為^ニ勝意比丘ノ說事也。

一義云、如^レ難ノ者当世諸人等五千ノ上慢^ニ同^キ耶。若同^ト云ハ、五千ハ未^レ謗ノ故^ニ不^レ墮^ト地獄^ニ見^ヘタリ。汝等ハ已^レ謗ノ故^ニ可^レ墮^ト地獄^ニ見^{タリ}。何^ソ云^レ同耶。

一義云、如^レ難者為^ニ惡人ノ說^ト法花^ヲ云ハ人ハ僻事歟。

經七云、我滅^レ度後後五百歲中^{廣宣流布於閻浮提無令斷絶等}云云。
(一三下表)*

大集經云、第五五百才闍諍堅固時^{云云}。

秀句上云、語^レ代^ヲ則^チ像ノ終^リ末ノ始、尋^レ地^ヲ唐ノ東羯ノ西、原^レ人^則五濁之生闍諍之時^也。

經^ニ云^ニ猶多怨嫉況滅度後^ト。此ノ言良^ニ有^以哉^矣。

一義云、仏不^レ謗料^ニ遣去^{スト}見タリ。然^ニ汝等已^ニ謗法ノ段^ハ無^キ異論^一歟。若^シ無^ニ異論^一者墮獄無^シ疑。若^シ墮獄ノ人^ニ治定^ハ何^ソ說^テ之^ヲ不^レ為^ニ毒鼓ノ緣^ト也。

不^レ輕品云、或以^レ杖木瓦石而打擲之^ニ避走遠任猶高聲唱言我不敢^レ輕於汝等々々皆当作^レ仏^矣。

文句十云、本^ニ已有善釈迦以小^ニ而將護之本未有善不^レ輕以大^ニ而強毒之^也。

記十云、問^フ、若^シ因謗墮苦、菩薩何故^ニ為^レ作^レ苦因。答、其無善因不^レ謗亦墮。因謗墮惡必由得益。

如人倒地還從地起^矣。

我…等 正藏九・五四下

「五」脱

第…時 正藏一三・三六三中
取意

語…哉 伝全三・二五一
レ へ

或…仏 正藏九・五〇下
「而」脱

本…之 正藏三四・一四一上

問…起 正藏三四・三四九中

一…同||正藏九・三八六上
我…実||正藏九・七上
久…之||正藏三四・四九中

重難云、何様ニモ法花ハ簡レフ機ヲ条ハ無ニ異論ニ覺ル也。無量義云、一切諸法不可宣說知諸衆生性欲不同云。法花云、我今此衆無復枝葉純有貞実矣。文句四云、久ク不レコトハ說カ者為レノ人不レカ堪一故、時未レ至ラ故ヘ五千未レ遣ラ故也。今マ人已ニ堪ヘ時已ニ至リ五千已ニ去ヌ。決定シテ說下フ大乘一。故ニ言フ時乃說之ト矣。經釈共ニ簡レフ機ヲ条分明也。如何。

示云、此難大段經釈ノ意ヲ不レス知ラ。其ノ故ハ說ニ法花ヲ二筋有之。一ニハ本已有善ノ者仏以レテ小ヲ而將ニ護シテ之後說ニ法花一。仍今日ノ化儀也。二ニハ本未有善ノ者不レ輕強テ說下フ之ヲ為レ成ニ毒鼓之縁ト也。又二筋有之。一ニハ深位ハ知レ機ヲ故且ク恐レ墮レコトヲ苦ニ不レス說カ。浅位ハ不レ知レ機ヲ故ニ等是不見。但說大無咎。如レ釈存シテ說レ之ヲ也。又二說有之。未謗ノ者ニハ仏左右ナク不說レ之ヲ。今ノ五千上慢ノ如シ。已謗ノ者ニハ強テ說レ之ヲ也。不レ輕喜根等ノ如シ。然ニ簡レハ機ヲ如ク余經ノ二乘闡提惡人女人等不ト可ニ成仏一治定スルコソ正簡レテハ機ヲ有レ。法花ハ定性闡提女人等一切皆成ノ法ナル故ニ經ニ云テ貴賤上下ト不レ簡レ之上者何ソ出ニ此ノ難ヲ耶。

今…仏||伝全二・五一五
說…故||異筆

守護章下上云、今マ天台ノ正義ニ云ク、方便ノ之故ニ說ク三乘教ヲ暫成不成。故ニ法花ニ云フ除仏方便說ト。又真実ノ故ニ說ク唯一乘ヲ五性皆成。故ニ法花ニ云フ若有聞法者無一不成仏ト矣。此釈真実々々貴釈也。可思之。

一義ニ云、如レ難者法花ハ簡レフ機ヲ法ト存シテ不レ信レ之歟。若シ爾也ト云ハ、サテハ簡レフ機ヲ經法ハ不可信之歟。若シ爾也ト云ハ、花嚴方等般若深密大日阿弥陀經等一々ニ可レ捨レ之也。此ノ義ノ證文

如二上ノ難解難入ノ算一云。

如…長||正藏九・六二三中

花嚴經云六十卷、如来ノ智恵ハ大薬王樹唯除三二処ヲ不得ニ生長一。所謂ル声聞縁覺地獄深院及ヒ諸犯戒邪見貪著非法器等。而如来樹非不生長矣。

阿含經云、彼若得恩無上仏種理矣。

若…花||正藏一四・五四九中

方等經云、若見無為入正信者不能復發阿耨○菩提譬如高原陸地不生蓮花矣。

若…故||正藏八・二七三中

小品云、若シ入ニ声聞ノ正位ニ是人不能發レ阿耨○菩提心ヲ。何ヲ以ノ故ニ与ト生死一作ニカ障隔一故矣。

悲…断||伝全二・六八三

決權実論序云、悲キ哉無性ノ仏子永閉ニ火宅ニ、哀ナル哉定性ノ小子終ニ死ニ灰断ニ矣。

若…怖||正藏七四・二七〇下

義綱云、義真、若シ信ニ成仏一者毘盧ノ果可レ觀ツ。若シ諍ニ不成一者阿鼻ノ之因可レ怖ル々々々矣。今一義ノ證拠為ニ才覺ノ出ニ此文等一也。問答ノ時ハ無量義ノ終不得成ノ文「(二四下裏)最秘也」云。

諸…之||正藏九・七上

又法花云、諸仏随宜説法意趣難解○演説諸法是法非思量分別之所能解唯有諸仏乃能知之矣。

隨…解||正藏九・五中

略開又云、随宜所説意趣難解矣。可思之。

他…記||正藏三四・九七上

記七云、他經ハ但記ニシテ菩薩ニ不レ記ニ乗ニ。但記レシテ善ニ不レ記レ惡ニ。但記レシテ男ニ不レ記レ女ニ。但記ニシテ人天ニ不レ記レ畜ニ。今經皆記矣。

遍…文||正藏四六・三四五上

弘六云、遍尋法花已前諸教実無ニ一乘作仏之文云。妙法蓮華經義云、山家、問ク、宗ノ意而一切衆生皆成仏スル耶為当成不成耶。答、約ニ法花ノ之

前^ニ有^リ成不成^一、約^ニ法花以後^ニ皆成也。問^フ。何^カ故^ソ約^レ法花ノ之前^ニ有^リ成不成^一、約^レ法花以後^ニ皆成^ル耶。答。法花ノ之前^ハ權教、法花ノ之後^ハ實^{ナル}故。問^フ。何^ヲ以^テ得^レ知^{コトヲ}法花ノ之前^ハ權、法花ノ以後^ハ實言耶。答。無量義經^ニ云^ク四十餘年未^ダ顯^ス真實^ト故也。難^ク云。法花已^レ後^ハ實^{ナル}故^ニ皆成^ル五千退席可^レ授^ケ記何^レ不^レ授^ケ記。

又云、涅槃經云、一闍提不成^レ仏文[□]通^ニハ^ハ五千退座方便品ノ初略開三頭一ノ時^キ為^テ結緣衆^ト終可^レ成^ル仏^一。問^フ。五千退^レ座法花ノ日皆已^レ成^ル仏耶。又移天人亦爾。答。皆已^レ成也。問。爾者皆已^レ成^ル仏者何^カ故^ソ從^レ座起^テ礼^シテ^レ仏^ヲ退^スル耶。答。機乘未^ダ熟^ノ故^ニ成^ル威力以^テ移^シテ^レ他^ト土^ニ八^年ノ間^ニ機^ヲ令^レ熟^セ。機熟已^レ時^ニ替^テ法花ノ名^ヲ為^ニ涅槃^ヲ說^ク故^ニ終^ニ可^レ成^ル仏^一矣。

諸^ノ之^ニ正^ニ藏^九・七^上 六^ニ經^云、諸^ノ仏^隨宜^說法^意趣^難解[○]唯^有諸^ノ仏^乃能^レ知^之矣。

付^之、爾^前經^思量^分別^所能^ク解^スル^非ト^見タ^リ。何^ソ判^ハン^是非^ト耶。

示^云。上^ニ沙汰^之了^ヌ。爾^前今^經ノ難^解同^異ノ下^ニ秘^義可^レ見^之。

從^レ也^ニ正^ニ藏^{三四}・四^九中 文^句四^云、從^ニ隨^宜所^說下^是開^方便^也。初^ニ明^諸仏^隨三^種ノ機^宜ニ^說中^下フ^{コトヲ}方便^上。故^ニ言^フ

隨^宜ト。而^モ仏^意在^レハ^實ニ物^莫シ^能ク解^{コト}。故^ニ言^フ意^趣難^知ト也。

初^ニ藏^ニ正^ニ藏^{三四}・二^三二^下 記^四云、初^ニ明^仏道^{ヨリ}至^ニ難^知也^ト者^施權^ノ意^也。以^テ諸^ノ經^中無^ニ施^ノ名^一故^也。今^マ欲^ス明^レト

開^フ故^ニ先^ツ叙^ス所^開即^チ所^施是^レ也。故^ニ玄^文ニ^云ク、為^レ實^ノ施^スハ^權ヲ意^在ニ^於實^ニ。開^レテ^レ權^顯レ^ハ實^ヲ意

在リ於權ニ。当レニ知以テ実ヲ為レハ權ト權ノ名隱レセリ実ヲ。開シテ權ヲ顯セハ実ヲ実カ外ニ無シ余。潜ト之与ハ顯利
在リ物ノ情ニ。常住ノ本源ハ未ニ嘗ニモ増減セ。故ニ未開ノ之前ニハ非ス但不レノミニ説ニカ顯実ノ之名ヲ。都無シ施
權ノ之語。故ニ説ニ宜權ノ之言即須レ顯実ヲ故也。故ニ知ヌ。此ハ是レ法花ノ之宗致、実教ノ之深由、
釈義ノ之旨歸、衆行ノ之府藏也矣。

在…也 正藏三四・二三八中

記次下釈云、在レテハ昔ニ施權尚ヲ無シ權ノ名。何況ヤ有レヤ実。故ニ今マ開スルニ權ヲ權即是レ実也。故ニ
云ヘリ是法皆為一仏乗ト。故ニ知ヌ。述ニコト其ノ施權一定在レリ開也矣。

示云。釈ノ意ハ他經ハ為レノ説カ実ヲ方便也ト能化ハ思食シ、所化ハ只ニ乘ノ法ト存ル故ニ云フ意趣難解ト也。

今ノ文ニ意趣ト者仏ノ御意也。法体ノ意ニ非ル也。今經ハ法体ノ真理カ難入也。他經ハ法体ニ乗ノ權法ナレハ

易信易解ナレ共。仏意在レル実ニ故ニ仏意ヲ不知ノ方ヲ意趣難解ト云也。是伝義也。可秘也。是ヲ以テ文次

今…乘 正藏三四・四九下

下ニ釈シテ云ク。今マ開ニト者為レノ一ガ弄引ナラク耳。如下ノ人欲レシテ取ラント先ツ当ニ与レフ之上。雖説ニ種々ノ道
其ノ実ニハ為レ一仏乗ノ矣。

今…耳 正藏三四・二三三上

唯…意 正藏三三・九四九中
前…別

記云。今マ開ニト者開ケルコトハ三ヲ在レリ昔ニ。而言ハ今ト者指ス今ノ一化ヲ。從ニ一乘一開ス故ニ云フ今ト耳矣。
此釈上義証分明也。唯至法花説前教意ノ釈可思之。

有難云。今ノ釈意ハ本書ニハ仏意在実ト云ヘルヲ記ニ引ニ玄文ノ為実』施權意在於実、開權顯実意

在於權ノ文ヲ畢テ結レ之ヲ、当知以実為權權名隱実ト判ル故ニ他經モ仏意ハ実ナルヲ機未熟ノ故ニ三乗ノ法ト

存ル也。為実施權意在於実ト釈是也。機熟スル時開權顯実スレハ昔ニ三乘法即法花一実也ト知畢。開權

顯實意在於權ト積ル此意也如何。

示云。本書ニ仏意在大ト者雖示種々道其實為仏乘ノ意也。次ニ記ノ玄文ノ引証ハ以實施權意在於實ト者又如上ノ開權顯實意在於權ト者開權顯實スル意ハ昔ノ權ヲ會シテ法花ノ一仏乘ト成ラシメンカ為也ト云積也。次ニ結文ハ如上得意無二相違一也。以レ實ヲ為レハ權ト權ト名隱ト實ヲ積ル何ノ失有之耶。

私云。所詮難答共ニ為ニ才覺一歟。非ニ所用ニ。其ノ故ハ今ノ品ノ心ハ既ニ立テ權實ヲ以□廢權立實上先ツ此方正直捨方便也。何ソ不レ廢立之耶。サテ開權顯實ノ時ハ開シテ一体一味ノ法ト成テ所廢躄亡權トシテ可キ論事無シ之。何ソ行レセン之ヲ耶。

又難解難入事。問答タルニハ難者ニテハ（一六丁裏）金錍論ノ文出食キ。難ル至極ニテ有之也ト習也。金錍論云、

大：像ニ正藏四六・七八六中
測ニ側

大師判教ノ末ニ云ク、仏法不思議也。唯タ教相難解シ。二乘及ヒ菩薩尚ヲ所也ト不レ能ハ測ル也ト。何況諸ノ

凡夫而欲レ判ト此ノ事ヲ。譬ハ如下シヤウ生盲ノ人分ニ別シ日輪ノ相ヲ欲レ判ト虛空界ノ一切ノ諸ノ色像ト矣ト。此積意ヲ難答共ニ能々可料簡也。

有難云、鹿食者今經ノ引ニテ諸仏如来隨宜所說意趣難解ノ文ヲ是ハ法花經難解ト云ヲハ山家守護章中之上ニ破レシテ之ヲ云ク、明ニ知ヌ、鹿食所積ノ極難解不是法花ノ極難解、彼ノ二乘ノ中ノ大乘皆易解也。

故ニ花嚴經云、求ニ大乘ヲ者猶ヲ為易也ト矣ト。此積ハ他經ハ易解、法花ハ難解ト定タリ。如何。

一義云、依ニテ此積ニ汝同ニシテ鹿食者ニ謗ニ法花ヲ歟。抑今ノ積ハ一切衆生ノ成仏ヲ難解ト積ル歟。法体甚深ノ方ヲ云歟。

七二經云、汝等[※]当信仏之所説言不虛妄[△]矣。

有難云、当信仏所説^{ニハ}所説言^ニ不^ニ虛妄^{ナラ}從^ニ其^ノ所説^ヲ隨^ニ宜^ニ説^フ法^意趣^難解^{乃至}演^説諸^法ト説^ク故^ニ法^花ニ既^ニ他^經ヲ可^レ信[。]何^ソ謗^レスル^之耶[。]』

(一七丁表) 示云、此難都^テ不^見經^ノ前^後ヲ故^也。仍^テ天^台文^段分^別有^ルニ任^テ可^知之^也。

初^ニ歎^フ法^希有[。] 仏^告舍^利弗^如是^妙法[○]時^一現^耳

二^ニ説^ク無^虚妄[。] 舍^利弗^汝等^当信^仏之^所説^言不^虚妄[。]

明^スニ諸^仏ノ章^ヲ四

三^ニ開^ク方^便三[。] 初^ニ開[、]舍^利弗^諸仏^隨宜^説法^意趣^難解[。]
二^ニ釈[、]所^以者^何我^以無^数方^便○演^説諸^法
四^ニ示^ク真^実 三^ニ結[、]是^法非^思量^分別^之所^能解^唯有^諸仏^乃能^知之[。]

結^前生^後ノ文^也

偈頌云、

汝等勿有疑 我為諸法王 普告諸大衆 但以一乘道○

汝等舍利弗 声聞及菩薩 当知是妙法 諸仏之秘要矣。

文句四云、從^ニ汝^等勿^有疑^ニ下^第五^ニ二^行半^ハ頌^ス上^ノ不^虚ヲ。又^ニツ、初^ノ一^行半^ハ勿^レ於^ニ可^レ信^ニ

人^ニ生^レスル^{コト}疑^上ヲ。次^ニ汝^等舍^利弗^{ヨリ}下^モ一^行勿^レ於^ニ可^レ信^ス法^ニ起^レス^{コト}疑^上ヲ。法^王者^夫為^レニ^サ人^王

言則チ不レス一ナラ。仏ハ為ニタリ法王一。豈容ニケンヤ虚説一シテマフ。夫レ方便ハ可ニ是レ權仮ナル。眞実寧^(一七下)」^(一七下) 應ニケンヤ是レ妄ナル。聞ニテ法王ノ説法ヲ勿レト生レト疑ヲ也。

夫…疑^{||}正藏三四・二五二下

記四云、夫方便可是權仮者、意ハ明^{サキ}三前ノ教可^{ト云}コトヲ是レ權施ナル。扱^ラハ仏ノ本懷ニ雖モ非ニト虚妄ニ

以テ実ヲ望レム故ニ云ニ權仮ト。施^シ已^テ復^{マケ}廢終ニ歸ニス眞実ニ。今マ已ニ説^レク実^ヲ故ニ勸^レム勿レト疑^{コト}矣。

如…説^{||}正藏一二・七〇八上

涅槃經云、如来雖無虚妄之言若知衆生因虚妄説矣。

知…実^{||}正藏九・三八六上

無量義云、知^ル諸衆生性欲不同々々々々種々説法々々々々以方便力四十余年未^レ顯眞実矣。

是…之^{||}正藏九・七上

八 經云、是法非思量分別之所能解唯有諸仏乃能知之矣。

如レ文者法花ハ唯仏与仏ノ境界ニシテ不^レ及ニ思量分別ニ之法也。何^ソ分^ニ別^シテ之^ヲ為^レ他ノ説^レ之^ヲ何^ソ信^レ之^ヲ耶。

示云、此ノ事如上ノ不^レ須復説ト是法不可^レ示^ト爾前今經ノ難解ノ之算ノ下ニ注之。付之先天台妙樂ノ定判能々可見之也。

是…文^{||}正藏三四・四九下

文句四云、是法非思量者、此ニ有^ニ兩義一。或^ハ作^レ結^{スル}コトヲ開權ヲ。或^ハ正^ク作^ル顯実ニ。結^ニト開

權^ヲ者仏意難^レ知^リ。唯^ク仏^ト与^レレ^ニ仏能^ク了^リ玉^ヘリ。稟^教ノ者^ハ謂^フニト。諸^仏ハ知^レ玉^{ヘル}一^ト耳。作^ニ顯実^ヲ者

即^チ属^ス後^ノ文^ニ矣。

是…也^{||}正藏三四・二三二下

記四云、是法等^ト者、若^シ結^ニナラハ開權^ヲ是法ノ兩字^ハ指^ス向^ノ演説諸法^ヲ是也矣。

初ニ標ス勝タル人法一ヲ 是法非思量分別之所能解唯有諸仏乃能知之

二ニ標ニ出世ノ意一ヲ 所以者何〇 出現於世

示ニ真實ヲ五 三ニ重テ示ス 舍利弗何名〇出現於世

四ニ正ニ釈 諸仏世尊欲令衆生〇無有余乘若二若二矣。

此ノ下ニ有ニ理人行教ノ四一也。

五ニ惣ニ結 舍利弗一切十方諸仏法亦如是矣。

標…也 正藏三四・四九下

文句四云、標ト人法一者、舉下無分別ノ法ハ唯是レ仏ノ所知上トヲ。仏以ニ無分別ノ智ヲ能ク知セリ無分

別ノ法一ヲ。即是レ顯ニ實法一也。

無…實 正藏三三・八二七上

籤一云、無数方便種々因縁ハ是レ權、是法非思量分別之所能知ハ是レ實也矣。

示云、經釈ノ意大旨略開三ノ難解難入、或ハ是法不可示等ノ如シ。准知之云云。

伝義也。一義云、抑今ノ文正ク不レ及ハニ思量分別ニ之法一ヲ不レ可レ信ス又不レト説レカラ禁タル文有之歟。

然ニ上ノ略開三ノ時キ唯仏与仏乃能究尽ト説ケ共ニ於仏所説法当生大信力矣。今マ広開三ニ唯有諸仏乃能

知之ト説ケ共ニ次上ノ説無虚妄ノ下ニハ汝等当レ信レ仏之所説矣。
(二八丁裏)

一義云、不レ及ハニ思量分別ニ之法一又不レト可レ説ハ者、法花已前ノ諸經捨テ而不レ可レ説歟如何。而ニ今ノ

文ニ是法非思量ト等者、結前生後ノ文ナル故ニ不レ限ニ法花一、爾前ノ諸法ヲモ非思量ト説カ故也。是ヲ以テ

文句四記四文上ニ注レ之ヲ耶。

難云、共ニ非思量ノ法也如何。

示云、上ニ演說諸法是法非思量、隨宜說法意趣難解ノ故ニ非思量ノ法也。仍テ人法共ニ真實ノ故ニ凡夫ニ乘不退ノ菩薩等ノ非ニ思量ノ法也。

難云、若シ爾者何ソ不レ説レ之ヲ耶。

示云、上傳義如シ云。

一義云、汝等信ニ説スルハ他經一皆經ノ意ヲ解了シテ説レク之ヲ歟。若シ解了シテ説ト之云ハ、解了ノ様如何。若シ真實也ト解了セハ背ニ仏意ニ。若シ方便也ト解了セハ何ソ正直ニ不レ捨レ之ヲ耶。

一義云、非思量ノ法ナレハ不レト可レ説ク禁シタル文髓ニ出シテ可レ難レ之也。然ニ今ノ文都テ唯仏ノ境界ナル故ニ滅後ノ衆生ハ不レト云可レ説ク之ヲ文無之如何。

無：經 正藏九・一六上

難云、第二卷ニ云ク、無智人中莫説此經矣。能化人ト聞タリ。然ニ所化カ無智ナラハ非思量ノ法ナレハ不レ

是：正藏九・五下

可レ説聞タリ如何是。』又是法不可示言辭相寂滅ノ文是也。又今ノ文唯仏ノ言簡ニ余一人ヲ聞タリ如何是。

示云、無智人中ノ文ハ至テ当所ニ可沙汰之。次ニ二文第一義如シ。

一義云、不思量ノ法花ノ意趣説ト之ヲ云ヘル人ハ僻事歟。

若：經 正藏九・三〇下

經ノ第四云、若是善男子善女人我滅度後能竊為一人說法花經矣。

此：藥 正藏九・五四下

第七云、此經則為閻浮提人病之良藥。

一義云、非思量ノ法ヲ信シ非思量ノ法ヲ説ク故ニ不レト可レ成仏ニ難スル歟。

是：差 正藏九・四三上

經六云、是好良藥今留在此汝可取服勿憂不差矣。

若：場 正藏九・六二上
「中」原ナシ

今：知 正藏二五・七一四上

生：道 正藏九・四二上

是：道 正藏九・五二下

於：經 正藏九・五二下

小兒： 四信五品鈔 定遺
一二九八

蓮：吸 法華題目抄 定遺
三九三參照

葉 柴

失ヲ諸人 異本 「失諸文」

讚：間 伝全三・三六四

忝： 立正安國論 定遺二
一九

第七云、若如来滅後々五百才中若有人見受持誦誦法花經者必作是念此人不久当詣道場矣。

一義云、非思量ノ法ナル故ニ信ル此經ヲ人可ニ成仏ス不レ可レ説歟。若シ爾也ト云ハ、大論ノ九十二云、

今マ言ク漏尽ノ阿羅漢還テ作仏、唯仏ノ能ク知マヘリ、論義者ハ正ク可レトモ論ス其事ヲ不レ能ク例知一

是ノ故ニ戲論。若シ求得レシ時乃チ能ク了知スヘシ。余人ハ可レトモ信而未レ可レ知矣。

一義云、不レ及ハ思量分別ニ法(一九丁裏)存シテ説放生レシテ疑ヲ不レ信レセ之ヲ歟。若爾也ト云ハ、經ニ云、生疑

不信者即当墮惡道矣。第七云、是故行者、於仏滅後、聞如是經、勿生疑惑、应当一心、広説此

經、世々値仏、疾成仏道矣。又云、於未來世若有善男子善女人信如来智恵者当為演説此法ケ經

矣。此等ノ經文ハ信説共ニ兼タリ。汝ハ但非思量ノ一文ヲ見テ不レ見ニ諸文一也。

私云、今於ニ此經ニ不レテ及ハ思量分別ニ毀謗者墮ニ阿鼻ニ、信受セン者ハ可ニ成仏一見タリ。小兒

含乳ヲ雖レ不レ知ニ其味ヲ自然ニ生長ス。病者服ニ藥ヲ不レレトモ知ニ方藥ヲ病自然ニ癒。蓮花ハ随レ日ニ廻ル、

蓮無レ心。芭蕉ハ依レテ雷ニ增長ス。芭蕉ニ無レ耳。犀ノ生角ヲ帶レシテ身ニ入レハ水ニ水五積身ニ不レ近カ。木木ノ

一葉開レハ四十由旬ノ伊蘭反ス。金剛堅固ナレトモ羊角龜甲ニ被レ破ラ。尼俱類樹ハ大鳥ニモ枝不レ折レセ

ウレウ鳥ニ枝折レヌ。玖珀ハ取レ塵、磁石ハ鐵ヲ吸フ。世間ノ不思議尚ヲ如シ此。何況ヤ仏法ノ深理ヲ耶。

然ニ汝但法体不思議ノ一文ヲ見テ不レ見ニ毀讚ノ得失ヲ諸人也。法師品(二〇丁表)勸發品也。』

山家釈云、讚者ハ積ニ福ヲ於安明ニ謗者ハ開ニ罪ヲ於無間ニ矣。

我等雖レ不レ知ニ法花經一仏説ニ方便真實等ノ分別ヲ。如説修行レハ我等無智也ト云ハ共忝(二〇丁表)学ニ大

乘^ラ。蒼蠅^ニ附^テ驥尾^ニ而渡^リ万里^一、碧羅懸^ニ松頭^ニ而延^ク千尋^一。弟子生^ニ一^ノ子^ノ事^ニ諸經之王^一。何^レ不^レ可得^ニ成^レ仏^一耶。

恐^カ力^ニ正藏三四・三四四下

妙樂云、恐^カ人^ノ謬^テ解^{スル}者^ノ不^レ測^ニ初心^ノ功德^ノ大^{ナル}コトヲ^一而推^テ功^ヲ上位^ニ蔑^ル此^ノ初心^ヲ。故^ニ今^マ示^{シテ}彼^ノ行^ク浅^ク功^{コト}深^トヲ^一以^テ顯^ス經^ノ力^ヲ積^ル經^ノ此^ノ意^也。是^レ私^ニ取^テ御^ノ勸^文ノ意^ヲ爲^ス此^ノ算^實義^也。此^ノ外^ニ五十展^ニ轉^ス功^徳等^ヲ可^レ合^ス之^云。如^レ此^レ得^意者^殊更^レ此^ノ算^爲爲^ニ我^等一^カ最^要ト^可レ^キ謂^也。次^下ニ唯^ニ一^ノ大^事ノ文^集可^レ見^入之^也。

仏^多正藏九・五八中

一義云、抑^レ是^レ法^非思^量ト^者指^ス唯^ニ仏^能知^ノ方^ヲ歟。隨^テ其^ノ義^趣ノ方^ヲ指^ス歟。若^シ指^ト隨^テ其^ノ義^趣ノ方^ヲ者、經^第八^云、仏^言若^シ善^{男子}善^{女人}能^於是^ノ經^ニ乃^至受^テ持^シ一^四句^偈ヲ^一誦^誦シ^テ解^義シ^テ如^レ說^修行^功徳^甚多^シ矣。

若^シ知^ル正藏二五・七二四上
若^シ得^ル原^若求^得

問、此算^ノ實^義云^何可^キ得^意耶。實^ニハ非^ニ思^量分^別ト^云ハ不^レ及^ニ我^等ニ^法聞^{タリ}如何。

伝云、實^ニ論^セ法^一躰^者大^論ノ文^一、若^シ得^ル仏^時乃^能了^知法^{ナル}故^ニ不^レ及^ニ我^等カ^思量^ニ也。

從^ル正藏九・三一中
今^正藏九・八上

是^レ諸^ノ仏^出世^ノ本^意唯^ニ一^ノ大^事ノ因^縁也。是^ヲ以^テ仏^成道^ノ後^チ四^十余^年ノ間^ハ本^懷ヲ不^レ説^ハ一^字モ。經^云、從^昔已^來未^曾顯^説ト^云是^也。然^ニ今^正是^其時^決定^説大^乘略^開三^無問^自説^ト云^ヒ三^請二^誠後^チハ、カ^ル処^ナク^テ廣^ク開^ニ説^マテ^衆生^ヲ開^示悟^入シ^玉ヘル^條在^レ文^ニ分^明也。一^經ノ委^細事^略レ^之云。所^詮滅^後弘^經ノ事^ハ宝^塔提^婆ノ二^品ニ^テ五^ケノ勅^宣アリ。本^眷屬^地涌^ノ菩^薩ヲ召^出シ^テ十^神力^ヲ要^秘五^字有^シカ^ハ三^摩付^屬一[、]地^涌等^如世^尊勅^當具^奉行^ト三^度マ^テ領^成言^ヲ畢^{。説}是^語時^十方^分身^諸仏^及多

説^ル正藏九・五二下

爾…十一正歲九・四六中

宝仏并上行等無辺阿僧祇菩薩大衆舍利弗声聞四衆及一切世間天人阿修羅等聞仏所説皆大歡喜
畢。故^ニ知^ス。是法非思量ノ故^ニ不^レ可^レ説^ク者^ハ、何^ソ仏^モ付^ニ属^シ之^ヲ多宝分身ノ諸仏^モ何^ソ證成^シ玉^ヘケ
ル。又地涌菩薩^モ何^ソ領成^申有^ル耶^已上。本門付属末法今時ノ付属也。迹門ノ付属^ハ』^(二二丁表)迹化他方来ノ
諸菩薩等^ニ付^ニ属^{スト}之^ヲ見^タリ。随^テ天台伝教等盛^ニ弘^レ之^ヲ畢。此ノ上如^ニ我等^一凡夫^モ今^マ可^レ説^レ之^ヲ
見^タリ。文^ハ随喜功德品云。爾時^ニ仏告^ニ弥勒菩薩摩訶薩^ニ。阿逸多如来ノ滅後^ニ若^シ比丘比丘尼優
婆塞優婆夷及^ヒ余ノ智者若^ハ長若^ハ幼聞^ニ是ノ經^ヲ随喜^シ已^テ從法会出^至於余ノ処^ニ若^ハ在^ニ僧坊^ニ若^ハ空
閑ノ地若^ハ城邑巷陌聚落田里^ニシテ如^ニ其所聞^ニ為^ニ父母宗親善友知識ノ随^レ力^ニ演説^{セン}○如^レ是展転
至^ニ第五十一[△]矣。我等何^ソ愚癡無極也トモ何^ソ最後ノ一人^ニ不^レ当^ラ耶。

サレハ今ノ文ニ随力演説ト云ヒ、第四云能竊為一人ト説ク可思之一。已上可^レ説^ニ法花^ヲ云伝也。

是…十一正歲九・四三上

次ニ是法非思量也共但可^レ信^レ之事。自^レ元末法ノ機^ハ毒氣深入失本心ノ徒者也。仏為^ニ此等ノ衆

生^ノ、是^ニ好良薬^今留在此汝可取服勿憂不差作是教已復至他国遣使還告^{シテ}令^下失^フ本心^ヲ子^ヲ服^中セ

仏…者…十一正歲九・四三中

此ノ良薬^上之時^キ毒病皆癒^ニ。已上譬也。合譬云、仏言我亦如是○亦無有能如法説我虚妄過者[△]矣。

可思之一。

於…十一正歲九・六上

此^レ外^ニ不^レ簡^ニ有智無智^ヲ可^レ信^ニ法花^ヲ云文一經ノ中繁多也。略開^ニ於^ニ仏所説法^当生大信力矣。

當…十一正歲九・七上
一…十一正歲九・七下

広開^ニ當^ニ信^ニ仏之所説言^不虚妄矣。又云、一心信解受持^ニ仏語^矣。如是文多^レ之。具^ニ如不可記。
如^レ此相伝^{スル}全無^ニ相違^一也。可秘之。

第...正藏三四・三四五下
第...正藏四六・四四六下

但記十[※]第五十人必在隨喜位初人也ノ釈ト、弘十[※]第五十人○即是五品ノ初隨喜位耶ノ釈共違也。
其レハ突然也。但入^レ末法ニ漸々機下^リリテクル也。

諸...世正藏九・七上

九^ニ經云、諸[※]佛世尊唯以一大事因緣故出現於世矣。意如何。

示云、見^レ經ノ次下ノ文ヲ一大事因緣ト者以^テ佛知見ヲ衆生ニ為^レ令^ニ開示悟入^一見タリ。

所...意正藏三四・四九下

文句四云、所以者何^{ヨリ}下^ハニ標^ニ出世ノ意^一者為^レス兩ト。初^ニハ、惣、次^ニハ分^レ字ヲ。惣ト者諸佛ハ覺^ニテ

如^レ實ノ之相^一乘^ニシテ此ノ實道^ニ出^ニ於^レ世^一。祇^ク令^ニ衆生^一得^ニ此ノ實相^一唯為^ニ此事^一出^ニ現^一於^レ世^一。

曾^テ無^ニ他ノ事^一。除^テ諸法實相^一余^ヲハ名^ニ魔事^一ト。分^レ字ヲ釈者^一ハ則^チ一實相也。非^レ五^ニ非^レ三^ニ非^レ七^ニ非^レ九^ニ。故^ニ言^レ一ト也。其ノ性広博^也。博^ニ五^ニ三^ニ七^ニ九^ニ。故^ニ名^テ為^レ大ト。諸佛出世ノ儀式^也。

七^ニ非^レ九^ニ。故^ニ言^レ一ト也。其ノ性広博^也。博^ニ五^ニ三^ニ七^ニ九^ニ。故^ニ名^テ為^レ大ト。諸佛出世ノ儀式^也。

故^ニ名^テ為^レ事ト。衆生有^ニ此ノ機^一感^レス佛ヲ。故^ニ名^テ為^レ因ト。佛乘^レ機^ヲ而^レ應^ニ。故^ニ名^テ為^レ緣ト。

是^ヲ為^ニ出世ノ本意^一矣。

除...也正藏三四・二三三上

記四云、除[※]諸ト等者、若^シ爾^ハ法花ノ外^ハ皆魔事^{ナリ}耶。不^レ然^ラ。但^シ前ノ教ノ中ノ權^ヲハ魔亦説^レク

之^ヲ。唯^ク此ノ一實^ノ魔永^ク不^レ測^ラ。故^ニ云^レ除^ト耳。故^ニ惑^ニス阿難^一時^キ亦説^ケリ中道^一。但^レ除^ニ其ノ魔^一

而^モ開^ニ其ノ法^一。非^ニ五^ニ七^ニ九^ニ等者、以^レ三五等皆是^レ方便^一故^ニ皆^レ云^レ非^ト。三藏ノ三乘^ニ加^レ人天^一五

也。加^レ通教ノ二乘^一七也。加^レ通別ノ菩薩^一九也。

私云、此ノ釈^ニ不然^ト者約教釈^ト聞タリ。且^ク円^ヲイタハル^積也。約教ノ時^ハ別教已去皆是^レ方便^{ナリ}。

円ヲ不云方便ト也。此事爾前ノ円ト法花ノ円ト同異ノ処ニ可注之也。

言…法||正蔵三三・八二七上

籤一云、言ニ大事ト者諸仏ノ出世本在リ開權ニ。故ニ名ニ妙法ト矣。

若…經||正蔵三三・八二七上

又云、若シ為令衆生ヲシテ至ニ七方便ニ非ニ今經ノ用ニ。開ヲ仏知見ヲ方ニ属ニ今經ニ矣。

諸…法||正蔵三三・八二七上

又云、諸仏世尊ハ唯以ニ大事ノ因縁ヲ故ニ出ニ現シ玉フ於世ニ。故ニ知ヌ。出世ノ本意意在ニ仏乘ニ。仏乘ヲ方ニ得ニ名ヲ為ニスルコトヲ大事ト。当レ知ル。仏乘ハ只是レ妙法矣。

若…是||正蔵三三・六九三上

玄二云、若シ衆生無ニ仏ノ知見ニ何所レ論レ開ヲ。当レ知ル。仏之知見ハ蘊テ在ニ衆生ニ也。○此ハ是レ亦如是ノ矣。

引…眼||正蔵三三・八三九上

籤二云、引ニ大經ヲ證ニ衆生ノ法位僦ニシテ而行妙ナルコトヲ。初メ学スルハ大乘ヲ位居ニセリ肉眼ニ。從レ行ニ而說ク故ニ云フ仏眼ト矣。

当…耳||正蔵三三・八三九中

又云、当レ知ル諸經ニ並ニ有ニ衆生妙ノ文ニ。但シ部兼帶ニテ不受ニ妙ノ名ヲ耳。

法…仏||伝全二・四七九

守護章中之下云、法花ノ肝心ニ大事ノ因縁ハ蓮花ノ所レ顯ス。一ト者一実相。大ト者其性広博。事ト者法性ノ事一究竟シテ事理教智行円ナラク耳。若シ覽レハ一乘ニ乘定性不定性内道外道阿闍阿顛皆悉ク到ニ於一切智地ニ是レ一大事ノ開示悟入仏之知見ニシテ一切成仏ス矣。

示云、今ノ文集ハ所詮釈尊出世ノ本意ハ説ニテ法花ヲ一切衆生ヲ皆チ成仏セシメント思食様ヲ令レム知。

法体非思量分別ノ法ナレ共我等信セハ必ス可ニ成仏ス事為レメ知ンカ也。

一乘要決上云、

方事 正藏七四・三三七下

方便品云、諸仏世尊唯以一大事因緣故出現於世○當レ知ル三乘五性悉ク歸ニス一乘ニ。其外ニ無シ衆生一。故ニ言フ唯一事ト矣。

同 過 正藏七四・三三八上

又云、同品云、舍利』弗如来但以一仏乗故為衆生說法無有余乗若二若三○故ニ知ヌ、一乗ノ之外ニ不レ説ニカ一法一。若シ説ハ一法一皆為ニ一乗一。然ハ則チ木牛木馬ノ之語、半字滿字ノ之教、初ハ雖モ示スト諸乗ノ果一後ニ終ニ到ニル一切智ニ。若シ不レ爾者便チ有ニ説法捨縁ノ之過一矣。

同 過 正藏七四・三三八上

又云、同品云、諸有所作常為一事唯以仏之知見示悟衆生○故ニ知ヌ、從ニ王宮誕生ノ之始一至ニマテ双林入滅ノ之終一所有ノ三業皆為ニ一乗一。非ニ唯四花六動ノ靈瑞一ニ非ニ但四弁八音ノ之尊教一ニ金漿馬麥皆是レ一乗ノ之弄引、愛語呵責悉ク為ニ種智ノ之因緣一。乃至行住座臥語默作々皆為ニ以下ニ一 仏ノ知見一示中悟一 衆生上。若シ不レ爾者便チ有ニ文理乖角ノ之過一矣。

開示悟入事

妙法蓮花經義云、山家、問フ、開示悟入云開ハ何ノ義余亦爾ナリ。答。開ハ無量義、示ハ同ノ義、

悟ハ不知ノ義、入ハ因ノ義也○無菩提涅槃勝物故開無量義ト云ナリ。示ハ声聞緣覺菩薩仏乃至衆生法身同キ故ニ示ハ同ノ義ト云。唯一一乗」教ニ乘不知ノ故ニ悟ハ不知ノ義ト云。不退転ト云故ニ入ハ因ノ

義ト云ナリ○問フ、宗ノ意開示悟入ノ釈答有ニ幾釈一。答。四種ノ釈有リ○一ニハ四位釈、二ニハ四智、

釈 一 「釈迦」

三ニハ四門、四ニハ觀心釈也○四位ト者十住・十行・十廻向・十地也。四智ト者道惠・道種惠・一

依の傍「本ノマ、」

切智・一切種智也。四門ト者有門・空門・亦有亦空門・非有非空門也。依法花論ノ文ニ立ニ四種ノ積一ヲ。又云、門由論開示悟入ノ積有ニ幾積一耶。答フ。三種有リ。約ニ二乗一積。約ニ菩薩一積。約ニシテ凡夫ニ積矣。私云、文略之耶。

諸…薩 正歲九・七中

十二經云、諸仏如来但教化菩薩文。文意如何。

示云、文ノ意、法花已前ノ教行人理ノ四ヲ今教ノ開示悟入仏之知見ト開會スルニ爾前ノ鹿人法花ノ妙人ト成ルト云文也。

如…也 正歲三四・五一下

文句四云、如来但教化菩薩。下是レ明ニ人一ヲ。就ニ昔ノ方便ニ謂ニ教ニ化ニスト三乗一ヲ。理実ヲ以テモ言ハ、但教化ス菩薩ニ如シ彼ノ窮子ノ自ラ謂ニヘトモ客作ノ賤人ト長者ノ所レ觀實ニ為中タルカ己子ト。即是レ人一也矣。

釈…説 正歲三四・二三七下

記四云、釈ニ人一ヲ中ニ言ニ但化菩薩ト者扱ニテ仏意ニ説ク矣。
有難云、大師ハ『何以テ如此ノ釈給ヘル。經文ハ但教ニ化ス菩薩ノミヲ。余ヲハ不レト化セ見タリ如何。』
示云、天台既ニ靈山聽衆トシテ如此ノ判シ玉ヘリ。其ノ上今ノ經ハ開會ヲ本意トスル故ニ人一ト被レタリ得。

舍…三 正歲九・七中

諸… 正歲九・七上

雖… 正歲九・九下
教… 正歲九・一〇中

況ヤ今ノ經文義共ニ大旨ハ三乗ノ人法ヲ會ニ入ス一乗ニ。是ヲ以テ次下ノ教一ノ文ヲハ舍利弗如来但以一仏乗故為衆生説法無有余乘若ニ若ニ文。又人一ト教一トノ中間ニ、諸有所作常為一事皆是レ開會ト見タリ。何ソ論レシ之ヲ耶。サレハ偈文ニハ雖復説ニ三乘但為教菩薩云。又偈云、教化諸菩薩無声聞弟子云。難云、若シ爾者皆不レ云ニ菩薩ト尚ヲ存ニ二乗ノ名言ヲ耶。

此…耳 正藏三四・一四九上

仏…故 正藏九・一二中

我…解 正藏三四・六六上

疏…住 統藏二八・七二六中

無…三 正藏九・七中

十…故 正藏九・八上

今…耶 正藏三四・五二上

言…也 正藏三四・二三八上

從…也 正藏三四・五五上

示云、釈云、此中云何猶稱聲聞乃是經家存其中位耳。

譬喻品云、仏告舍利弗我先不言○是諸所說皆為化菩薩故矣。

文句五云、我先不言ヨリ下指ス上ノ明レトヲ權一。皆為菩薩トイハ指ス上ノ顕実一。皆為化菩薩ト者若ハ權

若ハ実皆入ル仏道ノ無住涅槃一。上ニ已ニ明ニ言ツ。云何ソノ執レテ教ヲ迷闇シテ不レル解トヲ矣。

〔輔正記云、疏ニ無住涅槃ト者即チ大涅槃也。対ス小涅槃ニ故ニ云フ無住ト以上。私入之。〕

（二四丁裏）
十一 經云、無有余乘若二若三矣。諸仏章下也。文意如何。

義云、是レ教一ノ文ナル故ニ爾前ノ諸經ヲ開會シテ唯一仏乗ト成シテ無二三也。諸仏ノ章ヲ頌スル偈ニ云ク、

十方仏土中唯一乘法無二亦無三除仏方便說但以仮名字引導於衆生諸仏智恵故矣。此ノ文明也。

付之今マ天台宗ノ意前三教ハ実ニ是レ權教ナレハ可レシ開ニ會ス之ヲ。爾前所說ノ円教ハ法花ノ円ト円実不異ノ

故ニ不可ニ開會ス也。是ヲ以テ今長行ト偈頌ヲ釈ルニハ開ニシテ三教ヲ除レト円ヲ見タリ。

文句四云、今マ言ニ但以一仏乗ト者純ラ説ク仏法ノ之円教ノ乗一也。無余乗ト者無ニ別教ノ帶方便有

余ノ之説一。無ニト者無ニ般若ノ中ノ之帶一。無ニト者無ニ方等ノ中ノ所對ノ之三一。如レキ此二三皆無シ。

況ヤ三藏ノ中ノ三ヲヤ耶矣。

記四云、言ニ余乗ト者指ス花嚴ノ中ノ別教乗一也。已上。釈ニ長行ノ文ヲ也。

文句四云、從ニ十方土中ニ下第三ニ一行三句ハ頌ス上ノ如来但以一仏乗為衆生說法無有余乘若二

若^(二五丁表)」^(二五丁表)若^(二五丁表)十方ノ仏唯説^(二五丁表)一法^(二五丁表)即是^(二五丁表)教^(二五丁表)一^(二五丁表)。假名^(二五丁表)ヲモテ引導^(二五丁表)ルハ即是^(二五丁表)方便^(二五丁表)教也。牒^(二五丁表)ニシテ假名^(二五丁表)

三教^(二五丁表)ヲ顯^(二五丁表)ス仏惠^(二五丁表)ノ一教^(二五丁表)ヲ。其ノ文分明^(二五丁表)ナリ。無有余乘^(二五丁表)ト者無^(二五丁表)キ別教^(二五丁表)ノ中ノ円入^(二五丁表)別ノ之余^(二五丁表)也。無^(二五丁表)二ト者無^(二五丁表)キ通^(二五丁表)教^(二五丁表)ノ中ノ半滿^(二五丁表)相對^(二五丁表)ノ之^(二五丁表)也。無^(二五丁表)二ト者無^(二五丁表)キ也。三藏^(二五丁表)ノ中ノ之^(二五丁表)三^(二五丁表)。如^(二五丁表)レキ此等^(二五丁表)ノ二三^(二五丁表)皆是^(二五丁表)レ假^(二五丁表)ノ名字^(二五丁表)ヲ引^(二五丁表)ニ導^(二五丁表)ス

諸ノ衆生^(二五丁表)ヲ。今^(二五丁表)ハ但^(二五丁表)一^(二五丁表)仏ノ円教^(二五丁表)ノ乘^(二五丁表)也^(二五丁表)矣。

大^(二五丁表)：惠^(二五丁表)ニ正藏^(二五丁表)三四・二四三上

記^(二五丁表)四云、大經^(二五丁表)ニ云ク。一切^(二五丁表)ノ二乘^(二五丁表)未來^(二五丁表)ニ必定^(二五丁表)シテ歸^(二五丁表)ニスヘシ於^(二五丁表)大般涅槃^(二五丁表)ニ。如^(二五丁表)シ流^(二五丁表)レノ入^(二五丁表)レカ海^(二五丁表)。又菩薩^(二五丁表)ト与^(二五丁表)ニ

二乘^(二五丁表)一合^(二五丁表)明^(二五丁表)セリ。当^(二五丁表)レニ知^(二五丁表)ル。二乘^(二五丁表)悉^(二五丁表)皆^(二五丁表)被^(二五丁表)レル会^(二五丁表)セ。牒^(二五丁表)假名^(二五丁表)三教^(二五丁表)ト等者^(二五丁表)二教^(二五丁表)ハ是^(二五丁表)レ假名^(二五丁表)ナルカ故^(二五丁表)也。教^(二五丁表)ハ本

一實^(二五丁表)也。故^(二五丁表)ニ三^(二五丁表)ハ是^(二五丁表)レ假^(二五丁表)ナリ也。為^(二五丁表)レ物^(二五丁表)ノ假^(二五丁表)ニ設^(二五丁表)ス三藏^(二五丁表)等ノ權^(二五丁表)ヲ。今^(二五丁表)マ既^(二五丁表)ニ顯^(二五丁表)ス實^(二五丁表)重^(二五丁表)テ^(二五丁表)テ所除^(二五丁表)ヲ以^(二五丁表)テ示^(二五丁表)ス仏惠^(二五丁表)一^(二五丁表)矣。

有難^(二五丁表)云、長行^(二五丁表)ノ積^(二五丁表)ハ約^(二五丁表)レシ部^(二五丁表)ニ偈頌^(二五丁表)ノ積^(二五丁表)ハ約^(二五丁表)レ教^(二五丁表)ニ。何方^(二五丁表)ニモ花嚴^(二五丁表)方等^(二五丁表)般若^(二五丁表)ノ円^(二五丁表)ハ不^(二五丁表)開^(二五丁表)会^(二五丁表)一判^(二五丁表)セリ。若^(二五丁表)シ爾^(二五丁表)ハ方便^(二五丁表)未^(二五丁表)顯^(二五丁表)真實^(二五丁表)ト等者^(二五丁表)前^(二五丁表)三教^(二五丁表)也。何^(二五丁表)ソ云^(二五丁表)ニ爾^(二五丁表)前^(二五丁表)ノ円^(二五丁表)ト耶。示^(二五丁表)云^(二五丁表)、不^(二五丁表)レ然^(二五丁表)。長行^(二五丁表)偈頌^(二五丁表)ノ積^(二五丁表)共^(二五丁表)ニ是^(二五丁表)レ約^(二五丁表)教^(二五丁表)ノ積^(二五丁表)也。

無^(二五丁表)：諸^(二五丁表)ニ正藏^(二五丁表)七四・二九八上

授決集^(二五丁表)下云^(二五丁表)無^(二五丁表)有余乘^(二五丁表)若^(二五丁表)二若^(二五丁表)三決^(二五丁表)四^(二五丁表)疏^(二五丁表)ノ意^(二五丁表)以^(二五丁表)テ花嚴^(二五丁表)ノ兼別^(二五丁表)一^(二五丁表)ヲ為^(二五丁表)シ無^(二五丁表)余乘^(二五丁表)ト以^(二五丁表)テ般若^(二五丁表)ノ帶^(二五丁表)ニヲ為^(二五丁表)シ無^(二五丁表)若^(二五丁表)二ト以^(二五丁表)テ方等^(二五丁表)ノ^(二五丁表)對^(二五丁表)ニヲ為^(二五丁表)シ無^(二五丁表)若^(二五丁表)二ト。又^(二五丁表)以^(二五丁表)テ此^(二五丁表)ノ若^(二五丁表)二若^(二五丁表)三ヲ兼^(二五丁表)テ為^(二五丁表)シ阿含^(二五丁表)ノ但^(二五丁表)二但^(二五丁表)三ト。何^(二五丁表)ヲ以^(二五丁表)カスノ文^(二五丁表)与^(二五丁表)ニ諸文^(二五丁表)一

異^(二五丁表)ナルヤ耶。諸文^(二五丁表)ハ多ク依^(二五丁表)リ五時^(二五丁表)ノ之次^(二五丁表)ニ今^(二五丁表)ノ文^(二五丁表)ハ歸^(二五丁表)ニス教^(二五丁表)之深淺^(二五丁表)ニ。其^(二五丁表)ノ意^(二五丁表)異^(二五丁表)レナリ諸^(二五丁表)ニ矣。

示^(二五丁表)云^(二五丁表)、凡^(二五丁表)ソノ事^(二五丁表)當^(二五丁表)世^(二五丁表)ノ天台宗^(二五丁表)ノ大事^(二五丁表)ノ論文^(二五丁表)也。謂^(二五丁表)ク山門^(二五丁表)ニハ不^(二五丁表)開^(二五丁表)会^(二五丁表)ト云^(二五丁表)。三井寺^(二五丁表)ニハ開^(二五丁表)会^(二五丁表)ト云^(二五丁表)。然^(二五丁表)ニ今

於^(二五丁表)ニ當^(二五丁表)家^(二五丁表)ニ者無^(二五丁表)ニ相違^(二五丁表)一返^(二五丁表)ニ開^(二五丁表)レト之ヲ習^(二五丁表)也。随^(二五丁表)テ御勘文^(二五丁表)一帖^(二五丁表)有^(二五丁表)レ之云^(二五丁表)。所詮^(二五丁表)於^(二五丁表)ニ當^(二五丁表)家^(二五丁表)ノ配立^(二五丁表)ニ先^(二五丁表)ツ開^(二五丁表)スト云

証文^(二五丁表)ヲ少々集^(二五丁表)テ次^(二五丁表)ニ存^(二五丁表)セシ衆義^(二五丁表)勢文^(二五丁表)者先^(二五丁表)ツ智証^(二五丁表)ノ勘文^(二五丁表)ヲ可^(二五丁表)注^(二五丁表)也。

授決集卷上 天台大綱決一

法：用||正藏七四・二八二中

法花ニ云ク。唯此一事实余二則非真已上。一事实ト者非頓非漸唯一ノ妙法也。余二ト者一ニハ頓、

二ニハ漸。此ノ二從レ一出ツ、即チ無相ノ一法也。故ニ八万法藏舒卷在リ于此ノ中ニ。言ト四教ト者從ニ漸ノ

中一カ出タリ。本非ニ大綱ニ此レ網目也。須レ知ル。天台ハ以テ三教ヲ為ニス大綱ト。一ニハ非頓非漸、二ニハ頓、

三ニハ漸、初ヲ非頓非漸(朱) 授決集ノ内也(朱) 淨名広疏云、円頓漸ノ三教也。頓ト之与レ漸未ニ是レ円ナラ也。開会ノ後

成レ円ト畢。此レ大唐座主ノ決議也。○若シ迷ニハ此ノ旨ニ千經万論(ソラン) 證レトモ之ヲ』無レ用矣。(二六丁表)△

今：耳||正藏七四・二八二下

又云、今以テ大小ヲ為ニコト余二ト文義多レ憑。法花ノ之余二他經ノ之余二能可レ分別ス之ヲ。如ニ康

藏ニ似ニ今論ニ准ニ花嚴ニ耳矣。是裏(是裏) 書也。

記：本||正藏七四・二八三上

又云、四教名証指掌決二、記一云、言ニ三乗ト者即チ撰ニス三教ヲ。以テ菩薩乘ヲ撰ニスルカ別教ニ故已上。今マ

決シテ曰ク。藏通別円ハ是レ四乘ノ之異名也。而ヲ世人不レ知ラ故ニ大師指ニ授ス之ヲ。声聞乘ヲハ是名ニ三

藏ト縁覺乘ヲハ且名ニ通教ト菩薩ヲハ且名ニ別教ト仏乘ヲハ且名ニ円教ト。教々ニ皆有リ三乗及以ヒ仏乘一

雖レ然ト惣ニ歸ニ於本ニ矣。

智証大師正ク爾前ノ円ヲ法花ノ円ニ開会スル勘文事

方：也||正藏七四・二八三下

授決集上ニ云、法花不撰八教中円教決四 方便品云、唯此一事实余二則非真。雲雨品ニ云ク、其所説

法皆悉到於一切智地。疏七ニ釈シテ云ク、上ノ文ニ云ニ唯此一事实ト指ニ此地一ヲ也。余二則非真トイハ指ニ

七方便一也。此ハ約シテ漸頓二教ニ述ニ其ノ開權顯実一ヲ也。序品ノ疏ニ釈シニ土ノ瑞ヲ竟テ云ク、当レ知ル此ノ

土ニ從レリ一出ニ無量ヲ。「華嚴八頓」「阿含方等般若ハ漸也」非頓而頓、非漸而漸其ノ事已ニ竟ヌ。必ス当ニ下ニ收テ無量ノ法ヲ還テ入レ一法ニ開シテ

權ヲ顯シ実ヲ息化ヲ帰スルコト真ニ与ニ彼ノ土同カレ也。「記三上」言ハ從一出無「二六丁裏」量者始從ニ花嚴ニ至ル般若ニ來タ昔

從リ一法ニ開出シテ至ニ般若ノ時ニ頓漸已ニ竟ヌ。而ヲ人不知ニ法花出ニタルコトヲ頓漸ノ外ニ。請觀「コ」竟ノ字ヲ。

法花ハ但是レ收ニ無量ヲ以テ帰ス一ニ。窮子品ニ云ク、長者臨ニ欲終ラント時ニ而命シ其ノ子ニ并會ニ親族國王

大臣ヲ。疏ニ云ク、國王ト者一切漸頓ノ諸經也。無レ不レト云コト稱ニナハ所詮ノ之処ニ為ニ國王ト。当レテ機ニ益ス物ヲ

興廢有レリ時部々不同也。名レテ之ヲ為レス國ト。皆言フ第一ト即是レ王也。又此ノ經ハ會ニ通ス諸經ヲ。豈非ニ三聚ニ

集スルニ國王ヲ。故ニ無量義ノ中ニ先ツ已ニ收集ス。彼ニ云ク、初說四諦十二緣生。次說方等十二部經。

次說摩訶般若花嚴海空ト。此レ則チ普集ニ諸經ヲ融ニ通シテ漸頓ヲ會ニ入ス此ノ經ニ。故ニ名レル會ニ國王ト

也。△

又云、玄※一云、花嚴約ニセハ法被レ縁一名ニ頓教ノ相ト。三藏ヲ名ニ漸教ノ相ト。方等般若猶ヲ名ニ漸

教ト。今ノ教若シ約ニセハ法被レ縁一名ニ漸教ト、若シ約ニセハ說ノ次第ヲ醍醐味ノ相也。問フ。既ニ以ニ五味ヲ

分別ス。那同ク稱レヤ漸ト。答。約レテ漸ニ得レ明ニコトヲ五味ヲ耳。又若シ小不レハ聞大ヲ大一向ニ是レ頓也。

若シ大不レハ用小ヲ小一向ニ是レ漸也。若以テ大ヲ破レスルハ小ヲ是レ漸頓並陳也。若シ帶レシテ小ヲ明レスハ大ヲ是レ漸頓

相資也。「二七丁表」若シ會レテ小帰レハ大ニ是レ漸頓混合也。故ニ無量義ニ云ク、漸頓ニ法ニ道四果不レ合セ。今ノ時キ

則チ合ス。即是レ此ノ義也。今ノ法花ハ是レ顯露也。非ニ秘密ニ。是レ漸頓也。非ニ漸々ニ。是レ合也。非ニ不

合ニ。是レ醍醐也。非ニ四味ニ。是レ定也。非ニ不定ニ。如レ此分別スルニ此經与ニ衆經ノ相ニ異也。乃至具ニ

國原「經」

玄：聲 正藏七四・二八四上

如_三信解品ノ中ニ説ニ与余教ト異_一ヲ也。輔行ノ十二云ク、来_二至_{シテ}法花_ニ會_{レテ}八_ヲ歸_レス_一。若_シ除_ニカ_ハ教道_一ヲ但_レ須_レ會_レス_七ヲ。籤_二三_云、故_ニ今_マ此_ノ經_ヲ獨_リ得_レ稱_レコト_ヲ妙_ト。若_シ只_レ判_ニシ_テ四教_ノ中_ノ円_ヲ名_レテ_之ヲ為_レセ_ハ妙_ト、諸經_ニ皆_有リ如_レ是_ノ円_ノ義_一。何_ソ不_レ稱_レ妙_ト。故_ニ須_レ更_ニ約_シ部_ニ約_シテ味_ニ方_ニ顯_ス今_ノ經_ノ教_部円_上。是_ノ故_ニ判_ノ中_ニ先_ツ約_ニシ_テ四教_ニ判_シ、次_ニ約_ニシ_テ五味_ニ判_ス。若_シ不_レ約_セ教_ニ則_チ不_レ知_ニラ_{コト}妙_一。若_シ不_レ約_セ味_ニ則_チ不_レ知_ニラ_{コト}妙_一。下_去ノ一切判_レ麤_妙悉_ク皆_例レ_ス此_ニ。〔朱書〕記_ノ事_也、輔_云、三教_ヲ為_レ權_ト別_ノ妙_覺別_ノ理_ヲ為_レ實_ト云_ニ、且_ク以_テ極_果理_ヲ為_レ實_ト耳。記_ニ云_ク、故_ニ仏_惠ノ之_言須_レ開_シ三_教果_頭ノ之_權實_一。廢_ハ四_味兼_帶ノ之_{大小}。則_チ人_理教_行ノ之_有レ_リ歸_{。開}示_悟入_ノ之_無レ_異。方_ニ是_レ今_ノ經_ノ之_仏惠_ナラ_ク耳_ミ。問_フ。諸_經ノ中_ノ円_ト与_レ此_レ何_ノ別_而必_ス須_レ云_ニ開_シ方_ニ是_レ仏_惠一_ナリ_ト。答_フ。円_ハ實_ニ不_レ異_ナラ_{。但}シ_未ニ_開顯_セ初_心ノ之_人謂_ニ円_ハ隔_レト_偏。須_レ聞_ク〔開_顯ノ諸_法實_相一。若_シ已_ニ入_実ス_レハ_但論_ニ增_進一。權_人至_レ此_ニ一_向須_レ開_ス。又_云、若_シ非_ハ超_ハ八_ノ之_如是_ニ安_ソ為_ニ此_ノ經_ノ之_所聞_ト。注_ニ云_、法_聰座_主等_經ノ記_ニ云_ク、妙_教ハ_唯有_ニ開_顯ノ円_教獨_顯ノ一_乘一、何_ト者_為實_施權_ハ遍_シ前_四味_ニ、開_權顯_実ハ_収二_攝ス_四味_一。五_時八_教惣_シテ入_ニ醜_酬一、涅_槃ハ_扶レ_律明_レス_常ヲ、具_ニ有_ニ四_教一_惣シ_テ知_ニル_常住_一、一_期ノ化_儀出_世ノ大_事其_ノ功_畢ヌ_矣。已_上注_也。上_来ノ引_文略_シテ_竟ヌ。今_マ正_決レ_ス之_ヲ。唐_ノ天_台座_主釈_シテ_曰ク、今_ノ宗_ノ判_教ニ_有三_種一、即_是レ一_代乃_至十_方三_世ノ諸_仏ノ所_決也。一_ニハ_非頓_非漸_、二_ニハ_非頓_而漸_、三_ニハ_非漸_而頓_、所_レ言_フ非_頓非_漸ト_者最_初ニ_所引_唯此_一事_実ノ之_文ノ意_也。実_ハ即_チ實_相也。唯_仏与_仏乃_能究_尽諸_法之_実相_、亦_是レ一_切智_ノ之_所歸_ル地_也矣。指_ニ其_ノ教_部一_即是_レ法_花也。

次ニ而頓ハ即チ花嚴也、後ノ而漸ハ即チ三味^{酪及ヒ}也。実相難解難入也。所以ニ施ニ設ニ頓漸ノ儀トテ四

十余年ニ調ニ熟シ之ヲ畢テ究竟シテ會ニ入ス平等大惠実相ノ妙理ニ^{〔朱書〕}「平等大慧ト者會ニシテ權ト与レ実ニ令ニ平等ナラ則開會ノ義

也。故ニ言ニ余ニ則非真ト。又頓ノ之言ニ義具ス二ノ意ヲ。一ニハ頓説ノ故ニ為レズ頓ト。如シ日出テ^{〔二八丁表〕}先照ニ

大山王ヲ。即チ須弥山等也。一ニハ^{〔法華ノ頓〕〔朱〕}指レテ円ヲ為レズ頓ト。則チ円融円満頓極頓足也。今言ニ漸頓ト即是レ二

味ノ漸ノ後ノ之教頓ナリ矣。非ニ八教ノ中ノ化儀ノ之頓ニ^{〔朱書〕}「此ヨリ下正ク示ス超ハテ」当ニ以テ諦ニ聽ク。法花ハ是レ能

生ノ之円能會ノ之円能融之円能妙之円也。故ニ称ニ平等大惠独妙一大円教ト也。能ク生シ漸頓ヲ能ク會シ

漸頓ヲ能ク融ニシ漸頓ヲ能ク妙ニス漸頓ヲ。由ニテ斯等ノ義ニ称ニ平等大惠妙法一乗ト。若シ不然ラ者非ニ平等ニ

非ニ妙法ニ也云云。絶シテ非ニ八教ノ撰ニ。既ニ言ニ出頓漸外請觀竟字ト。何ヲ以テ不レシテ觀レ之ヲ將ニ出外ノ之

円ヲ入ニル、于頓漸ノ内ニ乎。籤^{〔朱書〕}中ニ約ニシテ相待門ニ暫ク設ク与ノ義ヲ実ニ非ニ正義ニ。「此ノ下ノ注細字也」。記云、

先ツ約ニシテ相待ニ以テ判レシ鹿ヲ、次ニ約ニシテ絶待ニ以テ弁^{〔朱書〕}妙ヲ。可ニ以レテ此ヲ會ニス籤ノ文ヲ也。已上注也。彼ノ八カ

中ノ円ハ是レ所生ノ円、所會ノ之円、所融ノ之円、帶鹿ノ之円、如ク是不レルコト及更ニ不可計フ。故ニ依ニテ絶

待ニ奪ノ義ヲ為レズト。若シ猶ヲ以テ与ヲ為レセハ正義ト者豈与下兼別ノ之円帶三ノ之円帶二ノ之円^{〔朱書〕}等カラシヤ乎。

大ニ乖ニキヌ經疏記等ノ極成ノ之旨ニ。漸頓混合^{〔二八丁裏〕}部円教円也。是レ合也非ニ不合ニ。會ニシテ八教ヲ帰スレ一ニ。

是レ醍醐也。非ニ四味ニ。不然^{〔二八丁裏〕}并^{〔二八丁裏〕}「会親族国王大臣ノ諸文恐ハ為ニ徒ニ設」。言ニ混合ト者非頓非漸

究極ノ之円也。既ニ融ニシテ四味ヲ成ニ於醍醐ト。更ニ無シ他味ト。再三説テ言ニ唯一乗ト。教部俱ニ

円ナルコト更ニ^{〔朱書〕}覺ニ何ノ文ヲ。猶ヲ若シ不レハ會^{〔朱書〕}者。一担^{〔異筆〕}レテ經ヲ覺レム經ヲ何異ニ^{〔朱書〕}盲聾ニ矣。」

若…合||正藏七四・二八四下

又云裏書也。若[※]准^ニセハ大旨^ニ頓漸^ヲ為^レシ小^ト非頓漸^ヲ為^レス大^ト。故^ニ言^フ会小^ト歸大^ト。是^レ漸頓混合[△]也矣。

已上授決集文也。

故…実||智全二・四〇五上

普賢經記云智証、故^ニ正觀^ニ云^フ唯此一事實余^ニ則非真^ト。斯^ニ有^リ多義^一。一^ニハ指^{シテ}非頓非漸^ノ妙^ク

法^ヲ為^ニ一事^ノ実^ト、而頓而漸^ヲ為^ニ余^ニ一^ノ權^ト。一^ニハ呼^ニテ^ニ教^ノ之^ノ假名^ヲ為^ニ非真^ト指^{シテ}一^円之^ノ実理^ヲ

為^ニ一事^ノ実^ト。三^ニハ以^テ四味^ヲ為^ニ非真^ト以^テ醍醐^ヲ為^ニ一^実△^ト矣。

无…也||正藏七四・二九八上
四||原・異本「廿二」

授決集ノ下云、无有余乘若^ニ若^ニ三決^四※。疏ノ意以^テ花嚴ノ兼別^ヲ為^ニ无余乘^ト以^テ般若ノ帶^ニ一^ヲ為^ニ無

若^ニ一^ト以^テ方等^ノ對^ニ二^ヲ為^ニ無若^ニ一^ト○今ノ文ハ約^ニ教^ノ之^ノ深淺^ニ、其意異^レリ諸^ト矣。下ノ囑累ノ中^ニ云ク。

於^ニ余^ノ深妙^{メウ}法^ノ中^ニ示^テ教^ヲ喜^シ然^{シテ}後^ニ令^レ入^ル此^ノ經^ニ也。除^ニ法華^ヲ外^ニ深妙^{メウ}法^ト者花嚴ノ一、般若

二、方等^ノ三^也○一阿含^ハ於^ニ凡^夫外道^ニ可^シ以^テ為^ニ深妙^ト。望^テ於^ニ今^ノ經^ニ不可^ニ比^並△^ス。上来^ハ

唐ノ林和尚ノ決也。私准^ニ此^ノ釈^ニ、別序ノ無量義經^ニ収^メ集^{スル}ニ四十余年所^レ說諸經^ヲ云^フ四諦因縁方

等十二部經摩訶般若花嚴海空宣說菩薩歷劫修行^ト。此^レ則^チ從^レ淺^ニ至^レ深^ノ之次第^也。其ノ理合^ヘシ如^レナル

是。今^マ正說ノ文^ニハ以^レ余^ヲ為^レ一^ト。若^ニ一^ヲ為^レ二^ト。若^ニ三^ヲ為^レ三^ト。從^レ淺^ニ至^レ深^ノ之次第^也矣。秘文也。

能々可見之也云云。

義真ノ釈下ニ注之畢。

散在文等。

上…||正藏三四・九一中

文句七云、上ノ文^ニ云^フ唯此一事實^ト指^ス此^ノ地^ヲ也云云。

余…開…正藏三四・二八九下

記七云、余二一[※]等者但不^レ一^{ナラ}皆名^テ為^レ二一^ト。此約^{ヨリ}至^ニ開權顯實也^ニ者以^ニ漸頓ノ中不^レ出^ニ七方

便^一故^ニ。故^ニ漸頓ノ中^ニ有^レハ權威^ク開[△]ス矣。

統藏一四六一九四表取意？

私志記云、智雲述妙樂ノ兄也、昔ノ八カ中ノ円ト与^ニ今ノ相待ノ円^一同^シ矣。

若…正藏四六・二三二中

弘三云、若[※]論^ニセハ經ノ意^ヲ八教四味^ヲ方^ニ名^ク種々^ト矣。

疏六云、国王^ト者云云。如授決集。

廢…王…正藏三四・二八五上

記六云、廢[※]諸ノ小王^一唯立^ニ主^一。是ノ故^ニ法花^ヲ名^ニ王中ノ王^ト矣。

円…也…正藏三八・七〇七中

淨名疏云、円頓漸三教也[△]。廣疏十卷^為晉王^略疏四教六卷^{四悉二卷二}觀^二兩卷淨名妙記云、円^ハ謂^ク法花涅槃、頓^ハ謂^ク花嚴、漸^ハ謂^ク鹿苑乃^至般若矣。

文句三云、非頓而漸、非漸而漸矣。

記三云、法花一乘^ハ非^ニ頓漸^ノ攝^ニ矣。

一^ニ非頓而頓^一 花嚴^ハ是^レ頓^也

二^ニ非漸而漸^一 鹿苑^{ヨリ}下^是レ頓^也

三^ニ非頓非漸^一 法花涅槃^ハ非頓非漸^也

当…說…智全一・七上

論記一云、当[※]知^ル、前行皆是^レ方便^ニ而^非妙^ニ、唯^至今^ノ經^ニ開^レレ^テ爲^レ妙^ト。唯^妙ニシテ

無^レ僞。問^フ。三教可^レ爾^ル。円教^ハ云何^{イカン}。答^{。記云、問^フ、諸經ノ中ノ円ト与^レ此^レ何^ノ別^{アレハ}カ^カ而^必ス}

須^ク云^フ開^{シテ}方^ニ是^レ仏惠^{ナリト}。答^フ。円^ハ實^ニ不^レ異^{ナラ}。但^シ未^ク開^セ初^行ノ人^謂二円^一隔^レ偏^一、須^ク

聞^ク開^顯ノ諸法^實相^ヲ。若^シ已^ニ入^実ス^レハ、但^論ニ^増進^一、權人^至此^ニ一^向ニ^須レ^ク開^ス。此^ノ文^弊レ^ス諸^ニ。不^レ

埃^{アタ}三更^ニ説^トコトヲ矣。

皮…典||正藏三四・三四〇上

文句九云、皮膚毛彩出在衆典矣。

如…生||正藏三三・七七七下

玄五云、如^ニ無量義經^ニ云^ク無量法^ト者從^リ一法^一生^ス。所謂^ル二道^ニ三法^ニ四果^也。二道^ト者即^チ頓漸^也也。

三法^ト者即^チ三乘^也。四果^ト者四信^也。此^ノ無量^ノ法從^リ一法^一生^ス矣。

法…也||『金綱集』一、宗全
一三・四三

或要文云、『法花迹門觀心絕待妙云。慈覺大師釈 昔^ノ円^ハ所生^也。故^ニ無量義經^ニ云^ク。無量

義^ト者從^リ一法^一生^ス、乃至^三法^ニ四果^ニ道不^レ一^{ナラ}。疏記^ニ云^ク、故^ニ於^テ獨^一生^ス於^レ兼^一云^ク。故^ニ開

經^ハ能生^也。昔^ノ円^ハ所生^所會^{ナル}カ^カ故^ニ亦^ク有^リ當分^ノ能生^一。又開經^有不忘能會^也矣。

無…実||正藏三三・七三八中

又云、玄五云、無量義^ニ云^ク二道^ニ三法^ニ四果^不合^セ、至^テ法花^ニ皆合^ス、故^ニ不^レ論^セ廢^ヲ、成道^已來^四

十余年未^レタ^リ眞実^一ヲ、法花^ニ始^テ眞実^一ヲ矣。

私云、此^ノ二文^所持^ノ本^ニ全^ク無^シ此文^一。印本^ハ亥年住山^ノ之時^キ無動寺^ノ十妙房^ノ本^ニ書^レ之^ヲ畢。

後^ニ三塔^ノ諸本^ニ校^シ之^ヲ畢^ヌ。此書^ハ二帖^{アリ}。一帖^ハ迹門、一帖^ハ本門也。此二帖中^ニ都^テ不^レ見^ハ此

文^一。所詮同名異跡疏^カ有^也。能々尋^可見^之云云。

初…頓||正藏四六・四二九上

弘九云、初^メ花嚴^ハ是^レ頓、鹿苑^{ヨリ}下^ハ是^レ漸、法花涅槃^ハ非頓非漸、但是^レ會^シ漸^ヲ而歸^ニ於^レ頓^ニ矣。

当…也||正藏三四・二九下

文句三云、当^ニ知^ル此土^ニ從^レ一^ニ出^シテ無量^一非^レ頓^ニ而頓非^レ漸^ニ而漸^{ナル}コト^ト其^ノ事^已竟^ヌ。必^ス当^ニ

収^テ無量^ノ法^ヲ還^テ入^レ一法^ニ開^シテ權^ヲ顯^シ実^ヲ息^メテ化^ヲ歸^スルコト^ト眞^ニ與^ニ彼^ノ土^ニ同^{カル}也^也。如授決集。」

今…也||正藏三四・二七下

又云、今^マ積^セハ無量義^一者從^リ一法^一生^ス。其^ノ一法^ト者所謂^ル無相^也。無相不相^ヲ名^テ為^ニ実相^ト。

從^ヨ此ノ実相一出ス無量ノ法ヲ。所謂ル一二法二道四果^{トイハ}。今釈セハ此ノ文ヲ無相者無^キ生死ノ相一也。不相^ト者不^ル涅槃ノ相也。○二法^{トイハ}即チ頓漸也。頓ハ謂ク、花嚴ノ頓ノ中ノ一切ノ法也。漸ハ謂ク、三藏方等般若ノ一切ノ法也。二道ハ即チ三乘也。四果ハ即チ羅漢支仏菩薩仏也[△]矣。

言^一正藏三四・一九七下 記三云、言^二從一出無量^ト者始從^ニ花嚴^一至^ニ般若^一來^タ皆^ナ從^ニ一法^一開出ス。至^テ般若ノ時^ニ頓漸已^ニ

竟^ヌ。而^モ人不^レ知^ラ法花^ハ出^タ頓漸^ノ外^ニ。請^フ。觀^ヨ竟^ノ字^ヲ。法花^ハ但是^レ收^テ無量^ヲ以^テ歸^ス一^ニ矣[△]。

非^レ知^ル正藏三四・一九七下 又云。非頓而頓^ト等者法花一乘^ハ非^ニ頓漸^ノ撰^ニ。於^レ一^ニ開出^{スル}ニ乃チ頓漸生^ス。是^ノ故^ニ今^マ云^フ非

頓而漸^ト。非頓而漸^ハ順^レシテ此^ニ可^レ知^ヌ矣[△]。

以^レ法^ニ正藏三三・九六二下 籤十云。以^ニ法花^ノ部^ハ非^ニ八^ノ數^ニ故^ニ。故^ニ第一卷^ニ結^ニシテ教相^ヲ云^フ今^ノ法花^ハ是^レ定^也非^ト不定^ニ等^上。

前^ノ八教^ノ中^ニ雖^モ有^ニ頓露^一望^秘名^レタリ頓^ト。猶^ヲ為^ニ權教^ノ近迹^ノ所^レタリ覆^ハ。是^ノ故^ニ不^レ同^ニ法花^ノ之

頓^ニハ。又八教^ノ中^ニ雖^モ有^ニ円教^一帶^シテ偏^ヲ明^レセリ円^ヲ。猶^ヲ屬^ス於^ニ漸^ニ。故^ニ前^ノ文^ニ云^フ漸^ニ開^ニ四教^ヲ。

今^マ法華^ノ円^ハ開^レシテ偏^ヲ顯^レス円^ヲ。円^ノ外^ニ無^レ法^矣△。』

爾^レ故^ニ正藏三四・二二九上 又云、爾前^ノ偏円互^ニ不^レ相知^一。故^ニ至^ニ此^ノ經^ニ同^ク入^ル一^ニ円^ニ。雖^ニ蜜^ニ而頓^一純^ニ一味^故矣[△]。

仏^レ乘^ニ正藏三三・八一五中 籤一云、仏乘^ト者即^チ是^レ今^ノ典^也。永^ク異^ニ余^ノ教^ニ。不^レ同^ニ三三五七九等^ノ乘^一。仍^レ開^ニ會^シテ之^ヲ使^ル

呼^ル原[「]乎[」] 歸^セ呼^一極^ニ。故^ニ云^フ仏乘^ト矣[△]。

非^レ意^ニ正藏三三・八一五下 又云、非^レ兼^ニ非^レ帶^ニ開^ニ廢^{スル}ヲ諸典^ヲ名^テ為^ニ円意^ト矣[△]。

拙^レ教^ニ伝^全二・二八六 山家釈 謬^レ破^ニ四教^ノ章^下云、拙^レ哉^{智公汝}ハ是^レ誰^カ弟子^ソ。以下^ニ不^レ足^ニ三寸^一舌根^上而^レ謗^ス覆^ニ面^ノ舌^ノ之

花…漸…伝全二・二二二

所説ノ教時ヲ、冀ハ諸ノ有レ智者可レシヌス仏説ノ之三時教ヲ。莫レ依コト臆説ノ之四教八教ニ矣。

守護章上之上云、謬破八教章第二 花嚴ニ具ニ有リ兩意一。約ニ八教門一從レテ部ニ名ク頓ト。約ニハ説ノ

次第ニ就レ味喩レフ乳ニ。是レ則チ從レリ仏出ニ二十二部經ヲ以テ喩ニ從レリ牛出レニ乳ヲ。花嚴也。次第ノ二時亦有ニ

兩意一。約ニハ八教門ニ三味ヲ名ク漸ト矣。

夫…哉…伝全二・二二四

又云、夫^レ法花涅槃^ヲ名^ククルコトハ第五時一ト約^{シテ}五味ノ次第^ニ為^リ第五時一ト。非^ス是^レ約^{シテ}八教^ニ名^テ為^ル中^ルニ

第五時ト。其^レ八教^ト者但立^ツ前四味ニ。不^レ涉^ラ五時ニ。法花涅槃ハ撰^ニ第五時一ト。何^ソ撰^{セン}八教^ニ耶。

八教^ヲ為^レ狭^ト五味^ヲ為^レ廣^ト。法花涅槃相^ニ撰^ルニ八教^ニ有^リ兩^ノ義門一。約教^ノ之辺^ハ小分^ニ相撰^ス。約部^ノ之辺^ハ都^テ不^レ相撰^セ。汝^チ八教^ヲ取^ル時^ヲ故^ニ雜^乱ノ之失^句々^不免^レ。豈^可レ^レ為^ニ智者^ト哉^矣。

法…也…伝全二・二二五

又云、法花涅槃非頓非漸^ト者謂^ク非^ニ初乳味ノ頓^ニ非^ニ酪生熟ノ漸^ニ也矣。

註釈中云、言^ニ性欲^ノ不同種々^ノ說法等^一者是^ハ拳^ル能^被ノ教^ヲ也。釈迦一代四十余年所説^ノ之教^ニ

略^{シテ}有^リ四教^及以^ヒ八教^一。所謂^ル樹王ノ花嚴鹿苑ノ阿含坊中ノ方等鷲峯等ノ般若^ハ演^ニ説^ストモ一乘^ヲ大

小ノ菩薩ノ歷劫修行^{ナリ}、小乘^ニ三藏教大乘通教大乘別教大乘円教頓教漸教不定教秘密教如^レ是^等ノ

前四味各々^ノ不同^也。是^ノ故^ニ名^テ為^ニ種々^ノ說法^ト、言^ニ以^ハ方便力四十余年未^レ顯^ニ真實^ト者但説^ニ隨^ニ他意^ト、

五種姓等門外ノ方便差別ノ權教帶權ノ一乘^ヲ未^レ顯^ニ真實^ト隨^自ノ一仏乘等露地ノ真實平等ノ直道捨權ノ

一乘^ヲ。是^ノ故^ニ説^テ言^フ以^ハ方便力四十余年未^レ顯^ニ真實^ト、言^ト是^ハ故衆生得道差別^ト者未^レ顯^ニ直道^トノ真實

甚深ノ一大事因縁^ヲ。是^ノ故^ニ諸乘^ノ得道差別^{セリ}、言^ニ不得^疾成無上菩提^ト者未^レ解^ニ直道^ト一乘^ノ海路^ヲ。

未レタ乗ラ純円六度ノ固船ニ。未レタ得ニ実相方便ノ順風ヲ。是ノ故ニ横道ニ乘ノ險路ハ歩ニ行シ歴劫多留ノ難
処ヲ勲^(三二丁表)ニ苦ス妄想夢裏ノ大河ニ。是ノ故ニ説言フ不得疾成無上菩提ト也[△]矣。

井：教^レ伝全三・六二六

又云、井池^ヲハハ^レ二藏教ニ江河^ヲハハ^レ通教ニ溪渠^ヲハハ^レ別教ニ大海^ヲハハ^レ円教ニ矣[△]。

或：若^レ伝全三・六二七

又云、或^ハ有ル^ル經ノ本ニハ云^フ二法ニ道四果ト、言^フ二法ト者即チ頓漸也。頓ハ謂ク花嚴頓中ノ一切ノ法
也。漸ハ謂ク三藏方等般若ノ一切法也。言^フ二道ト者即チ三乘也。言^フ二四果ト者羅漢果支仏果菩薩果

有ノ上傍書「多ク」

仏果也。又云三藏仏果ト通教ノ仏果ト円教ノ仏果ト也。雖^レ有^ルニ衆衆然^レモ不^レ出^ルニ能所^ト。

能生ノ一法所生ノ無量開合雖^レ異^{ナリ}ト其ノ義無^レ別。言^フ二法ト者合^シテ諦縁ヲ為^シ漸ト六度ヲ為^シ頓ノ部ト。

頓ハ指^ス花嚴ノ部ト。漸ハ指^ス三藏方等及^ヒ般若ヲ矣[△]。

而：也^レ伝全三・六三六
乘^レ原「藏」

又云、而^レ義別異ト者其ノ初乳ノ時ハ別円両教八門ノ之義随^レ機ニ義別也。其ノ初酪ノ時ハ小乘一教ノ四

門ノ之義随^レ機ニ義別也、其ノ生蘇ノ時ハ具^シ説ク四教十六ノ之門ト。随^レ機ニ義別也。其ノ熟蘇ノ時ハ除^キ小

之^レ原「之一」

乗教ヲ説ク三種ノ教一十二門ト、随^レ機ニ義別也。今マ醍醐初分ノ時ハ但説ク直道ノ内証無相ノ之法門ト引^キ

導^シテ迂廻歴劫ノ菩薩ヲ廻^シ入^ス大直無留難ノ道ト。其ノ義甚深ニシテ真實ノ甚深ナレハ不^レ同ニ前説四時ノ

教行^ト。是ノ故ニ義別也[△]矣。

次：道^レ伝全三・六三九

又云、次説方等十二部經ト者是^レ生蘇部ノ時也、言^フ摩訶般若ト者此熟蘇部ノ時也、言^フ花嚴海空ト

者普賢行願海印三昧ノ時也、遍^ク通^ル五時ニ入^ル法界ノ義ヲ名^テ為^シ花嚴ト。海印三昧ヲ名^テ為^シ海空ト。

言^フ宣説菩薩歴劫修行ト者顯^ス未^レ説カ直道ト矣[△]。

是…伝全三・六四一

結…原「經」

円…実…伝全三・六〇六

言…也…伝全三・六一二
量…原「量故」

衆…原なし

邪…見…伝全三・六一六

今…經…伝全三・六二〇

方…道…伝全三・二四一

弘…原「知」

指…実…伝全三・二四九

夫…徑…伝全三・二四二

当…與…伝全三・二四二

又云、是^レ即^チ權^ニ說^テ隔^ノ歷^ノ三^ノ諦^ヲ未^レタ^カ說^ニ真^ニ實^ニ円^ノ融^ノ三^ノ諦^ヲ、法^ノ花^ノ之^ノ前^キ四^十余^年四^時所^レ說^ノ四^教八^教結^成已^ニ畢^ルコト^ト在^ニ此^ノ上^ノ結^ニ也。

又云、自^レ是^下在^レ始^ニ也。円^ノ教^即是^ノ菩^薩等^ハ雖^モ是^レ直^道一^ナリ^ト不^ニス^大直^道ニ。今^マ是^ノ一^ノ法^門ハ既^ニ異^ナリ^前說^ニ。故^ニ下^ノ經^文ニ^云フ^四十^余年^未顯^真實^一矣。

又云、言^ニ性^欲無^量故^說法^無量^一者^前四^味所^レ說^ノ八^教等^也。言^ニ說^法無^量義^亦無^量一^者花^嚴所^レ說^ノ別^円兩^教能^レ詮^所詮^体用^因果^權實^ノ衆^義、四^阿含^等所^レ說^ノ衆^義、方^等部^等所^レ說^ノ衆^義、般^若部^等所^レ說^ノ衆^義、前^四味^中所^レ說^ノ衆^義所^レ謂^ル四^種ノ十二^因緣^ノ義^四種^ノ四^諦ノ義^七種^ノ二^諦ノ義^五種^ノ』^(三三丁表)

三^諦ノ義^等如^レ是^衆義^隨性^ニ無^量也^一矣。

又云、邪^見者^内邪^見也。兩^教ニ^乘四^教ノ菩^薩各^ノ執^{シテ}自^教ヲ^隨情^ニ諍^ヲ門^ヲ皆^ナ名^ク邪^見一^ト矣。

又云、今^ノ經^ハ内^証ノ甚^深、内^証ノ無^上、内^証ノ大^乘、内^証ノ微^妙也。三^乘五^乘七^乘九^乘及^ヒ無^量乘^皆出^ニ此^經一^{ヨリ}矣。

秀^句下^云、方^等十二^部經^ト者^法相^宗所^レ依^ノ經^也。摩^訶般^若ト^者三^論宗^所依^ノ經^也。花^嚴海^空ト^者即^チ花^嚴宗^所依^ノ經^也。俱^說ニ^歷劫^ノ行^ヲ未^レ弘^メ大^直道^一矣。

又云、指^ス法^花ノ之^ノ前^ノ四^時ノ之^ノ教^ヲ。故^ニ經^ニ云^フ四^十余^年未^レ顯^真實^一。

又云、夫^レ歷^劫ノ修^行ハ不^ニ果^分ノ行^ニ。是^レ因^分ノ行^也。未^レ捨^テ方^便ヲ^故ニ名^ク險^徑一^ト矣。

又云、当^レ知^ル歷^劫ノ修^行ハ頓^悟ノ菩^薩モ終^ニ不^レ得^レ成^{コト}ヲ無^上菩^提ヲ。未^レ知^ラ菩^提ノ大^直道^一故^ニ終

不ノ言大小俱ニ有リ。直道直至ハ已顯ノ日興[△]ス矣。已上。仏説經名示義勝二ノ下也。

夫：也||伝全三・二四四

又無問自説果分勝三、夫[※]花嚴經ハ者○但説^テ住上地上ノ因分ヲ未^レ説^ニカ如来内証ノ果分ヲ、是ノ故ニ

天親ノ十地ノ論ニ云ク、因分可説果分不^レ可説^ト者即其事也[△]。

言：也||伝全三・二四九

又云、言[※]方便力故而為説法^ト者指^ニ法花ノ之前ノ四時四教ヲ。故^ニ經ニ云フ四十余年未顯真實^ト。

阿毘達磨両箇ノ宗修多羅ノ華嚴宗四十余年ニ被^ル、包含^セ故ニ未究竟ノ故ニ仏無^ニ会釈^一也[△]。

天：頂||伝全三・二五四

又云、仏説十喻校量勝六 天台法花玄云、山王最高^シ。四宝所成ノ故ニ。純^ラ諸天ノミ居^{スル}カ故ニ。法

花^モ亦爾^也。在^ニテ四味教ノ之頂^一ニ離^ニタリ^ヲ。四ノ誹謗^ヲ。開示悟入^{シテ}純^ラ一根一縁同一ノ道味^也、純^ラ是^レ菩

薩^ニシテ無^キ二声聞ノ弟子^一故^ニ已^上。明^ニ知^ヌ、此ノ法花經ハ者在^ニ乳味ノ花嚴・酪味ノ阿含・生蘇ノ方等・

熟蘇ノ般若四味教ノ之頂[△]ニ矣。

天：經||伝全三・二七三

又云、多宝分身付属勝九 天台ノ一家ハ会^ニシテ一切經ヲ歸^ニス法花經^一。是^レ則^チ敷^ニ揚^{シテ}法花^ヲ會^ニ通^ス諸

經[△]ヲ。

夫：口||伝全三・二七七

又云。夫[※]仏知仏見^ニ内証ノ之經ハ難信難解^也、果分ノ之教独^リ秀^ニテ諸經ニ無^ニ対^ニ無比^一也。全身ノ舍利

亦ハ上亦^ハ一^也、深^ク信^ニ金口[△]ヲ。

妙法蓮花經義云、山家、從一仏乗所々開出花嚴円帶別方便般若等此所開無量矣。

又云、花嚴ノ円ハ帶^シ別ノ方便^ヲ、方等ノ円ハ帶^シ三藏通別^三ノ方便^ヲ、般若ノ円ハ[△]帶^ニ通別ノ方便^ヲ、

故^ニ不^レ同^ニ法花ノ円^ニ云^{ナリ}矣。

又云、問フ、何ヲ以カ為レ知_{コトヲ}法花ノ之前ハ權、法花以後ハ実言耶。答、無量義經云、四十余年未顯真實故也矣。

御勸文 爾前ノ円ト与ニ法花ノ円ト同異ノ事 私云、具ニ如ニ御勸文集一。今小分注レ之。

如…也 正藏三三・七八八中 玄九云、如下淨名ノ中ニ会ニシテ凡夫一_ニ反復_{セシメ}聲聞_ハ無_上キカ也。会ニシテ塵勞_{ラウ}之疇_ヲ為ニ如来ノ種_ト無_ニ為_ニシテ

入_ルハ正位_ニ不_レ能_ハ反復_スルコト。生死ノ惡人煩惱ノ惡法而モ皆被_レル会_セ、二乘ノ善法四果ノ聖人ハ而モ不_レ

被_レル会_セ。又般若ノ中ニ明_下セリ二乘ノ所行ノ念處道品皆_ナ悉摩訶衍_{ナリ}、一貪欲無明見愛等皆_ナ摩訶衍_上、」
(異筆)

善惡ノ之法悉ク皆被_レル会_セ、亦_タ不_レ会_セ惡人及ヒ二乘ノ人等_ヲ。不_レ弃_ニ其_ノ作_レ仏_ヲ。此_レ即別門_ノ撰也。_△

別…実 伝全三・六〇五 註釈中云、別教_ヲ万行ノ菩薩等ハ三賢十地歷劫ノ行_{ナレ}ハ不_レ是_レ疾成ノ大直道_ニ。円教_即是_レノ菩薩等_ハ

雖_モ是_レ直道_{ナリト}不_レ是_レ大直道_ニ。今_マ是_レ一ノ法門_ハ既_ニ異_{ナリ}前說_ニ。故_ニ下_ノ文_ニ云_フ四十余年未顯真實_ト矣。_△

積… 伝全三・六二四 又云、釈迦一代四十余年云。

井… 伝全三・六二六 又云、井池江河等云。

問…中 正藏三四・一二九中 文句九云、」問_フ、諸經_ニ各ノ說_テ位行_ヲ。或_ハ多、或_ハ少_也、花嚴ノ四十一位、瓔珞ノ五十二位_也、

名義皆広シ、此ノ經ノ始末_ニ都_テ無_シ此ノ事_一。云何_ソ言_ハン異_ト。答_フ、譬_ハ如下世人修_ニ種々ノ業_一業_ヲ集_ニ

種々ノ宝_ヲ求_ニ種々ノ位_一、若_シ無_ハ壽命_一用_ニコト財位_一為_上。大經云、譬_ハ如長者生_ニ一子_一、相師

占_レニ之_ヲ有_ニ短寿ノ相_一、不_レ任_ニ紹繼_ニ。父母_知リ已_テ忽_レト之_ヲ如_ニニ草_ノ。法門_モ亦爾_也。行_ニ種々ノ因_一

獲_ニ種々ノ果_一現_ニ種々ノ通_一化_ニ種々ノ衆_一說_ニ種々ノ法_一度_ニ種々ノ人_一物_{シテ}在_ニ如来壽命海_ノ中_ニ。

若：切正藏三四・三三二中
故原「故知」

記九云、若無[※]法身常住ノ之壽、因果無^{キスルコト}歸。故^ニ諸經ノ諸行ノ不同皆入^ニ今ノ經ノ常住ノ之命^ニ。此ノ常住ノ命^ニ一体^ノ二身^ニシテ遍^ク収^ム一切^ヲ矣。

問：耳正藏三四・一三二上

文句九云、問^フ、非生現生備^{サニ}施^{シテ}頓漸^ノ一^ノ化^ヲ。七方便等^ハ可^シ是^レ樂^ニ小法^一者^上ナル、円頓ノ赴

機^ハ是^レ応^シ下^シ樂^ニ大法^一者^上ナル。云何^シノ通^{シテ}判^テ為^ニスルヤ。樂小法^一耶。答^フ○四^ニハ約^ニ果門^ニ、樂聞^下コトヲ近

成^ノ之小出^ニ積^ル氏ノ宮^ヲ始^テ得^玉ヘルコトヲ菩提^上ヲ不^ス欲^ス樂^セ聞^ニコトヲ長遠大久ノ之道^一。故^ニ言^フ樂小^一。此等ノ

小行^ハ非^レ始^{タル}今日^ニ、若^シ先^キヨリ樂^ハ、大^ヲ仏即^チ不^レ説^玉ハ始^成。説^ニコト始^成者皆^為下^{ナラ}ク樂^ニ小法^一

者^上耳矣。

故：耶正藏三四・三三五上

記九云、故^ニ知^ヌ、果門^ニハ円人賢位^ニ猶^ヲ有^下リ樂^ニ近^成者^上、若^シ果門ノ之後^チ一切開^シ已^ヌハ初心

亦^タ聞^ク、況^ヤ賢位^ヲ耶。

迦：人正藏二二・六四八上

涅槃經七云、迦葉菩薩白^{シテ}仏^ニ言^ク、世尊我從^リ今日^一始^テ得^ニ正見^ヲ自^レ是^レ之前我等^ヲ悉^ク名^ク邪

見^ノ之人^ト矣。

此：妙正藏三三・七五七上

玄六云、此^ノ經^ハ説^ク諸^ノ衆生悉^ク是^レ吾^カ子^也非^キ客作^ノ人^ニ、論^ニハ其^レ理性^一無^レ非^{コト}是^レ子^ニ○今^マ問^フ

花嚴ノ師^ニ。頓極ノ之教説^シ一切衆生^ニ有^リ二^ト仏性^一不^ヤ。若^シ其^レ有^リ言^ハ、二^乗何^ソ不^下聞^レ經^ヲ授^記作

仏^上、那^ソ忽^ニ如^響如^唾ナル、若^シ言^ハ、二^乗本^{ヨリ}有^二仏性^一而^モ忽^々ニ取^レコト小^ヲ如^レナル^{エン}闍^ニ本^根。本根

已^ニ敗^セリ為^レ可^レ治^ス為^レ不^レ可^レ治^ス、若^シ可^レトイ^ハ、治^ス何^カ故^ソ不^レ治^セ、若^シ不^レトイ^ハ、可^レ治^ス那^ソ得^レ復^タ

言^{コト}一切衆生皆有^二仏性^一。故^ニ知^ヌ花嚴ノ所^ハ不^レ能^レ治^ルコト是^レ方便^ノ之説^也、法花能^ク治^ルハ是^レ如

實ノ之説也。能ク治ス難キヲ治シ此ノ処則チ妙也矣。

〔朱書華嚴ハ不レ治ニ乗ノ重病ヲ。法華ハ治ス之ヲ。故ニ華嚴ノ力不レ及ニ法華ニ。〕

問：可見ニ定遣ニ〇〇

唱法花題目抄云、問テ曰ク、天台宗ノ内ノ人立ル事アリ。天台大師爾前法花ト相對シテ爾前ヲ嫌ニ有ニ

二義一。一ニハ約部。四十余年（二五丁裏）部法花經ノ部ト相對シテ爾前ハ鹿也、法花ハ妙也ト簡フ。一ニハ約教。

立テ鹿妙ヲ花嚴方等般若等ノ之内円頓速疾ノ法門ヲハ妙ト云ヒ、花嚴方等般若經ノ三乘歷別ノ修行法

門ヲハ前三教ト名テ鹿也ト嫌ヘリ。円頓速疾ノ方ヲハ不レ嫌ハ、同ニシテ法花經ニ一味ノ法門トセリト申ハ如何シ。答

曰、此事ハ不審スル事侍シ。六十卷惣シテ五大部ノ章疏ノ中ニ約教（異筆、異本）一時嫌ニ爾前ノ円ヲ文ナシ、只約部ノ

時キ爾前ノ教ヲ押房テ嫌ヘリ。日本ニ有ニ二義一。園城寺ニハ智証大師ノ釈ヨリ爾前ノ円ヲ嫌ト云ヒ、山門ニハ云フ

不レト嫌ハ。互ニ有ニ文釈一俱ニ有ニ料簡一。然レトモ今ニ事ユカス。但予カ流ノ義ニハ不審晴テ覚候。其故ハ天

台大師四教ヲ立テ給ニ四ノスチアリ。一ニハ爾前經ニ立ニ四教ヲ。一ニハ法花經ト与ニ爾前ニ相對シテ爾前ノ

円ヲ同ニ法花ノ之円ニ前ニ二教ヲ嫌事アリ。三ニハ爾前ノ円ヲハ別教ニ撰シテ前三教ト嫌ヒ、法花經ノ円ヲ純円ト

立ツ。四ニハ爾前ノ円ヲハ法花經ニ對スレ共但法花經ノ二妙ノ中ノ相對妙ニ同シテ絶待妙ニハ不レ同セ。此ノ四ノ道

理ヲ相對シテ六十卷ヲ勘レハ狐疑氷解（二六丁表）。一々ノ証文ハ且ハ秘シ且ハシケキ故ニ不レ載レ之ヲ。又法花經ノ本

門ニシテハ爾前ノ円ト迹門ノ円トヲ嫌事不審無キ者歟。爾前ノ円ヲハ別教ニ撰シテ約教ノ時キハ前三為鹿後一為

妙ト云也。此時ハ爾前ノ円ハ無量義經ノ歷劫修行ノ円ニ入ヌ。又伝教大師註釈ノ中ニ爾前八教ヲ挙テ四十

余年未顕真實ノ内ニ入レ或ハ前三教ヲハ迂廻ト立テ爾前ノ円ヲハ直道ト云ヒ無量義經ヲハ云フ大直道ト。委細

可レ見レ之ヲ。

凡…也 正藏七四・二六九上

天台法花宗義集云、義真釈 凡[※]約シテ四教五味ニ釈スルコト諸ノ義理ヲ者意為レノ顯ミカ法花ノ超^二タルコトヲ一代ノ之教ニ故也[△]矣。

夫…也 正藏七四・二六九上

又云、夫[※]諸仏ノ出世ハ皆為^二也大事ノ、雖レ分ニ別^{スト}三乘ヲ遂ニ歸ニ一乘ニ、是ヲ以テ釈迦垂テ迹ヲ託ニ生シ王宮ニ出家成道シテ赴^レ機ニ異説ス。或ハ先頓後漸、或ハ先漸後頓、悉ク為^二法花ノ而作ニ筌蹄^一ヲ。經云、開方便門示真實相即其ノ義也[△]矣。

花…捨 正藏七四・二七〇下

又云、花[※]嚴勝鬘等ノ一乘ハ帶方便ノ故ニ法花一乘ハ捨方便ノ故義異^也。義異ナレハ可ニ觀異ナル。問フ。帶方便ト与ニ捨方便ニ意云何シ。答フ、一カ外ニ存^レスニヲ、是ノ故ニ云^レフ帶^ト。一カ^二外^一無^レシ^二。故ニ名^テ為^レス捨^ト文。

此等ノ文智証釈ノ次ニ可書之。後日ニ勘^レル之ヲ故於^レ此ニ注之云云。

非…意 正藏三三・八一五下

私云、爾前ノ円ヲ開^スルト云釈散在シテ多之。何ノ処ニ註^レストモ之ヲ集^テ一所ニ見^レヨ之ヲ。然ニ玄序ニ挙^ルニ大師ノ十徳^一第九徳ハ玄悟法花円意文。妙樂釈シ玉フニ籤^一云、非[※]兼ニ非^レ帶^ニ開^スルヲ諸典^一名^テ為^レニス円意^ト文。釈意可見^ニ云云。

爾…実 正藏九・三八六上

私云、若シ法花^ニ未^ト下^タレ開^セニ爾前ノ円^一者ハ、五仏ノ開^ニ三顯^一一徒然也。開^テ今經ノ始末天台妙樂等ノ解釈^一見^ルニ如来一代ノ説教ヲ施開^スノ作法嚴然也。驚^ニヒテ世尊法久後要当説真實ノ金言^一ニ驗^ルニ前説ノ諸經^一於^テ無量義經^一ニ仏定^ニ玉^フ權実^ニ二經^一ノ方示^ヲ、謂^ク無量義ノ説法品云、爾時^ニ大莊嚴菩薩復^タ白^レシテ

我先原「自我」

積年傳全三・六二四

仏言ク○自ニ從如来ノ得道ニ已来テ四十余年○往日ノ所レ説諸法ノ之義ト与ニ今マ所レ説一有ニ何等

異云。已上善。善男子、我先道場菩提樹下○種々説法以方便力四十余年未顕真実矣。註釈ノ中

云、釈迦一代四十余年云。如上。經ニ道場菩提樹下ト者花嚴ノ時処也。四十余年ト者時処也。始メ

自ニ花嚴ニ終リ至ニ般若ニ皆ナラ方便未顕真実ト説玉ヘリ。解釈然也。仏重テ以レ譬ヲ説レニハ之ヲ七水アリ。

合譬ノ文ニ云ク、我起樹王詣波羅奈○次説方等十二部經摩訶般若花嚴海空宣説菩薩歷劫修行ト説テ

爾前ノ諸經一分無レ殘レト之ヲ皆挙ケテ方便未顕真実歷劫ト等治定セリ。釈如上云云。八万菩薩領解

云ク、十功德品 終不得成無上菩提矣。法花已前ノ諸經ハ皆ナラ不成仏ノ法ト領解シ畢ヌ。サレハ無量義ヲハ

開經分ト名ケテ法花ヲハ合經ト定ル。是レ所開ノ無量ヲ法花ニ能開ス。然ニ爾前所説ノ中ニ除テ花嚴方等般若ノ

円ヲ其ノ余所開ノ法也。法花モ其ノ能開ト云經文何処ニ有レリ之耶。天台等ノ御釈若シ背ニカハ本經ニ者不

可レ用レ之ヲ。

尋云、法花經ニ開ニスル諸經ノ文如何。

示云、前ニ所引未顕真実、終不得成無上菩提。正宗ニ云ク、正直捨方便、不受余經一偈、開

方便門示真実相等」。

難云、此等ノ文ハ皆ナラ廢權立実ノ文也。但後ノ一文計ハ開會ノ文也。如此。

示云、開廢一躰俱時也。何ソ不ニ開會ノ文ナラ耶。

答。籤一云、以レノ順スルヲ譬ニ故ニ先ツ施シ後ニ開ス。又先ツ開シ後ニ廢スルコト亦且ク順レ譬ニ。抛ニ其ノ法

以…説正藏三三・八一六下

躰ニ開廢俱時也。此ハ拋テ最後ノ開廢ニ而説ナリ矣。

若也 正藏三三・八一六下

又云、若爾ハ開廢何ノ別カアル。答フ。約セハ法ニチ開スル時ニ即チ廢ス。約セハ譬ニ必ス義須ニ先ツ開ス。

若シ爾ハ法譬差違セン。何ソ成ニ譬法ト。答フ。拋レハ理ニ似タリ法ト与レ喻有レ違一スルコト、拋レハ事ニ似タリ先ツ

開後ニ廢スルニ。如先ツ示シ方便ハ即是レ真實ナリト、既ニ識レト実ヲ已ヌレハ永ク不カ用レ權上ヲ。若シ約セハ理ニ者

開廢俱時ナリ。開ノ時キ已ニ廢スルカ故也。

阿出 定遺七四

一代大意云、御勸文。阿含經開會ノ文經云、我此九部法隨順衆生説入大乘為本云云。花嚴經ノ開

會ノ文云、一切世間天人及阿修羅皆謂今釈迦牟尼仏等云云。般若經ノ開會之文ハ安樂行品ノ之十八

空ノ文、觀經等ノ往生安樂開會ノ之文於此命終即往安樂世界等云云。人天ノ散善開會ノ之文ハ一称

南無仏皆已成仏道矣。一切衆生開會ノ之文ハ今此三界皆是我有其中衆生悉是吾子矣。外典開會ノ

之文ハ若説俗間經書治世語言資生業等皆順正法矣。兜率開會ノ之文、人天開會ノ之文ハ繁キ故不

出云。

私云、經云、雖示種々道其實為仏乘矣。無量義云、種々説云云。法花ニ十方仏土中云云。此等皆

廢立ノ文也。開廢俱時云云。

重難云、始メ所出文句四等ノ釈ノ意如何。天台等僻事也耶。

示云、非ニ天台等ノ悞ニ。其ノ故ハ大師判ニ一代ノ約教約部当分跨節等ノ不同有レ之。就中文句ハ

約教ノ釈盛リ有之。如此釈義所趣一偏ニ不治定セ、天台ノ末学等迷フ此等ノ教相ニ故ニ大段不レ開セ爾

前円云也。先ツ約教ト者以テ蔵等ノ四ヲ判ルニ一代ヲ前三為鹿後一為妙ト云者後一為妙ト者是円教也。此円有^(三八丁裏)二義。一ニハ爾前法花ノ円同也。初後^本仏惠円頓義齊。此妙^本彼妙妙義無殊等ノ积是也。

二ニハ爾前ノ円ハ法花ノ円ニ非ス但是別教ノ撰也。

一…也 正蔵三三・七八八上

玄九云、一ニ明ニ融不融^(朱書)者○一般若ノ中ニ二乘所行ノ法貪欲無明見愛等皆開会スレトモ惡人不レ会也。不レ会^セ惡人及ヒ二乘人等不レ弁^セ其ノ作仏^ヲ此即^チ別門ノ撰也[△]矣。御勸文如上。是也。然ニ爾前

法花ノ円同ノ辺^{ニテハ}且ク円躰無殊ナル故ニ不レト開^セ之ヲ可^ク心得^レ也。次ノ爾前ノ円ニハ撰^ル別教ニ方^{ニテハ}開^レス

之ヲ可^ク存也。又爾前ノ円ハ法花ノ相待妙ト同スル方ナリ。爾前迹門ノ円^ヲ對^ス本門ニ別教ノ撰也ト之

方有^レ之。開未開如^ク上ノ二義ニ可^ク存也。

次ニ約部ト者前四味為鹿醍醐為妙ト云也。此時ハ諸味ノ中ニ雖有^レ妙皆鹿ナル故ニ法花ニ開会^{シテ}方ニ

在…妙 正蔵三三・八四六上

名^{メウ}妙^ト也。是以^テ籤^ニ云、在^{ニテ}於法花^ニ方^ニ得^レ稱^レ妙^ト○故ニ諸味ノ中ニ雖有^レ円融^一全^ク無^シ二

若…妙 正蔵三三・八五二上

妙^一矣。同^ニ云、若^シ祇^タ但^タ判^{ニテ}四教ノ中ノ円^ヲ名^レ之^ヲ為^レ妙^ト諸經ニ皆有^レ如^レ是^レ円ノ義^一。何^ソ不^レ稱^レ

妙 名

妙^ト。故ニ須^ク復^タ更^ニ約^シ部^ニ約^シ味^ニ方^ニ顯^ス今^ノ經ノ教^ヲ部^上円^上。若^シ不^レ約^セ教^ニ則^チ不^レ知^ラ二教^一 ^(二九丁表)不^レ知^ラ二教^一

妙^一ナルコトヲ。若^シ不^レ約^セ味^ニ則^チ不^レ知^ラ部^妙一^{ナルコトヲ}矣。

部…王 正蔵三四・八七下

約部ノ時^{トキ}前四味ノ諸經皆悉ク開^ル上^ハ爾前ノ円ノ何^ソ独^リ施^ク權^可留^耶。文句六云、部々^ト不^レ同^也名^レ

之^ヲ為^レス^レ國、皆言^フ第一^ト即^チ是^レ王^也。又此ノ經ハ會^ハ通^ス諸教^ヲ、豈^非レ^ヤ聚^ニ集^{スル}ニ^ニ國王^一等^ヲ积^ル此意也。

次ニ当分ト者爾前ノ諸經也。至^テ法花^ニ成^ル相^待ト也。跨^節ト者今ノ法花也。絶^待ト者是也。爾前ノ

當…也 正藏三三・八三五下

円ハ法花ノ相待ト成テ絶待妙ニ被レ開會ニ已^メレハ一切諸法莫不皆妙一色一香無非中道也。

籤二云、当分ハ通ニ於一代ニ、於レテハ今ニ便^チ成ニ相待ト、跨節ハ唯在^リ今ノ經ニ、仏意ハ非^{ハシメ}適^レタルニ今ニ也。
〔朱書〕「相待妙ハ当分ノ妙ニシテ通ニテ爾前ノ諸經ニ有^レ之云事」

若…待 正藏三三・八四五中

又云、若[※]相待^カ中ニハ展転シテ明^{メウ}妙前^{メウ}麁猶存ス。今マ論セハ絶待^一絶^ニ前^ノ諸麁^ヲ、無^レシ可^ク形待^一ス矣。

爾前ノ円被^ル、開會ニ条在^レ文ニ分明也。汝何^ソ迷^ニテ約教約部当分跨節相待絶待^一ニ失^ニ釈義ノ約束^一ヲ耶。

〔朱書〕「吳々爾前ノ円ハ相待妙ノ分ニシテ法華ノ絶待妙ニ被^ル、開^セ事明了也。相待妙ノ時ハ前麁尚^ヲ存^{スト}云処不可^ク失念^ス」。

尋云、釈成約束如何。

今…哉 正藏三三・八三三中

示云、判^ニシテ約教約部ノ相貌^ニ云ク、籤一云、今[※]ノ文ノ諸義凡^ソ一々ノ科皆先^ツ約^ニシテ四教^ニ以^テ判^スルニハ

麁妙^一則^チ前^ニヲ為^シ麁^ト後^一ヲ為^ス妙^ト。次^ニ約^ニシテ^{〔三九丁裏〕}五味^ニ以^テ判^スルニハ麁妙^一則^チ前^ニ四味^ヲ為^シ麁^ト醍醐^ヲ

為^ス妙^ト、全^ク不^レ推^ニ求^ニ上下ノ文ノ意^ヲ、直^ニ指^ニシテ一語^一便^チ謂^ニ三^レ法花劣^ニ於^リ花嚴^一、幾許悞哉。幾許悞哉[△]。破^ニスル澄觀^一ヲ也。

若…妙 正藏三三・六九七中

次^ニ絶待ノ相貌^ト者 玄^ニ云若[※]破^レシテ麁^ヲ頭^ハ妙^ヲ即^チ用^ニ上^ノ相待妙^ヲ、若^シ開^レシテ麁^ヲ頭^ハ妙^ヲ即^チ用^ニ

上ノ絶待妙^一ヲ矣。

破…意 正藏三三・七三九上

籤三云、破[※]三頭^一ハ相待^ノ之意、即^チ三頭^一ハ絶待^ノ之意[△]也矣。

破^三即^三者約教ノ筋歟。
〔除^ル円故也^{〔朱〕}〕

惑…能 正藏四六・二九二中

弘五云、惑[※]者未^レ見尚^ヲ指^ニス花嚴^一唯^ク知^ニ花嚴円頓^ノ之名^一而^モ昧^ニ彼^ノ部ノ兼帶^ノ之説^一。全^ク失^ニテ法花

絶待ノ之意ヲ貶^ス挫^ス妙教独頭ノ之能^ヲ矣。是レ約部ノ筋也。

当…經^ニ正藏^{三三}・八三五下

次ニ当分跨節ノ相貌ト者籤二云、当分ハ通ニ於一代ニ於レテハ今ニ便^チ成^ル相待ト跨節ハ唯^ク在^リ今ノ經^ニ矣。

以^テ此等ノ約束^ヲ勘^レ之^ヲ爾前ノ円ト者当分ノ円、相待ノ円、兼帶ノ円、帶權ノ円^ニシテ全^ク非^ニ跨節ノ円、

絶待ノ円、唯一ノ円、純円ノ円^ニ也。故^ニ知^ル藏等ノ四教ノ円ノ時^キ爾前ノ円ト法花ノ円ト^ヲ一^ニシテ^テ積^ル故^ニ別^ニ

開^{スト}ハ不^レ云也。文句ノ約教ノ積ト者是^レ此^ノ意也。能々可思之。

彼…也^ニ正藏^{三三}・八二五下

籤一云、彼^ニ七^カ中^ノ円与^ト法花^一其^ノ体不^レ別^ナ故^ニ但^ダ簡^レフ六^ヲ。此^ハ約^レシテ^テ教^ニ説^ク也^ニ矣。此^ノ積^ル可思

之^一。

七…也^ニ正藏^{三三}・八二五下

サテ約部ノ時ハ七教ノ中ノ円ヲ簡也。是^ヲ以^テ籤一云、七^カ中^ニ雖^モ有^ト円教^一以^テ兼帶^ヲ故^ニ是^ノ故不^レ同、

此^ハ約^レシテ^テ部^ニ説^ク也^ニ矣。可思之。若^シ得^ニ此意^ヲ者於^テ一代ノ仏教^ニ何^ソ有^レ遺耶。可秘之。已上。天台妙樂^ノ一

代判教ノ治定如此^ノ也。

法…撰^ニ伝全^二・二二四

山家守護章上之上云、法花涅槃撰^ルニ八教^ニ為^ニ兩義ノ門^ト。約教ノ之^ハ辺^ハ小分相撰^ス。約部ノ之^ハ辺^ハ

都^テ不^レ相撰^セ矣。

私云、今^ノ示^ル文義共^ニ誠^ニ爾前法花ノ之^ニ二円ノ同異分明^ニ聞^タリ。雖然^ニ正^ク爾前ノ円^ヲ於^テ法花^ニ

開會^{スト}云文不^レ見^ヘ如何。

若…義^ニ正藏^{三三}・八三五下

示云、籤二云、若^シ依^ラハ施權^ニ即^チ当分ノ義、若^シ抛^ラハ仏意^ニ即^チ跨節ノ義^ト積^シテ、既^ニ当分^ヲ施權^ト

応…殊^ニ正藏^{三三}・八三五下

云、何^ソ不^レ開^セ耶。今^ノ積^ル次上^テ応^ニ知^ル兩義^即与^ト待絶^ニ二妙^ニ不^レ殊^ナ云^テ当分跨節ノ兩義^ヲ待絶^ニ

當：時 || 正藏三三・八三六中

妙ニ同スル故ニ可ト開ス聞タリ。如此ノ料簡スル上ニ秘藏ノ文ニハ(四〇丁裏)※爾前ノ□当分ト云也是レ相待妙ノ分也(朱)籤一ニ云、当分乃チ成ス今ノ經ノ相對ノ義

辺ヲ、「法華ノ絶待妙也(朱)」跨節ハ乃チ成ス今ノ經ノ開權ノ義辺ヲ。又若シ方等般若及ヒ花嚴等ノ当分ノ義ハ者仍ヲ是レ施權也。若シ

来ニ至シテハ法花ニ当分ノ義辺成ニ判權実ト。判已テ即チ廢ス廢シ已テ即チ開。開廢相即シテ不ス可ニラ異

時ナル矣。疏記第六可合之。如上云云。授決集大綱決下可見之。上注之。

次ニ猶ヲ天台所立ノ之八教ニ有リ大綱網目。所謂藏通ノ化法ノ四教ハ是ハ網目也。頓等ノ化儀ノ四

教ハ是レ大綱也。是ヲ以テ記一云、※コノコロ比窃ノ読ム者ノ尚ヲ云フ天台ハ唯藏等ノ四ナリト、イナシククラキヤ一ト何昧哉。一何昧

哉。是故ニ須レ知ニ消スル經ヲ方軌ヲ、頓等ハ是レ此ノ宗ノ判教ノ之大綱也、藏等ハ是レ一家積義ノ之網目也、

若シ消スルニ諸教一但用ニルハ藏等ヲ其ノ文稍通シテ、若シ積スルニ法花ヲ無ニ頓等ノ八ニ舉止失レ措ヌキトコロヲ

於此ノ八教ニ又与奪約教約部等有レ之。奪約部ノ時ハ七教ノ中ノ円ト第八ノ円ト長ク別也。何ト者七

教ノ中ノ円ハ以ニ兼帶ヲ故ニ非ニ純円ニ故也。与約教ノ時ハ七教ノ中ノ円ト法花ノ円ト其体不レ別ナラ。是レ約

教ノ筋ナル(四一丁表)故ニ籤一ニ云、※於ニ顯露ノ七カ中ニ通シテ奪テ而言ハ、之ヲ並ニ非レ七ヲ也。別与テ而言ハ、之ヲ但

非ニ前ノ六ヲ、何ト者ハ七ノ中ニ雖モ有ニ円教一以ニ兼帶ヲ故ニ是ノ故ニ不レ同ラ。此ハ約部ノ説也。彼ノ七カ中ノ

円ト与ニ法花ノ円ト其体不レ別ナラ、故ニ但簡ワ六ヲ、此ハ約教ノ説也矣。

此ノ与奪約教約部ノ所詮ト者諸ノ七教ノ中ノ円ハ未開ノ円也。法花ノ円ハ開顯ノ円也。是ヲ以テ玄一云、

是合非不合ト△積ルヲ妙樂籤一ニ受テ之ヲ云、※是合ト等者是レ開權ノ之円也、故ニ云フ是合ト不レ同ニ諸部ノ中ノ

円ニ故ニ云フ非不合ト。合ト者只是レ會ノ之別名也矣。次ニ天台宗ノ意八教ノ上ニ又立テ大綱ノ三教ヲ判ニ積一

是：合 || 正藏三三・六八四上
是：名 || 正藏三三・八二五下

於：也 || 正藏三三・八二五下

比：措 || 正藏三四・一六〇上

代_フ也、謂淨名疏ニ円頓漸ノ二教也矣。

非_ニ漸_ニ正藏三四・二九下
頓_ニ「漸」
法_ニ撰_ニ正藏三四・一九七下

又文句三ニ非頓而頓非漸而漸矣。記三云、法花一乘ハ非ニ頓漸ノ撰_ニ矣。是_レ其証拠也。此ノ廢立ノ時ハ花嚴ハ頓、阿含方等般若ハ漸、法花涅槃ハ非頓非漸ト定也。法花ヲ超八ノ円ト名事自_レ是起_リ。

非_ニ知_ニ正藏三四・一九七下

記三云、非頓而頓ト等者法花一乘ハ非ニ頓漸ノ撰_ニ。於_レ一ニ開出スルニ乃チ頓漸生ス、是_レノ故_ニ今マ云_ニ非頓而頓ト、非頓而漸ハ准_レシテ此_ニ可_レ知_ル矣。」

初_ニ頓_ニ正藏四六・四一九上

(四一丁裏)
弘九云、初_メ花嚴ハ是_レ頓、鹿苑ヨリ下_ニ是_レ漸、法花涅槃ハ非ニ頓漸ノ撰_ニ、但是_レ會_レシテ漸ヲ而帰_ニ於頓_ニ矣。

初_ニ字_ニ正藏三四・一九七下

又云、初_メ從_リ花嚴ニ到_ニ般若ニ來_ク昔從_リ一法ニ開出ス。至_ニ般若ニ時_ニ頓漸已_ニ竟_ヌ。而_ニ人_レ不_レ知_ラ法花ハ出_ニタリト頓漸ノ外_ニ。請_{コフ}觀_ニ竟_ノ字_ヲ矣。

雖_レ也_ニ正藏三三・六八二中

玄一云、雖_モ種々ニ建立_シテ施設_ス衆生ニ但隨_ヒ他意語_也。非_ニ仏ノ本懷_ニ。故_ニ言_フ不務速_ト也。
籤一云、今_マ別_シテ約_シテ法花ノ別相_ニ而說_ク。自_リ法花_ニ已_ニ前_ヲ皆曰_フ隨_ヒ他_ト。故_ニ前_ノ教_中雖_モ並_ニ

今_ニ足_ニ正藏三三・八一九下

有_レ融_ニ以_ニ兼帶_ラ故_ニ並_ニ屬_ス隨_ヒ他_ニ。未_レ堪_ヘ開顯_ニ名_ク不務速_ト。務_トイハ事_ノ速_{ナル}也。唯_ク至_ニ今_ノ經_ニ開_シテ諸_ノ不融_ヲ唯_ク獨_ク一_ノ融_也。使_ム前_ノ諸部_ヲシテ同_一ノ妙法_{ナラ}。出世_ノ意足_ヌ矣。

問_ニ故_ニ正藏三三・八一九下

又云。問_フ、若_シ說_ニカハ仏乘_ヲ恐_レハ其_レ墮_ラ苦_ニ者說_ニ下_フハ花嚴教_ヲ可_レ非_ニ仏乘_ニ耶。答_フ。若_シ約_シテ教_ニ論_セハ方等般若亦有_ニ仏乘_一、何_ソ獨_リ花嚴_{ナラ}、今_マ墮_ラ苦_ノ之_レ言_但拠_レ不_レ堪_ヘ唯_ク一_ノ仏乘_ニ故_ニ矣。

遍_ニ耶_ニ正藏四六・二九二上

弘五云。遍_ニ於_ニ四教_一一十六門乃至五時八教一期始終今皆開顯束入一乘○若_シ當_分者尚_ヲ非_ニ偏

教ノ教主ノ所知ニ。況ヤ復タ世間暗証ノ者ヲヤ耶。』

(四二丁表)
此外勘文如上云云。

尋云。尚シ約教ノ釈ヲ一往ト云事証拠如何。

鹿：權 正藏三三・八一六下

時 原「教」

示云。籤一云、鹿苑ノ施小方等般若已ニ為ニ開廢ノ而作ニ方便ト。如此ニ説者且ク在リ於小ニ、若シ約教者通ニ前ノ四時三時皆權ナリ矣。且在於小ノ言可思之。但約時ノ下ノ釈也。何ソ云フ約教ト耶ト難ル也。

其約時約教アリ。約教四時アリ。若約教者通前四時可思之云云。約教約部ノ口伝此算ノ奥ニ可注之。

尋云。文句四文ヲ正ク約教釈ナレハ約部再治ノ時ハ花嚴等ノ円ニ可レ被ニ開會ニ云事ハ汝私ノ料簡極秘ノ勘

文也。抑先徳ノ中ニ釈此定人有之耶。

示云、文義共当ラハ何ソ尋ニ先徳ヲ耶。但シ上ニ引ク授決集下卷ノ文也。有先其ノ隨一也矣。

尋云。天台意大綱三教ノ之本説依ル何ノ經ニ耶。

上：也 正藏三四・九一中
「上：也」脱。異本による

示云。經第一云、「唯此一事実余二則非真」。疏七云、上文云唯此一事実指此地也。余二則非真トイハ指ス七方便也。此約ニシテ頓漸ニ教ニ述ニ其ノ開權顕実也。

余：開 正藏三四・二八九下

記云、余ニト等者但不レ一ナラ皆名テ為レスニト。此約ヨリ至マテハ開權顕実也ニ者以ニ漸一頓ノ中不レ出テ七方便ヲ故也、故ニ漸頓ノ中有レ權咸開文。

并：生 正藏九・一七中

国：也 正藏三四・八七下

經「第二云、并会親族国王大臣刹利居士皆悉已集即自宣言諸君当知此是我子我之所生矣。」
疏六云、国王云者一切漸頓ノ諸經也、無レ不レト称ハ所詮ノ之処ニ為ニ經王ト。当レテ機ニ益レ物ヲ興廢有レ

時、部々不同也、名レテ之ヲ為レス国ト、皆言フ第一ト皆是レ王也。又此ノ經ハ会ニ通ス諸經ヲ、豈非ヤ聚ニ集スルニ

国王ヲ、故ニ無量義ノ中ニ先ツ已ニ收集セリ。彼云ニ初説四諦十二因縁生次説方等十二部經次説摩訶般

若花嚴海空ト。此則チ普ク集メ諸經ヲ融ニ通シテ漸頓ヲ会ニ入ス此ノ經ニ。故ニ名レル会ニト国王ヲ也△

記六云、廢ニシテ諸ノ小王ヲ唯立ツ一ノ主ヲ是故ニ法花ヲ名ク王中ノ王ト矣。

經云、此或是王或是王等云△。

記六云、諸部ノ大乘ハ与レ小相對セリ。世人不レシテ了ラ見テ諸ノ大乘ニ皆ナ称スルヲ經王ト乃チ謂下ヘリ法花ト与レ

諸教ニ等上ト。今マ謂ク、乳及ヒニ蘇皆ナ談ニ法報ヲ。雖ニ俱ニ称スト王ト非ニス諸經ノ王ニ。縦ヒ有レテ經云ニトモ諸

經之王ト不レシハ云ハ已今当説最為第一ト。兼但對帶其ノ義可レ知ヌ矣。

授決集上云、「淨名広疏云、円頓漸ノ三教也。頓ト与レ漸未ニク是レ円ナラ也。開会ノ後ハ成レ円ト畢ヌ矣。

又云、今以ニ大小ヲ為ニ余ニト文義多レ憑。法花ノ之余ニ他經ノ之余ニ能可ニ分別一矣。

又云、仏乗ハ是レ頓円、声聞乗ハ是レ漸含藏、指之為ニ一矣。

天台法花宗義集云、問フ。化法中ノ円ト三教中ノ円ト同異云何。答。化法中ノ円ハ漸中開四ノ円也。

是レ所開ノ円ナリ。頓漸円之ニ三教中ノ円ハ開ニ会ス八教ヲ。是レ能開ノ一大円教ナリ矣。秘文也。

進師云、今マ宗論ノ時キ約教約部当分跨節一往再往等ノ釈ニカ、リテ問答セハ何度モ不可也。今マ当

宗ノ心テハ先ツ明ナル正直捨法花經ノ名ヲ指シ年記ヲ定メ畢テ未顕真実終不得成無上善提正直捨方便不受

余經一偈ト等御治定アル釈尊ノ金言ヲ打置テ此外ニ論師人師等ノ釈ヲ用テ沙汰之ヲ事大ニ涅槃經ノ禁ニハ

廢…王 正藏三四・二八五上

此…等 正藏九・一六下

諸…知 正藏三四・二八〇中

淨…畢 正藏七四・二八二下

今…別 正藏七四・二八二下

仏…二 正藏七四・二八二下
二「也」

背ク者也。サレハ任テ経文ニ成ニ立破ヲ畢後ハ依法不依人ノ金言ナレハ何ノ人ノ釈也共相ニ叶ハ経文ニ可レキ用也。」(四三丁裏)例如輔正記「不受余経一偈ノ文ヲ釈ルニ一往ニ三藏名為小乘再往ニ三教名為小乘ト云テ再往ノ時キ三教ニ四時四教ヲ束入也。此上ニ問答之云云。

問。小典云者何ソ耶。

答。花嚴方等般若未開龍教云云。

尋云。頓漸ノ諸経ヲ対シテ法花ニ云時云フ小乘方便ト耳説有之耶。

示云。経ニ説仏智恵故諸仏出於世唯此一事実余ニ則非真ト説テヤカテ終不以小乘濟度於衆生ト云故ニ経文分明也小乗ト云事。次ニ方便ト説ク文ハ次上ニ十方仏土中○除仏方便説但以仮名字ト説是也。次ニ当所ノ釈ニハ無二亦無三ヲハ方等対三般若帶二ト釈ルニ約教ノ釈如上云云。又非真ノ言可思之。

(異筆)

「当分称ニトモ大乘ト不レ明サニ乘成仏ヲ法ヲ皆可レ云フ小乗ト。其ノ証文ヲ勘カ秘曲也。方便品云、未曾説汝等、当得成仏道、所以未曾説、説時未至故、今正是其時、決定説大乘以上。」(四四丁表)此ノ文明ニ限テ法華ニ云ニ大乘ト也。是レ明ニ二乗作仏ヲ故也。呉々決定説大乘ノ文限テ法華ニ云ニ大乘ト正証文也。此文ヲ勘ル事旧テ而モ新カルヘシ。後学深可ニ玩味。」

位…実ニ正藏七四・二九一中

授決集上ニ云、十二位妙ノ中ニ最実事ノ章ノ中ニ云ク、若シ仏赴縁ニ興廢破立スルコトヲ者ハ、無量義経ニ云ク、

無量ノ法ハ者從ニ一法ニ生ス、所謂ルニ二道ニ三法四果也。二道ト者即チ頓漸也。三法ト者即チ三乘也。四果ト者即チ四位也。此ノ無量ノ法從ニ一法ニ生ス。何ト者ハ二道ハ既ニ是レ頓漸也。頓即チ大道日照ニ高山一且ク置テ未レ論セ。乃至無量義ニ云ク、二道ニ三法四果不レ合セ至テ法花ニ皆合ス、故ニ不レ論レ廢ヲ成道ヨリ已

来四十余年ニ未^レ顕^ニ眞実^ヲ法花ニ始^テ顕^ニ眞実^ヲ矣。

又余ニ非^ト眞^ト者無量義經頓漸ニ道又云ニ法也。可^レ謂^フ序ノ中ノ二法則^チ非^ト眞^ト序即無量。一乘要決
次下注之事。

又云。未^レ顕^ニ眞実^ノ之唱何^ヲ以^カ不^レ籠^ニ寂場^ノ始說^ヲ耶矣。

伝云、今以^ニ大綱^ノ三教^ヲ判^ニ權実^ヲ時^ハ方便^ノ正体^ハ爾前^ノ円也。前三教^ハ非^ニ物数^ニ。当分^ノ時尚^ヲ

方便也。何況^ヤ法花^ノ跨節^ノ時^ヲ耶。サレハ爾前^ノ円^ヲ方便^ノ根源^ト習也。証拠^ハ余^ニ則^ニ非^ト眞^ト云。但以

仮名字^云。二道^ニ法^云。釈等如上。

尋云。今^ノ本^ノ文^ノ無^レ余乘^若二若^三者其^ノ法体^ノ教部^{如何}。

他宗云、如^ニ当所^ノ釈^一者部^ハ花嚴方等般若、教^ハ前三教^也云云。

今云、サテハ花嚴方等般若^ノ兼對帶^ノ被^ニ開會^セ之^ハ勿論也。但^レ円^ヲ不^レ會^レ之^ヲ云歟。若^シ爾也^ト

禪：麵^ニ正藏三四・八五下

云ハ、花嚴方等般若^ノ所說^ノ円^ヲ開會^{スト}云^ハ人^ハ僻事歟。信解品云如上。疏記六如上云。〔^{異筆}四[※]〕禪^ハ

此：道^ニ正藏三四・二八三中

鉢含^ニ枝林^ヲ如^ニ盆器^ノ。生空^鹿如^レ米^ノ。法空^細如^レ麵^ノ。□云、此^ノ教^ノ作法^{所有}ノ生法^{不^レレ}

涉^ニ大乘^ニ○生法^ニ空並^ニ属^ニ正道^ニ。〕

方：乘^ニ正藏七四・三二八中

一乘要決上云、方便品○同品云、十方世界中尚無^ニ乘^何況有^ニ、偈云、十方仏土中唯有一乘

法無^ニ亦無^ニ三除^仏方便說○若^シ望^レハ權教^ニ有^ニ諸乘^ノ人法[、]若^シ望^レハ実教^ニ唯是^レ一仏乘^也、盆器米

麵^本為^ニ長者^ノ之寶[、]低頭^挙手^遂歸^ニ円極^ノ之道[、]終^不以^ニ小乘^濟度^於衆生[、]雖^示種々^道其^実為^ニ

仏乘矣。

尋云、無量義經ニハ阿含方等般若花嚴ト列法花ニハ花嚴般若方等阿含ト列又ト見タリ。序正何ソ不同ナル耶。

四原・異本「廿二」

無：合正藏七四・二九八上
四原・異本「廿二」

示云、此事又智証大師授決集ノ下卷ニ無有余乘若二若三決四※トテ一箇ノ決也。所謂授決集下云、無有余乘若二若三決四※從深至淺次第也。疏ノ意以テ花嚴兼別ヲ為ニ無有余乘ト以テ般若ノ帶二一ヲ為ニ無若二ト以テ方等ノ對三一ヲ為ニ無若二ト。又以ニ此ノ若二若三ヲ兼テ為ニ阿含ノ但二但二ト。何ヲ以カ斯ノ文ト與ニ諸文ニ異ナルヤ耶。諸文ハ多ク依ル五時ノ之次ニ。今ノ文ハ約ニ教ノ之深淺ニ。其ノ意異也諸ニ矣。下ノ囑累品ノ中ニ云ク、於ニ余ノ深妙ノ法中ニ示教利喜シテ後ニ令レ入ニ此經ニ也。除ニ法花ノ外ノ深妙ノ法ト者花嚴ノ一、般若ノ二、方等ノ三也、阿含ハ於ニ凡夫外道ニ可シ以テ為ニ深妙ト。望ニテハ於今經ニ不レ可ニ比並ス、上來ハ唐ノ林和上ノ決也。私ニ准ニ此ノ釈ニ別序ノ無量義經ニ収ニ集スルニ四十余年所說ノ諸經ヲ云ニ四諦因緣方等十二部經摩訶般若花嚴海空宣說菩薩歷劫修行ト。此レ則チ從淺至深ノ之次第也。其ノ理合ヘシ如レナル是。今マ正說ノ文以レテ余ヲ為レ一ト、若二ヲ為レ二ト、若三ヲ為レ三ト、從深至淺ノ之次第也。又與ニ信解品ノ并會国王大臣ノ文ニ合ス矣。

淨：之正藏七四・二九二下

為原「句」

之原「也」

同上云、花嚴円教兼歷別決十二已上唐書也。淨名後記云、花嚴海空ト者即花嚴經也。今マ以レ此ヲ為ニ正義ト與ニ法花文ニ為合也。無有余乘ト者花嚴、若二ト者般若、若三ト者方等。此レ拋ニ教ノ之深淺ノ之別卷序以深淺列之矣。

簡異本「皆是別教」

私安立^{シテ}云ク、三教^ハ方便^{ナレハ}開會^{スト}云ハ爾前所說ノ說大乘經并円^ハ對^{ニスル}法花ノ円^ニ時^キ簡也[※]。若シ別教^{ナラハ}開會^{セラレン}条^ハ勿論也。

尋云、証拠如何。

示云、私^ニ勘^レ之云、無量義經^ニ擧^ケ諸大乘經^ヲ畢^テ結^ル之^ヲ宣說菩薩歷劫修行ト。歷劫修行豈非^ニ別教^ニ耶。是^ヲ以^テ四教義^一云、次^ニ証^セ別教^一者○無量義經云、摩訶般若花嚴海空宣說菩薩歷劫修行。即^チ別^ノ文^也矣。

難云、四教義ノ意^ハ四教ノ証^ヲ一々^ニ引^ケリ之。然^ニ引^テ無量義^ヲ雖^モ証^{スト}別教^ヲ円^ノ証^ヲハ花嚴方等般若ノ文^ヲ引^セリ之。知^ヌ爾前ノ円^ハ非^ト別教^ニ云事。

示云、爾前帶權ノ円^ハ俱名^ニ鹿人^{ナリ}。故^ニ別教^ト云証拠既^ニ金言也。但^シ大師[」]引^ニ爾前經^一証^{レル}円^ヲ事^ハ一ノ意有之。一^ニハ^ハ下文頭已通得引用ノ時^ハ引^テ成論ノ文^一証^ス無作^ニ身^一ヲ。況^ヤ証^ニ大乘經ノ文^ヲ耶。二^ハ其ノ八教^ト者但立^ニ前四味^ト等^云テ一代^ヲ判^{ニスル}四教^ニ時^ハ円^ノ証^ヲ諸經^ニ引^ニ無^レ失。但^シ今ノ義^ハ權實^ニ一^ニ円相對ノ時ノ義也。

花：根 正藏四六・六二上

有難云、止觀五云、授決集上引之、花嚴^ニ亦有^ニ二ノ意^一、宣說菩薩歷劫修行^ハ為^ニ鈍根^一也。初發心時便成正覺所有惠心不由他悟。彼^ハ是^レ利根[△]矣。准^{シテ}此文^ニ方等般若等可^レ然被^レ得、歷劫鈍根^ト等者兼別ノ法歟、是^ヲハ可^キ開會^ス也。便成正覺利根ノ方^ハ円教也。是^ヲハ不^レ可^キ開會^一聞^{タリ}如何。義云、疏六國王^ト者指^ニ別教^一歟、指^レ円^ヲ歟。若^シ指^レ別^ヲ云者何^ソ勝^ヲ置^テ劣^ヲ以^テ為^レ王^ト耶。若^シ

指レ円ヲ云ハ、無量義云云。所詮無量義ニ未顕眞実ト者取テモ花嚴ニ殊更ニ指レテ円ヲ云ニ未顕眞実ト也ト習也。其ノ故ハ經ニハ花嚴海空宣說菩薩歷劫修行ト說テ花嚴ノ海空ト者円ノ義也。海与空(四六丁裏)可思之。此ノ海空ヲ云ニ歷劫修行ト也。

円…実ニ伝金三・六〇六

因…正蔵二六・一三四上取意

釈云、山家、円教ノ菩薩雖ニ是レ直道ナリト不ニ大直道ニ乃至故ニ下文ニ云ニ四十余年未顕眞実ト矣。

十地論云、因分可説果分不可説云云。

又私云、一家ノ釈並ニ先德ノ釈ハ何様ニモ有レ。所詮宗師ノ釈ニ正ク爾前ノ円ヲ別教ト云釈クニモ有之。吉証也。四教義ノ釈吉釈也。

為…也ニ正蔵三四・九一中

又云、疏七云、為ニハ人天ノ説ニキ戒善ヲ為ニハ二乗ノ説ニキ諦縁ヲ為ニハ三蔵ノ説ニキ事度ヲ為ニハ通教ノ説ニキ無生ヲ為ニハ別教ノ説ニ次第ニ開中トヲ如来蔵上ヲ、是ヲ名レ述ニスト其領ニスルコトヲ開ニヲ也矣。

此釈配立異ナレ共説次第開如来蔵ト者円教ト聞タリ。而ニ次第ハ別教也。如来蔵ハ円也。既ニ説次第開如来蔵ト者円ハ即チ別教ト聞タリ。何様ニモ今釈正ク爾前ノ円ヲ撰ニテ前三教一名ニ開ニノ法ト開会スル經ノ文然カ見ヘタリ。

尋云、難云、不レト開ニ爾前ノ之円ヲ者有ニ何ノ失ニ耶。

細…人ニ正蔵三三・八二〇上

示云、付レテ之天台宗有ニ兩義。開スト云義ニテハ爾前ノ円ハ細人(四七丁表)二人俱犯過從過辺說俱名ノ人ト等云テ若シ不レハ開被レ、云レ僦ト故ニ尤モ可レ開也云云。次ニ不レト開セ云義ニテハツレタル僦ヲ開スレハ円ハ本

円ニテ有也。故ニ開ル僦ヲ也云云。

如：來 正藏三三・六三八上

私云、今開ニシテ兼別ノ麁ヲ不レト開レセバ円ヲ者是ハ網目四教門ノ時ノ配立也。大綱ノ三教ノ時ハ開レセバ円ヲ兼別ノ帶ニ對シテハ自被レ開セ也。例セハ如法花ノ宗ヲ釈スルニ玄一如提綱維無目而不動牽衣一角無縷而不來故ニ云宗要上已。開レハ円ヲツレタル劣ニ教ハ皆自然ニ被レ、會セ也。

尋云、法花ノ玄文止ノ三大部共ニ開ト爾前ノ円ヲ云釈有之耶。

示云、共ニ可有之。少々可出之。

文：道 正藏三三・六八二上

玄一云、正釈下、文ニ云ク我若讚仏乘衆生没在苦謗法不信故墮於三惡道矣。

問：懷 正藏三三・八一九下

籤一云、問フ、若シ説ニカハ仏乘ヲ恐レハ其ノ墮ニ苦ニ者説下花嚴ノ教ヲ可レ非ニ仏乘ニ耶。答。若シ約シテ

教ニ論セハ方等般若亦有ニ仏乘一。何ソ独リ花嚴ナラン。今マ墮苦ノ之言ハ但扱レ不堪ニ唯一仏乘ニ〇是ノ

故ニ但立テ、頓大ノ之名ヲ不レ立テ一乘独妙ノ之稱ヲ。非ニト仏ノ本懷ニ良ニ由レリ於此ニ。花嚴頓大尚非本

懷矣。

雖：説 正藏三三・六八二中

玄一云、雖モ種々ニ建立シテ施設スル衆生ニ但隨他意語也。非ニス仏ノ本懷ニ。故ニ言ニ不務速説ト矣。

今：足 正藏三三・八一九下

籤一云、今マ別シテ約ニシテ法花ノ別相ニ而説ク。自ニリ法花一已前ヲハ皆曰フ隨他ト。故ニ前キノ教ノ中ニ雖モ並ニ

有レト融一以ニ兼帶ヲ故ニ並ニ屬ス隨他ト。未レ堪ヘ開顯ニ名ニ不務速ト。務トイハ事速ナル也。唯至テ今ノ經ニ開ニシテ

諸ノ不融一唯独一ノ融也。使ニム前ノ諸部ヲ同ノ妙法ナラ。出世ノ意足レリ矣。

玄一云、今ノ經ハ正直ニ捨テ、不融一但説ク於融ヲ。令ニム一座席ヲシテ同ノ道味ナラ。乃チ暢ニ如来出世ノ本

懷ヲ。故ニ建立シテ此ノ經ヲ名レテ之ヲ為レ妙ト矣。

今：妙 正藏三三・六八二中
不融 異筆、異本「方便」
「座席同一」異筆

捨…同||正藏三三・八二〇上

籤一云、捨^タ者捨^タ且^タ是^レ廢^也。故^ニ知^ル開^ル廢^名異^ニ躰^同△^シ矣。已^上釈^前後^可見^之。

若…実||正藏三三・六九一中

玄二云、若^シ開^ニテ^テ方便^ノ門^一示^セハ^レ真^実ノ相^一即^チ向^キノ身^ハ是^レ円^常ノ身^也。三藏^丈六劣^心身^カ即^チ円^常ノ法^身也。

向ノ法^ハ是^レ円^ノ法^也。向ノ行^向ノ理^皆即^チ真^実△^ナリト^矣。

若…時||正藏三三・八三六中

籤二云、若^シ方^等般^若及^ヒ花^嚴等^ノ当^分ノ義^ハ者^仍是^レ施^權也。若^シ来^ニ至^シレ^ハ法^花ニ^当分^ノ義^辺成^ル

判^權実^ト。判^シ已^テ即^チ廢^ス。廢^シ已^テ即^チ開^ス。開^廢相^即シ^テ不^可ニ^異時^{ナル}矣。

若…意||正藏三三・七一三中

玄二三云、若^破若^立皆^是法^花之^意矣。』

施…破||正藏三三・八六八中

籤三施^權ノ故^立ス。廢^權ノ故^破ス。或^ハ權^実俱^立ス。或^ハ權^実俱^破ス矣。

若…也||正藏三三・六八三中

玄一云、若^シ会^レシ^テ小^ヲ帰^スル^ハ大^ニ是^レ漸^頓混^合也。故^ニ無^量義^ニ云^ク、漸^頓二^法三^道四^果不^レ合^セ。

今^ノ時^ニ則^チ合^ス。即^チ此^ノ義^也△。

無…結||正藏三三・八二四中

籤一云、無^量義^ニ既^ニ重^テ序^前ノ開^不レ^テ久^必合^ス。譬^ハ如^ニ算^者ノ下^シ已^テ必^ス除^カ。今^時合^ト者^今

文^更ニ^以テ^法花^ノ意^ヲ結^ス矣。

玄五云、如上。

国…経||正藏三四・八七下

文句六云、国^王者^一切^漸頓^ノ諸^經等^云。如上。

当…量||正藏三四・二九下

同三云、当^レ知^此土^從レ^一出^ニ無^量等^云。

同七云、藥^草喻^品釈^云。如上。

若…々||正藏四六・二三二中

弘三云、若^シ論^ニ経^ノ意^ヲ八^教四^味ヲ^方名^ク種^々ト^矣。

来…一〇正藏七四・二八四上

輔行十二云、授決集引之来[※]至^{シテ}法花^ニ会^{レテ}八^ヲ歸^レス^一ニ矣。

遍…門〓正藏四六・二九二上

弘五云、遍[※]於四教一十六門[△]云如上。

問。抑此算所詮如何。

相伝云、爾前之円^ト者方便随他非仏本懐ノ根便ナル間^ク若^シ未^レ開^セ爾前ノ円^ヲ者不可^レ被^レ開^セ前三

教^モ。若^シ開^レ其ノ円^ヲ三教自^ラ披^レ、開^セ能開^ノ之法躰与^三所開^ノ之法躰^ニ是非得失^ヲ弁^テ法花ノ之純

円^ニ開會^{シテ}共^ニ唯一^ニ仏乘ノ妙法^ト成^ンカ^ヲ為^ス也。(四八丁裏)謂^ク法花以前ノ所説ノ八教^ト者随他ノ方便^ニ正非^ニ仏ノ

本意^ニ。是^ヲ以^テ、本師自行唯与^円合化他不定亦有八教^ト釈^ル此意也。化法ノ円教^ト化儀ノ頓^ト者豈

非^ニ爾前ノ円^ニ耶。サレハ玄籤一^ニ判^ニシテ一代ノ教相^ト云^ク、初^メ明^ニシテ八教^ヲ以^テ弁^レ昔^ヲ、次^ニ明^ニシテ今^ノ經^ヲ

以^テ顯^レ妙^ヲ矣。此^ノ釈^モ八教^ハ方便、法花^ハ真実^ト治定^{セル}也。以^ニ此等ノ釈^ヲ見^ルニ仏説^ヲ始^ニ自^ニ花嚴終^ニ至

般若ノ之諸経菩薩年紀^{マテ}テ^テ数^ハ挙^テ以^テ方便力未^レ顯^ル真実、世尊法久後要当説^ル真実、唯一^ニ乘法無^ニ

亦無^ニ、唯此一事実余^ニ則^ニ非^ニ真、雖^レ示種々道其実為^ニ仏乘、正直捨^テ方便但説^ル無^ニ上道等^云云。経釈

共^ニ於^ニ法花已前^ニ不^レ説^ル真実^ト云^フ故^ニ爾前^ハ皆^テ房^ヲ被^レ、云^フ方便^ト条勿^レ論^也。籤十云、始^メ從^ニ花嚴^一

至^ニ般若^一来^タ皆^レ不^レ説^ル設^テ教^ノ之意^ト定^{タリ}。故^ニ知^ヌ最初ノ頓教^ニ不^レ説^ル法花^ヲ故^ニ最初ノ頓教^ハ方便

随^テ他非^ニ本懐ノ根源^也。諸^レ仏^一同^ニ化義ノ次第^ヲ見^ヨ。法花以前^ヲ随^テ宜^ノ方便^ト定^メ法花^ヲ真実^ト説^マリ。

但^シ約^テ教^ト当^分時^キ爾前ノ円^ト法花ノ円^ト一^ニ釈^ル對^ニシテ二乘^ヲ淺^ク近^ク法^ニ菩薩乘等^ヲ名^ニ円大^ト等^一ノ配^立也。

又對^ニ七教^ニ円^ヲイ^タワ^ル也。雖然^ニ當^分ノ円^{ナル}故^ニ分^々ノ国^ニシテ非^ニ純^ニ円^ノ大王^ニ。是^ヲ以^テ窮^テ子品^云、

始…意〓正藏三三・九四九中

本…〓『法華文句記』正藏三四・一六二中
師〓原^一時^一
初…妙〓正藏三三・八三二中

并会親族国王大臣等云。文同六云、国王^ト者一切漸頓ノ諸經[△]也等云。記六云云。若シ小国ノ王一人ヲ呼ハ其所從皆可レ来ル。其ノ王ノ所從ヲフニハ王并一切ノ諸人皆悉ク不レ可レ来ル。故ニ先ツ聚ニ集スル国王也。尋ノ意可レ知ヌ。爾前ノ円モ又如レ是ノ。方便隨他ノ長本ナル故ニ先ツ長本ヲ名ニテ方便根源ト方便根源ヲ先ツ開会スレハ其ノ枝葉皆隨テ来帰スル也。故ニ今ノ品ニ無有余乘若ニ若ニ三者正ク花嚴般若方等ノ三部ヲ呼出シテ先ツ開会スト之ヲ聞タリ。次ニ我此九部法ト等者開ニ爾阿含ヲ文也。

尋云、開会ト者能帰ノ義也。然ニ爾前ノ円ヲハ有テ何ノ失ニ於テ法花ニ開ニ会スル之ヲ耶。(四九丁裏)

伝云、仏法ト者為ニ一切衆生皆成仏道ノ也。然ニ最初ノ花嚴經ニハ二乘女人等ノ惡人ヲ為レ斥シテ別教ヲ隔レタリ之。是即円カカ計トシテ以テ別教ヲ斥ニ二乘等ヲ故ニ無慈悲ノ円也。又方等般若時モ在レ座ニシカ共終ニ与ニ授ニ円ノ実法ヲ不レ遂ケケ成仏但立ニテ、別教ヲ面ニ我身ヲハタ隱セシ故也。サレハ爾前ノ円ハ只別教ト有ケル也。サレハ始自花嚴終至般若雖名不同但以次第二諦所撰今經会実方曰円融[△]釈ル此意也。設ヒ雖国ナリト不哀愍我身計ヲ助ケハ豈治レ民ヲ持レ国ヲ耶。

始：融正藏三三・八一九中
「雖名不同」異筆、異本なし

難云、爾前法花ノ円全ク不可レ別ナル。円躰是レ一ナレ共爾前ヲハ所知機^{化敷}未熟ノ故ニ不開ニ諸乘ヲ。法花ノ円ハ時^キ至リ機熟ル故ニ諸乘唯一仏乗ト開会ス。第五時ノ法花ヲ初成道ノ始ニ説カハ如シ花嚴ノ。花嚴ノ後ニ説カハ如シ法花ノ云。殊更ニ功能ヲ云ハハ爾前ノ円猶ヲ勝タリ。以テ三教ノ方便ヲ誘ニ引シテ之ヲ第五時ノ法花ニ令ニ来入セ故也云。

義云、実ニ円躰一ナラハ如此可レ難ス。然ルニ約教ノ日ハ且ク同スレ共約部ノ時ハ全ク不レ同。何況ヤ大綱(五〇丁表)

三教ノ時ハ法花ハ漸頓ノ外ニ出タリ。又八教ノ時ハ其ノ内ニ不レ撰ニ法花ヲ上ハ何ソ云レ同ト耶。所詮釈ハ何様ニモ有レ經文已今当ノ三說ノ外ニ法花ヲ說。十喻ノ中ニハ法花ヲ須弥大海月日等ニ譬ヘテ諸經ヲ諸山河諸星等ニ譬ヘタリ。難ノ如ハ須弥ト土山黒山等ト全ク一躰ト可レ云歟。大海ト小河ト全ク一也ト存ル歟。月ト与星実ニ其ノ躰一歟。此等ノ不同任テ仏說ニ能々可ニキ治定一ス也。

又難云。爾前ノ円ヲ帶權ノ円ト云ヒ、法花ノ円ヲ純円ト云事ハ漸入ノ機ノ為也。頓証ノ為ニハ二円但一円也云。舍利弗領解云、我昔從仏等云云。始見我身等云云。

義云、是飢食ノ難也。汝ハ同ニシテ飢食者ニ捨ル天台傳教ヲ歟。

其…文…伝…全…三…四五

秀句上云、其レ円機ノ菩薩從リ始メ花嚴ノ会ニ至マテ般若等ノ經ニ聞テ因分ノ円教ヲ入ル因分ノ仏惠ニ是、故ニ經ニ云ニ始見我身聞我所說令入仏惠已上。經文。

法…実…伝…全…三…四六

又云、法花之前教ニハ不レ說ニカ直道ノ法ヲ。誰カ修ニセン直道ノ法ヲ。已ニ不直道ノ行也。誰カ得ニ直道（五〇丁裏）ノ記ヲ○花嚴ヨリ已来被ニル隨宜ノ法ヲ。本法ノ法花ハ法花已前ニ都テ不レ說カ。故ニ經ニ云ニ世尊法久後要当說真実ト矣。

秀文ハ如文証。別紙有之云云。經ノ大数有八万欲聞具足道ト無數天子我等從昔来（異筆。異本なし）一數聞世尊說未嘗聞如是深妙之上法ノ文ヲ可合之。是山家之釈也云云。又至下可注之。

一伝云。他宗ノ所立ハ且ク置之。今天台宗ナラハ爾前ノ円ヲ不レト開セ不可云也。其ノ故ハ經ニ既ニ自開ス、随テ釈モ然也。經ト者藥王品云、譬如一切川流江河諸水之中海為第一此法花經亦復如是於諸如来

譬…大…正…蔵…九…五四上

所説經中最為深大矣。

海：乘 正藏三三・六八四中

玄一云、海^ハ是^レ坎^ノ德^{アリ}。万流^ノ歸^{スル}カ^ニ故^ニ。同^ク一^ノ鹹^{ナル}カ^ニ故^ニ。法花^モ亦^モ爾^也。仏^ノ所^ニ証^得シ^マヘル。

万善同^ク歸^シ同^ク乘^ル二^ニ仏乘^ニ矣。

海：鹹 正藏三三・八二七中

籤一云、海^ニ言^{ヘル}徳^ヲ者^ト得^也。得^ニ衆^水一^ヲ故^ニ万善^ヲハ^ハ合^シ万流^ニ。仏乘^ヲハ^ハ合^ス一^ノ鹹^ニ矣。此^ノ釈^ハ例^ノ約^教ノ^積也。委^細事^上云云。

明：徳 伝全三・二五四

山家大師今^ノ經^積共^ニ秀^句ノ^下ニ^引レ^テ之^ヲ結^シテ^云ク。明^ニ知^ヌ。他宗^所依^ノ經^ハ無^シ有^{コト}大海^ノ徳^一。唯[』]
有^二法花^宗一^ノ大海^深大^ノ徳^{アリ}矣。伝^教所^破ノ^宗花^嚴・三^論・法^相・俱^舍・成^実・律^ノ六^宗也。

然^ルニ他宗^ノ依^レ經^ニ分^々雖^モ有^二海^徳一^無レ^ト有^二法花^ノ大海^ノ之^徳一^積故^ニ爾^前ノ^円可^レ被^レ開^ニ法花^ノ

明：頂 伝全三・二五四

円^ニ聞^タリ。是^ヲ以^テ今^ノ積^ノ次^下ノ^山譬^ノ下^ニ結^シテ^云ク。明^ニ知^ヌ。此^ノ法花^經ハ^者在^二乳^味ノ^花嚴^{・酪}味^ノ阿^含・生^蘇味^ノ方^等・熟^蘇味^ノ般^若・四^味之^頂矣。前^四時^四味^ノ部^ノ頂^ニ法花^有ハ^之尤^可レ^開レ

頂 異本「順」

之^聞タ^リ。所^詮仏^意ノ^内証^ノ海^ハ限^リ法花^ニ万^流ハ^花嚴^等ノ^諸經^也。其^ノ故^ハ開^經無^量義^ニ取^マヘ^リ七^水ノ

譬^ヲ。以^テ爾^前ノ^円譬^レ海^ニ見^ヘタ^リ。合^譬ノ^時方^等般^若花^嚴ト^合シ^テ其^ノ外^ニ別^ニ挙^ル無^量義^ノ法^体一^ヲ故^ニ

七^水ノ^中ノ^海ハ^爾前^ノ円^ト見^タリ。此^ノ開^經ヲ^以テ^合譬^ニ對^スル^ニ今^ノ十^喻ノ^中ノ^第一^ノ海^ノ譬^ハ限^リ法花^ニ見^タリ。

知^ヌ。釈^ハ約^教也。非^ニ約^部ニ^也云云。

又：尊 正藏九・五四上

又^ノ十^喻ノ^中ノ^輪王^ノ譬^ヲ説^テ云云。又^如諸^小王^中ノ^轉輪^聖王^最為^第一^此法^花經^亦復^如是。於^衆經^中最^為其^尊矣。

當…尊…伝全三・二五六
年…原…四十余年

秀句下云。當^レ知^ル未^レ頭^ニ真^ニ實^ノ年^ヲ」^{（五一丁裏）}所^レ説^ク衆^ノ經^ヲ等^ハ如^シ彼^ノ諸^ノ小^ノ王^ヲ。他宗所依^ノ經^ニ諸^ノ經^ノ之^ノ王^等

有^二レトモ一^ノ函^ノ句^ノ文^一當^レ分^ニ為^レル^ニ王^ノ故^ニ不^レ名^ケケ^テ轉^ル輪^王ト。已^レ頭^ニ真^ニ實^ノ日^所説^ク法^ノ花^ノ經^ハ知^ス。此^レ轉^ル輪^王ナリ。

天台法花宗^ハ於^テ衆^ノ經^ノ中^ニ最^モ為^リ尊^ニ矣^ト。此^等ノ經^ノ文^皆會^ス爾^前ノ円^ヲ見^タリ。

尋云。難云。是^レ伝^ノ義^也ト云^ハ共^ニ約^ノ教^ノ釈^ト斥^ス事^都テ不^レ得^ル心^也。所^レ詮^ク約^ノ教^ト斥^ス証^拠如何^ト。

示云。文句^ハ約^ノ教^ノ釈^ヲ為^ル本^ノ体^ト故^ニ如^シ此^ニ云^也。其^ノ義^如上^ノ。但^シ最^ノ秘^ノ事^ノ釈^ニハ山^ノ家^ノ御^ノ釈^有リ之[。]

十^ノ諭^ノ中^ノ第^七ノ梵^ノ王^ノ譬^ヲ引^テ結^ル之^ヲ。秀句下云、經^ト与^レレ^ノ玄^ノ開^合ハ為^レリ頭^ニ王^中ノ王^ヲ。其^ノ諸^ノ小

王^ノ中^ニハ輪^ヲ王^ヲ為^ル最^ト。三十二^ニ王^ハ帝^ヲ釈^ヲ為^ル主^ト。經^ハ別^開ノ故^ニ王^中ノ王^ヲ諭^フ於^テ法^ノ花^ニ。玄^ハ惣^合ノ

故^ニ二^ノ王^ノ之^ヲ王^ヲ諭^ニ於^テ法^ノ花^ニ。〔^{（朱筆）}輪^ヲ王^ノ二^ノ王^ノ為^ル王^ハ梵^王也〕是^ノ故^ニ不^レ相^違。明^ニ知^ス。他宗所依^ノ

經^ハ不^レ是^レ王^中ノ王^ニ。天台法花宗^ハ独^リ為^リ王^中ノ王^一矣^ト。此^ノ釈^能々^ノ可^レ思^之。秘^々ノ釈^也云^云。

如…故…伝全三・二五八
又第十諭云。如^レ仏^ヲ為^ル諸^ノ法^王此^ノ經^亦復^如是^ノ諸^ノ經^中王^已上^ノ。當^レ知^ル仏^ト者^無上^ノ法^王。法^ノ花^ハ無

上^ノ妙^典也。明^ニ知^ス。他宗所依^ノ經^ハ諸^ノ王^所諭^ノ教^也。天台法花宗^ハ王^中王^所諭^ノ教^也。他宗^ニハ都^テ

無^シ此^ノ十^ノ諭^一。唯^有二^ノ法^ノ花^ノ此^ノ十^ノ諭^一。若^シ他宗^ノ經^ニ雖^モ有^二此^ノ諭^一當^レ分^ニ跨^テ節^ヲ可^レ分^別耳^耳。釈^尊

立^玉ハ^ル法^ノ花^ヲ為^ル極^ト。本^ノ法^ノ之^故待^レ時^ヲ待^レ機^ヲ。論^師ノ立^ル宗^ハ自^見ヲ為^ル極^ト。隨^宜ノ之^故矣^ト。

玄一云。今^ノ法^ノ花^ハ是^レ合^也。非^ス不^レ合^也。是^レ醍^醐也。非^ス四^味矣^ト。

今…味…正藏三三・六八四上
籤一云。是^レ合^ト等^者是^レ開^ノ權^ノ之^円也。故^ニ云^フ是^レ合^ト。不^レ同^ニ諸^部ノ中^ノ円^ニ。故^ニ云^フ非^レ不^レ合^ト。

合^ト者^只是^レ會^ノ之^別名^也矣^ト。

我：一正藏九・三四中

伝云。五仏同ク為レ説ニ法花ヲ設ニ四時八教ノ之方便也。此ノ四時八教ハ者時機未ク至之故ニ且ク方便也。仍テ非ニ仏ノ本懷ニ。本意但在ニ仏乘ニ。是ヲ以テ宝塔品ノ偈ニ云ク、我為仏道、於無量土、從始至今、広宣諸経、而於其中、此経第一矣。説本疏下ニ者也。衆生未熟ナレハ直ニ不レ説ニ法花ヲ。故ニ且ク以テ八教ヲ調也。若シ機一向ニ脱ノ時ナラハ直ニ可レ説ニ法花一也。故ニ知ヌ。四時八教ハ隨機ノ方便也ト云事。如是論意ハ者花嚴後ニ説カハ(五二丁裏)被レニ純円ト法花ヲ前ニ説カハ帶權ト可レト云ハル云難ハ不レ可レ来者也。所詮開会ト者隨宜ノ八教四時ノ麁法ヲ權説シツル故ニ此ノ權説ヲ以テ法花ニ引来テ教行人理共ニ其ノ所説法皆悉ク到於一切智地ト説ヲ云也。諸水入海是也。諸知入如実是也。雖示種々道其実為仏乘矣。是也。可思之。

私云。尋云。抑今於天台法花宗ニ開会ニ有ニ幾ノ種類ニ耶。

私云。於今ノ經釈ニ案レ之ヲ、相待絶待教行人理真俗ニ諦ノ開会等多之略之云云。但シ種類相待ハ專ラ至ニ藥草喩品ニ可沙汰之也。

開：故正藏七四・二六九上

天台法花宗義集ニ云、義真釈、開ニシテ二乗ノ之理ヲ顯ス一乗ノ之理ヲ。名レテ之ヲ為ニ理一ト。開ニシテ二乗ノ之教ヲ顯ス一乗ノ之教ヲ。名レテ之ヲ為ニ教一ト。開ニシテ二乗ノ之行ヲ歸ス一乗ノ之行ニ。名レテ之ヲ為ニ行一ト。會ニシテ三乗ノ之人ヲ歸ス一乗ノ之人ニ。名レテ之ヲ為ニ人一ト。問フ。何か故ソ會ニシテ二乗ノ理ヲ歸スル一乗ノ理等ニ。答フ。三乗ハ非ニ仏ノ本意ニ。一乗ハ是レ仏ノ本懷ナル故ニ矣。』
(五三丁裏)
尋云。開會ニシテ後爾前ノ經ヲ不レ可レ読ムニ云証拠如何。

明…開||正藏三三・八一六下

示云。籤一云。明[※]開者昔指シテ實^ト為^レ權^ト。權^ハ掩^ル於^テ實^一名^ク方便^ノ門^閉。今^マ指^レシテ權^ヲ

為^レ實^ト。於^レ權^ニ見^レ實^ヲ名^ク方便^門開^ク。

開…耳||正藏三三・六九〇中

玄一云。開[※]權^頭實^ト者一切^ノ諸^法莫^シ不^{コト}皆^妙ナラ。一色^一香^無非^{コト}中^道ニ。衆^生ノ情^隔於^妙ノ

耳^ノ云。

法…本||正藏三三・八三四中

籤一云、法[※]既^本妙^僮由^物情^故知^但開^其情^理自^覆本^矣。

後^日書^入云。法^花大^綱云。章^安釈。妙^經ノ始^末開^ニ會^シテ殊^途ヲ觀^行唯^円ナリ矣。

尋^ニ云。開^シテ後^チ不^レ可^レ読^ニ爾^前經^ヲ云^文如何。

示^ニ云。今^汝所^レ引^文皆^是不^可読^云文^也。法^本妙^法有^ル由^テ物^ノ情^ニ爾^前ノ僮^ヲ設^ル故^也。是^ヲ

大…相||正藏三三・六九〇中

以^テ本^書積^ノ次^ニハ、大^悲順^レ物^ニ不^ニ与^レ世^諍ハ。是^ノ故^ニ明^ニ諸^ノ權^實ノ不^同ヲ。故^ニ無^量義^ニ云^ク。四

十^余年^ニハ三^法四^果二^道不^レ合^セ。今^マ開^テ方^便ノ門^ヲ示^ス真^實ノ相^ヲ。唯^以テ一^大事^ノ因^縁但^説ク無^上

道^ヲ。開^ニテ仏^知見^ヲ悉^ク使^レム[〔]得^レ入^ニコト^ヲ究^竟ノ實^相一^矣。

第…也||正藏三三・八一六下

籤一云。第^三ニ廢^ト者捨^ハ是^レ廢^ノ之^別名^也。開^已俱^ニ實^也。無^ニ權^トシテ可^レ論^ニ義^當於^廢。權^轉テ為^レ

實^ト所^廢ノ躰^亡シヌ。若^シ留^テ逗^ル後^ノ縁^ニ復^タ屬^ス於^施。非^ニ此^ノ中^ノ意^一。若^シ爾^ハ開^廢何^ノ別^カアル。答^フ。

約^レ法^ニ乃^チ開^スル時^ニ即^チ廢^ス。約^セハ喻^ニ必^ス義^須先^ツ開^ス。若^シ爾^ハ法^喻差^違シナン。何^ソ成^{ラン}喻^法ト。

答^フ。抛^レ理^ニ似^タリ法^ト与^レ喻^有違^一。抛^レ事^ニ似^タリ先^ツ開^シ後^ニ廢^スルニ。如^シ先^ツ示^シ方^便ハ即^是レ真

實^ナリト既^ニ識^レ實^ヲ已^テ永^ク不^レ用^レ權^ヲ。若^シ約^セハ理^ニ者^開廢^俱時^也。開^ノ時^ニ已^ニ廢^スルカ^故也^矣。

若…他 || 正藏三三・八二二下

又云。若[※]開シテ權ヲ顯セハ実ヲ無レシ非ニト自行ニ。若^シ為^レ実^ノ立^ル權^ヲ故^ニ須^ニ化^ス他^ヲ矣。^{〔施イ本〕(異筆)}

玄九籤九云。如常云。

執…失 || 正藏三四・一二三上

文句八云。執[※]シテ仏ノ方便ヲ以^テ為^シテ真実ト不^レ會^セ円道ニ故^ニ言^フ大失ト矣。

問…鉢 || 正藏三三・六八五中

有難云。正^ク開^シテ後可^レト読^ニ他^ノ經^ヲ云^フ文^ヲハ玄^一云^一。問[※]フ。一切法皆仏法也。何意^ソ簡^テ權^ヲ取^レテ実^ヲ

為^レ鉢ト。答^フ。若^シ開^シテ權ヲ顯^セハ実ヲ諸法皆鉢也矣。

一…問 || 正藏三三・八二八下

籤一云。一切諸法皆是^レ法界無^レ非^ニト実相ニ。則^チ諸法皆鉢。何^ニ意^ソ簡^テ權^ヲ。答^ノ意^ヲ者^ハ、若^シ

為^レ実^ノ施^ク權^ハ未^レタ^ラ識^ラ經^ノ体^ヲ。開^キ權^ヲ顯^ス実^ヲ実^ニ如^シ所^ノ問^ノ矣。

示云。諸乘一仏乘ニ參入^シテ後^ハ尤^モ諸法成^ル妙法^一体^ト故^ニ諸法皆体^ト積^ル也。大經云。衆流入海

失本名字矣。

諸…字 || 正藏三三・七一四下

玄一云。諸[※]水入^レ海^ニ同一^ノ鹹味也。諸智入^ニ如^シ実^ノ智^ニ失^フ本^ノ名字^ヲ。

如…地 || 正藏三四・九四下

文句七云。如[※]ナルハ衆流入^レ海^ニ失^ニ於^テ本^ノ味^一則^チ無^レ差別。隨^テ他^ノ意^ヲ語^ヲ以^テ智^ノ方便^一而^レ演^ニ說^シ下^フ

之^ヲ。則^チ如^レ來^能知^ク知^ニ差^別一^ヲ。其^ノ所^ノ說^ノ法^ハ皆^ク悉^ク到^ル於^テ一切^ノ智^地一^ニ矣。

衆…損 || 正藏四六・二七八中

弘五云。衆[※]流入^レ海^ニ失^フ本^ノ名字^ヲ。万流咸^ク會^スストモ^ト体^無増^損一^ヲ矣。

溪…名 || 伝全二・六四六

守護章下之下云。溪[※]水入^レ海^ニ失^フ本^ノ名字^ヲ。何^ソ海^中ニ^存セ^ン溪^名一^ヲ矣。

如^レ此^等ノ文^多レ^シ之^ヲ。略^レ之^ヲ畢^ス。施^ク開^ス廢^ト列^ル次第^ハ開^ス廢^俱時^{ナル}ニ^取テ若^ク次第^ヲ列^テハ開^シテ後^ニ可^レト廢^ス

被^レタリ得^ル云云。

有難云。開会ト者当位即妙不改本意、汝等所行是菩薩道矣。如何。

示云。開会ト者教行人理ノ四一。今ノ經ノ開示悟入ト会ル也。爾前ノ当位ヲ今經ノ妙位ト会シ爾前ノ本

意ヲ今經ノ妙位ト開シ爾前ノ諸行ヲ今經ノ妙行ト云ヒ、爾前ノ教法人等ヲ今經ノ妙法妙人ト開会ス。案位

昇進ノ開会ト者是又相待種種種類ト云是也。汝所引諸文ハ於テ皆不レ可談云文也云云。

当世山上ニ不レ開ニ爾前ノ円ヲ云正文ヲハ玄籤一ヲ出ス也。謂ク玄一云。今經躰者云云。籤一云。此等ノ

三教皆開ス及以ヒ世間ノ資生業等尚皆是レ実ナリ。況ヤ円ノ中ノ自行而モ非レシ実ニ耶矣。

不レト開セ云義ニテハ三教皆開シテ執ル也。三教ノ外況円等ト者円自不レ開セ実也ト云也云云。開スト云義ニテ

本書ニハ立テ三種ノ權実ヲ自行ノ權実ヲハ撰別円也。末書ニハ不レ立テ三種ノ權実ヲ。但約ニシテ四教ニ開ルニ三教

皆開ト治定シテ此ノ外況円ノ中ノ自行而非レ実ニ耶ト釈ル故ニ円ヲモ開スト本末共ニ釈ル也ト云也。開スル義ハ惠

心流ノ義也。未開ノ義ハ檀那』流ノ義也。然ルマ今マ当家ニハ約教約部ノ約束ヲ定上ハ無惱。其ノ旨如上

沙汰之云云。

惣シテ爾前ノ円ノ開未開ハ抄ノ第四五卷少々注シ之ヲ畢。一通可見之也。穴賢。可秘之。

進師抄云。

相承義云。引ニ爾前得道ノ文ヲ時ハ可レ尋。約部歟、約教歟、縱待歟、横待歟、相待歟、絶待歟、

第一ノ教相歟、第二ノ教相歟、第三ノ教相歟。能々定テ後テ無ニ相違一者文ヲ加ニ料簡ス也。相待妙前

三為龜後一為妙ハ約教横待ノ釈也。前四味為龜醍醐為妙ハ約部縱待ノ釈也。当分ハ相待、跨節ハ絶待妙也。

於ニ異本「分」の傍らに「(劣カ)」
談ニ異本「誦」
今ニ者ニ正蔵三三・六八三上
此ニ耶ニ正蔵三三・八二一中

「一之」難読、異本による

相ニ宗全二四・五〇三

當…也 正藏三三・八三五下

籤二二云。※相待妙(朱) 當分ハ通於一代ニ於レ今ニ便成ニ相待ト。跨節ハ唯在ニ今ノ經ニ。仏意非レ適タルニ今ニ也△矣。

此…文 正藏三三・六九六中

玄二二云。此ノ經ハ唯論ス二妙ヲ。更ニ無ニ非絶非待ノ之文一矣△。

故…妙 正藏三三・八四六上

籤二二云。故ニ諸味ノ中ニ雖モ有ニ円融一全ク無シ二妙一矣△。

若…待 正藏三三・八四五中

又云。若シ相待ノ中ニハ展転シテ明レ妙ヲ。前ハ猶ラ存セリ。今マ論セハ絶待ヲ絶ニ前ノ諸ハ無レ可ニ形待一等云。

等云。

相待ノ之ハ時ハ權実ハ麁妙ヲ論スレハ二並テ有リ。絶待ヲ論ル時ハ名「躰共ニ無也」。凡ソ約教ハ一往、約

部ハ再往也。

又…妙 正藏三三・八二三下

籤一云。又今ノ文ノ諸義凡ソ一々ノ科、皆先ツ約ニシテ四教ニ以テ判ニスル麁妙ヲ。則前三為レ麁後一為レ妙

次ニ約ニシテ五味ニ以テ判ニスル麁妙ヲ。則前四味ヲ為レ麁ト。醍醐ヲ為レ妙ト等云。

是ノ釈ニ今文諸義凡一々ノ科ト定置ナリ。約教ハ一往、約部ハ再往ト見タリ。其ノ上ハ約教ハ綱目、約

記 異本「證」

部ハ大綱ト釈ス。記文〇云。〔朱書〕「頓等是レ此宗ノ判教ノ大綱、藏等ハ是レ一家ノ釈義ノ綱目ナリ」

アリ 異本「十アリ」

已上進師抄御勘文アリ。私略之畢

抑天台妙樂ノ解釈爾前法花ノ之円、約教同、約部不同ハ定判也。若又約教ニ簡ニ爾前ノ之円ヲ釈有レ之耶。此事前代未聞ノ間不審也。如何。

答。当世ノ学者智恵ノ眼闇シテ宗家ノ解釈ニ迷惑シテ只約教一往ノ釈ヲ大師ノ元意再往至極ノ釈ト打思テ

約部ニ簡ニ爾前ノ文ヲ傍ニセリ。増テ約教ニ破ニ權教ノ事ヲ檢マテハ不ニ思寄ラ。然間無ニ口決相承一。但シ先師大聖人之勸文有之歟。

合…也 正藏三三・八二五下

籤一云。合者只是會ノ之別名也。此即チ(五六丁表)已當下リ約ニシテ藏等ノ四ニ以テ簡中ニ權実上。故ニ不ニ復テ

云ニハ是レシヨ非レト三ヲ。既ニ知レト非ト是レ法花ノ之前ノ顯露ニ已竟ヌレハ則チ了ス法花ハ俱ニ非ト七教ニ。此則チ對シテ於八教ニ簡フ也云云。

此ノ文ハ約教ニ簡ニ爾前ノ円ヲ見タリ。相待義也。不可及ニ外見能々可有ニ料簡ニ也。已上御抄畢。

此外又爾前法花ノ円齊等ト思フ人ハ逆謗大罪ト云相待義文如抄一。如此秘事也。可思之云云。

又爾前円ヲ開ル御勸文等如抄可思之云云。

諸…三 正藏九・七中

十二 經云。諸仏以方便力於一仏乘分別說三矣。

祇…也 正藏三四・五二下

文句四云。祇為三※タ五濁ノ障重シテ實不レ得レ宣コトヲ須下ク施ニ單五單三ノ之權ヲ亦タ施中ヌ帶ニ帶三ノ之權上。

故ニ言フ於一仏乘分別說三ト。分別シテ說ニ於若ハ帶ニ帶三ノ之三若ハ單五單三ノ之三也矣。

付ニ此ノ經釈ノ文ニ有リ二難一。一ニハ爾前ノ円ヲハ不レ入ニ說三ノ方便ニ三乘方便ハ可レ開ス也。円ヲハ

不可レ開ス也。如何。一二二ハ三乘五乘等皆ナ(五六丁裏)是レ從リ一乘ニ分別シテ之ヲ說ク。故ニ本法既ニ一乘也。

何ソ云ニ無得道ト等ニ耶。譬ハ如ニ黄金ヲ折レカニ。何モ皆金躰也。何ソ毀レテニ取レニ一ヲ耶。

義云。始ノ難ハ如上算一。次ノ難ヲ言ハ、此ノ難ノ所詮金杖ノ譬ヲ為レト本ト見タリ。而ニ此ノ譬法譬不齊ノ

シテ曰〓異本「ノ曰」

故ニ可^ニ分^ル諭^{ナル}也。如^ニ此^ノ諭^者仏何^ソ爾前^今經相對^{シテ}彼^ハ未^ズ顯、是^ハ已^ズ顯、彼^ハ方便、是^ハ真實、彼^ハ歷劫、是^ハ疾成、彼^ハ鹿、是^ハ妙^ト等可^レ説^下耶。随天台妙樂傳教等何^ソ相對^{シテ}曰簡捨^ニ之耶。是^ノ故^ニ勘^テ經文^ヲ晴^ニ汝^カ難^ラ無量義^ニ舉^ニ他^ノ經^ヲ畢^テ未^ズ顯^ニ真實^矣。又云。宣説菩薩歷劫修行矣。又云。終不得成無上菩提矣。山家ノ御釈如常云。若^シ如^ニ金杖^一同^レ一^ノ法^ナラハ何^ソ終^ト不^レ説^耶。又疾成^ト名耶。

正：道〓正藏九・一〇上

法花云。正直捨方便但説無上道^云。同^ク一^ノ法^ナラハ何^ソ云^テ他^ノ經^ヲ方便^ト捨^レ之^ヲ耶。法花^ヲ名^ニ無上

道^ト信^レ之^ヲ耶。』

祇：權〓正藏三四・五二下

文句四云。祇^ニ為^ニ五濁ノ障重^{シテ}實^ヲ不^レ得^レ宣^ト。須^レ施^ニ單^五單^三之^ノ權^ヲ矣。如上。

而：乘〓正藏三四・四九下

問^フ。次上^ニ釈^{シテ}云。而^モ今^マ開^レル^{コト}ハ三^ヲ者^為レ^ノ一^カ弄^引ナラク耳。如^シ人^ノ欲^{シテ}取^{ント}先^当ニ与^レル^カ之^ヲ。

今：耳〓正藏三四・二三三上

雖^レ説^ト種々ノ道^ヲ其^レ實^ニハ為^ニ一^乗矣。記云、今^開三^者開^レル^{コト}ハ三^ヲ在^レ昔^ニ。而^モ言^ハル^{コト}ハ今^ト者^指也

今^ノ一^化ヲ。從^ニ一^乗一^開故^ニ云^レ今^ト耳。此^ノ釈^ノ意^ハ一^仏乘^ヲ三^分説^トハ一^{不見}。從^ニ一^仏乘^仮ニ設^レレ

三^ヲ説^ト釈^ル也。是^ヲ以^テ但^以仮^ノ名字^ヲ引導^於衆^生説^ト仏智^惠故^ト説^ケリ。一^乗外^ニ別^ニ仮^ノ名字^ヲ説^キ

給^ヘリ。

仮：明〓正藏三四・五五上

文句四云。仮^ノ名字^ヲ引導^ルハ即^シ方^便教^也。牒^ニ仮^ノ名字^ノ二^教ヲ顯^ス一^仏惠^ノ一^教ヲ。其^ノ文^分明^也矣。

如：〓正藏三四・五五上

又云。如此^等ノ二三^皆是^レ仮^ノ名字^ヲ以^テ引導^ス諸^ノ衆^生。今^但一^仏円^教ノ乘^也。

牒：惠〓正藏三四・二四三上

記四云。牒^ニ仮^ノ名字^ノ三^教ト等^者、三^教是^レ仮^ノ名字^{ナル}カ故^也。教^ハ本^ト一^実也。故^ニ三^ハ是^レ仮^也。為^レ物^ノ

假ニ設スニ藏等ノ權ヲ。今既ニ顯レス実ヲ。重テテ所除一ヲ以テ示ニス仏惠[△]ヲ矣。」

(五七丁裏)
法花論ニハ三乘法ト者有名無実ト等云云。品題下注之。論釈ノ意モ同ク經ニニヲハ假名字ト云ヘリ。若シ

如レ難法花ニ内ノ一ナラハ有名無実ト可レ云。何ソ云レ三ト耶。

於…鏡^{||}伝全二・七

照權実鏡云。於^{*}一分別說三鏡第七 謹^テ案ニ法花經ノ第一卷方便品ヲ云。諸仏以方便力於一仏乘分別說三。又化城喩品云。但是^レ如来方便ノ力於^ニ一仏乘^ニ分別^{シテ}說^レ三ト。又信解品云。隨^ニ諸ノ衆生宿世ノ善根^ニ又知^下メシ成熟^シ未^ニタ成熟^セ者^上ヲ種々^ニ箭量^シ分別^{シテ}知^シ已^テ於^ニ一仏乘^ニ隨^宜說^三已^上。

諸ノ衆生宿世ノ善根^ニ又知^下メシ成熟^シ未^ニタ成熟^セ者^上ヲ種々^ニ箭量^シ分別^{シテ}知^シ已^テ於^ニ一仏乘^ニ隨^宜說^三已^上。

花^{||}原「花經」
故^{||}原「教」

解^{シテ}云ク。於一仏乘^ト者、謂ク妙法蓮花也。分別說三ト者謂ク一切ノ三乘故^ニ言^ニ諸仏以方便力^ト者

謂ク三乘教方便ノ力所為。扱此ノ經文明^ニ知^ヌ三乘教方便ノ力隨^レ宜^キ說^レ三ト。何以偏執法爾性

三乘性別哉。故以為明鏡矣。已上。為得意^ニ文義^ト也。

一義云。爾前法花[』]同^ク是^レ一法^ナラハ何ソ^ノ執^シ他經^ヲ謗^ル法花^ト耶。
(五八丁表)

一義云。三乘方便ノ外^ニ別有^リ法花^ノ一乘^ト云ハ人^ハ僻事歟。今經論釈等文云云。

一義問。是一法コサンナレ。但仏^ハ信^シ何^ヲ捨^レト何^ヲ說^給耶。文如上^ニ云云。

華嚴宗沙汰之時

私云。於^ニ凡於^ニ一仏乘分別說三^ノ文^ニ諸宗難有^ハ之、今且^ク付^テ天台花嚴^ノ二宗^ノ難^ニ可沙汰^之。

花嚴宗難云。清涼国師花嚴抄^ニ云ク。於^ニ一仏乘分別說三^ノ言^ニ一仏乘^ト者即^チ花嚴也[△]矣。

於…也^{||}正藏三六・七中

義云。抑此ノ難者於一仏乗者即花嚴也。トイハ花嚴法花ノ二經ニ如レ此積タル歟。又汝私ノ難歟。具如花嚴宗ノ沙汰ノ也云。

次天台宗ノ難者於一仏乗分別説ニ同ク是レ一法也。何ソ云ニ無得道一耶。

此段如上。此段惣シテ至テ三車四車処ニ可得意合也云。

然…教…伝全三・三八

（五八丁裏）山家御釈ノ中ニ秘文在之。秀句上云。然ニ法花ノ於一仏乗ト者花嚴以前ニハ量ヲ不レ説カ。分別説ニ

兼方便ハ花嚴会ノ中ニ所々ニ分別セリ。明ニ知ヌ。於一ノ果分ハ法花ノ之円為メニ熟機ノ人ノ説ク一大事ヲ。餽食者何ソ因分ノ花嚴ヲ為シ実教ノ撰ト。果分ノ法花ヲ為シ權教ト矣。可秘之。

決權実論ニ委細ノ釈アリ。經第二ノ三車四車算下ニ可注之也。

若…教…正蔵三三・六八三下

天台宗難云。天台一代ノ仏教ノ相ニ判ル事在ル玄義ニ也。所以ニ玄一云。若シ約ニセハ法被レ縁ニ名ニク漸円

乃…三…正蔵三三・八三三中

教ト矣。籤一云。乃至般若ノ中ノ方便ノ二教皆從リ法花一乗ニ開出ス。故ニ云ニ於一仏乗分別説ニト故ニ疏ニ云ク。於ニ一仏乗ニ開ニ出ス帶ニ帶ニ。今マ法花ノ部ハ無シ彼ノ二三ニ故ニ云フ無ニ亦無ニト矣。如レ此釈者正ク爾前ノ円ハ法花ノ一仏乗也。如何。

示云。例ノ約教ノ釈也。如上。是ヲ以テ今ノ釈ノ次下ニヤカテ約教約部ヲ分別セリ。所以ニ籤云。

今…哉…正蔵三三・八三三中

今ノ文ノ諸義凡ソ一々ノ科皆先ツ約ニシテ四教ニ以テ判ニ餽妙一則チ（五九丁表）前ニラ為レ餽後一ヲ為レ妙ト。次ニ約ニシテ五味ニ以テ判ニ餽妙一則チ前四味ヲ為レ餽醍醐ヲ為レ妙ト。全不推ニ求セ上下ノ文ノ意ヲ直ニ指シテ一語ヲ便チ謂ヘリ法花劣ニナリト於花嚴ヨリ。幾許悞哉。幾許悞哉矣。

方便品ノ偈頌釈如三世諸仏文也。

從：耶 正藏三四・六二下

文句四云。從^ニ如三世諸仏^一下第四^ニ五行半^ハ頌^ス上ノ歎法希有^ヲ○初^ノ一行^ハ頌^ニ上ノ如是妙法^ヲ。妙法^ト者權實也。如三世者引^テ同^ニ諸仏^ニ用^ル也。權^ハ是^レ引^ク物之儀式^也。說無分別法^トイハ引^テ

儀義

同^ニ諸仏^ニ顯^レ也。實^ハ則^チ言語同斷^{ナリ}。豈存^ニ儀式^一。又權實^ハ本^{ヨリ}無^シ分別^一。為^ニ鈍根小智^一分^ニ別^ス也。權實^一。今^マ還^テ悟入^スレハ^一三^ニ不^ニ一^{ナリ}。即^チ知^ヌ。仏說^ニ三^一無^ニ分別^一也。諸仏皆爾^也。

何^ソ独^リ我^ノミナランヤ耶^矣。

如：二 正藏三四・二五二下

記四云。如是妙法^ト者具^ニ如^ニ釈籤^中ノ^一。故^ニ云^ニ祇^ニ是^レ權實^ノ法^ト耳。次^ニ如^ニ三世者^一下引^ク問^ヲ中^ニ文具^ニ兩^ノ解^ヲ。前^ニ約^ニ為^レ實^ノ施^スニ^一權^ヲ。後^ニ約^ニ開^レシテ^一權^ヲ顯^レ實^ヲ。又初^ノ文^ハ約^レス教^ニ。三^ハ權

一^ハ實^也。次^ノ文^ハ約^レス理^ニ。故^ニ有^レ權^有實^為權^ト權實^不一^{ナル}ヲ^一為^レ實^ト。此^ノ第二^ノ積^ハ祇^ニ是^レ顯^ス

前^ノ實教^ノ之理^一。即是^レ權實^不一^也矣。

夫：深 伝全二・一七二

守護章上之上云。夫^レ於^一一^ノ乘^ト者根本法花教。分別說^ニ者隱密法花教。唯一^ノ乘^ノ之外^ニ更^ニ無^シ余^ノ乘^等。隨^レ機^有三^千ノ名^一。隨^レ根^ニ

法花教。妙法之外^ニ更^ニ無^シ一句^ノ余^ノ經^一。唯一^ノ乘^ノ之外^ニ更^ニ無^シ余^ノ乘^等。隨^レ機^有三^千ノ名^一。隨^レ根^ニ

有^リ淺深^ノ法^一。有^智者善^ク思^フ食^セ之^ヲ。一代^ノ經教^莫レ^執優劣^一。但^ニ開^未開^ヲ一^ノ佛說^ノ淺深^{ナリ}矣。

一：相 伝全二・四二二

此^ノ積^ヲ當^世天台^ノ人々^深執^スコト^有之^也。但^別段^ノ事^也矣。同中之中云。一切^ノ之^聖教^於妙法^{分別}已^開之^故所^說文義^皆是^レ實相^也。法相宗^ノ難^云。決^權實論^ハ不定性^ノ二^乘從^リ四^十年^ノ前^一一^ノ乘^ノ根機^未ニ^淳熟^セ故^ニ說^ク唯^一佛乘^分

若：行||伝全一・七二二

別説三ト、至テ法花ノ会ニ不定性ノ二乗根機淳熟^{スル}故ニ説ク唯一仏乘無有余乗ト。約ニセハ不定性ノ三乗ニ者一乗三乘其ノ名雖レ別^{ナリト}而躰不^レ別^{ナラ}。何ト者前未廻心名ニ乗者不^レ」名ニ一乗ト。^(六〇丁表)廻心已後唯有二乗一無^レ有^二コト二乗一。由^レ之ニ応^レ知^ル前ニ説^二三乗^ヲ後ニ説^二一乗^ヲ無^レク二無^レ別。然ニ於一仏乘分別説三ト者但約^{シテ}不定性ノ二乗ニ而説ク。非^ス扱^テ頓悟ノ菩薩^ニ説^上。

示云。山家ノ御答ニ可^レ任也。所以ニ同論ニ此難^ヲ破^{シテ}云ク。若^シ大乘ノ之中ニ不^レ立^二權実^一者歷劫ト直道ト何^ヲ以^テ得^ニ別異^一ナルコトヲ。顯教ト与^二秘教^一将^ニ有^二雜乱^一失^一。故ニ無量義云、次説方等十二部經

摩訶般若花嚴海空宣説菩薩歷劫修行矣[△]。

委ハ如^二下ノ三車四車義ノ处^一也。可見之。文ノ前後委細ニ可^レ注之也。

尋云、爾前所説ノ一乗ト法花一乗ト差別如何。

示云。爾前ノ一乗ハ帶權、法花一乗ハ捨權也。

天台法花宗義集云 義真釈

花：捨||正蔵七四・二七〇下

花嚴勝鬘等ノ經ノ一乗ハ帶^二方便^一故、法花一乗ハ捨^二方便^一故ニ義異^也。義異^レハ可^シ所見異^{ナル}。問フ。

帶方便ト与^二捨方便^一意何^シ。答フ。一ノ外ニ存^ス」^(六〇丁裏)是^ニ故^ニ云^レ帶ト。一ノ外ニ無^レク三故ニ名^テ為^レ捨^ト矣。

以：三||正蔵三四・一一二下

文句八云。章安釈。以^レテニヲ顯^レニヲ者言^フハ昔ノ三ハ異^也ト今ノ一ニ。此ノ三ハ在^二一^カ外^ニ。今ノ一ハ異^ニ

昔^ノ三ニ。此ノ一ハ在^二三^カ外^ニ。故^ニ一ハ非^ニ三^カ一^ニ。三ハ非^ニ一^カ三^ニ。悉ク是^レ執見^{ナリ}。破^二此ノ病^一故ニ

於^二一^カ三^ニ分別^{シテ}説^ク三ト。故^ニ三ハ是^レ一^カ三^{ナリ}。汝等^カ所行^ハ是^レ菩薩ノ道^{ナリト}云^{ナリ}。故ニ

一ハ是レ三カ一也。一ト三ト既ニ不ニル相異ナラ因縁ノ之義ナリ。以テ因縁ノ三ニ一ヲ顯ス自性ノ三ニ一ヲ。亦タ以テ自性ノ三ニ一ヲ顯ス因縁ノ三ニ一ヲ。故ニ云フ以テ三ヲ顯シ一ヲ以テ一ヲ顯ストニテヲ矣。

言：三〥正藏三四・三〇九上

記八云。言ヨリ昔ト下〇寄テ開顯ノ說ニ破ス今昔ノ異ヲ。於中ニ初ニ拳ク非ノ相ヲ。此レ尚ヲ不レ得三ニ一

互ニ通スルコトヲ。況ヤ能以テ三ヲ通シ三ニ以テ一ヲ顯レサヤ一ヲ。故一ヨリ下結非ヲ。言ニ一非三ニ一ト等一者以テ

其ノ三ニ一既ニ不ヲ相即セ。若シ不開セ者相ヒ顯コト不レ成セ。故ニ一ハ非三ニ一カ家ノ一ニ。三ハ非三ニ一カ家ノ

之三ニ。次ニ破此ヨリ下ハ依テ今ノ經ニ正ク積ス。先ツ引ニ於一仏乘分別說三ニ証ニ即レスル一ニ之三ニ。次ニ引ニ

汝等所行是菩薩道ヲ証ス即レ三ニ之一ヲ』即チ為レ一カ施ス三ニ之一ニ二ハ乃レ是レ開レシテ一ヲ顯レ三ニ之一ニナリ。

前ノ句ハ騰レ昔ヲ故ニ云ニ分別說三ト。次ノ句ハ顯レ今ヲ故ニ云ニ是菩薩道ト。昔ノ教ニハ未說ニ故ニ三ニ一尚ヲ

隔レリ。不レス云ハ相顯シテ三ニハ一カニナリ一ハ是レ三ニ一カニナリト。由テ今說已ル一カ外ニ無レ三ニ此ノ三ヲ為ス一カ

家ノ之三ト。即是レ以テ昔ノ一カ外ノ之三ヲ全ク成一カ家ノ之三ト。故ニ云フ以テ三ヲ顯レトニテ。既ニ開シテ成セハ

一ト三カ外ニ無レ一。還テ是レ三カ家ノ一ナリ。即是レ以テ昔ノ三カ外ノ之一ヲ全ク成ニ即レ三ニ之一ト。故ニ

三〥原「一」

云フ以テ一ヲ顯レト一ヲ。故ニ知ヌ。由テ躰外ノ三ニ顯シ即セル一ニ之三ニ由テ三カ外ノ之一ニ顯ス即レ三ニ之ニテ矣。

言：三〥正藏三四・三〇九上

又云。言ニ因縁ト者只是感応ノ化儀。亦ハ名ク修得ト〇自性ト者即是性得ナリ。故ニ性得ノ三ニ一ハ

雖モ復タ本有ニシテ非ス修ニ非レト作ニ、乃チ由テ因縁ノ即レシテ三ニ而一ナルニ能ク顯ス性得ノ即レシテ三ニ之一ナルコトヲ。又

由テ性得ノ即レシテ三ニ而一ナルニ能ク成ス因縁ノ即レセル三ニ之一ヲ。亦由テ因縁ノ即レレ一ニ之三ニ方ニ顯ス性得ノ一カ

中ノ之三ヲ。復タ由テ性得ノ一カ中ノ三ニ能ク施ス因縁ノ即レレ一ニ之三ニ。是レ則チ因縁ノ即レレ三ニ之一顯ス自性ノ

即レスル二三ニ之一 (六一丁裏) 一ヲ名ニク以テ一ヲ顯ト一ヲ。以ニテレ緣ノ即レル一ニ。而二ヲ顯ニヲ自性ノ即レル一ニ。而三ヲ名ニク以テ三ヲ顯トト一ヲ矣。

十三 問フ。今經ノ意定性ノ之ニ乘正ク成仏ノ之文有レリ之耶。

舍…仏ニ正歲九・七中 示云。今ノ品ノ文ニ云ク。舍利弗若我弟子自謂阿羅漢辟支仏者不聞不知諸仏如来但教化菩薩事

此非仏弟子非阿羅漢非辟支仏△矣。

若…処ニ正歲九・七下 又云。若シ有三比丘ノ実ニ得ニ阿羅漢一若不信ニ此法一無有二是處△一矣。

又…了ニ正歲九・七下 又若遇余仏於此法中便得決了△矣。

山家ノ再生敗種ノ義ニ三世ノ定性成仏ノ文勘レ之ヲ云。

如…也ニ正歲三四・五三下 文句四云。如來昔シ說シ玉シニ五濁ニ開コトヲ三汝チ隨順シテ得タリ涅槃一得聞コトヲ得レタレハ知コトヲ名為ニセリ弟

子ト。今マ五濁既ニ除レハ為レニ汝カ說レク一ヲ。何意ソ不レ聞カ不レ知ラ。不レレルハ聞カ者即チ不レ聞カ教一ヲ。不レ知ラ

者即チ不レ知ラ行一ヲ。非ハ真ニ即チ非ニ理一ニ。非ルハ弟子ニ即チ非ニ人一也△矣。

若…慢ニ正歲三四・五三下 又云。若シ仏ノ在世正ク說シ玉ニ此ノ經ヲ不レ信セ不レ受ケ非ニ真ノ羅漢一成ル増上慢一ト矣。

是…道ニ正歲三四・五四上 又云。是ノ人雖レ生ニ滅度ノ之想ヲ捨レ命已後便生ニ界外有余ノ之國一値ニ遇シ余仏一得聞コトヲ此ノ

經一即便決了セン。釈論第九十二ニ積ニ畢定品一云ク羅漢受タレハ先世ノ身必ラス應レ滅ス。住ニ在シテ

何ノ處ニ而モ具ニ足セン一仏道一ヲ。答フ。羅漢ハ三界ノ漏一因緣尽更ニ不レ復タ生ニ三界ニ。出テ三界外ニ有ニ

乘_二決

入_三滅_二正藏七四・三二八下

夫_三乘_二伝全三・二〇

廣_レ如別紙云。

明_三怖_二正藏七四・二七〇下

天台法花宗義集云、義真、明_ニ知_ヌ。定性_ノ二乘_モ成_レ仏_ス。凡_ソ稟_レ形_ヲ含_レ識_ヲ皆有_二覺性_一。何_ノ男
何_ノ女_カ独_{トシテ}不_レ成_レ仏_一。(六二下裏)若_シ信_{セハ}皆_レ成_レ仏_ト者_ト毘盧_ノ之_レ果_可レ_レ歎_フ。若_シ一_レ諍_ハ、成_レ不_レ成_一者_ト阿鼻_ノ之_レ因

可_レ怖_レ矣_△。抄第一五汝等所行是菩薩道ノ下可見矣。

若_三了_二正藏九・七下

十四 經云。若_モ遇_レ余_レ仏_〇便_レ得_レ決_了矣_△。

示云。付_テ此文_ニ有_二淨土天台_一二宗_ノ難_一。淨土宗_ノ難_云。今_ノ文_ノ心_ハ仏_ノ滅_後ニ_ハ難_レ解_ニ法花_經

故_ニ遇_テ余_レ仏_ニ便_チ得_{ント}決_了一_{コトヲ}說_也。而_ニ我_等於_二穢土_ニ難_レ解_ニ法花_ノ故_ニ且_ク往_ニ生_{シテ}淨土_ニ彌陀觀音

具_三者_二正藏一二・三四六上

說_ニ法花_一聞_テ可_レ決_了一_故修_ル念_レ仏_ニ昧_一也。是_ヲ以_テ觀_レ經_云。具_足十_念稱_南無_阿彌_陀仏_一。稱_カ仏

名_一故_ニ於_二念_々ノ中_ニ除_二八十億劫_ノ生_死ノ之_レ罪_一。命_終之_時見_ニ金_蓮花_一猶_如日_輪住_ニ其_ノ人_ノ前_ニ。

如_クニ一_念ノ頃_ニ即_チ得_三往_ニ生_{スル}コトヲ極_樂世界_ニ。於_二蓮_花ノ中_ニ滿_二二十一大劫_一。蓮_花方_ニ開_{ケハ}觀_レ音_{・大}

勢_至以_テ大_悲ノ音_聲ヲ為_レ其_ノ廣_ク說_ニ諸_法実_相ノ除_滅罪_ノ法_一。聞_キ已_テ歎_喜セン。應_{シテ}時_ニ即_チ發_ニ菩_提ノ之

心ヲ。是ヲ名下品下生者ト矣。』

又：了正藏三四・五四上

(六三丁表)

文句四云。又羅漢修念仏定見十方仏。為説此ノ經便得決了スルコトヲ。又凡夫

行人苦到懺悔見十方仏。為説亦得決了スルコトヲ矣。

挙：了正藏三四・二四一下

記四云。凡夫者挙凡夫況聖耳矣。

今觀經法花南岳天台等ノ釈仏滅後遇余仏決了セト法花見タリ。何ソ云無間業等一耶。

示云。問答実義ノ二可有之。実義ノ時經実得羅漢者説クニ仏在世ニ値ニ遇ニ此ノ經便得決了

依也。羅漢遇之ニ聞決了ス。第二ノ釈ハ羅漢修念仏定見十方ノ仏為説此ノ經便得決了スルコトヲ矣。

了スルコトヲ矣。

了スルコトヲ矣。

南：理正藏三四・二四一下

記四ニ受テ之ヲ釈シテ云。南岳下ノ三ノ釈ハ並ニ是レ南岳ノ釈也。次ニ釈ノ中ニ云ニ羅漢若修念仏三昧ト

者若言ハ念ニスト十方ノ仏一則已ニ發大心ヲ。若唯念ニ仏釈尊乃チ因小ニ感スル也。大ヲ○然モ小乗ノ

之中ニ諸部不同ナリ。亦有下信有ニ十方ノ仏一者上。即小乘ノ人修ニル第一四禪ノ邊際定一力見ニル十方ノ

仏一等。念仏觀シテ感スルニ説下フコトヲ。第二ニ挙凡夫者挙凡夫況聖耳。是故ニ羅漢ハ必ス

無シ不聞カ之理一矣。

釈：了正藏三四・五三下

文句四云。釈疑若仏滅後ニ解レレレ經ヲ人難クハ遇得ニ。羅漢者即チ永ク入ニ涅槃ニ耶。即チ

釈云ク是人雖生ニ滅度ノ想一捨命已後ニ便生ニ界外ノ有余ノ國ニ値ニ遇シ余仏ニ得聞ニコトヲ此

經一即便チ決了△了セン矣。

值…仏…正藏三四・二四一中

記云。值遇余仏者初ノ文ニ以テ有余土ノ仏一ヲ名テ為ス余仏△ト矣。所詮經釈共ニ実得羅漢ノ者ノ在世滅

若…慢…正藏三四・五三下

後ニ可レ決ニ了ス法花一之様ヲ説セ釈セル也。是ヲ以テ文句四云。若シ仏ノ在世ニ正ク説玉フニ此經ヲ不レ信セ不レハ

受ケ非ス真ノ羅漢ニ成ル増上慢ト。若シ仏ノ滅後ニ方ニ得ニタラシンニ羅漢一者ノ偏ニ執ニテテ權經ヲ不レ信セハ信ニ円ノ法一ヲ聽

許ス非スト増上慢△矣。

但南岳ノ釈拳ニ凡夫一事ハ妙樂会ルニ之ヲ拳ニケテ凡夫一況レルニ聖ニ耳ニ矣。決了ノ人ハ羅漢也。余仏ト者有余

土ノ仏也ト天台ハ釈シ南岳ノ釈ハ余仏ヲハハ四依弘經ノ人ト釈ス。然ルニ非シテ羅漢ニ説ニ有余土ノ仏ニ可レ値ル耶。(六四丁表)

故ニ知ヌ。我等凡夫ナラハ遇ニテテ四依弘經ノ人ニ可レ聞ク法花一也。於ニ四依ニ小乘ニ權大乗ニ迹門ニ本門ニ四依ニ可

有之也。今時ハ尤モ本門之四依上行等ノ菩薩可レ決ニ了ス之ヲ也矣。

次問答時者 一義云。所詮如難者汝所修ノ念仏ハ為レ決ニ了センカ法花ヲ敷。若シ爾ハ何ソ謗ル法花一耶。

若シ謗法即治定セハ汝可レ往ニ生ス阿鼻ニ。何ソ往ニ生セン淨土ニ耶。經云。入阿鼻獄云。汝チ往ニ生ニ淨土

聞…前…正藏九・三五上

シタクハ可レ信ニ法花一。何ソ謗レ之耶。經云。聞妙法花經○生ニ十方ニ仏前云云。

一義云。若シ念仏ノ行為ナラハ決ニ了センカ法花ヲ者如ク金言ニ可レ捨ツ念仏ノ法一也。終ニ不可レ法花ヲ決ニ了ス

故也。

終…故…正藏九・三八七上

無量義云。終不得成無上善提所以者何不知善提大直道故云云。是ハ觀音勢至ノ領解文也云云。

重難云。既ニ若遇余仏ト者十方ノ諸仏ト聞タリ。何ソ限ニテテ釈迦一仏ニ謗スルニ余一仏ト耶。」

(六四丁裏)
一義云。如レ難者限テ一仏ニ謗ニ捨^{セン}ハ余仏一人ハ僻事歟。

選択云。第二ニ礼拝雜行^ト者除^テ上ノ礼ニ拜スルヲ弥陀一已外於テ一切諸余ノ仏菩薩等一云云。

重難云。余仏ノ余字ハ諸仏ト聞タリ。諸仏ノ内ナラハ彌陀不可レ免ル。値ニ彌陀仏ニ開ニ悟^{セン}コト法花一

何ソ可レ有ニ相違ニ耶。是ヲ以テ觀經ニ說ク下品下生ノ者一即得^レ往ニ生スルコトヲ極樂世界ニ於テ蓮花ノ中ニ滿ニ

十二大劫一蓮花方ニ開ケ觀世音大勢至以ニ大悲音声一為^レ其カ廣ク說ニ諸法実相除滅罪ノ法一聞已^テ隨

喜^{セン}應^レシテ時ニ即^チ發^ス菩提ノ心一是ヲ名ク下品下生者ト。

天台靈応伝云。是ノ妙法花本迹ニ門其ノ理深遠ニシテ難解難入也。且ク置テ不レ論セ。即チ詣^テ西方ニ

値^レテ仏ニ開悟^{セン}矣云云。

今マ法然捨閉閣抛云者捨ノ字ハ置ナリ。何ソ但謗ニ法花ヲ耶。經釈ノ心分明也。何ソ毀^ル彌陀ヲ耶。

次ニ天台宗ニ難ニシテ云者既ニ若遇余仏ト云フ十方ノ諸仏ト聞タリ。何ソ謗ニ捨^{スル}阿彌陀等ノ諸^レ仏^一耶。
(六五丁表)

仍テ違^ル經釈ニ者也。如何。

一義云。法華經並天台妙樂等ヲハ不可レ背歟。若シ爾也ト云ハ、背テ唯我一人能為救護ノ釈尊ニ

信^ル無緣ノ彌陀一故ニ不孝不知恩ノ失ヲ責ム。何ソ有ニ僻事ニ耶。或ハ對^ニ大日^ニ釈尊ヲ云ニ驢牛ノ三身ト故ニ

責^ル也。爾^ルニ汝^チ不^レ責^メ之故ニ仏法中怨ノ者也云云。

一義、抑汝^ハ当家ヲハ依^テ此文ニ謗^ト余仏^一聞ケル歟。此ノ義上義ヲ志ス也。

一義云。汝依^テ此文ニ修^ニ行^ル彌陀念^一歟。若シ爾也ト云者天台妙樂西方ノ彌陀ハ無緣ノ仏也。釈

尊ハ有縁仏也ト定メ給ヘル積有ラハ如何。

旧…成||正蔵三四・八〇中

文句六云。旧[※]以ニテ西方ノ無量壽仏ヲ以テ合ニス長者^一。今^マハ不レス用レ之ヲ。西方ハ仏別ニシテ縁異也。仏別ナルカ故ニ隱顕ノ義不レス成セ。縁異ナルカ故ニ子父ノ義不レス成セ矣。

西…成||正蔵三四・二七六上

記六云。西方^ト等者弥陀釈迦ノ二仏既ニ殊ナリ。宿昔ノ縁別ニシテ化導不レス同。結縁ハ如レ生ノ成熟ハ如レシ養ノ。生養ノ縁異ニシテ父子不レス成セ矣。

大…笑||正蔵三四・二七九上

又云。大小[※]ノ兩機並ニ在リ今ノ仏^{二〇}」結縁亦^タ爾也。往昔ノ大小ノ兩縁俱ニ在リ釈迦^{二〇}俱ニ在リ弥陀^一者更ニ成^レヌ可^レキニ笑^フ矣。

往…仏||正蔵三四・二七九上

又云。往縁ノ大小定テ在リ今ノ仏^二矣。重難云。汝所立ノ意拠也。今經ノ說相仏ノ本意ヲ見ルニ以テ法ヲ授^レルニ機ニ機若シ不堪ナラハ余深法中示教

利喜^セヨトイヘリ。以テ仏為^ルニ助縁ト若遇余仏ト云ヘリ。何^ソ限^ニラン一經一仏ニ耶。

一義云。汝難ハ非^レス難ニ当家^一是^レ難ニ仏經^一也。其ノ故ハ先於ニ娑婆世界ニ者釈尊既ニ唯我一人ト名

乘^リ給ヘリ。所說ノ法ヲハ唯有一乘無有余乘若^二若^三、乃至除仏方便說、正直捨方便、不受余經^一

偈^ト等治定シ給ヘリ。是^レ即非^ニ私^ノ會^ニ上^ハ是^レ非^ニ仏法^ヲ難^ルニ耶。但^シ余仏^ト者釈尊ヨリ外ノ余^ナラハ四依^ト

釈^ス。次^ニ余深法中^ト者誰人ノ行証^ソ耶。而^ル今^ノ經文ニハ深位ノ弘經^ノ相^ヲ說也。仍^テ非^ニ今^ノ難意^ニハ也。

經ノ至^ニ第七卷^一可沙汰之也云。

相伝云。若遇余仏便得^レ』決了^ト者且羅漢ノ得解ヲ說ク一筋也。然^ト云テ今末法ノ一切衆生悉ク奉^レ

値諸仏に決了せよと云文ニ非也。所詮今時ノ衆生ハ但信シテ法花經ヲ成仏セン時キ可決了之一ヲ也。持ツ此經ヲ者即チ値ニ諸仏ニ成也。是ヲ以テ釈尊現ニシテ十神力ヲ欲ニス結要ノ五字ヲ付属セント時キ能持是經者則為已見我亦見多宝仏及諸分身者又見我今日教化諸菩薩乃至十方現在仏并過去未來等云云。若シ不レハ持ツ此經ヲ者小罪尚ヲ不レ可滅ス。況ヤ何ソ遇レン仏ニ耶。提婆品ニハ聞妙法花經淨心信敬セハ生ニ十方ノ仏前ニ云ヘリ。値仏往生共ニ但信ル此ノ經ヲ之上ノ沙汰也。而ニ諸宗已捨ノ方便ヲ執シテ可レ信ス法花ヲ毀謗シ結縁ノ釈尊ニ向背ル上ハ何ソ往生値仏ノ義有之耶。仏ト法ト毀謗シテ往生値仏決了ノ義可レトハ有之何ノ經論ノ文ソ耶云云。」

(六六丁裏)
尋云。羅漢實滅ル事有之耶。

示云。大論ノ問答ノ如ナラハ不レ滅セ見タリ。妙樂ノ會釈ノ如ナラハ可レ滅ス見タリ。能々論釈ヲ可レ見也。

釈：道ニ正蔵三四・五四上

文句四云。釈論第九十三ニ釈ニスルニ畢定品ヲ云ク。羅漢受タレハ先世ノ身身必ス必ス滅ス。住ニ在^{ザイ}シテ何ノ処ニ而モ具ニ足セン仏道ヲ。答フ。羅漢ハ三界ノ漏^ムノ因縁尽テ更ニ不^レ復^ス生^ス三界ニ。出^ステ三界ノ外ニ有^リ淨キ仏土ニ無^シ煩惱ノ名^一。於^ニ是^レノ国土ノ仏ノ所^ニ聞^ク法花經具ニ足セン仏道^一矣。

羅：耶ニ正蔵三四・二四一中

記云。羅漢受ニ先世ノ身ヲ酬ニカ先業ニ故ニ名^ク先世身^ト。煩惱ノ果ナルカ故ニ須^ク必ス滅ス。若シ煩惱ノ所感能ク不^レ滅^セ者有^リ於^ニ因果不同ノ之過^カ。縦ヒ云ハ、辺際定^メ力持^テ令^レ不^レ滅^セ今マ問フ。辺定^メ為^レ大トヤ為^レ小トヤ。若シ其^レ小者小^{ナラハ}無^シ反易ノ之名^一。(朱筆)一變易生死ハ大乘ノ所談也。小乘ニ此義ナシ。小ハ生滅ノ教ニシテ未來常住

感ニ「惑」

「」。亦無_シ永常ノ説。若_シ言_ハ、大_ト者大ノ_ノ邊際ノ名_ハ唯_ニ在_リ等_{カク}覺_ニ。豈得_レ記_ノ之後_チ即_チ等_{カク}覺_{ナリ}耶_△。
〔朱筆〕
〔羅漢ノ得記ハ初住ノ成仏也。争_カ等覺ノ邊際「」ヲ言_フ〕

此…之…正藏三四・二四一中

又云。此_ハ是_レ大論_ニ龍樹菩薩_ハ假_リニ施_セル也。此_ノ問_一。欲_カ准_ニシテ大教_ニ具_ニ委_ク答_セント_ノ上_ノ故也。故_ニ答_一

文中_ニ云_{ヘリ}不_レト生_セ三_一界_一。況_ヤ論還_テ引_テ法花_一証_セリ之_△。
(六七丁表)

又…構…正藏三四・二四一下

又云。又若_シ反易不_レト出_レ界_ヲ言_ハ、而生_五道_ノ之言_ハ却_テ入_レ生死_ノ之説。驚_入火宅_ノ之喻_非ナリ_{涅槃}一_一。

日ノ文便_チ為_ニ虚_ク構_ヘタル_ニ矣_△。

当…正藏九・一〇中

偈云。当_レ来_レ世_レ惡人_ノ聞_レ仏_ノ説_一一乘_ニ迷惑_ニ不信_ニ受_レ破_レ法_ニ墮_レ惡_ノ道_ニ矣_△。

頌…正藏三四・六三中

疏云。頌_ニ上_ノ如_レ来_レ滅_レ後_レ解_レ其_レ義_者是人_ノ難_レ得_一ヲ矣_△。

有…正藏九・一〇中

偈云。有_レ慚_愧清_淨志_求仏_道者_当為_レ如_是等_△。広_讚一_乘道_矣。

頌…了…正藏三四・六三中

疏云。頌_ニ上_ノ若_レ遇_レ余_レ仏_ノ便_レ得_レ決_一了_一ヲ矣_△。

十五 問。当_レ世_ノ之_レ法_花宗_ノ之_レ所_レ立_レ為_ニ意_ノ擲_一是_レ管_見也。其_ノ故_ハ教_ハ分_レ八_万四_千ニ_有二_教門_一種_々不_レ同_一。何_ソ限_ニテ一_經一_仏ニ_謗スル_他經_他仏_一ヲ耶_△。

夫…虚…正藏四六・七二一上
取意

是_ヲ以_テ四_教義_一ニ_云。夫_レ衆_生ノ_根性_万差_教門_ニ有_ニ種_々不_レ同_一。經_云。自_從得_道夜_乃至_洄泥_夜所_レ

説_ノ之_レ法_皆実_ニシテ不_レ虚_ラ矣_△取_意。

義_云。抑_今難_ハ難_ニル_二仏_ノ經_ヲ歟_△。將_タ難_ニ行_者ヲ_歟。若_シ難_ニト_二仏_ノ經_ヲ云_者是_レ謗_レ仏_一〔_{六七丁裏}〕謗_レ經_一闡_提附_レ仏_ノ法_一。

外道也。对座尚ヲ以有レ恐。何ソ可レ及ニ論段ニ。若シ非ニ行者ヲ言ハ、行者不レ依レ經ニ自義ヲ為レ本ト得レ意如此難ル歟。

舍レ乘ニ正藏九・七下

經云。舍利弗汝等当一心信解受持レ佛語諸佛如来言無虛妄無有余乘唯一レ佛乘也。

舍レ也ニ正藏三四・五四上

文句四云。舍利弗ヨリ下第五ニ明ニ無虛妄ヲ者止ニ物ノ謗心ヲ。此ニ為レ三ト。初ニ勸レ信ニ釈迦ノ

實說ヲ。故ニ云フ汝等当一心信解受持レ佛語ト。次ニ勸レ信ニ諸佛ヲ。故ニ云フ諸佛言無虛妄ト。諸佛道同シ彌加マ信受ヲ。後ニ結ニ成ス不虛ヲ。故ニ云フ無有余乘唯一レ佛乘也。

加之略開ニ文ニ舍利弗当知諸佛語無異。於佛所說法。当生大信力世尊法久後。要当說真實矣。広開ニ舍利弗汝等当信佛之所說、言不虛妄矣。

如此文一經中多之。具ニ不可レ記ス。此等ノ文ハ但限テ法花ニ可レ信レ之ヲ佛勸信シ給也。

(六八丁表)經ニ云。唯我一人能為救護矣。信解品ノ之疏云。旧以西方等云云。記云云。如上。

此ノ經釈ノ文娑婆有縁ノ大導師限ニ釈尊ニ見タリ。山家大師此等ノ意ヲ定判シ給也。

明レ也ニ伝全三・二五三

秀句下云。佛說諸經校量勝五。明ニ知ス。天台所レ積ノ法花ノ之宗ハ釈迦世尊所立ノ之宗也。是レ諸ノ

如来ノ第一ノ說也。又於ニ諸經ノ中ニ最在ニ其ノ上ニ。大牟尼尊豈有ニ愛憎一。是レ法ノ道理也。足レ可レキニ

讚ス耳。天親論師為ニ說ノ無上ト良ニ有レ以也。天台法花宗ノ勝ニ於ニ諸宗ニ者ハ其所依ノ經ニ故ニ

不ニ自讚毀他一。庶ハ有智ノ君子尋レ經ヲ定レ宗也。

浅レ本ニ伝全三・二七三

又云。多宝分身付屬勝九。浅ハ易ク深キハ難シ釈迦ノ所判也。去レ浅ヲ就ク深キニ丈夫ノ之心也。天台

大師ハ信ニ順シテ 釈迦ニ助ニテ 法花宗ヲ敷ニ揚シ 震旦ニ 叡山ノ一家ハ相ニ承シテ 天台ニ助ニテ 法花宗ヲ弘ニ通ス 日本ニ矣。

然…哉 傳全三・二七八

又云。普賢菩薩勸發勝十 然ニ法花經ハ以テ常住仏性ヲ為ニ 咽喉(六八丁裏)以テ一乘妙行ヲ為ニ 眼目ト以テ再生敗種ヲ為ニ 心府ト以テ頭本遠寿ヲ為ニ 其ノ命ト。明知ヲ。玄讚ノ之家ニハ 死ニシテ 法花ノ心ヲ掩ヒ 法花ノ眼ヲ断ニ 法花ノ命ヲ割ニ 法花ノ喉ヲ。誰カ有レ智者不ニ驚愕セ哉。可レ不レ畏哉。可レ不レ畏哉矣。

照權實鏡云 法花一乘真實鏡第十

解…鏡 傳全三・一一

解云。諸仏法久後要當說真實ト者 現在ノ釈迦大師稱シテ 法花經ヲ為ニ真實ト。次ニ言ニ 如所說者皆是 真實ト者 謂ク過去ノ多寶如來稱シテ 法花經ヲ為ニ真實ト。次ニ言ニ 我等亦自是 真淨大法ト者 謂ク 顯未來ノ仏 稱ニシテ 法花經ヲ為ニ 真淨大法ト。次ニ言ニ 說大乘法花等 真實法教ト者 謂ク 天竺千部ノ論師 天親菩薩判ニシテ 法花ヲ為ニ 真實法教ト。拠ニ此ノ誠文ニ 三世ノ諸仏 天竺論師 四依ノ菩薩判ニシテ 法花ヲ為ニ 真實ト 故ニ以テ 為ニ 明鏡ト矣。

弘…海 傳全三・一一

同書奧書云。弘仁八年歲次丁酉二月九日 依陸奧仏性抄ニ判 法花(六九丁裏)為權上 且 依此ノ鏡ニ。伏シテ 願ハ 同法早ク息ニ 謗法罪ヲ 同ク入ニ 一乘海ト矣。

一義云。如レ難者 限ニテ 一經一仏ニ 謗ニ 捨スル 余經余仏之人ハ 僻事歟。若シ爾也ト云ハ、善導・法然ハ 僻事歟。

五…行 正藏八三・三 中

選撰云。五種雜行云。已上是仏也。

此…專||正藏八三・四中

又云。此文弥須ニ捨テ、雜ヲ修ス專ヲ云。

当…門||正藏八三・一七上

又云。当ニ知随他ノ前ニハ暫ク雖開ニ定散ノ門ヲ随自ノ之後ニハ還テ閉ニ定散ノ門ヲ云。

關…行||正藏八三・一八下

又云。關ニ聖道門ヲ選シテ入レ浄土門ニ。欲ハハ入レ浄土門ニ正雜ノ二行ノ中ニ且抛テ諸ノ雜行ヲ選シテ應レシ

歸ニ正行ニ矣。

以テ此釈ヲ校ニシテ法花ノ文ニ可見之也。

正…便||正藏九・一〇上
此…相||正藏九・三一下
是…差||正藏九・四三上

法花經第一云、正直捨方便云。又第四云、此經開方便門示真實相云。又第六云、是好良藥

乃…多||正藏九・五八中

今留在之汝可取服勿憂不差矣。又第八云、乃至受持一四句偈○功德甚多矣。

在世ノ提婆ハ謗レ仏ヲ滅後ノ得一ハ破ニ天台ヲ。今ノ法然等ハ毀ニ謗ス法花ヲ。罪ノ輕重可レ知之云云。
(六九丁裏)「諸宗准之可知之云云。」

天台宗難云、開會シテハ諸宗皆是レ一仏乘也。何ソ限シ一經一仏ニ耶。

示云。諸宗一仏乘ト開會シテ後可レト行ニ他經ヲ何ノ經何ノ釈ニ見タル耶。開廢俱時云云。如前。

十六 問フ。仏ノ在世尚ヲ説ク法花ヲ之時ニ失之人有ト之見タリ。爾者滅後モ可レ然ル耶。

如…後||正藏九・三一中

示云。經云。如来現在猶多怨嫉況滅度後ト云故ニ尤モ自リ在世ニ可レト甚カル見タリ。

比…千||正藏九・七下

難云。在世ニ三失ノ人ト者五千起去者是也。經云。比丘比丘尼増上慢、優婆塞我慢優婆夷不信、

如是四衆等、其数有五千等云云。

上…僻 正藏三四・五四中

文句四云。上慢我慢不信[※]四衆ニ通シテ有リ。但シ出家ノ二衆ハ多ク修シ道ヲ得レ禪ヲ謬テ謂テ聖果ト偏ニ

起ニ上慢ヲ。在俗ハ矜高シテ多ク起ニ我慢ヲ。女人ハ智浅シテ多ク生ニ邪僻ヲ矣。此ノ三失ノ人ヲ長行ニ釈シテ云ク、

去…損 正藏三四・四九上
今…遣 正藏三四・四九上

去則有レリ益○住スレハ則チ有レリ損矣。^{是モ文句ノ四也。妙樂ノ釈ニ非ス(朱)}今去^(七〇丁表)則チ有レリ益那ソ忽ニ令メン住セ。

住スレハ即チ有レリ損。那忽ニ不レラン遣矣。如ニ此ノ釈ノ滅後ノ三失ノ人ヲモ可レ令レ去ラ。何ソ強テ説レテ之ヲ令レ作レサ

謗ヲ耶。

示云。抑今時ノ三失ノ人ハ已謗ノ人歟、未謗ノ人歟。已ニ日本国一同ニ謗上ハ何ソ強テ説レテ之不レ作ニ

毒鼓ノ縁ヲ耶。在世ノ三失ノ人ハ未謗ノ人ナル故ニ仏令レ去玉ヘリ。

聞…益 正藏三四・二三二下

記云、聞[※]レテハ略ヲ不レ説セ。聞^レテハ広ヲ必ス説シテ。故ニ云フ去則有益[△]ト矣。

釈ノ前後上算有之。可見之也云。

十七 問。經云、諸仏所得ノ法ヲハ無量方便力ヲモテ而為ニ衆生ノ説[△]ト矣。若無ニ方便一者不得レ

説[△]ト法花^一ヲ。何ソ毀ニ捨スル方便ヲ耶。又何ソ如レク仏設テ方便^一而不レ説ニ法花^一ヲ耶。

衆…喜 正藏九・七下

示云。設ニ方便^一説ニ法花^一ヲ事是レ深位ノ振舞也。依テ不作事凡夫也。是ヲ以テ次下經云、衆生心所

念種々所行道若干諸欲性先世善惡業仏悉知是已以諸縁譬喩言辭^(七〇丁裏)方便力令一切歡喜矣[△]。

余…喜 正藏九・五二下

属累品云、余深法中示教利喜等云云。已上仏菩薩ノ化儀也

若…説 正藏九・三八上

安樂行品云、若有難問不為小乘法答但以大乘而為解説矣[△]。是レ凡夫始行ノ相也

若…答…正藏三四・一二二中

文句八云、若[※]見^レ無^ト大機^ニ而說^レ小^ヲ得^ニ方便^ノ益^ニ。若^シ不^レ見^レ無^ト大^ニ而說^レ小^ハ妨^ニ其^ノ大^ノ緣^ヲ。

等^ク是^レ不^レ見^ハ但說^ニ大^ヲ無^シ答^矣。

然…々…正藏三四・三三二上

記八云、然[※]弘^レ經^ヲ者隨^ニ其^ノ行位^ニ。若^シ始行^ノ者具^ニ如^ク今^ノ文^ノ不^レ以^レ小^ヲ答^ヘ。若^シ深位^ノ人^ハ

始末^ニ弘^レ法^ヲ必^ス以^ニ生滅^等ノ三^ヲ方^ニ能^ク顯^ニ於^ニ円頓^ヲ矣。

重難云、今^ノ經文^ヲ積^ルニ文句四云、隨^ニ欲^ノ之宜^ニ應^レ用^ニ世界悉旦^ヲ。隨^ニ性^ノ之宜^ニ應^レ用^ニ為人

悉旦^ヲ。隨^ニ惡業^ノ宜^ニ應^レ用^ニ對治悉旦^ヲ。現^ニ起^ニ希望^ヲ名^レ念^ト。法門^ノ不同^{ナル}名^ニ種々^ト矣。

方…稱…正藏三四・二四二中

積次上^ニ方便^從化主^ニ受^レ稱^ヲ矣。

今…矣…正藏三三・七六二上

玄六云、今^ノ時^ノ人弘^ルニ法^ヲ或^ハ一向^ニ用^レ大^ヲ、或^ハ一向^ニ用^レ小^ヲ皆^不得^ニ弘意^ヲ。善^ク弘^レ經^ヲ

者^ハ用^与適^時ニ。口^ニ雖^モ說^レ權^ヲ而^モ内心^ハ不^レ違^ハ實法^ニ。但使^シ衆生^ヲ得^ニ權實^ノ七益^ヲ於^ニ弘

經^一暢^矣矣。

此等^ノ積意^ハ隨^ニ物^ノ意^ニトモカウモ可^レ說^見也。如何。

示云。經^ノ積^ノ意^能化^ノ積^尊指^ス故^ニ難^ニ非^也。又見^ニ壽量品^ノ始終^ヲ醫師^ハ弁^ニ毒藥^ヲ其子^ハ不^レ念

悞^テ服^シ而損^ト自身^ヲ見^タリ。汝^不見^ニ法体^ノ權實^ヲ。況^ヤ機^ノ大小^ヲ耶。教機^共不^レ知^者何^ソ如^レ

仏^ノ可^レ說^耶。

亦…也…正藏三四・一二二上
「慢」脱

重難云、本難^不廢^セ。方便^ハ為^ニ法花^ノ大切^也。何^ソ謗^レ之^ヲ耶。是^ヲ以^テ文句八云、亦^不輕慢^ト

者^不下^倚円^ニ蔑^レ偏^ヲ重^シテ實^ヲ輕^レ權^上也矣。

不機 正藏三四・三二下

記八云、不倚円^ト等者仏尚^ヲ以^{ニテ}異ノ方便及^ヒ余ノ深法^ヲ用^テ助^{ニテ}正道^ヲ。後学ノ順^{ルニ}教^ニ豈可^ヤ固^ク違^ス。習^フ実^ヲ尚^ヲ微^{ニシテ}而^モ蔑^ニ偏^小。須^ク順^{ニシテ}仏^ノ旨^ヲ將^テ護^ス物^ノ機^ヲ矣。

何^ソ背^{ニテ}此^ノ旨^ヲ毀^ル方便^ヲ耶。

義云、抑毀^ル方便^ヲ人^ハ失也耶。經云、捨方便。又云、除仏方便。又云、但以^レ仮^ニ名^ヲ。又云、

不受余經一偈等云。無量義云、未顕真実。又云、終不得成無上菩提云。

得意云、今釈ハ安樂行品ノ釈也。此品^ハ但^ニ説^ク撰受^ラ故^ニ釈^モ随^テ撰受^ノ意也。委細至^ニ当分^ニ可^ク沙

汰^一也云。

鈍法 正藏九・七下

十八 經云、鈍根樂小法矣。付之何故^ソ樂小乘大又得苦得樂耶。

鈍也 正藏三四・五四下

示云、文句四云、鈍根樂小法^ト云^{ヨリ}者一行半^ハ結^ニ施權^ノ之意^ヲ。前世ノ根鈍^ハ今世^ニ無^レシテ機、不^レ堪^レ聞^レ大^ヲ。故^ニ言^フ不行深妙道^ト。前世ノ貪著障^リ重^キハ今世^ニ衆苦^ニ所^レレテ惱^サ唯^可聞^レ小^ヲ。故^ニ言^フ

為是説涅槃^ト也矣。釈意可^レ見云。

未乘 正藏九・八上

十九 經云、未曾説汝等当得成仏道○説大乘矣。文意如何。

示云、今經^ハ於^テ法花^ハ已^ニ不^レ至^ニ時機^一故^ニ不^レ説^レ之^ヲ云也。付之、法相宗難云、此文^ハ為^ニ三不

定性^ノ二乘^ノ不^レ説^ニ會^ニ二破^ニ一乘^ヲ云也。然^ニ今^ノ法花^ハ中道理同^ニ深^ニ密^ニ。故^ニ四十年前^{以前}説^レ

之ヲ也。上ニ既ニ舍利弗善聽ト云テ未曾說汝等ト説ク。故ニ限ト不定性ニ云事分明也。花嚴深密等ノ經ノ中ニ頓悟ノ菩薩凡夫大根性ノ為ニハ説ク之ヲ也。又密意ノ一乗ヲ説ク。是レ則チ今ノ法花也云。

花嚴宗ノ難准之一。

一義云、抑今ノ難ハ者汝カ祖師ノ難歟、汝私ノ難歟。若シ上古ノ祖師ノ難ト者、祖師難レケル誰ヲ耶。若シ

山家也ト云ハ、山家御答如何。山家詰テ捧ニ帰伏一云云。

夫…也 伝全三・一七

秀句上云、夫レ一乗本法ハ者待レチ時ヲ待レツ機ヲ。機熟シ時至テ仏乃チ説レ下フ法ヲ。仏待テ頓機熟スルヲ説レ下フ

一乗頓教ヲ○其レ大通仏ノ時説ニ下フ法花經ニ所化ノ衆生何ソノ但有レ小ノミ。其ノ十六ノ菩薩沙弥豈不ニ頓

悟ナラ哉。是ノ故ニ經ニ云、説是經時十六菩薩沙弥皆悉信受。明ニ知ヌ。麤食者不ト下ト為ニ頓悟ノ菩薩ノ

「者」原ナシ

而説上者未レ檢ニ法花ノ文ヲ失アリ。夫レ頓悟ノ機熟シテ頓悟時至レハ爾時ニ諸仏応レシテ機ニ説レ下フ頓悟ヲ。当レニ

知ル、法花經ハ機頓教頓是レ實是レ圓也矣。

若…也 伝全三・四七

又云、若シ言ハ、約シテハ不定性ノ之聲聞ノ人ニ説時未至ナリ不ト下ト頓悟トハ者、菩薩聞是法豈不ニ頓悟ナラ

哉。与諸菩薩豈不ニ頓悟ナラ也。

我…哉 伝全三・四九
「等」原になし

又云、法花經第一周ノ末ニ帝釈梵王無數ノ天子領解シテ云ク。我等從等昔來數聞世尊説未曾聞如

是深妙之上法已上。當レ知、是ノ無數ノ天子ハ皆是レ菩薩也。言ニ我等從昔來數聞世尊説ト者、謂ク法

花ノ之前ノ方等十二部經摩訶般若花嚴海空ナリ。言ニ未曾聞汝是深妙之上法ト者、謂ク内證ノ法花經也。

又經ニ云ニ我等亦如是必當得作仏ト者、豈不ニ直道頓悟ノ諸大菩薩等ニ哉。

其：級_レ傳_レ全_三・四六
法經_レ原_レ「法華經」

問下云、其_レ妙法經_ハ内證_ノ本法_{ナル}故_ニ留_レテ教_ヲ待_ツ機熟_ラ。其_レ花嚴等_ノ諸經_ハ隨宜_ノ說法_{ナル}故_ニ隨_レ機_ニ不_レ待_レ時_ヲ。待_時不_待時_ト其_ノ義最_モ不_レ同_ラ。本地本法_ト「隨宜說_三」_ト。何_ソ得_レ無_レ級_」_△矣。

已上。此段文集在_二別紙_ニ。世尊法久後_ノ下_ニ注_之了。

一義云、如難者仏說_ニ正_ク於_二法花_一已前_ニ者為_二頓悟等_一一切_ノ不_レ說_」_(七三丁表)法花之前有_{アラ}如何。無量

義_ニ八万_ノ菩薩爾前法花相對_{シテ}問_ニ同異_ラ之時_ニ仏答_ニ委細如常_ノ云。

爾：說_レ正藏九・三一中

又經第四云。爾時_ニ仏告_ニ葉王菩薩_一○從昔已來未曾_レ顯說_」_△矣。

我：一_レ正藏九・三四中

又宝塔品云、我_ニ為_ニ仏道_一於_二無量土_一○此經第一_」_△矣。此文多_ニ寶菩薩十方諸仏_一中_ニ說_レ玉_フ文也。

示云、至_テ我昔從_ニ仏_一所_ニ可_レ沙汰_之也

一義云、中道理同何強_レ謗_ニ法花_一耶。

一義云、說相得益等同歟。

付_ニ此文_一、天台宗_ノ難_ニ有_二存_一。一_ニハ_ニ爾前法花_一円_ニ體_{ナル}故_ニ於_二爾前_一說_ニ法花_一云。二_ニハ_ニ爾前

所說_ノ不_待時_ノ法花_ト者、今_ノ第五時_ノ法花_是也。

明：時_レ正藏三四・四七下

文句四云、明_ニ待_レ時_一不_待時_一者、爾前_ニ不_レ悟_ラ必_ス待_ニ法花_一悟_ル者_ヲ名_テ為_ニ待_レ時_一。法花_ノ前_ノ教_ニ已_ニ解_レル_者名_ニ不_待時_一。何_カ故_ソ爾_ル。仏_ニ有_二顯密_一ノ_二說_一。若_シ顯說_ヲ為_セハ論_スルコト_ヲ法花_ノ之

前_ニハ_ニ乘_レ未_レ悟_ラ大道_一。要_{ラス}須_ク五味_ヲ以_テ調熟_シ會_スルコト_ヲ在_ニ法花_一。故_ニ云_ニ說_レ時_一未_至故_今正是_」_(七三丁裏)

其_レ時_{決定}說_レ大乘_一。此_レ即_チ待_レ時_也。若_シ密教_ヲ為_レ論_スルコト_ヲ未_レ必_シモ具_ニ待_レ五味_一在_ニ法花_一方_ニ會_セ上_」

若…也 正藏三四・四八上

爾前ニ密ニ有ニ入ル者ノ。故ニ名ニク不待時ト。此レ乃チ大ニ判ニスルナリ時不待時ト。

又云、若シ就テ三周二亦タ是レ待時不待時アリ。迹本ニ門ニ亦是レ待時不待時アリ。致レ有ニコトヲ前
後ニ悟入スルコト即此ノ意也矣。

示云、第一難者如ニ爾前円ノ開未開ト。第二難者是レ不待時法花トテ正ク法花已前ニ説ト之ヲ云經
文無レハ之者、大師ノ御釈ハ用否可レキ依レ時ニ也。又法花已前ノ大小諸經ニ是コソ不待時ノ法花ヨト云
説文并結集ノ訳釈等ノ加言無レハ之者置テ且ク不可レ論レ之ヲ也。今ハ四教八教ニ定マテ而判ニル權
實ト故也。抑不待時ノ人ハ誰レ人有リケル。其人ニテモ出シテ可レキ難也。今マ法花一部ノ始終ニ
所レ挙ル仏菩薩ニ乘凡夫等ハ都テ法花已前ニ不説カ之法ト治定シ玉ヘリ。

從…也 正藏三四・六二中

スレセ

文句四云、從ニ我即作是念ニ下二行一句ハ明ニス障リ除ケハ仏喜ト出玉ヘリ。昔ハ
障リ重ク無レハ機不レキト得三即チ説玉フコト。仏惠ト中間ハ雖モ障除ケケリト又未得レ説コトヲ。今マ機發スレハ正ク
(七四丁表)

レハル

是レ説時ナリ。昔ハ衆生ノ根鈍ニ智小ナレハ恐ル其ノ謗シテ法ヲ墮レセンコトヲ惡ニ。故ニ未タ是レ説ノ時ナリ。今マ根
利ニ志大ナレハ聞テ必ス信解シナン。故ニ仏歡喜シ玉フ。無畏ト者不レ畏レ執レシテ小ヲ謗シ大ヲ起レシテ罪ヲ墮レセンコトヲ
惡ト。故ニ言フ無畏ト。於諸菩薩中ヨリ下モ三句正ク顯実ヲ也。五乘是レ曲ニシテ而非レ直ニ。通別ハ偏
傍ニシテ而非レ正ニ。今マ皆捨テ、彼ノ偏曲ヲ但説ク正直ノ一道ヲ也矣。

法…也 正藏三四・四八上

「是」脱

文句四云、法花之前ニ二乘未悟ニ大道ヲ要ラス須ク五味ヲモテ調熟シ會スルコト在ニ法花ニ。故ニ云ヘリ説
時未至故今正是其時決定説大乘ト。此レ即チ待時也矣。

此等ノ釈ハ為三二乗ノ説ト第五時ノ法花ヲ釈ル也。如何。

示云、釈ノ趣不ス一偏ナラ。中ニ就テ一代聖教皆是レ為ト鹿苑證果ノ声聞ノ云配立アリ。約ニシテ此方ニ釈ル時ハ如ニ今釈一也。雖然ト約ニシテ菩薩ニ不レルニ云ハ説時未至故ト非ル也。況ヤ法花經ノ説相迹門ニハ先トシ二乗ヲ本門ニハ先ト菩薩ヲ見ヘタリ。然共迹門ニモ為三二乗」菩薩ノ説ニ説時未至ト方有之。
今ノ釈ハ約ニ二乗ニ筋也云云。

問…捨||正藏七四・二七〇下

天台法花宗義集云、序ノ下ニ云、比叡山延曆寺付前入唐受法沙門伝燈大法師位義真奉。詔譯。此書二十一ノ段ノ大章アリ。今ノ文ハ第三一乗義下ノ釈ナリ。問フ。如是妙法ヲハ

当ニ速ニ説ク。何故ソ成道ヨリ以後四十余年ニテ不ニ務テ説カカ耶。答人未堪ヘ故。時未至ラ故。成

道已後四十年於テ一仏乗ニ分別シテ説クニト。問フ。有ニカ何ノ因縁一今マ始テ説ク実ヲ。答フ。今ハ人堪ルカ

故ニ時キ已ニ至ルカ故ニ説ク独妙ノ一乗ヲ。問フ。此經ノ一乗ト与ニ花嚴勝鬘等ノ一乗ト同異云何シ。

答フ。名同義異也。問フ。義異云何シ。答フ。花嚴勝鬘等ノ一乗ハ帶ニルカ方便ヲ故ニ法花ノ一乗ハ捨ニルカ方

便ヲ故ニ義異ナリ。義異ルカ故ニ所觀異ナリ。問フ。帶ニルカ方便一与捨ニカ方便一如何。答フ。一カ

外ニ存レシニヲ。是ノ故ニ云レフ帶ト。一ノ外ニ無シニ。故ニ名テ為レ捨ト。

法花論撰論也*

又云、一ニ論同使ニ定性ノ二乗ヲシテ入ニ一乗ニ故○法花論云、決定ノ声聞根未レ熟セ故ニ仏不レ与レマ

記ヲ。撰論云、法無我等ノ故蜜意説ニ一乗一。○既」云ニ根未熟ト。定テ知ヌ当熟。又撰論ノ意者可

成之時未至ト。記前之意預施ヘシ。故ニ云ニ蜜意ト。非レ謂ニ不成ト。又彼論云、已定ル根性一声聞ハ

更練シテ根性為ニルカ菩薩ト故ニ。明ニ知ヌ。定性ノ二乗モ成仏ス。凡ソ稟レケ形ヲ含メル識ヲ皆有ニリ覺

二…惠||正藏七四・二七〇下

性一。何ル男何ノ女カ独トシテ不ニ成仏セ。若シ信ニ皆成仏ト者毘盧ノ之果可レ歛ツ。若シ諍ニ成不成一者阿鼻ノ之因可レ怖。円経円論頗ル集ニ此章ヲ。若シ読誦同ク期ニ仏惠[△]。

十…説||正藏九・八上

二十 経云、十方仏土中○除仏方便説[△]矣。

不…実||「守護章下之下」伝全二・六四四

法相宗難云秀句上、不[※]依^レ定^ニ性^一ニハ。惣相蜜意ニ云ニ唯一仏乘無ニ亦無ニト。故ニ是^レ權^ニシテ非^レ実^ニ矣。

入…仏||伝全三・三三三

示云、秀句上云、入位ノ定性歴劫ノ菩薩ハ、法花ノ所被^也。是ノ故ニ経ニ云ニ菩薩聞是法疑網皆已除○悉亦当作仏[△]矣。法花論文也。

一…道||伝全三・三七

又云、一切ノ声聞皆ナ有^下可^レキ^レ轉^レシテ小ヲ為^レル大^ニ義^上論^文。当^レ知^ル入位ノ定性ノ鷺子迦葉等聞ニ究竟ノ一乗受^ク成^レ仏ノ授^レ記ヲ。法花ノ之義ト与^ニ天親ノ論^一同^ニ無^レ異。明^ニ知^ヌ。法花一乘経ハ引^テ入位ノ定性^ヲ令^レム^一趣^ニ一乘道^ニ矣。^(七五丁裏)

義云、法花已前ニ為^ニ頓悟^ノ説^トイハ、唯一乘法花^ヲ其^レ歴劫ノ頓悟歟、直道ノ頓悟歟。

為…乱||伝全三・三七

秀句上云、為^ニ頓悟^ノ説^ハ是^レ実教ノ撰^者其^ノ頓悟^ハ者^為ニ歴劫修行ノ頓悟^トヤ為^ニ直至道場ノ頓悟^トヤ。若シ言^ハ、歴劫修行ノ頓悟^ト者、是^レ実教ノ撰^ト云コト不^レス^レ応^ニ道理^一。其^レ歴劫修行ハ未^レ顕^ニ真實^ノ故^ニ未^レ捨^テカ

方便^ヲ故^ニ何^ソ稱^{セン}実教^ト。若シ言^ハ、直至道場ノ頓悟^ト者即是^レ法花^{ナル}故^ニ其^ノ法花ノ教^ヲハ者^ハ鹿食固^ク為^ニ權教^ト。豈^是レ^レ実教ノ撰^者哉^{ナラシヤ}。若シ言^ハ、歴劫直至^ハ同大乘^{ナル}故^ニ名^テ為^ニ頓悟^ト是^レ実教ノ撰^者溪水

及ヒ海水鹹淡各ノ不同也。何ソ為ニ一ノ頓悟ト。權実全ク雜乱[△]セリ。

一義云、今經ヲ說ト爾前ニ云者、何ノ部ニ正ク說レク之ヲ耶。

鹿：權 || 伝全三・三八

彼云、花嚴等ニ正ク說レ之云。今マ云ク、是レ山家問答也。秀句上云、鹿食亦[△]云下、花嚴ニ為ニ頓

機^{フカク}ノ直爾^ニ深說^ト中甚深ノ之義ヲ者、為ニ因分ノ甚深トヤ。若シ言ハ、因分ノ甚深ト者未顯

真実也。兼^ニタルカ方便^ニ故^ニ半權半実也。何ソ一向実ナラン。若シ言ハ、果分ノ甚深ト者、花嚴ノ之時^{キハ}

未^レ說^ニ果分^ヲ。雖^レ說^トト^ト仏ノ不思義如来ノ相海等^ニ然^レ是^レ形對ノ之果也。故^ニ地論^ニ云ク。因分可說果分

不可說ト。果分ノ經ハ即唯一仏乘也。花嚴雖^レ說^トト^ト仏乘^ニ行不^ニ唯一^ニナラ。故^ニ名^ニ兼權^ト也。

一義云、四十年前以前說カハ法花經ヲ者、何ソ必指^{カナラス}シテ第五ノ法花ヲ強^ニ云^ニ權教ト耶。是^ハ鹿食者^ヲ誘^ニシテ法

華ヲ為^レ權破ル也。

鹿：權 || 伝全三・三三

私云、惣秀句文ノ前後ヲ能々可見也。所以秀句上云、鹿食者^ニ理ノ之中^ニ初メ誘^ニシテ法花ノ理^ヲ

曰ク、所^レ言^フ理^ト者方便品^ニ云ク、十方仏土中唯一乘法無^ニ亦無^ニ三除^ニ仏方便說^ニ已上。鹿食者以^テ

自^カ道理^ヲ會^ニシテ法花^ヲ云ク、此ハ約^ス不定性^ノ二乘^ノ遂^ニ作^ニ仏^ニスルニ。故^ニ云^フ無^ニ亦無^ニト。不^レ依^ニ不定性^ニハ。

惣相蜜意^ニ云^フ唯一仏乘無^ニ亦無^ニト。故^ニ是^レ權^ニシテ非^ス実^ニ已上鹿食者語。此ノ會不^レ應^レ理^ニ。何ヲ以^テノ故^ニ。

法花一乘^ト者通^{シテ}被^ニ二乘^ニ故^ニ。退位ノ不定^ハ法花ノ之前^ニ入^ニ一乘^ニ故^ニ。入位ノ定性、歷劫ノ菩薩^ハ

法花所被^ノ故也。是^ノ故^ニ經^ニ云^フ菩薩聞^ニ是^レ法疑網皆^ニ已除^ニ千二百羅漢悉亦^ニ当作^ニ仏^ト。撰論ノ初ノ頌^ハ

不^レ指^ニ法花^ト故^ニ。法花一乘^ハ究竟ノ故^ニ。已^ニ定性練^レシテ根^ヲ為^レ大^ト故^ニ。是^レ実^ニシテ不^レス

權[△]文。

守護章下之下可見也與同秀句^云。

二十一 經云、十方仏土中○説仏智恵故矣。是ハ教一ノ文段也。

此ノ教一ニ有^リ二ノ意一。爾前ノ円ハ法花ノ円ト同。是レ仏恵ナル故ニ。不^レトモ開^セ自ラ是^レ教一也。
三教ハ是^レ籠ナレハ開シテ是^レ教一也。

義云。爾者爾前ノ仏恵ト法花ノ仏恵ト全体是一也耶。

彼云。大段中道ノ理ハ是^レ同ナレハ汝カ大師天台云、初後仏恵円頓義齊矣。

示云、汝用^ニ天台等^一ヲ歟。若^シ用^ト之^ラ云ハ、抑今ノ釈約教約部ノ中ニハ如何。又開不開ノ中ニハ何ノ仏恵^ゾ耶。

仏^ニ耳^ニ正藏三四・一五一中

記一云、[※]仏恵ノ之言須^ク開^シ三教果頭ノ之權実^ヲ廢^中四味兼帶ノ之大小^上。則^チ人理教行ノ之有^レ帰、開示悟入ノ之無^レ異。方^ニ是^レ今經ノ之仏恵^{ナラク}耳矣。

如^ク釈^ニ者汝^カ依^テ經ノ^一仏恵^ニ正^ク有^ニ此^ノ功能^一耶。正^ク有^レ之^云ハ、何^ノ処^ニ説^ク施開廢^一耶。

一義云、若^シ天台宗ノ難ナラハ今所^レ引者約教ノ釈也。就中当^レ処ノ釈ニ当^レ知^ニ三教悉皆被^レ会^ト除^ク円^ヲ故^ニ正^ク約教ノ釈等也。約部ノ時ハ四味^ヲ房^ヲ開^ニ会^ス之^ヲ如^ニ前^々一。又經ノ次下ノ文ニ云、唯此一事実余二則非真矣。

若…說…伝全二・七七

大師引_{ニテ}此文_ヲ大綱ノ三教ヲ證ス。如_レ前々_一云。已上。此ノ三算如_レ爾前ノ円開未開_一也云。

守護章中之中云、若_シ論_ニハ実義_ヲ者唯有_リ名字章句言說_一。故論_ニ云_ク彼ノ二乘者唯有_リ名字章句言說_一矣。

仮名字ノ諸文ハ品題ノ下ニ注之。

有難云、爾前法花ノ二經所說ノ一乘全_ク是_レ一也。其ノ故ハ共ニ唯一_ニ仏乘無_ニ二亦無_ニ三ト說クカ故也。是_ヲ以_テ大通方広懺悔滅罪莊嚴成仏經下卷云、過去并未來十方及_ヒ現在唯有_ニ一_ニ仏乘_一無_レ二亦無_レ三矣。如何。

文…異…正藏九・三八六中字…原「辭」

義云、無量義經云、「文字雖_一而義各異_一」。

終…貪…正藏九・八上

二十二 經云、終不以小乘濟度於衆生仏自住大乘如其所得法乃至若以小乘化乃至於一人我則墮慳貪矣。

付之、有難云。法花已前諸經ヲ小乘也ト云テ無得道ト云事甚_ク愚也。其ノ故ハ今文ハ正_ク非_ニ小乘_一、仏意ハ大乘_ニテ教化_シタリシ也ト誓狀_ニテ有_リト見タリ。如何。

示云。此難ハ天台宗ノ人モ爲_レ破_ニカ当_一家_一難_レシ_シ之_ヲ事度々有_之。然_ニ甚_ク愚癡ノ難也。雖_レ不_レ及_ニ返答_一粗示之。

一義云。如_レ難者、何_ソ仏無量義ノ時_キ四十余年所說ノ諸經ヲ挙_テ未顯真實方便歷劫ノ法也ト說_{玉ケル}

耶。又同ク大乘ノ一法ナラハ何ソ惱シテ開レ之方ニ云ニ仏惠一耶。

一義云。汝存シテ大乘ト住ニ爾前ヲ謗ニ法花ヲ耶。

有重難云。法花ニ多ク爾前ヲ斥ヒ説ハ當教ノ猶ヲ斥フ也。故ニ法花ニ方便ト云ヒ、或ハ未顕ト云ヒ、或ハ

除仏方便説ト云ヒ、(七八丁表)惑ハ捨方便ト云ヒ、或ハ不受余經ト等云ハ為レ破レ執ヲ也云云。

義云。如レ難者爾前當教ノ執ヲ於ニ法花ニ被レ捨之ヲ云条ハ勿論コサンナレ。然ニ汝何ソ尚ラ信ニ爾前ヲ耶。若シ破レセハ執ヲ正直ニ可レ捨ツ。其ノ執ト者其教也。爾前經ト者隨情ノ法ナル故ニ皆是レ執也云云。

伝云。今マ当家ニ法花已前ノ八教四時ノ頓漸ノ諸經ヲ房テ名ニテ小乗ト開ニ會スト之ヲ云義ノ所詮ハ今ノ終不以小乗ノ文也。其ノ故ハ文唯一ト者法花也。余ニト者頓漸ノ二教也。次ニ小乗ト者上ノ指ニ余ニ頓漸ト住大乘ト者指ニ上ノ唯一ヲ也。

若…也 正蔵三三・六八三下
是以テ玄一云。若シ會レシテ小ヲ歸スルハ大ニ是レ漸頓混合也。故ニ無量義ニ云ク。漸頓ニ法三道四果不

合セ。今ノ時キ則チ合ス。即チ此ノ義也。

如…結 正蔵三三・八二四中
籤一云、如ニ疏ニ云カ開ハ為ニ合ノ序、無量義ニ既ニ重テ序前ノ開ヲ、不レシテ久ラ必ス合ス。譬ハ如ニ算者ノ下シ已テ必ス除一スルカ。今時合ト者今ノ文更ニ以テ法花ノ意ヲ結ス矣。

若…合 正蔵七四・二八四下
授決集云、若シ准ニセハ大旨ニ指ニシテ頓漸ヲ為レシ小ト非頓漸ヲ為レズ大ト。故ニ云フ會小歸大是頓漸混合ト文。

經釈炳然也。可秘之。」

(七八丁裏) 又云。抄ノ第四卷第十算ノ下可合之也。

若：悪ニ正蔵九・八上

二十三 經云、若人信歸仏如来不欺誑亦○断諸法中惡矣。何ソ云ニ無間獄ト耶。
義云、抑説ク若人信歸仏トハ汝カ信ル阿弥陀敷、若シ釈迦也ト云ハ、非レ難ニ。

頌ニ勸信ト

初ニ挙レテ果ヲ勸信ス

初ニ挙ケ内心ヲ 若人信歸仏○而独無所畏矣

二ニ明ニス外色ヲ 我以相嚴身○為説実相印

二ニ挙レテ因ヲ勸信ス

異ニ畏

初ニ挙ケ昔誓ヲ

舍利弗当知我本立誓願欲令一切衆如我等無異*

二ニ明ニス願滿ヲ

如我昔所願今者已満足化一切衆生皆令入仏道矣

若：受ニ正蔵三四・五五上

文句四云、若人信歸仏如来不欺誑者明ニス仏心清淨ナルコトヲ。無明慳慳ノ衆惡已ニ断テマヘリ。淨心ノ

中ノ説也。故ニ是レ可レ信ス。我以相嚴身ト下一行ハ明ニス外色ヲ。身相炳着ニシテ光色端嚴也。内ニ無ク闇

惑ニ外ニ有ニレハ光明ニ則チ口ニ無シ欺誑。為レ衆ノ所レレテ尊ミ説ニ大乘ノ印。則チ可レ信受ス矣。

示云、念仏真言等己仏ヲ執シ』(七九丁裏) 謗ニ余仏ヲ之条如ニ前々云云。今文ニ若シ人信ニト釈迦者可レ信法

花一見ヘタル也。經釈共可思之云云。

一行阿闍梨等

三藏綱目集

三井寺持

有人云此書伝教御書也

三藏四門ハ大日出生ノ四門也。是ノ故ニ実理也云云。問フ、三藏学ニ四十二字門ヲ耶。答フ。学也。

問。其方如何。答。大日出生四門ノ故ニ学レ之ヲ云云。

一書云。三藏四門久成大日生処機前藏田ニ教有差別証前俱大日四門故無差別也云云。

一書云。久成大日前後無比四教無差別也云云。已上文了。

私云、此ノ釈ハ何人ノ作ニテモ有レ藏通ノ四教ノ教主ハ大日如来ト釈スル故ニ大日釈迦一躰ト見ヘタリ。

二十四 問フ。今經ノ意説ク印真言ヲ耶。

示云。弘法慈覺等ノ意不レ説ク印真言一云云。然ルニ当家ノ意可レ説ク之ヲ也。其ノ故ハ(七九丁裏)諸仏ニ必ス有二三

密一。五仏ノ三密無妨無碍ノ力豈不レ説ク身密一耶。若シ強テ不レ説ク之ヲ云ハ、手ナヘ口フサカリ、ヲ

シナル仏等可有之耶。サレハ伝法院ノ正覚房カ云ク。驢牛ノ二身ハ不能レ扶レニ車ヲ、乃至顯乘ノ四法

不レト堪レ探レ履ヲ等書ルハ五仏同ク身ナヘ所説ノ法花ハ手ナヘタル仏經ト謗タル筆也。真言亡国無

間ノ根元是也。抑真言ノ教主大日ハ惣諸仏并三世ノ諸仏ノ内歟外歟。若シ外ト云ハ、文証如何。若内

ナラハ此筆ハ自害也。已ニ教主ヲ身スクミ手ナヘタル仏ニ成ルカ故也。

我…説||正蔵九・一五中

是…身||正蔵九・三九三上

伝云、今付テ此ノ一段ニ与奪ノ二義有レ之。法花ハ諸法ノ根源ナル故ニ三密ノ本法ナレハ印真言ノ本法ハ法花経也。是ヲ以テ今文ニ無量衆所尊為説実相印ト者是也。譬喩品云、我此法印為欲利益世間故説矣。普賢経云、是大法印印涅槃海如此海中能生三種仏清浄身矣。知ヲ。法花ノ印ハ能生ノ印也。』他(八〇丁表) 経ノ印ハ所生ノ印也。

次ニ奪テ之者ハ、法花ハ仏果ノ当躰ヲ説キ顯ス故ニ事新ク不可レ説レク印ヲ也。諸法実相十界三千只一念ニ有レ之。仍テ三千ノ当躰皆是レ無作ニ身也。説ニ是法住法位世間相常住ト当位即妙トモ釈ル此意也。当躰ノ蓮花可レ思之。故ニ知ヲ。真言三部経ニ所レ説ク印真言ハ權教方便ノ故ニ印ノ名言計ヲ説キテ其ノ本有ノ妙躰ノ真実ヲ不レ説カ也。然レハ真実ノ印ハ但限ル法花ニ也。然ルニ当世ノ真言師背ニ法花ノ本印ニ信ニシテ有為無常ノ權印ヲ帰テ毀謗ル故ニ亡国無間ノ業ナル条又理詳也。

異本「学」に「マネヲスル」とルビ

以…説||正蔵九・五二上
「示」脱

一…果||正蔵三三・六八四中

又示云。爾前ノ諸経ニハ不レ説ニ成仏ノ法ヲ故ニ一切ノ衆願ニヒテ仏道ヲ仏ノマ子ヲスル故ニ仏且ク事相ノ印契ヲ説玉ヘル也。今経ニハ説ク本有無作ノ本法ヲ故ニ不レ為ニ事相ノ印契ヲ旨ト也。例セハ如ニ民ト貧人トノ国王ト長者トノ学ト。他経ノ意如此。今ノ経ハ直ニ国王長者ノ位也。何ソ印ヲ為レ旨ト耶。』(八〇丁裏) 経第七云、以要言之如来一切○宣示顯説矣。 玄一云。一切法ト者權実ノ一切ノ法皆撰セラル也。此ハ証ニス経ノ名ヲ。一切自在神力ト者内用ヲ名ニ自在ト外用ヲ名ニ神力ト。即チ証レ用ヲ也。一切秘要之蔵ト者非レハ器ニ莫レ授コト為レ秘ト正躰ヲ為レ要ト。多レトモ所ニ含容スル而モ無ニ積聚一名レ蔵ト。此ハ証レ躰ヲ也。一切甚深之事ト者実相ヲ名ニ甚深ト、為ニ実相ノ

修スルヲ因ヲ名ク深因ト究ニ竟スルヲ実相ヲ名ク深果ト。

一…也。正藏三三・八二六下

籤一云、一切ノ之言ハ即チ權實相ト撰ス。相ヒ撰スカ故ニ除コト疑等ヲ方ニ遍即チ自在神力ナリ。具ニ含シ三

千ヲ通シテ撰ス三德ヲ。故ニ名テ為ス藏ト。爾前ハ非レレハ器ニ不ス授ニ斯ノ要ヲ。甚深ノ事ト者ト因果ヲ名レ事ト實相ヲ名レ深ト。是レ實相カ家ノ之因果ナリ。名ク甚深ノ事ト。若シ非レハ此ノ因果ニ則チ非レ今經ノ宗ニ也。

經七云。藥王十喻云。

日…在。正藏三三・六八四下

玄一云。日映ニ奪シテ星月一令レ不レ現セ故ニ法花ハ弘レ迹ヲ除カ方便ヲ故ニ輪王ハ於テ四域ニ自在ナリ。釈

王ハ於テ三十三天ニ自在也。大梵ハ於テ三界ニ自在也。諸經ハ或ハ於テ俗諦ニ自在也。或ハ於テ真諦ニ自在也。

或ハ於テ中道ニ自在也。但是レ歷別ノ自在也。非ニ大自在ニ。今經ハ三諦ニ融シテ最モ得ニ自在ニ矣。

此等ノ經釈ノ文ニ分明也。今經ニハ自在神力座。何ソ小事タル印契無之耶。但シ經ニハ委細ニ不レ說之云フ難ハ事相ノ印契ハ今經意目出キ事相ノ上指タル要事無故也。若シ印契是全ク要ナラハ今經ノ十神力并無量ノ神力ハ皆從三業ニ現レ之ヲ。何ソ小事ノ印契難說故不レ說之耶。

此等ノ大段ノ道理ヲ能ク心得テ問答ノ時ハ隨レ時ニ口作ス者也。

尋云。釈迦大日一仏歟別仏歟。抄ノ第四我此法印ノ下可見之也云。

示云。弘法ハ別仏也云。慈覺等ハ同異云。然ニ可キ一仏ナル勘文等如ニ真言聞書ノ。今經ニハ二

処ニ勘文スル也。一処ハ普賢經ノ釈迦牟尼仏名毘盧遮那ノ文也。一処ハ今ノ品ノ惠日大聖尊ト云是也。可レ秘レ之云。

他…可…伝全三・二七七

他…經…伝全三・二七七

秀句下云。他宗所依ノ經ニハ都テ無シ此ノ印可一。天台法花宗具ニ有リ此ノ印可一云云。』
(八一丁裏) 又云。他宗所レ無但在ニ此經一矣。

一義云。本体義也。法花經ニ無ト印真言一存ル故ニ謗ル法花ヲ歟。若シ爾也ト云ハ、抑惣シテハ顯

密ニ教、別シテハ真言ノ三部經并法花經乃至三世十方ノ諸仏菩薩四依ノ論師人師等ノ中ニ法花

經ニハ無レハ印真言一謗レセヨト之ヲ斥ク所有レ之耶。

天台真言難云。

如…碍…正藏三三・六八三下

玄一云。如来於レテ法ニ得ヘリ最自在一。若シハ智若ハ機若ハ時若ハ処。三密四門無妨無碍也矣。

身…設…正藏三三・八二五上

籤一云。身口意密隨ニテモ何ノ四門ニ無碍自在也。適レテ時ニ称会シテ皆無ニ虚ク設一クルコト矣。

是レ秘密不定ヲ釈ル文也。故ニ知ヌ。法花已前ノ如来ニ密非ニ未顯真実ニ也。如何。

義云。如難者、大日經等ノ秘密ハ八教中ノ秘密歟。

余…也…正藏三三・七五五上

玄六云。余經ハ非ニ秘密ニ法花ヲ為ニス秘密一也云云。

言…密…正藏三三・九一〇中

籤六云。言ニ秘密ト者非ニ八教中ノ秘密ニハ。但是レ前ノ所レ未説カガ秘ト開シレハ無レ外為レ秘密ト矣。

發…妙…正藏三三・六八一上

玄一云。發ニ秘密ノ之奥蔵ヲ。称レシテ之ヲ為レ妙ト文。』

發…龜…正藏三三・八一八中

籤一云。發ト者開也。昔ハ秘シテ而不レ説カ。故ニ部皆ナ属レ龜ニ矣。

問。今ノ經ノ意説ク秘密真言一耶。

示云、弘法慈覺等ハ法花ハ顯教ノ故ニ不レ説カガ秘密一云云。

今マ云ク、諸仏内証ノ秘密ハ不レ説ニカ他經ニ。但限ニテ法花ニ説レク之ヲ也。真言經所説ノ秘密ハ者一ハ權

教方便有名無実ノ秘密也。二ニハ隱密ニシテ非ニ深密ニ。三ニハ二乘惡人等不成仏ノ秘密シテ全ク

非ニ成仏ノ秘密ニ云。

〔法華ノ法華秘密ノ文〕(朱書)※

經云。汝等舍利弗聲聞及菩薩當知是妙法諸仏之秘要矣。

四…也 正藏三四・六三上

文句四云、四十余年蘊在ニ仏心ニ。他無ニ知ル者一名テ為レ秘ト。一乘ノ直道惣シテ撰ニ万途ニ故ニ言レ

要ト也矣。

結…実 正藏三四・六三上

又云。結ニ秘要ヲ。明下此ノ法ハ如是ノ先ツ以ニテ万億ノ方便ヲ然シテ後ニ乃チ示ト云コトヲ真実ト云フ矣。

藥…説 正藏九・三一中

法師品云。藥王此經是諸仏秘要之藏○從昔已來未曾顯説矣。

文…藏 正藏九・三九上

安樂行品云。文殊師利此法花經諸仏如來秘密之藏。

如…藥 正藏九・五二上

神力品云、如來一切秘要之藏」○皆於此經宣示顯説。

大論云。法花ハ是レ秘密有ニ一乘作仏一故ニ如ニ以レ毒為レ藥ト矣。

此…堪 正藏三四・三〇五中

記八云。此ノ流通ノ初ニ先ツ告ニ八万ノ大士ニ者大論云。法花ハ是レ秘密ナレハ付ニ諸ノ菩薩ニ。如ニ今ノ

下ノ文ニ召ニ於下方ニ尚ヲ待ニ本眷屬ヲ。驗シ余ハ未レ堪ヘ矣。

良…也 正藏三三・七五五上

玄六云。良医能變レテ毒ヲ為レ藥ト。二乘ノ根敗不レ能ニ反覆一スルコト。名レテ之ヲ為レ毒ト。今ノ經ニ得レ

記ヲ。即是レ變レテ毒ヲ為レ藥ト。故ニ論ニ云、余經ハ非ニ秘密ニ法花ヲ為ニ秘密ト也矣。

言…密 正藏三三・九一〇中

籤六云。言ニ秘密ト者非ニ八教ノ中ノ秘密ニ。但是レ於所ヲ未レ説カカレ秘ト開シ已レハ無レ外為レ秘密ト矣。

已上法躰秘密也。

汝：劫||正藏九・四二中

「法華ノ教主秘密ノ文」(朱書)※
壽量品云、汝等諦聽如来秘密神通之力○我実成仏已来無量無辺百千万億那由他劫矣。

一：密||正藏三四・一二九下
三||一

文句九云。一身即三身名為密、三身即一身名為密。又昔所不說名為秘。唯仏自知名為密矣。△

疏：密||統藏二八・七八六中

輔正記云。疏ニ一身即三身ト者即チ一身即三身法花ノ之前ニ未ニ曾テ説カ。故ニ名テ為レズ秘ト。三身即

一身ハ以ニ本ノ証得ナルヲ衆ノ所レナリ不レル知ラ。故ニ『名テ為レズ密ト矣。』
(八三丁表)△

仏：伝||正藏三四・一二九下

疏九云。仏於三世等有ニ三身於諸教中秘之不伝矣。△

既ニ經釈共ニ能説ノ教主所説ノ法躰秘密ノ之中ノ秘密ニシテ他經ニ無キ処也。是以テ山家今經ノ引ニ陀

妙：説||伝全三・二七六

羅尼呪ノ文ヲ判レニ之ヲ秀句下云。妙法ノ真言他經ニ不レズ説カ矣。△

三世ノ諸仏四依ノ論師天台妙楽伝教ノ人師マテモ一同ニ定玉ヘル法花秘密ノ真言也。誰ノ有ニカ智

人ニ信ニシテ弘法慈覺ノ妄説ヲ可レキ捨ニ三世ノ諸仏竜樹天台等ノ実説ヲ耶。

我：||正藏九・八中

二十五 經云。我本立誓願等事

示云、此事天台宗ノ論義也。仍不目出故問答不注之也。

我：也||正藏三四・五五中

文句四云。我本立誓願ヨリ下ニ行ハ是レ挙レテ因ヲ勸信ス。此レ亦為レズニト。初ニ我本立誓願ヨリ下ニ行ハ

挙ク昔ノ誓ヲ。二ニ如我昔ヨリ下一行ハ明ニ願滿セルコトヲ。我カ昔ノ誓願ハ非ス但自誓レフノミニ取ラント菩提ヲ。亦

誓ヒキキ衆生同ク入ニメント仏恵ニ。今マ酬レルカ誓ニ故ニ説ク。是レ亦タ可レ信ス。今マ菩提既ニ滿シ衆生モ亦タ入ル。

汝(八三丁裏)既ニ自ラ証セリ仏恵ヲ。亦驗セヨ我カ誓不レコトヲ虚カラ。結成スル挙レケテ因ラ勸信スルコトヲ也。問フ。本誓既ニ普シ。今マ衆生尚ヲ多シ。願云何ン滿セル。答フ。仏三世ニ益シ玉ヲ物ヲ。今マ明ニ現在ヲ論スル願滿セルコトヲ也△矣。

經：異ニ正藏三四・二四三上

記四云、經ニ云ニ如我昔所願今者已滿足一者、問フ、仏初テ立レ誓ヲ誓ヘリ度ニセシト一切ヲ。今マ衆生尚ヲ多シ。願云何カ滿セル。答フ且ク從ニヘテ一期ニ惣シテ而言レフ之ヲ。但令衆生ヲ得レ入ニコトヲ△。仏乘ニ即チ名ニク願滿一。是ノ故ニ經ニ云ニ如我等無異一矣△。

經：仏ニ正藏三三・七五七上

玄六云、經ニ云ニ若我遇衆生尽教以仏道一。若シ衆生無ニ仏性一者仏教ニ以ニ玉ハ、仏道ヲ過カカ則レ屬レン仏ニ。若シ衆生皆有ニ仏性一迷惑シテ不レハ受ケ過屬衆生ニ。一切有心皆ナ當ニ作ニ仏一矣△。

善：答ニ正藏二二・六三一上

涅槃經ノ五云。善男子譬ハ夏月ニ具シテ大雲雷ヲ降シ注テ大雨ヲ令シ諸ノ農夫ノ下レ種ヲ之者ヲシテ多ク獲セ果実ヲ。不レ下レ種ヲ者ハ無レ所ニ剋獲スル。無レ所レ獲ル者ハ非ニ龍王ノ答カニ。我レ今マ如來亦復タ如是ノ。降ニ大法雨大涅槃經。若シ諸ノ衆生種ニ善子一者ハ得ニ惠ヲ芽果ヲ。無ニ善子一者ハ則チ無レ所レ獲ル。無レ所レ獲ル者非ニ如來ノ答ニ矣△。

如：答ニ正藏二二・七二五中

同經廿云。如來世尊見ニ諸ノ病者一常ニ施ニ法藥一。病者不レ服セ非ニ如來ノ答ニ矣△。玄十云。即チ廢ニテ方便ノ一乘ヲ唯ニ円実ノ一乘ノ也。故ニ云下如我本立誓願今者已滿足化一切衆生皆令入仏道若以小乘化我則墮慳貪是事為不可ト。是ノ故ニ始ニハ從レ一ヲ而開シ一ヲ終ニハ從レ一ヲ而歸ス一ニ矣△。

私云、但此釈於ニ一乘ニ立ニ三ノ四ノ一乘一。謂ク四教ヲ房テ云ニ一乘ト也。然ルニ唯一ニ仏乘ト者其ノ

四教ノ中ノ取テ大乘ヲ云ニ一乘ト也。故ニ知ス。非ニ超八ノ円ニハ也云。

義疏四云。法花ノ之前ニハ但得^ウ下為ニ一人ノ説^中ト^{コト}ラ^ヲ。仏乘^上ヲ。則願未^レタ^セ滿^セ。今置為ニ五道六道ノ衆生ニ並令^ニ成^レ仏^ニ故^ニ仏願滿^ス矣。

化一切衆生事

疑云、決定増上等ノ声聞ハ不^ニ成^レ仏^ニ定^タリ。何^ソ云^ニ化^ニ一切^ト等^ニ耶。

示云、汝等所行是菩薩道矣。迦葉等即敗種也云云。抄第五ニ注之了。然ニ決定性等ノ二乗成

仏ノ文ヲ私ニ不可^レ出^ス之^ヲ。山家御勘文也。^(八四丁裏)再生敗種ノ義ニ過去現在未來ノ三世ノ定性成仏ノ

証文勘^レヘ^リ之^ヲ。委細可見之。先ッ始ノ現在方便決定ニ乘再往成仏ノ文証ヲ引キ畢^テ結^ス之^云云。

謹^ニ定^レ傳^全一[・]七^五二^一
貞^ニ原^ニ「真」

謹^テ案^已上^論文^等、摩訶迦葉等ノ小乘ノ人ハ者方等維摩ノ時^キ以為^ニ已^死一^到ニ^法花^ノ時^ニ為^ニナ^リ一^仏乘^貞[※]
實^ノ之^衆ト更^ニ受^クハ^相成^道ノ^化ヲ^故ニ^名ニ^暫時^決定^ト亦^名ヲ^方便^決定^ト矣[△]。

問^ニ日^藏四^〇・五^八七^上

妙義集云。慈覺積。問^フ。方便品ニ如我昔所願ノ意如何。答云。一切衆生有^ル仏性^ニ故^ニ必^ス可^ニト

矣^ニ原^ニ・異^本「之」

成^レ仏^ニ説^也。仏在世ニ有^リ一^比丘^一。名^テ曰^ニ像^手ト。如来問答^矣。一切衆生ノ不^レ具^ニ足^セ五^陰ヲ衆生

無^レ此^者也云云。問曰。如此説有^ニ証^拠一^耶。答曰。毘盧遮那ノ之説宝積經七十九答難品ニ其説分明

也云云。衆生ノ陰入界和合矣。

第^一・懷^ニ所^報第五^号・四^七

速証^レ仏位^集云。同積。第一[※]唯^今ノ^經ノ^力用^滿ス^仏ノ^下化[」]衆生^願ノ^故ニ^出世^シテ^説レ^之ヲ。所詮^ハ諸

仏ノ因位四弘願利生斷惑^(異筆)「知法作^レ仏^也」然^ニ因^円果^滿後^ノ三^願ハ^(異筆)「滿^スレ^トモ^利生^ノ」一願^ハ甚^ク為^レス

難ト滿。彼ノ花嚴力不レ能ト十界皆成ノ仏道ニ。阿含方等般若モ不レ爾ヲ。後番ノ五時不レ能ハ皆成仏道ノ本懷ニ。今マ此ノ妙經ハ十界皆成仏道分明也。彼ノ達多墮_{トモ}無間ニ授ニ天王仏ノ記ヲ。龍女成仏_シ十羅刹女悟_リ仏道_ヲ。阿修羅受_ニ成仏ノ惣記_ヲ人天ニ乘_ニ三教ノ菩薩入_ニ円妙ノ仏道_ニ。經ニ云_フ如我昔所願今者已満足化一切衆生皆令入_ニ仏道_ト云云。衆生界不_レ尽_キ故_ニ雖_レ未_レ入_ニ仏道_ニ衆生然_モ十界皆成_ニスルコト唯在_ニ今經ノ力_ニ故_ニ利生本懷_也矣云云。

花嚴經ニ說_ニ普賢ノ十願_ヲ衆生界未_レ尽願復_タ無_レ尽_{コト}云云。

私云、爾前經未願滿也。

問：山ニ正藏七四・三五九上

一乘要決下云、問_フ、法花經方便品ニ云ク、如我昔所願○皆令入_ニ仏道_矣。衆生無_レ尽_{コト}而_モ言_ハ一切皆入_ニ仏道_ト豈非_ヤ了義經ニ說_ニ少分ノ一切_ヲ。答_フ。若_シ望_ハ他師_ニ此ノ文難_レ消_シ。今マ依_ニ円宗_ニ未_レ足_レ為_レ難_ト。謂_ク五乘ノ中_ニ声聞獨覺_ハ如_ニ高原陸地_ノ成_ニ仏_レ甚_タ為_レ難_ト。今マハ一乘會_セラル。余_ス性_レ非_レ難_キニ。一座既_ニ開_{スレ}ハ十方_モ亦然_{ナリ}。故_ニ言_フ一切_ト非_ニ是_レ少分_ニハ。如_下梅檀屈王ノ造_ニ一麥粒ノ金_ヲ而_モ言_ハ我_レ今_マ已_ニ造_ツ金山_上ヲ矣。

若：道ニ正藏九・八中

二十六 經云、若我遇衆生尽教以_ニ仏道_矣。

付之、衆生成_ニ仏_ノ下種限_ニ法花_ニ歟。

示云、此事ハ於_ニ天台宗_ノ教相義_ノ一算也。然ルニ惠光房ニハ巨_ク權乘_ニ云云。但_シ此義ノ落居ハ權

乗ト者体内ノ權也云。毘沙門堂ニハ体内ノ權ト者円融ノ三諦ノ中ノ空仮也。北谷義ニハ空仮ヲ經ノ躰トスト成ス。然ニ今当流ニハ中為經躰ノ釈ニ任テ不ト通ニ權乘ニ傳也云。

後「彼」
今家義云、無量義云、四十余年未顯真實云。又云、終不得成無上菩提云。法花云、唯此一事実余ニ則非真終不以小乗云。釈共略之了。又經次文云、仏種從縁起是故說一乘矣。釈後ニ可書也。

雖…種 正藏三三・八二五下
籤一云、雖寄漸及不定不以余教為種矣。』

若…種 正藏四六・一七〇下
弘一云、若シ非ニ正境ニ縱ヒ無トモ妄偽ニ亦不レ成レ種ト矣。

所詮成仏ノ之下種、不レ限ニ法花ニ亘ト權乘ニ云ハ、無量義ノ終不得成ノ言如何可消之。

又方便品云、終不以小乗、濟度於衆生、仏自住大乘、如其所得法、乃至若以小乗化、乃至於

一人、我則墮慳貪、此事為不可ノ文如何可得意耶。

此上ニ成仏ノ種亘ト權乘ニ云者正ク經文ヲ勘テ之可出之也。以上此義先指ト躰外ノ權ヲ云也。

一義云、權乘モ成仏ノ種ト成ケルヲ釈尊既ニ悞テ方便未顯真實ト斥テ正直ニ可ト捨レ之ヲ説玉ヒケル歟。八万ノ菩薩愚癡ニ終不得成無上菩提、領解シ玉ヒケル歟。

又…願 正藏三四・五五下
私云、成仏ノ下種限ト法花ニ云經釈、今ノ尽教以仏道ノ文是也。大師受テ此文ヲ文句四ニ釈云、又

仏ノ如衆生ノ如一如ニシテ無シニ一如。天性相関故ニ言ニ相遇ト。夫レ大悲恒ニ愍ニム衆生ヲ。若以ニ人天

教ハハ我則墮ニ閻惑ニ○非レ教ニ仏道ヲ。若シ遇ニ衆生ニ令レ修ニ小乗ヲ我則墮ニ慳貪ニ此ノ事為ニ不

小乘濟度於衆生等云。次下文云、正直捨方便云。此事如令離諸著云。

私云、今ノ文テハヤカテ我雖說涅槃是亦非真滅矣。其ノ上今ノ我為設方便ノ文ヲ見ルニ文句四云、是故舍利弗^{ヨリ}下第三ニ一行ハ即チ權^リニ為^レニ說^レク小^ヲ如^レシ文^ノ矣[△]。

是…文||正藏三四・五六中

天台宗難云、爾前ノ諸經實ニ無得道ナラハ法花モ不可^レ有^レ得道^一也。其ノ故ハ法花ハ能生ノ本法、他經ハ所生ノ諸法也。是ヲ以テ經ニハ一法出生ス無量^ヲ云。既^ニ是^レ体内ノ諸法ヲ今マ体外ニ說^レク之^ヲ故^ニ本有^ノ功德有^之。故^ニ爾前ノ諸經^ニ皆有^ニ分々^ノ益^一。但^キ斥^ニ爾前^ヲ「事^ハ偏^ニシテ不^レ円ナル故也」。

月…故||正藏三三・六八四下

是ヲ以テ玄一云、月^ハ虧盈故^ハ漸^ニ円^カ故^ニ法花^モ亦爾^也。同躰ノ權實ノ故ニ会^レシテ漸^ヲ入^レ頓^ニ故^矣△。

(朱書)

「私ニ遮^ニセハ此^ノ難^ヲ縱^ヒ爾前ノ諸經實相ノ一法ヨリ生ストモ權教ノ本性トシテ必ス廢セラル、也。譬ハ蓮華ノ花蓮子ヨリ生スレトモ実果成スル時ハ花ノ曲トシテ「一」仏法モ亦如此^一一法出生ノ諸法ナレトモ法華ノ実果成スル時ハ權教ノ習トシテ必ス廢セラル、也。能々此ノ道理ヲ不可^レ亡^ス。廢權立実深得^レ此意^ヲ千万ノ難来トモ風前ノ塵ナルヘシ」。

実…円||正藏三三・八二七中
明||原「月明」

籤一云、実^ハ如^レ盈^ルカ、權^ハ如^レ虧^{タル}カ、同體ノ權實^ハ如^レ月輪無^レ缺^一、会^レシテ漸^ヲ入^レ頓^ニ如^レ明相^ノ漸^ニ円^ルカ矣[△]。

示云、体内体外如此ノ品ノ始ニ記^レカ之^ヲ也矣。

伝云、進師 所詮体外体内ノ委細沙汰ハ為^レ才覚^一也。宗論ノ時ハ爾前諸經ヲ正ク体内ノ実教也共積セヨ。不可^レ驚也。其ノ故ハ金言既^ニ未^レ顯^ニ真^ニ實^ニ捨^レ方便^一不受^一偈^ト御治定ノ上ハ体内ノ実教ソト云釈ヲ信シテ可^レ破^ルニ金言^一歟。若爾者尊釈非^ニ本^ニ經^一失^レ甚^之。豈非^下尚^レ流^ヲ失^レ源^ヲ、憑^ニテ

枝葉ヲ破リ根源一ヲ、付ニ惡子ニ妄ニ知レ親ヲ者上耶。

諸：相 正藏九・八中

文云、諸法從本來、常自寂滅相文。此事至三葉草喻品、終歸於空、算ニ可注之也。仍略之畢。

唯：乘 正藏九・八下

二十八 經云、唯一無二乘矣。付之法相宗難云、法花ハ会ニ破二ノ』(八八丁表)一乘ト云文是也。サレハ

上ニハ唯此一事實余二則非真ト者此意也。如何。(宋書)他ノ難ハ二乘ト云ヒ余二ト云フ声聞緣覺ノ二乘ト心得タル難

也」。

示云、先々ノ如シ。何況今ノ文ハ上ニ我有方便力開示ニ乘法矣。会ニ破三ノ旨分明也。然ニ唯

一無二乘ト者円頓漸ノ三教ト存ルニ無相違云云。

難云、秀句上 言ニ唯一乘無有二乘ト故ニ法花ヲ名ケ密意ノ教ト名ケ權教ト已上餽食者之語。

言：語 伝全三・一九
教已上餽食者之語 教之語已上餽食者
明：定 伝全三・三〇

示云、秀句上云、明ニ知ヌ。餽食者所ノ宗トスル 解深密所説ノ之一乘ハ是レ正ク為ニタリ密意」。未顕真

実ノ故ニ天台法花宗所説ノ之一乘ハ是レ正ク為ニタリ顯了」。已顯真實ノ故ニ。解深密經ノ文ニハ有ニ密意ノ之

言。妙法(異筆)「蓮華」經ノ文ニハ有ニ宣示顯説ノ句」。顯密ノ之意依レテ經ニ可レシ定ム矣。

更：義 正藏九・八下

二十九 經云、更以異方便、助顯第一義矣。爾ハ者異ノ方便ト者法体何物ソ耶。

又：一 正藏三四・五六下

示云、文句四云、又諸大聖主ヨリ下第二有ニ二十四行半」。惣約ニシテ五乘ニ広ク顯三顯一ヲ矣。

(八八丁裏)五乘ト者菩薩ニ乘人天也。然ニ始ノ菩薩乘ヲ釈ル但ニ三教菩薩ヲ挙テ除ト円ノ菩薩ヲ見ヘタリ已上。約レシテ

人見也。

惣…一〇正藏三四・五六下

次ニ文句云、惣約シテ五乘ニ以テ顯レヌ一ヲ。〇更異方便ハ、挙テ諸行ヲ以テ顯ニス行一ヲ。兼テ得ニテ教一ヲ矣。

尋…一〇正藏三四・五六下

又云。尋ニ上ノ文ヲ更以異方便ト者非ニ独リ六度ノ菩薩ニ、即チ三教ノ菩薩ノ方便也。昔ノ聞法ハ皆已ニ

成レリ教一ト矣。

此積皆人法共ニ挙ルニ何ソ不レ挙ルニ、菩薩円ノ法体ヲ耶ト不審也。然ルヲ可ニ心得ニ様ハ例ノ約教ノ積也。

為…義〇正藏三三・六八二下

玄一云、為ニ未入ノ者四十余年ニ更ニ以テ異ノ方便ヲ助ニ顯ス第一義一ヲ矣。

中…顯〇正藏三三・八一八下

籤一云、中間調斥ハ非ニ仏ノ本懷ニ故ニ云ニ助顯一ト矣。

鹿…權〇正藏三三・八一六下

皆是レ約教ノ積也。妙樂約束シテ云、籤一云、鹿苑ノ施小方等般若已ニ為ニ開廢ノ而作ニ方便一ト。如レ

此說ハ者且ク在リ於小ニ。若シ約セハ教ニ者通ニテ前四時ニ三教皆權ナリ文。且在於小ノ言一往ト聞タリ。

難云、玄疏ノ意花嚴ハ非ニ方便未顯真實ニ。鹿苑施小方等般若已ニ為ニ開廢ノ而非方便ト積分明也。

三教ハ方便也。仍円ハ非ニ(八九十表)方便ニ。通別四時ニ三教皆權ノ積分明也。如何。

示云、約教ノ積也。如此說者且在於小ト積ル五字可思之。就中今ノ積玄文本序ノ下ノ文也。

得…難〇正藏三三・八一八下

籤ニ約束シテ云、得ニ下ノ文ノ意ヲ此ノ序不難矣。此積為本見正積一。

分…也〇正藏三三・六八二上

玄一云。分別者但法ニ有リ鹿妙一。隔歷三諦鹿法也。円融三諦妙法也。

始…融〇正藏三三・八一九中
「雖名不同」〇異筆

籤云、始自花嚴終至般若雖名不同但為次第三諦所撰。今經会実方曰円融文。

文…道〇正藏三三・六八二上
破〇原「誘」

玄云、文ニ云我若シ讚ニ仏乘一ヲ衆生ノ没ニ在ニ苦ニ破レシテ法ヲ不レシカ信セ故ニ墮ニ於ニ三惡道一矣。

問…懷||正藏三三・八一九下

籤云、問[※]、若^シ說^ニカハ^ハ仏乘^ヲ恐^レニ^ハ其^レ墮^レチ^ンコトヲ^苦者^ニ說^ニテ^ハハ^ハ花嚴教^ヲ可^レシ^非ニ^ハ仏乘^ニ耶。答^フ。若^シ約^レシ^テ

教^ニ論^セハ^ハ方等般若亦有^ニリ^ハ一^ニ。何^ソ獨^ク花嚴^ナラン。今^マ墮^レ苦^ノ之^言、但^ハ抛^レル^ニ堪^ヘ唯^ニ一^ニ。故^ニ

聞^テハ^ハ別等^ノ三教^ヲ猶^ヲ免^レタ^リ生^スル^コトヲ^誇フ。^(異筆)「仍^テ用^ニ秘密^ノ之^力且^ク隱^ニ小^ヲ以^テ說^レク^之ヲ。雖^モ曰^ニ大機^ト

尚^ヲ隔^タリ於^テ別^ヲ。小根被^レ隱^ニ一向^ニ不^レ聞^カ。由^レ隱^ニ小^ヲ故^ニ不^レ名^ニ俱^立。是^ノ故^ニ但^テ立^テ頓大^ノ之

名^ヲ不^レ立^ニ一^ニ乘^獨妙^ノ之^稱ヲ、非^ニト^ハ仏^ノ本懷^ニ良^ニ由^ル於^テ此^ニ。花嚴^ノ頓大^尚ヲ非^ニ本懷^ニ矣。

雖…也||正藏三三・六八二中

玄云、雖^モ種^々建立^シテ^ハ施^スト^{衆生}但^テ隨^ヒ他^ノ意^語也。非^ニス^ハ仏^ノ本懷^ニ故^ニ言^ニ不^レ務^速說^ト也。

今…足||正藏三三・八一九下

籤云、今^マ別^シテ^ハ約^シテ^ハ法花^ノ別相^ニ而^テ說^ク。自^リ法花^ニ已^前ヲ皆^曰フ^ニ隨^ヒ他^ト、故^ニ前^ノ教^ノ中^ニ雖^モ並^ニ有^レト

融^ニ以^テ兼^テ帶^テ故^ニ並^ニ屬^ス隨^ヒ他^ニ。未^ダ堪^ヘ開^頭二^名不^レ務^速ト○唯^至今^ノ經^ニ開^シテ^ハ諸^ノ不^レ融^ニ唯^獨一^ノ融^也、

使^ム前^ノ諸^部同^一ノ^妙法^ナラ。出^世ノ^意足^レリ矣。

今…妙||正藏三三・六八二中

玄云、今^ノ經^ハ正^直捨^ニ方^便但^テ說^ク於^テ融^令一^ノ座^席同^一ノ^道味^ナラ、乃^チ暢^ク如^來出^世ノ^本懷^ヲ。

故^ニ建^ニ立^シテ^ハ此^ノ經^ノ名^レ之^ヲ為^ス妙^ト矣。

捨…同||正藏三三・八二〇上

籤云、捨^ト者^捨只是^レ廢^也。故^ニ知^ヌ、開^廢名^異ニ^体同^シ矣。

既…鹿||正藏三三・八二〇上

又^云、既^ニ此^ノ經^ヲ名^レ妙^ト。驗^ケシ^前ノ^四猶^ヲ鹿^也矣。

結…也||正藏三三・六八二中

玄云、結^ヲ者^ハ、當^知花嚴兼[、]三藏但[、]方等對[、]般若帶[、]此^ノ經^無復^兼但^對帶^{。專}是^正直^無上^之

道。故^稱為^妙法^也矣。

惣…也||正藏三三・八二〇上

籤云、惣^シテ^ハ結^ニス^ルニ^ハ四^味不^レ立^テ妙^ノ名^ヲ為^シ何^ノ所以^トカ、以^テ兼^等一^故ニ^判レ^テ部^ヲ屬^ス鹿^ニ。如^下細^人

鹿人二俱猶過。從過辺說俱名鹿人一。此ノ經異レナリ彼ニ。故ニ云フ無復ト。方ニ得三カ独リ立三コトヲ妙ノ名ヲ故也矣。』

(九〇丁表)
示云、此事ハ上ノ爾前円ノ開未開ノ算下可見之也。正ク無量義ニ拳レテ名ヲ云ニ方便未顯真實歴劫ト等、故ニ被レ開會セ了。又至テ下ノ始見我身ノ処ニ可沙汰之也云云。

難云、異方便ト者五乘七方便也。

五乘：教 正藏三四・二四三下

記四云、五乘ノ之稱ハ但在三鹿苑ニ、七方便ノ名通ニセリ於三昧ニ、六度ノ之行不レ局ニ一教ニ矣。
〔酪生蘇ノ三昧也〕(朱)

若シ爾者不レ開ニ花嚴一也。如何。

示云、開レル円上ハ無ニ異義一云云。

重難云、処々ノ經釈共ニ花嚴法花一鉢異名ト見タリ。經云、始見云云。

始：也 正藏三四・六三下

文句五ニ釈シテ円教ノ譬喩ヲ云、始見ニ我身ヲ聞ニシハ我所說即皆信受入ニキ如来ノ惠ニ。如レキ斯之

人ハ易レ可ニ化度一ス。不レ令三如来ヲシテ生ニ於於疲苦一ヲ。如ニ花嚴ノ中ノ即レ事ニ而モ真也。不レ須ニ譬喩一ヲ。為

ニ未入ノ者一四十余年ニ更ニ以テ異ノ方便ヲ助ニ顯シテ第一義一今日王城ニシテ決定シテ說ク大乘一普ク令三

切ヲシテ開示ニ悟入セ仏ノ之智惠ニ、不レ令シメ一人トシテ独リ得ニ滅度一ヲ。如レ今ノ如レ始ノ如レ始如レ今ノ無クニ

無シ異〇是ヲ名クニ(九〇丁裏) 円教ノ中ノ譬喩ト也矣。

始：異 正藏三四・二五三下

記五云、始見ト者円教ノ中ニ先ツ指シ花嚴一及ヒ為未入ヨリ下ハ明ニ今ノ經ノ意一、二処ノ化事皆不レ須レヒ譬ヲ。即チ花嚴ノ利根及ヒ法花ノ上周ナリ。次ニ如今ヨリ下ハ明ニ一処ノ理等一キコトヲ。雖モ即チ化儀前後一而モ

始終理一也。始ハ即チ花嚴、今ハ謂ク法花也。祇縁テ惠如ナルニ是ノ故ニ理等シ。故ニ云フ無二無異ト矣。

若…道||正蔵九・八下

三十 經云、若有衆生類、值諸過去仏、若聞法布施、或持戒忍辱、精進禪智等、種々修福德、如是諸人等、皆已成仏道矣。

付之戒禪等ノ法ハ今仏ノ所説独リ不ス有レニ益。過去ノ諸仏所説ノ時モ衆生成仏ノ因ト成ケリト見タリ。何ソ云ニ国賊天魔ノ所為ト等一耶。

即…也||正蔵三四・五六下

示云、如ニ前々ノ先ツ可レ責ニ謗法ノ段一也。得意云、此ノ文ハ開會ノ文也。開會ノ時ハ阿鼻ノ業尚ラ成仏スト開ス。何ソ不レ開セ戒禪等ノ法一耶。是以テ經文分明ナル上ニ文句四云、即チ三教ノ菩薩ノ方便也。昔ノ聞法ハ皆已ニ成レリ教一ト。昔ノ六度ノ行ハ皆已ニ成レリ行一ト。如是諸人等ハ皆已ニ成レリ皆已成仏道トイハ皆已ニ成レリ仏ノ理一ト也。

一義云、汝等ハ持戒ノ比丘歟。若爾也ト云ハ、断ニス仏種一ヲ。何ソ云ニ持戒ト耶。
一義云、若シ持戒ト云者何ノ持戒ソ耶。小歟大歟。

善…種||正蔵二二・六二六上

涅槃經四云、如来性品、善男子從ニ今日一始不レ聽ニ声聞弟子ノ食肉一ヲ。若シ受ケン檀越ノ信施一ヲ之時ハ心ニ觀シテ是ノ食一ヲ如チ子ノ肉ノ想上。迦葉菩薩白レシテ仏ニ言ク、世尊、云何ソ如来不レ聽ニ食肉一ヲ。善男子夫レ肉食者断ツ大慈種一ヲ矣。

私云、此文像法ノ中ノ持律ノ比丘ヲ指テ説ル文也。經ノ前後然也

広：滅||正蔵九・九上

三十一 經云、[※]広度無數衆、入無余涅槃、如薪尽火滅[△]文。文ノ意如何。

示云、文ノ心ハ供養^{セシ}像^ヲ人成^{ニシテ}無上道^ヲ後^ニ度^シ無數ノ衆^ヲ入^ル涅槃^ニ事^如薪尽火滅^ニスルカ^レ説文也。

付之何^ソ云^フ無余涅槃等ノ益有名無実^ト耶。

義云、仮方便ノ益ナレハ云^ニ有名無実^ト也。若^シ開^ニ会^セハ^ハ法花^ニ者^可レ^キ成^ニ真益^ト也。是^ヲ以^テ文句四

以：也||正蔵三四・五七中

云、[※]以此供養^{ヨリ}下[」]^(九一丁裏)第九^ニ一行半^ハ結成^ス。非^ニ但^ニ顯実^ノ自^ラ成^ルノ^ミニ^ニ仏道^ヲ、亦能^ク開權ノ薪尽^テ涅槃^{スル}也[△]。

一：道||正蔵九・九上

三十二 經云、[※]一称南無仏、皆已成仏道[△]矣。

付之、若念仏無間ノ業ナラハ可^レ説^ク無間墮地獄^ト、何^ソ説^キ皆已成仏道^ト耶。是^ヲ以^テ称^ル南無

調：無||正蔵三四・五七中

仏^ト者^得ニ^ル其利^ヲ之文証現証共^ニ有^之見タリ。所以^ニ文句四云、[※]調達臨終^ニ称^{シテ}南無^ト未^レ得^レ

称^レト^フ仏^ト便^チ墮^{セリ}地獄^ニ、仏記云ク、其^レ從^リ地獄^ニ出^テ、当^ニ作^ル辟支仏^ト字^ヲ曰^フ南無^ト。外国^ニ

事^ニヘシ^テ天像^ニ者^以レ^テ金^ヲ為^シ像^ノ頭^ト、賊来^テ盜^ム之^ヲ、取^ルニ^ス不能^レ得^{コト}即^チ称^スニ^ニ南無^ト便^チ得^レタリ頭^ヲ

○賊称^{シテ}南無^ト尚^ヲ得^{タリ}天頭^ヲ。況^ヤ賢者^ノ称^ニヤ^{南無^ト矣。}

那：勒||正蔵三四・五七下

又云、[※]那先經云、人臨^レ死^ニ称^ルハ^ハ南無^ト得^レ免^ル、コト^ヲ泥梨^ヲ者^云何^{カン}。如^シ人^ノ持^テ一^ノ石^ヲ置^ケハ

水^ノ上^ニ石^必没^ス無^レ疑^ヒ。若^シ能^ク持^テ三^百石^子置^ケハ^ハ船^ノ上^ニ者^必ス^不レ^ル没^セ。若^シ直爾^ニ死^スル^ハ必^ス入^ル

泥梨ニ、如シ石ヲ置レカ水ニ、若シ臨レテ死ニ称ニルハ南無仏ト仏力ノ故ニ令レム不レ入ニ泥梨ニ、如シ船力ノ故ニ使ニカ石ヲシテ』(九二丁表)「是モ文句ノ内也」(朱)胎経報恩経云、花林園ノ第三大会ノ九十二億ノ人者是レ釈尊遺法ノ中ニ一ヒ称ニル南無仏ト人得レルナリ見ニ上ルコトヲ弥勒ヲ矣。

十住毘婆娑論易行品第九卷第三云、竜樹菩薩造、阿惟越致地是ノ法甚タ難シ久シテ乃チ得。若シ有ニ易行道ニ疾ク得レ至ヲ阿惟越致地ト者是レ乃チ怯弱下劣之非是レ大人志幹之説。汝若必欲レ聞ニ此ノ方便ニ今マ当説之。仏法有ニ無量門、如ニ世間ノ道有レ難有レ易、陸道歩行則苦、水道乗船則楽、菩薩道亦如レ是。或有ニ勤行精進ニ或ハ有ニ以信方便易行疾ク至ニ阿惟越致ニ者。如偈説

- 東方善徳仏、南梅檀徳仏、西無量寿仏、北方相徳仏、
- 東南無憂仏、西南宝施仏、西北花徳仏、東北三行仏
- 下方明徳仏、上方広衆仏、如是諸世尊、今現在十方
- 若人疾欲至、不退転地者、応以恭敬心、執持称名号

謹…楽 正藏四〇・八二六上
往生論注云、曇鸞釈、謹テ案ニ竜樹菩薩十住毘沙云、易行(九二丁裏)道ト者謂ク但以ニ信レ仏因縁ヲ願レ生ニ浄土ニ。乘ニシテ仏ノ願力ニ便チ得レ往ニ生スルコトヲ彼ノ清浄ノ土ニ。仏力住持シテ即チ入ニル大乘正定之聚ニ。正定ハ即是レ阿毘跋致也。譬ハ如シ水路乗レテ舟ニ則楽一カ矣。

若…縁 正藏四六・一八五中
弘決云、妙楽、若人不念仏讚ニ歎ニ歎ニ身。今世後世利楽因縁矣。
天台妙楽龍樹曇鸞ノ釈一同也。

仏説観無量寿仏經云、[※] 仏告阿難及韋提希。下品下生者或^ハ有^ニ衆生^ニ作^ニ不善業^ニ五逆十惡具^ニ諸不善^ニ。如此愚人以^テ惡業^ヲ故^ニ心^ニ墮^ニ惡道^ニ經^ニ歷^シ多劫^ヲ受^レ苦^ヲ無^レ窮^上。称^ニ南無阿弥陀^ニ 仏^ニ称^ニカカ^ニ仏名^ヲ故^ニ於^ニ念々^中除^ニ八十億劫^ノ生死^ノ之罪^ヲ矣[△]。

法花論・那先經・胎經報恩經・觀經等ノ説一同也。此等ノ經釈念仏ノ易行ハ重罪惡人可^レ生^ス淨土^ニ易行ノ法也。何^ソ云^ニ無間業^ト耶。

示云、此事如^ニ淨土宗沙汰^ニ也。又上若遇余仏ノ算下可見之云云。

義云、念仏ノ一行ハ易行ノ法也ト云テ法花^ヲ名^ニ難行^ト謗^ル之歟。』^(九三丁表) 抑今引難ハ經論釈ノ中ニ除^テ曇鸞等ノ釈^ヲ其ノ余^ニ何^ノ文^ニ法花^ハ難行也、尤可^レ謗^レ之^ヲ見^ヘタル文有^之耶。

一義云、抑善導法然盛^ニ謗^ル法花^ヲ事依^ニ南無仏ノ文^ニ歟。

一義云、称名念仏ノ行者謗^ル法花^ヲ何^ノ經文^ソ耶。

一義云、抑如難^ニ者末代衆生^ハ行^ニシテ南無仏^ト不^レ可^レ信^ニ法花^ヲ、^帰謗^レ之^ヲ法花ノ始中終^ニ正^ク文証有^レ之耶。

一義云、抑今文ハ称^ニ南無仏^ト成仏^シタリト云文也。又称^ニ南無仏^ト者^モ法花^ニ被^テ開會^セ成仏^{スト}説^ク文也。若^シ南無仏ノ一行計^ニ成仏^{スト}云ハ、今ノ經ノ心法花已前ノ龜法龜行龜人龜理皆来^ニ至^シテ法花^ニ被^テ開會^セ成仏^{スト}見^タリ。其ノ文広^シ、別^シテ不可^分ニ一文^ヲ。就中今ノ文ハ説^テ五乘ノ頭^ニ結^レ之^ヲ、於諸過去仏現在或滅後若有聞是法皆已成仏道矣。

一義云、汝所立ノ念仏ハ依ニ一称南無仏ノ文ニ歟。若シ爾也ト云ハ、汝カ先師ニ背ク

選択云、三部經是レ正依經也。取意是一。若シ依ニ今此文ニ云ハ、サテハ三部經ノ念仏ヲハ正直捨之

歟是二。汝チ信ニ弥陀一仏ヲ捨ニ諸仏一耶是三。若シ依ニ三部經念仏一但今所引諸經一同ノ故ニ引レケリト

之ヲ云ハ、一義云、可秘之。抑三部經ノ念仏ハ權實已敵對ノ念仏歟。未敵對ノ念仏歟。若未敵

對ノ念仏也ト云ハ、汝何ソ觀經ノ誦誦大乘ノ一句ニ撰ニ法花ヲ五種ノ雜行ニ撰ニ諸仏并有縁ノ積尊ヲ

捨テ無縁ノ弥陀ヲ信ル耶。

一義云、抑汝所立ノ念仏法花經并二十住毘婆論等ノ如ニ一分シ不レ違修行之歟。若シ爾也ト云

ハ、法花經并二龍樹ノ論ハ諸仏十方ノ世尊也。何ソ限ニ一仏ニ謗ニ諸仏一耶。

一義云。如レ難者汝チ称名念仏ノ行ハ為ニ成仏ノ歟。若シ爾也ト云ハ、觀音勢至領解云、過無量

無辺不可思議阿僧企劫終不得成無上菩提所以者何不知菩薩大直道故矣。若シ為ニ往^(九四丁表)生ニ云者今ノ

文ニハ皆已成仏道ト云テ全ク為ニ往生ノ不レ説者耶。

一義云、当家ニ念仏無間業ト申ヲハ依ニ此文ニ立レト之存ケル歟。若シ然也ト云ハ、不然。汝チ捨ニ

謗シ成仏ノ法花ヲ有縁ノ積尊ヲ蔑如シテ信ニ無縁ノミタラ故ニ破仏謗經ノ重罪甚キ故ニ云ニ無間業一也。

天台宗難云、积分明也。何ソ云ニ無間業ト耶。

義云、積且置之。先經文ハ称仏ノ当躰成仏ト説歟。称仏等ノ小善ヲ法花功德ニ開會シテ成仏ト説

歟。

二過去ノ仏ノ章ニ

初ニ頌ニ開ニ

二頌ニ顯一ヲ

過去無数劫 無量滅度仏

百千万億種* 其數不可量

如是諸世尊 種々緣譬喩

無數方便力 演說諸法相

初ニ略シテ頌ニ上ノ三ニ

二約ニシテ五乘ニ廣ク頌ニ顯一ヲ

初ニ惣シテ約ニシテ五乘ニ廣ク頌ニ顯一ヲ

二別(九四丁裏)約ニシテ五乘ニ以テ顯一三

初ニ開ニ菩薩乘ヲ

二開ニ乘

三開ニス天人乘ヲ

若有衆生類 值諸過去仏 若聞法布施

或持戒忍辱○皆已成仏道

諸仏滅度已 若人善軟心

如是諸衆生 皆已成仏道

初ニ約ニシテ天人小善ヲ

成ニ縁因ノ種子ト以テ明ニス

顯実ヲ十

初ニ造塔明ニ天業一

二ニ戲沙作仏塔明ニ人業一

三ニ志心造像明ニ天業一

四ニ戲画作仏明ニ人業一

五ニ結ニ成顯実一

六ニ約ニ諸塵供養ニ天業一

七ニ散心用レテ塵ヲ供養明ニ人業一

八ニ身業ノ供養明ニス天人ノ業一

九ニ結成

十ニ口業供養明人業

二ニ約シテ了因ノ種子ニ以テ明ニス顯実一

如是諸人等○度脱無量衆

若人於塔廟○皆已成仏道

或有人礼拝○或復小低頭

以此供養像○如薪尽火滅

若人散乱心 入於塔廟中

一称南無仏 皆已成仏道

於諸過去仏 現在或滅後

若有聞是法 皆已成仏道

三…也 正藏三四・五六下

文句四云、三教ノ菩薩ノ方便也。昔ノ聞法ハ皆已ニ成レリ教一ト。昔ノ六度ノ行ハ(九五丁裏)皆已ニ成レリ行一ト。

如是諸人等ハ皆已ニ成レリ人一ト、皆已成仏道トイハ皆已ニ成レリ仏理一ト也矣。已上菩薩開ノ文也。

從…也 正藏三四・五六下

又云、從ニ諸仏滅度已若人善軟心ト云一行ハ開ニシテ声聞緣覺ト皆入ニルニ乗ニ○昔ノ善軟ノ心ナレハ皆

是 是是

成レリ行一ト。諸人等イハ是人一也。成仏道トイハ是理一也文。已上ニ乗開文也。

供…業 正藏三四・五六下
「第三」脱

又云、供養舍利ヨリ下第三(異筆・異本)「二十行開ニ人天乗ヲ不彰ラハニ是レ人天乗ナラ但明ニ造」像起塔專至散

乱ヲ故ニ知ヌ是人天ノ業矣。

仏…漏 正藏三四・五七上

又云、仏分明ニ広ク会ニシテ五乗ヲ毫ノ善モ不レ漏サ矣。

問…解 正藏三四・五七上

又云、問フ、人天ノ小善ハ応レシ住ニ果報ニ云何言フ皆已成仏道ト。答、此ニ応レシ三仏性ノ義ヲ。大

經ニ言ク、復タ有ニ仏性一、善根ノ人ニハ有リ、闍提ノ人ニハ無ト者即是レ人天ノ小善低頭挙手也。為レルコトハ山ヲ

始マル簣ヨリ。合抱 初マル毫ヨリ。昔ハ方便未開 謂レヒキ住ニト果報ニ、今マ開ニルニ方便ノ行ヲ即是レ縁因仏

性ナリ、能ク趣ク菩提ニ成ニル顕実ノ之義ヲ也。就レ此ニ為レス一ト。前ノ十九行ハ約シテ天人ノ小善ノ成ニ縁因ノ種

子ト以テ明ニス顕実ヲ。後ノ一行ハ約シテ了因ノ種子ニ(九六丁表)以テ明ニス顕実ヲ。尋レテ文ヲ可レ解ス已上天人ノ開文也。

至…実 正藏三四・五七下

又云、至心散心等五乗ノ種子今マ皆開ニシテ入ニル一実ニ。

問…也 正藏三四・五七下

又云、問フ、何意ツ約ニシテ過去仏ノ門ニ広ク明ニス五乗ヲ耶。答フ。三世ノ仏ニ皆有ニ開權一。但シ未來ハ未レタ

起ラ。現在始テ行ス。出レシニ証ヲ義弱シ。過去開權已ニ久シ。受化ノ之人皆成レリ四一ト。並ニ於ニ十方ニ

施レシ権ヲ顯レセリ実ヲ。証ノ義事強シ○故ニ於ニ過去ノ仏ニ広ク説ク五乗ヲ也。

於：然||正藏三四・二四三下

テ||シ

記四云、於昔シ聞ケルハハ教ヲ已ニ成ニ教一ト者若シ菩薩不開セラレ何須ケン引ヲ昔ヲ令レ成ニ教一。故ニ凡ソ云レ昔ト者皆具ニ一ノ意ヲ。一ニハ者在レ昔ニ聞ケリ權ヲ。二ニハ者昔シ已曾テ開セラレタリ。今ハ正ク語ス昔シ聞ケル權ヲ者ノ、昔シ開セラル、コトハ已ニ竟テ皆成ニコトヲ 仏道ヲ。初ノ義ハ准ニシテ化儀ニ説ク。次ノ意ハ准ニシテ開シ竟レルニ説ク。下去ノ諸乘一々ニ皆然也矣。

又難云、今ノ品ノ意明ニ種類種開會ヲ也。種類ト者昔ノ小善ヲ今ノ經ノ大善ニ類シテ開會ル也。若シ爾前ノ諸經無得道無間ノ業ナラハ不可レ与ニ善ノ名一。但是レ惡逆ノ法ト名テ相待種ニ可ニ開會ス也。如何。

以：實||正藏九・三八六

過：故||正藏九・三八七上

若：貪||正藏九・八上
正||正藏九・一〇上
不||正藏九・一六上

迦：人||正藏二二・六四八上

大：道||正藏四六・一七中

邪：惡||正藏四六・二〇三中

一義云。(九六丁裏)如レ難云爾前ノ諸法ヲ号ニシテ惡法ト開會セン之人僻事敷。若爾也ト云ハ、無量義云、以方便力四十余年未顯真實矣。又云、八万菩薩過無量無辺不可思議阿僧企劫終不得成無上菩提、所以者何不知菩提大直道故行於險逕多留難故矣。法花云、若以小乘化乃至於一人我則墮慳貪矣。又云、正直捨方便。又云、不受余經一偈矣。涅槃經七云、迦葉菩薩白言、世尊我從今日始得正見一自レ此之前ハ我等悉ク名ク邪見ノ之人ト矣。

止二云、大經云、自レ此之前ハ我等皆名ニ邪見ノ人ト也。邪豈非惡。唯ハ法ヲ名テ為レ善ト。善ヨク准ニスルヲ 實相ニ名テ為レ道ト。背ニスルヲ 實相ニ名ク非道ト。

弘二云、邪即是惡。是故当知、唯ハ法ヲ為レ善ト以背ニ為レ惡ト矣。

既…也 正藏三三・七八八中

当…邪 正藏三三・九三九下

若…獄 正藏二二・六六八中

玄九云、既[※]言邪見ノ之人^ト。即^チ無^{ナリ}円ノ聖道ノ法^ニ則^チ人法俱^ニ被^レ破^セ也[△]矣。

籤九云、当[※]知^レ偏^ニ教^ヲ皆^ニ名^ニ為^レ邪[△]矣。」

(九七下表) 涅槃經十二云、若[※]有^ニ邪見^ニ命終^ノ之時^キ即^チ應^ニ生^ニ於^レ阿鼻地獄[△]矣。

注釈中之邪見^ト者内邪見也。而教^ノ二乘四教ノ菩薩各執^ニ自教^ヲ隨^レ情^ニ諍^レ門^ヲ皆^ニ名^ニ邪見^ト矣。

一義云、抑^与善^ノ名^ニ事^ハ廢^ニ權^ヲ立^レ実^ノ日^与之^ヲ歟。又夕開^レ權^ヲ頭^ニ実^ノ時^与之^ヲ歟。若^シ廢^ニ權^ヲ立^レ

実^ノ時^キ与^レ之^ヲ云^ハ、前^ニ為^レ龜^ノ前^ニ四^ノ味^ヲ為^レ龜^ノ積^ノ如何。

一義云、南無^ニ佛^ヲ成^レ佛^ノ因^ト成^ルト云^ハ權^ニ實^ヲ已^ニ敵^ト對^ノ時^成ル歟。未^ニ敵^ト對^ノ日^歟。若^シ

權^ニ實^ヲ已^ニ敵^ト對^ト云^ハ、諸^ノ宗^一同^ニ付^レ權^ヲ謗^ス實^ヲ。仍^テ墮^レ無^間ノ因^也。何^ソ云^ニ成^レ佛^ノ因^ト耶。

一義云、稱^レ佛^ノ功^徳成^レ佛^ノ因^ト存^{シテ}淨^土宗^ノ佛^經共^ニ謗^ル不^ニ呵^責歟。若^シ爾^也ト云^ハ、佛

法^中怨^ノ者^也。涅槃經三云、若[※]善^比丘^等云云。

重難云、記四云、若[※]被^レ開^セ則^チ宿^作成^シ已^ト。故^ニ知^ヌ。善^ノ躰^本妙^{ナレ}共^ニ隨^フ執^者ノ心^ニ。是^ノ

故^ニ開^レ心^ヲ宿^善咸^ク遂^ク矣[△]。善^躰本^妙ノ四字[」]如何[。]若^シ法^花已^前ノ小^善等^無得^道ナラハ何^ソ云^フ

本^妙ト耶。

仍可^レ云^ニ事^惡者^耶。故^ニ知^ヌ又^テ法^躰善^也。但^シ行^者二^毀謗^罪アリ。若^シ未^ニ謗^ノ時^ハ何^ソ有^レ罪

耶。其^ノ情^若惡^{ナラ}ハ隨^情ノ法^何善^{ナラン}耶。是^ヲ以^テ大^經我等^皆名^邪見^云。釈^云。

問^フ。此^ノ算^内外^前後^如何。

相伝云、権実未分ノ時ハ衆生何レ權何レ実ト不レス知ラ。但仏法ハ涅槃計ト信行スル故ニ小善等モ可レ成ニ仏ト也。然ニ説ニテ法花一ヲ定ニル權実ヲ之時キ執レシテ權ヲ謗レハ実ヲ万善万行徒然也。謗法ノ大罪盛ナル故也。就中当世ハ諸宗一同ニ法花經并釈尊ニ背テ權經權仏ヲ信ス。行者ノ執計カ計トシテ可レ説ニ法花一仏教ヲ不レルノミニ帰セセ法花一非ス。令ニ雜乱ニ之間無レキ失仏教ニ成レ失ヲ、四味三教皆成レ惡ト計行者計也。然ニ念仏ノ行者捨テ有縁ノ仏教ヲ無縁ノ仏教ヲ信シ帰テ謗レ之ヲ上ハ入阿鼻獄ノ業因無レキ疑者也。天台宗ハ迷ニ開会未開会仏等已開ニ定ニ思ヘリ。又』開ニ畢テ帰テ可レ説ニ他經ニ云故ニ不レ知ニ開未開ニ雜乱シテ畢ヌ。サレハ諸宗ノ謗法ヲ不レ責メ。結句一同ス。タマク責レ之ヲ人ヲ謗ル。仏法中怨ノ者也。例セハ如下無量無辺ノ財宝ヲ執持ス共主師親ニ成ニサハ敵對一ヲ速ニ可レカ被レ罰上。諸宗ノ行法モ如レシ是。無量無辺ノ善根ヲ造作スル共執ニシテ權經權仏一ヲ謗ニル実相実仏一故ニ入阿鼻獄不可レ免也。是以テ法花云、不信毀謗入阿鼻獄矣取意。双觀經云、唯除五逆誹謗正法矣。往生論注上云、但令レ誹ニ謗正法一更無ニ余罪一必ス不レ得ニ往生一。何ヲ以カ言レ之。經ニ言ニ五逆罪人阿鼻大地獄中一具。受一劫重罪謗正法人墮阿鼻大地獄中。此劫若尽復轉至他方阿鼻大地獄中、如是展轉至三百千阿鼻大地獄一。仏不記往生時節ヲ。秘藏寶鑰云、謗人謗法定墮阿鼻獄矣。故ニ知ヌ。於ニ当世諸宗ノ行法ニ者不可レ論ニ(九八丁裏)往生成仏ノ義ヲ者也。

次ニ当家行法花成仏ノ大恩也。如ニ金言ノ正直捨方便、無ニ亦無ニト信シ有縁ノ釈尊ヲ恭敬供養ス。是レ即チ三世ノ諸仏ノ御本意ニ相叶ヘル者也。其ノ故ハ釈尊既ニ説ニ法花一ヲ欲ニシテ屬累一ト於ニテ宝

不…獄ニ正藏九・一五中
唯…法ニ正藏一二・二六八上
但…節ニ正藏四〇・八三四上
具ニ「矣」

復ニ「説」
記ニ「説」

往生ニ原「得出」
謗…獄ニ正藏七七・三六七下

若…正藏九・三四中
如…正藏九・五二上

後度

以…正藏九・五二中
能…正藏九・五二中

於…正藏九・五二下

善…正藏九・五四下
一…正藏九・六一上

若…覆正藏九・六一下

塔品二下シテニケ勅定ヲ云ク、若有能持則持仏身○住淳善地矣。至ニ神力品ニ結要云、如来一切所有

之法○皆於此經宣示顯説是故汝等於如来滅後应当一心受持誦誦解説書写如説修行矣。偈ニ云ク、

以仏滅度後、能持是經故、諸仏皆歡喜、現無量神力。又云、能持是經者、則為已見我、亦見多

宝仏、及諸分身者、又見我今日、教化諸菩薩、能持是經者、令我及分身、滅度多宝仏、一切皆

歡喜、十方現在仏、并過去未來、亦見亦供養、亦令得歡喜、諸仏坐道場、所得秘要法、能持是

經者、(九九丁表)不久亦當得矣。又云、於我滅度後、應受持斯經、是人於仏道、決定無有疑。藥王品云、

善男子百千諸仏以神通力共守護汝於一切世間天人之中無如汝者云。勸發品云、一者為諸仏護

念云。又云、若有受持誦誦正憶念修習書写是法花經者當知是人則見釈迦牟尼仏如從仏口聞此

經典當知是人仏讚善哉當知是人為釈迦牟尼仏手摩其頭當知是人為釈迦牟尼仏衣之所覆矣。

此等ノ經文分明也。持ニ此經一者ハ即チ持ツ三世十方ノ諸仏也。若不持ニ此經者諸仏不レ可ニ護

念シ玉フ。又持ニ仏身ヲナルヘカラス。又背ニ諸仏ノ金言ヲ也。若能持レ之者ハ是真仏子住淳善地

也。所詮隨ニ釈尊ノ金言ニ也。若隨速ニ信ニ此ノ經ニ無レ信ニ權仏也。穴賢云云。

尋難云、今マ天台(九九丁裏)宗ノ心ハ人天小善已酬未酬共ニ成仏ノ因ト云也。其ノ故ハ今ノ品モ拳テ入

天ノ小善ヲ云ニ皆已成仏道ト故也。如何。

示云、開會シテハ成リ仏因トケリト被レリ知。未開ノ時ハ三乘五乘七方便九法界皆悉ク、但以

仮名字、引導於衆生、若以小乘化、我則墮慳貪、終不得成無上菩提ノ法ナル故ニ法花已前ノ諸

經ヲ不可レ云成仏ノ因トハ也。門外ノ三車実ニ無シ其ノ躰。但有ニ仮ノ名字ニ故也。但シ在世ハ能

化ノ仏設ニ種々ノ方便ヲ備ル聞大不謗ノ徳ヲ故ニ未謗ノ衆生ナレハ直ニ至テ法花ニ被ル、開会ニ故ニ成ト仏

因ト思ヘタリ。滅後ハ不レス然。執ニシテ仮ノ方便ヲ謗ル真実ノ法花ヲ故ニ衆生皆ナ成レリ已謗ノ罪人トハ。此ノ重

罪ヲ改悔シテ信ニ伏セハ法花ニ者法花即チ逆縁毒鼓ノ縁ト成テ終ニ成ニ共ニ仏恵トハ爾前ノ諸經全ク不可レ成ニ

仏因ト也。但信伏随従ノ後ハ煩惱業苦ノ三道尚ヲ法身般若解脱也。況ヤ人天等ノ善ヲ耶。此ノ方ハ

別段ノ事也。如何ニ思共謗法罪不レ尽外ニハ爾前ノ教行等全ク不可レ成ニ仏因トハ也。庶ハ有智ノ君子

速ニ懺悔シテ謗法罪ヲ歸ニ伏法花ニ者汝等所行是菩薩道也。偏教行理豈不レ成ニ仏因ト耶。

一義云、抑法花已前ノ諸經并人天等ノ小善等皆ナ歸ニ入シテ法花ニ成ニ仏因ト歟。若シ不レトモ歸入セ

成ト仏因ト云ハ、無量義云、終不得成無上菩提云云。注釈云云云。秀句云、終不ノ之言大小俱ニ

有リ云。所詮經釈ノ意ハ開会シテ成ト仏因ト云也。

籤一云、若ハ低頭、若ハ微善ト者惣ニ結ス。散乱小善ノ之類無レ不三コト開レシテ之ヲ成ニサニ仏因ト歟。

玄一云、化他ノ因果ハ不能レ致ニト仏菩提ヲ。是ノ故ニ不取矣。

重難云、今マ種類種開会ト者案位開也。爾前ノ善根ノ大小ヲ以テ法花功德ニ校量シテ開ル也。宿善大

多ナレハ今經ノ大多ノ功德ニ可レ開ス。昔ノ善若シ微少ナラハ今ノ經ノ小位ニ可レ開ス也。是以テ籤

一云、若シ案位開ヲ者ハ、二乗得レ在ニコトヲ似位ニ。人天ハ但在ニ觀」行ニ矣。

記四云、所開不同也。両教ノ二乗及以ヒ通別ノ菩薩並ニ有ニ所証ノ之理。故ニ開ニシテ小ノ理ヲ以テ成ニ

終…正藏九・三八七上
終…伝全三・二四二

若…因…正藏三三・八二三中

化…取…正藏三三・六八五中

若…行…正藏三三・八一七中

所…已…正藏三四・二四四下

大ノ理ト。今マ開ニスルニ人天ノ小善ヲ已ニ成ニリ縁因ノ大善ト。○(異筆。異本なし)一旦ク抛ニレハ能趣ニ善ノ躰未深カラ。若シ從ニヘテ所趣ノ辺ニ說カハカハ此則並ニ有レリ所レ資ル。此ニ論コトハ開權ヲ皆約ニス案位ニ。若シ從ニヘハ進入ニ何ソ独リ住前ノ縁因而已矣。ノミナラン△

当：耳 正藏三四・二四五上

如此ノ釈者他經所修ノ善體皆ナ功德ノ本ト成リ是以テ記四云、※当レ知ル散心微善不レコトヲ失セ、理ハ無ニトモ違順ニ心ニ有ニ是非。(異筆)「優婆塞戒經」等者此ノ中文ノ意」正ク開ニス其ノ善ヲ不レ論ニ其ノ罪ヲハ因テ明セルハ用コトヲ謬ヲ便ニ釈セル之ヲ耳矣如何。

示云、如上云。

皆：然 正藏三四・二四六上

又釈前後能々可見之。記四云、※皆開ニテ偏小一ヲ以テ成ニス於実ト。又双非ノ言始メ自三藏ノ菩薩亦異ニ凡小ニ。乃至別教ノ地前並ニ須レ開レ之ヲ。然モ亦タ須レ知レ開レノ所以一ヲ。若シ心麤境妙ナルハ但開ニス其ノ心一ヲ。如下キナリ以ニ相心一ヲ持ニ法花經一若ハ聞ク法花ノ一句一偈一等上。若シ境麤心妙ナルハ境已ニ隨テ轉セ。不レ須レ論開。若シ俱ニ麤者須ク心境俱ニ開ニス。亦可但開ニス其ノ心境無レト云コト轉セ。道理必ス須レ知ニ善ノ躰性一ヲ。方ニ乃チ名レ開ト。惣シテ而言フニ之ヲ心境並ニ開ニス。尚ヲ開ニス久遠ノ四惡ノ麤智ヲ。況ヤ人天ノ智ヲヤ。若シ不レハ開レ之ヲ則チ仏ノ之知見』永埋ニ四惡ニ長没ニシナン人天ニ。問答ノ意ヲハ、開ニテ彼ノ過去ノ微善一正ク擊ツ現在ノ執心一ヲ。已ニ為ニ過仏ノ之所レ、コト開竟ヌ。所以ニ於ニ仏ノ滅後一聞ニ一句ノ經ニ云レ与レト記者拳レテ淺深、並ニ是預メ開ニシテ其ノ心一令レ成ニ心境俱ニ妙ナルコトヲ。若シ仏ノ滅後ニ聞ニ是ノ經ヲ不レ信セ者ヲハ尚ヲ付ニケテ後仏ニ法花會ノ中ニ為レ開ニスルコトヲ其ノ心一ヲ。經ノ意ハ正ク言ニリ二世皆開ニス。我豈不レヤト然ラ矣。

若…正藏九・九中

三十三 經云、若有聞法者無一不成仏矣。

花嚴法相難云、頓悟菩薩為三定性ノ二乗ノ不説ニ無一不成仏ト。為三不定性ノ二乗ノ説ニ無一不成仏ト也。頓悟ハ四十年ニ聞レ之ヲ。定性ハ都テ不レ聞カ。何ソ云下至ニ法花ニ有レト聞レト法上ヲ耶。

義云、今ノ文五仏ノ章ニハ何ノ文ソ耶。彼云、未來章也。

今云、未來未レ起。何ソ云レ限ニ不定性ニ耶。彼云、准ニシテ現在ニ云也云云。

今云ク。爾ハ者現在ニ若シ頓悟ノ菩薩至ニ法花ニ始テ聞ニ法花ヲ。定性ノ二乗至ニ法花ニ成仏スト云文証

有ハ之汝カ難非耶。」

以…正藏九・三八六上

是ヲ以テ無量義云、以方便力四十余年未顯真實○次説方等十二部經摩訶般若花嚴海空宣説菩薩

薩歷劫修行ノ文ヲ八万菩薩領解シテ云ク、終不得成無上菩提所以者何不知菩薩大直道故矣。

大…正藏九・六下
數…「衆」

法花云、大數有八万○欲聞具足道矣。

一…正藏九・三二下

又云、一切菩薩阿耨菩提皆屬此經矣。

聞…正藏三・五〇

秀句上云、聞ニ法花經ヲ得ニ仏記ヲ者豈不ニ直道頓悟ノ諸菩薩等ニ哉矣。

若…闕…正藏三・九

又云、若有聞法者無一不成仏已上。當ニ知ル、未來ノ仏ノ三乗五性皆成仏ノ文也。皆許ニ定性ノ二乗

畢竟無涅槃モ聞ニ仏ノ説法ヲ故ニ○若シ定性ノ二乗畢竟無性不レ得ニ成仏一スルコトヲ者諸仏ノ本誓闕セン矣。

夫…乘…正藏三・二〇

又云、夫レ法花ノ大意ハ定不定共ニ赴ク一乗ニ。是ノ故ニ經ニ云ニ唯一乗無有二乗ト矣。

三…子…正藏一・七二六

通六九証破比量文云、山家 三乘五性皆悉ク成仏ス。故ニ法花ニ云ク、若有聞法者無一不成仏。

又云、告_ニ舍利弗_ニ我_モ亦_タ如_レ是_ノ衆聖_ノ中_ノ尊世間_ノ之父_也。一切衆生_ハ皆是吾_ガ子_也△。

難云、一切衆生皆是吾_ノ子_ト者約_ニ不定性_等ニ一切也。(一〇二丁表)又一切皆成_ト者小分_ノ一切也。

示云、此難云、正ク經_ニ限_リ不定性_ニ。又小分_ノ一切_ト說ケル文有_之耶。若_シ不_レ出_レサ文_ヲ者誰_カ可_レ信_ス之_ヲ耶。

如_レ正藏九・五二上

神力品云、如_レ來一切所有_之法_矣。

決權實論云、始第十ノ一切衆生皆為_レ仏子第二下也抄第四ノ今此三界_ノ下_ニ註_レ之_ヲ云。又五性皆成_ノ文抄第五ノ是善

薩道_ノ下可見_之。

一_レ也_レ伝全二・六九一

又云、一_レ乘_{正意}者、定性_ニ三乘人、不定性_ニ四人、無種性_ニ五人、一切有心者、若有聞法者無一不成_レ仏、夫十方_ノ仏土中、唯一_レ乘法、何有_ニ三五乘_也。開示悟入唯_レ仏ノ知見_ニ何_レ有_ニ定性_一也。北猿者未知_レ一法界未見_レ一法界是故墮增減見起_レ大邪見_也△云。

知_レ正藏九・九中

三十四 經云、知_レ法常無性_矣。

付之禪宗難云、覺悟_ノ知見_ニ法_ハ常住_ニ無性_也ト知食_ト說_ク故_ニ論_ニ是非得失_ヲ事_ハ迷者_ノ見也。

何_レ於_レ法_ニ立_レ我_ヲ耶。サレハ次下_ノ文_ニ是法住_{法位}世間_ト云ヘリ。都_テ一切世間皆是_レ本有妙法_ノ当_レ躰_也ト覺悟スル_ヲ名_ニ禪法_ト。何_レ云_ニ天魔_ノ所為_ト耶。(一〇二丁裏)

示云、如_レ前々_ノ云云。

義云、抑今難ハ者教内教外ノ中ニハ何ノ難ソ耶。若シ教内ト云ハ、サテハ用レ教歟。若シ用ト云ハ、法花經所説ノ教相ヲハ一分モ不レ可レ遺ス歟。然也ト云ハ、正直捨方便ノ禪歟。若シ依レテニ教外ト云ハ、汝所レ引經文難スルハ教外ノ名言。自語相違。抑教授ヲハ道理ト存シテ引之歟。若シ不ト道理ナラ者何引之耶。

天台宗難云、論ニ權実偏円等一ヲ事はレ本迹ノ重也。今マ円融無作ノ絶待妙ノ觀ノ日ハ直ニ本有常住ノ法躰ヲ觀達ル也。仏知見内証境界ト者是也。是以テ知法常無性乃至是法住法位世間相常住ト説ク此意也。何ソ不レ付ニ此理ニ留テ本迹ノ辺ニ強ニ論ル權実等一耶。是天台云、文句四知法常無性ト者実相常住ニシテ無シ自性一矣。

知…性 正藏三四・五八上

又云、是法住法位ヨリ一行ハ頌ニ理一ヲ也。衆生ト正覺ト一如ニシテ無シ二如一。悉ク不レ出レテ皆如ノ法ヲ為レ位ト也。世間相常住ト者出世ノ正覺以テ如ヲ為レ位ト一亦以テ如ヲ為レスレハ相ト」位ト相ト常住トナリ。世間ノ衆生亦以テ如ヲ為レ位ト亦以テ如ヲ為レスレハ相ト。豈不ニランヤ常住トナラ。世間既ニ常住ト也。豈非ニ理一ニ矣。

(異筆)

記釈下可註之。

法…子 正藏三三・七九二中

玄九云、法花前ノ教ニ或ハ門理已ニ入レレルハ妙ニ者更ニ何ノ所アレラン開スル。或ハ門理雖モ妙也ト而モ人未レタ妙ナラ、門理妙ナルニハ者亦不レ須開ス。若ハ門若理、若ハ人未レタ妙ナラ者今マ當レニ開ス。謂ク開ニ一切ノ愛見ノ煩惱即是レ菩提ナリト。故ニ云フ觀一切法空如実相ト。開ニ一切ノ生死即是レ涅槃ナリト。故ニ云フ世間相常住ト。開ニ一切ノ凡人即是レ妙人ナリト。故ニ云フ一切衆生皆是吾子ト矣。

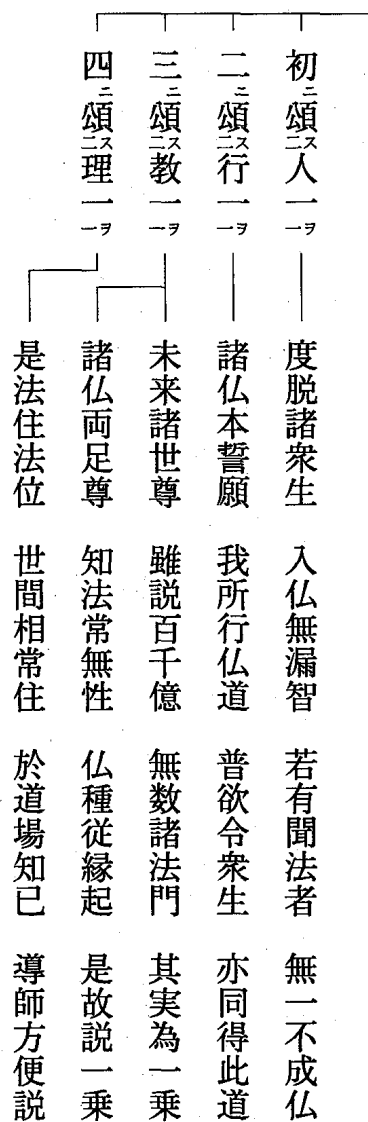
義云、抑今ノ難者捨テ權実本迹ノ重ヲ專ニト観心ヲ云歟。若シ然也ト云者今マ何ソ引文前後ニ何ノ文ニカ観心ノ日ハ可ト捨ツ權実本迹等一見ヘタル。若シ如難ノ捨テ權本一者何ノ法躰ヲ可レキ観ス耶。故ニ知ヌ。汝カ観心ハ小乘但空ニモ尚ラ劣也。但空ノ観尚ラ観ニ其ノ法躰一。何況ヤ法花ノ妙観ヲ耶。知ヌ。此難ハ是レ外道ノ無因無果ノ観也ト云事。得意云、今円融無作ノ絶待妙観ト者観ニ実相ノ妙躰一。実相ノ妙躰ト者法花経也。況今マ所引文ハ未来仏ノ一顯一ノ文ナル故ニ法花経ト云事在テ文ニ分明也。此ノ顯一ノ法花ヲ捨テ別ニ用ニト観心ノ一意云文全文ノ前後ニ不見耶。委如ニ諸法実相ノ下勸文一スルカ云云。

頌ニ未来ノ仏ノ章一

未来諸世尊 其數無有量 是諸如来等 亦方便說法 一切諸如来 以無量^{*}方便

初ニ頌ニ開ニ

二ニ頌ニ顯一ヲ四



於…三〇正藏三四・五八上

文句四云、於道場知已トイハ此レ舉レ果ヲ積ニ成スルナリ開レ權顯實ヲ。道場朗然トシテ斯ノ理久ク暢トナリ。物ノ情障リ重クハ方便シテ施スニヲ矣。記文下可注之。』

是…也〇正藏三四・二四七上

（一〇四丁表）
記四云、是法ト者正ク示ス理一ヲ。世人悉ク謂ヘラク理性ハ本ヨリ淨シト。理若シ本ヨリ淨クハ何ヲ用カ修セン之ヲ。若シ本ヨリ不レ淨カラ修ストモ亦タ不レ成セ。今マ云ク、理ニ淨キ也也非ニ已ニ淨ニ也也。

世…住〇正藏三四・二四七中

又云、世間ニ相常住ト者〇レ依ニ世間ニ修ニ成シ玉ヘリ極理ヲ。驗ニ知ヌ。世間ニ本ヨリ有ニト云コトヲ斯ノ理一。故ニ云フ常住ト矣。

世…實〇正藏三四・二四七中

又云、世間ノ之名通シテ収ニ依正一ヲ。常住ノ之称ハ不レ碍ニ途一ヲ。故ニ云フ理一ト。若シ不レ了レ此ヲ徒ニ云レ開レ權ト如何ノ顯レ實ヲ矣。

道…重〇正藏三四・二四七下

又云、道場ト等者果ノ理先ヨリ成セリ。故ニ言フ久暢ト。且ク望シ寂場ニ四十余年ヲ為ニ久暢ト耳ノ。物情障重ト者除テ三味ノ中ノ円ヲ余ハ皆障重ナリ矣。

例ノ約教ノ釈也、一往也。

仏…〇正藏九・九中

三十五 經云、仏種ニ從緣起矣。天台宗難。付之、何ノ法ヲ行ストモ皆レ仏種緣ト說ク。是ヲ以テ他經ニハ門々不同八万四ト云ヒ龍樹菩薩ノ十住毘婆沙論ノ易行品ニハ、仏法ニ有ニ無量門一如ニ世間ノ道ニ有レ難

仏…行〇正藏二六・四一中

有レカ易一。陸道步行則苦也。水道乘船則樂、菩薩ノ道亦如シ是。或ハ有ニ難行精進一、或ハ有ニ以信方便易行一矣。此論ノ意成レ仏ノ難易行ニハ念レ仏一定タリ。是偈頌ニ勸ニ請シテ十方ノ諸仏一早結ルニ

若…字…正藏二六・四一中

〔二〇四丁裏〕若^シ人疾^ク欲^レ至^ニト不退^轉ノ地^ニ者^ハ必^ズ以^テ恭敬^ノ心^ヲ執^持シテ称^中名字^上ヲ矣。如何。

義云、他經論ノ文且ク置^レ之。抑今ノ文ニ仏種從緣起是故說一乘ト云ヘル緣以テ方便非真ノ念仏ヲ仏種ノ緣トセヨトハ未來仏章ノ下ニハ何^ノ処^ニ有^リ之耶。又天台ノ当^レ処^ノ御^レ積^見タル歟。

一義云、如^レ難^ノ者^ハ仏種ノ緣ニハ法花經所說ノ教門ヲ為^レシテ緣ト成^ニ正覺^ヲ欲^セハ起^ニト^ハ一乘ノ教ヲ此^レ即^チ頌^ル教一^ヲ法花經ノ教ヲ云ハ^ン人^ハ僻^事歟。

由…也…正藏三四・五八上
性…原「種」

文句四云、由^ニ教行^ヲ為^レ緣^ト則^チ有^ニ正覺^起一^{コト}。欲^シ起^ニト^ハ一乘ノ教ヲ此^レ即^チ頌^ル教一^ヲ也。又云、仏種從緣起^ト者^ハ即^チ是^レ緣^了也。以^レ緣^ヲ資^レ了^ヲ正種^得起^ル一^{コト}。一起^{一切}起^{ナリ}。如^レ此^三性ノ名^ヲ為^ニ一乘^ト也。

仏…也…正藏三四・五八上

此ノ積又緣了ノ二因ヲ為^レシテ緣ト正因種ニ可^レ得^積也。此外以テ方便ノ教行ヲ可^レト為^ニス^ル仏種ノ緣ト云^レ經文何^ノ文^ソ耶。

示云、若淨土宗難^シテ云^者、汝^チ謗^法ノ故^ニ則^チ断^ニ一切^{世間}ノ仏種^者也ト可^レ責^也。若^シ存^ニ一義^一一義^ト者^ハ一義^云、如^レ難^者、汝^チ所^立ノ念^仏經等^ノ一乘^ノ緣^ト不^レ成^ラ云^人ハ僻^事歟。無^量義^云、未^顯真^實。又云、終^不得^成無^上菩^提云^云。法花云、正^直捨^方便。又云、不^受余^經一^偈矣。若^シ仏種ノ緣^ト成^ラハ何^ソ捨^レ之^ヲ何^ソ不^レ受^之耶。又何^ソ一乘^ノ法花^ヲ現^ニ乍^レ見^不レ^テ取^レ之^云捨^閉闍^抛ト耶。

未…正藏九・一六上

終…正藏九・三八七上(取意)

正…正藏九・一〇上

不…正藏九・一六上

若…正藏九・一五中

此…也 || 正藏三四・二七四中

記五、釈云、此ノ經ハ徧ク開ニ六道ノ仏種ヲ。若シ謗ニ此ノ經ヲ義当断ニ也。

若…也 || 正藏三四・七九上

文句五云、若シ不信ニ小善成仏一ヲ則チ断ニ世間ノ仏種一ヲ也。

仏…教 || 正藏三四・五八上

文句四云、仏種縁起ト者中道ノ無性ハ即是レ仏種ナリ。迷ニ此ノ理ニ者由ニ無明為レルニ縁ト則チ有ニ衆生

起一ト。解ニ此ノ理ヲ者由ニ教行ヲ為レルニ縁ト則チ有ニ正覚起一ト。欲レシテ起ニト仏種一ヲ須ニ一乗ノ教一ヲ矣。

無…也 || 正藏三四・五八上

又云、無性ト者即チ正因仏性也。

初…本 || 正藏三四・二四六下

記四云、初ニ云ヨリ中道ト下ハ立テ、本ノ無性ヲ為ニス本ノ性徳ト。故ニ知ヌ。今ノ種ハ即性カ家ノ種也。是ノ

故ニ還テ立テ、無性ヲ為レ本ト矣。

由…生 || 正藏三四・二四六下

又云、由ニ迷ノ之縁ニ而モ起ニス九界ヲ。界々ノ三千ハ事ノ縁起也。即是レ性ノ種從ニ迷ノ縁ニ故ニ起ニス於衆

生一ヲ矣。

明…起 || 正藏三四・二四六下

又云、明ニ淨ノ縁起一ヲ。即チ聞ニ一乗ノ教一ヲ起ニス一乗ノ行一ヲ。行ハ通ニシテ因果ニ能ク成ニス正覚一ヲ。○成ニ正

覚一ヲ已テ能ク為レ他ノ説也。故ニ説ニ一乗一ヲ在ニル教一ニ也。即チ果ノ仏種ハ從ニ淨ノ縁起。衆生ノ仏種ハ從ニ

説ノ縁起一ヲ矣。

三十六 經云、雖示種々道其実為仏乘矣現在仏章也。又云、以種々法門宣示於仏道矣釈迦章也。

尋云、種々法門ト者何ノ法ヲ耶。

示云、法花已前ノ八教四時ノ一切諸經也。

難云、爾前ノ円種々ノ法ノ内ニハ不レ入ラ也。法花ノ円ト一ナル故也。

一義云、爾前円ノ開未開如上ノ。但シ今ノ文ハ殊更ニ爾前ノ円ヲ方便ト云テ而開会スト之ヲ云文也。

又…也 正蔵三四・二中

是ヲ以テ文句一云、又云三種々法門宣示於仏道ト。当ニ知ル種々ノ声教若ハ微若ハ著若ハ權若ハ実、皆

為ニ仏道ト而作ニ筌蹄ト。大經ニ云ク、鹿言及ヒ軟語皆帰第一義。此之謂也△矣。

微…正蔵三四・一五六上
善…「乘」

記一云、微ハ謂ク諸教ノ初心人天ノ小善、著ハ謂ク諸教ノ果徳也。權実微著皆為ニナリ独頭ノ。故ニ云フ筌

蹄ト。種々ノ之言及以ヒ微著ハ必ス須下ク八教ヲ以方ニ顯シテ四味ヲ為中ス醍醐ノ筌蹄ト。是故ニ筌蹄ハ並ニ譬フ能

通ニ。權教權部ハ並ニ為ニ一実ノ魚兔ノ而モ』施設スル也。
(一〇六丁表)

次…実 正蔵三四・一五六上

又云、次ニ引コトハ大經ヲ者引ニテ彼ノ大經ヲ重テ証ス今ノ部ト。則チ以ニ一実ヲ為ニ第一義ト。鹿軟ハ須レク指ス

四味ノ權実ト矣。

諸…尊 正蔵一二・七二八上

涅槃經二十二云、梵行品阿闍世王語也。諸仏常軟語 為衆故説鹿 鹿語及軟語 皆帰第一義 是故

我今者 帰依於世尊△

即…道 正蔵三三・八一〇下

玄十云、即チ廢シテ方便ノ一乘ヲ唯円実ノ一乗也。故ニ云フ如我本誓願今者已満足化一切衆生皆令入

仏道ト矣。

諸…也 正蔵二八・六三九下

輔正記一云、諸教果徳者ニ教ノ果位ヲ為ニ果徳ト。即チ約スル行ニ也。權実ト者ニ教ヲ為レシ權ト別教ノ

妙覺別ノ理ヲ為レス実ト。以テ約ニ教道ト。故ニ云フ皆為筌蹄ト。即約レ教ニ也△矣。

実…実 正蔵二九・一一下

東春一云、実約四教三權円実矣。当処釈下可注之。所詮種々ト者法花經ノ意ハ法花已前ノ諸經ヲ一

釈：法||伝全三・六二四

若：々||正蔵四六・二三二中

言：同||正蔵四六・三四九下

種：經||正蔵三四・一五六上
經||原「教」

本：乘||正蔵三三・八一上

種：々||正蔵三三・八一六下

經：乘||伝全三・一〇

字一点モ不レ残^サ皆束^テ種々ノ言ニ撰ス也。爰^ヲ以^テ無量義ノ性欲不同種々説法ノ文ヲ山家大師ノ注釈

中ニ釈シテ云ク、釈迦一代四十余年所^レ説之教ニ略シテ有^リ四教及以^ヒ八教^一。所謂^ル樹王ノ花嚴鹿苑ノ阿

含坊中ノ方等鷲峯等ノ般若ハ演^ニ説^スレトモ一乘^ヲ大小ノ菩薩歷劫^一修行^也。小乘三蔵教大乘通教大乘別

教大乘円教頓教漸教不定教秘密教如^レ是等ノ前四味各々不同^也。是ノ故^ニ名^テ為^ニ種々説法^ト矣。

弘決三云、若^シ論^セハ教ノ意^ヲ八教四時^ヲ方^ニ名^ニ種々^ト矣。

同六云、言^ニ種々^ト者四時七教盈縮不同^矣。

記^一云、種々法門宣示於^レ仏道、仏道^ト者別^シテ指^ス今^ノ經^ヲ矣。

又云、種々^ノ之^レ言義兼^ニタリ^一代^ヲ。在^ニ他部^ニ意未^ニタ^ス然^ラ。仏道^ト者別^シテ指^ス今^ノ經^ヲ矣。^{〔朱書〕}「此釈肝心

也。八教四味ノ種々ノ法門ハ一実醍醐ノ為^ソト云義ハ他經ノ中ニハ曾^テ無^キノ事也。權教^ト云ヒ方便^ト云名ハ法花已前ニ

ハ不^レ顯^キ也」。

私云、別指^ノ言簡^ニ他經^ヲ。

玄十云、本門中^〇雖^レ示^ニ種々ノ形^ヲ欲^レ令^ニ度脱^セ。雖^レ説^ニ種々ノ道^ヲ其^レ実^ニ為^ニ一乘^ト矣。

籤一云、種々^ノ道^ト者即^チ両教^ノ因人別教^ノ教道、五時八教故^ニ云^ニ種々^ト矣。

私伝云、始^ノ十三字^ハ約教^ノ釈也。後^ノ八字^ハ約部^ノ釈也云云。

秀句上云、經云、雖^レ示^ニ種々道者、謂^レ人道天道、声聞緣覺道、六度菩薩道、三乘共行菩薩道、

歷劫修行菩薩道。是^レ則指^ス法花^ノ之前^ノ得果差別^ノ道^ヲ。次^ノ句^ニ言^ニ其^ノ実^ニ為^ニ一乘^ト者、即指^ニ法^ヲ。

花經云、既云其為三乘、其實為二乘也。

以：實||伝全三・一〇

又云、以種々法門者指法花前ノ經。是則先ノ三權也。宣示於仏道、是則後ノ一實也。

私云、三權也者惣シテ指前經ヲ矣。一實者別シテ指法花ヲ也。何以得レ知コトヲ。注釈ノ文ニ可知也。

以：故||伝全二・八

照權實鏡云、以彼實義不可說故^{已上}。言彼實義不可說故者謂ク顯露地一乘。實義者成道四十余年以前以不可說故^{論文}矣。

此：三||正蔵三三・七九七下

玄九云、此正ク廢教ヲ。雖レ破ニ其ノ情ヲ。若シ不レハ廢教ヲ樹想還テ生ス。執シテ教ヲ生レ惑ヲ。是ノ故ニ廢教ヲ。故ニ云フ正直捨方便但說無上道十方仏土中唯一乘法無二亦無三^一矣。

言：本||正蔵三三・九四七上

籤云、言ニ樹想還生ト等ニ者所詮ノ實理ハ猶シ如シ一根ノ。能詮ノ權教ハ猶如ニ樹葉○權想還生以ニ相生^{スル}故ニ亡ニ其ノ實本^一矣。

種：一||正蔵三四・五九下

文句四云、種々法門入於仏道、即頌ス行一^一ヲ。宣示^ハ即教^一也矣。
記四云、言ニ種々法門即對不種々ト者亦是從ニテ仏ノ本意ニ以テ説ク、如来本^(二〇七下裏)以ニ一門^一撰^レ物ヲ事

言：對||正蔵三四・二四九下

不レ獲^レ已^一コトヲ施ニ種々ノ門^一ヲ。施權ノ之意本在リ顯實^ニ。故ニ云フ宣示於仏道ト。仏道ハ唯實也。以レ權

對^レ實^ニ。引^レ權^ヲ入^レ實^ニ。故ニ云フ相對^ト矣。

文句并記五釈至第二卷ニ可レ注之ヲ。其ノ時問題替ル也。

問：已||正蔵七四・二七六下

宗義集云。問^フ有人ノ言ク始^メ自^ニ鹿苑^一法花ノ擘引ト。今^ノ意^ニ云何^一。答^{コト}。今^ノ意^ニ不^レ爾^一。且^ク近^ク説

寂滅道場ヲ為ニ法花ノ唎胤ト。猶ヲ恨クハ其ノ近コト從ニ大通智勝ニ已來タ悉ク為ニ衆生ノ作ニ法花ノ唎胤ト。又此レ猶ヲ近シ。從ニ本成仏ニ已來タ悉為ニ衆生ノ作ニ法花ノ方便ヲ。又復タ猶ヲ近シ。從ニ本行菩薩道ニ悉ク為作ニ法花ノ方便ト。法花經云、我本立誓願欲令一切衆亦同得此道。當レニ知ル唎胤豈止今而已矣。タ、ノミナランヤ△

於…正藏九・九下
三十七 經云、於三七日中思惟如是事我所得智惠微妙最第一矣。然者花嚴ノ時キ説ク法花ヲ耶。

示云、不レ説矣。

小…爾…正藏三三・九五八上
難云、籤十云、小雲法花ノ疏ニ云ク、三七ニ已ニ説キテ法花ヲ。引下ノ文ノ宿王花智仏在ニシテ七宝菩提

樹下ニ説キテ法花經ヲ。今ノ仏亦爾也ト云矣。

(二〇八丁表)

已上他宗釈也。
文句五ノ釈全同也。

初…齊…正藏三三・八〇八上
玄十云、初後仏惠円頓義齊△。

如…異…正藏三四・六三下
文句五云、如レ今ノ如レ始如レ始ノ如レシテ今ノ無レニ無レシ異矣△。

故…惠…正藏三三・八一八下
籤一云、故ニ拳ニ始終ヲ意在ニ仏惠ニ矣。

此…殊…正藏三三・六九六下
玄二云、此妙彼妙義無殊矣△。

我…正藏九・一〇下
已上。天台妙樂自釈也。自他宗共ニ花嚴ニ説キテ法花ヲ釈セリ。就中法花經ニハ我昔從仏聞如是

始…惠…正藏九・四〇中
法云云。或云、始見我身聞我所説則皆信受人如來惠云云。當処ノ釈等云云。

示云、此事如シ華嚴宗聞書并次上ノ爾前ノ円開未開ノ下委ク勤レカ之ヲ也。又至テ經ノ第二第五第八ニ

可_キ沙汰之也。

義云、惣爾前二代、別_{シテ}ハ花嚴ノ時_キ不_レト説_ニ法花_ヲ云人ハ僻事歟。

我_レ行_ニ正藏九・三八六上

無量義云、我先道場菩提樹下○宣説菩薩歷劫修行_△。

釈_レ代_ニ伝全三・六二四

注釈中云、釈迦一代_△云云。

世_ニ正藏九・六上

方便品云、世尊法久後_云。

説_ニ正藏九・八上

又云、説時未至故、今正是其時矣。譬喻諸天説偈文云云。

仏_ニ正藏九・三一中

法師品云、仏告藥王○從昔已來未曾顯説_云。

經_レ根_ニ正藏三四・二五一中

記四云、經云、於三七日_ト等者且_ク以_テ三乘_ヲ而為_ニ三根_ト矣。

得意云、大師釈共ハ約教也。他師釈ヲハ大師加_ニ會釈_ヲ至_ニテハ_△當所_ニ可注_之經文然也_云。所詮今ノ

文ノ前後全_ク花嚴ノ時_キ説_ニ法花_ヲ不_レ釈也。其ノ旨我始坐道場_ト云ヨリ我常如是説_ニ至_{マテ}能々見_レ

之_ヲ。分明也。

次_ニ舍利弗当知_{ヨリ}下_ハ顯実ノ文段也。至_ニ第五法花_ニ已_ニ始_テ説_ト見_ヘタリ。

難云、法花ノ意約_{シテ}ハ不定性ノ声聞_ニ法花_ニ始_テ説_レク_ヲ也。仍_テ非_レル_ニハ頓悟菩薩_ノ也。如何。

義云、無量義法花ノ八万菩薩ハ非_ニ頓悟_ニ歟。又第四卷、藥王菩薩如何地躰花嚴ノ時_キ不_レト説_云事_ハ

法花經独_リ説_ノ非_ス。他經_ニモ有_之。

過_レ論_ニ正藏三三・九五八上

籤十云、過去因果經云、初七_ニハ思_ニ惟_シ下_ヲ我法妙_ニ無_レ能_ク受_ル者_ノ。一七_ニハ思_ニ惟_シ下_ヲ上中下根_ヲ。

三七ニハ思ニ惟シマフ誰カ心聞レク法ヲ。即チ至テ波羅奈ニ為ニ五人ノ説下フ四諦△ヲ矣。

初…歳||正歳三三・九五八上

又云、初七ニハ思ニ惟シ法説ヲ、次ノ七ニハ思ニ惟シ譬説ヲ、三七ニハ思ニ惟シ因縁説ヲ。昔無カカ機故ニ息レテ

大ヲ施レス小ヲ。此ハ偏就レテ円ニ為レス語コトヲ。若シ通シテ約ニシテ『大乘ニ為レセハ語コトヲ初七ニハ思ニ惟シ説レコトヲ円ヲ、

次ノ七ニハ思ニ惟シ欲レコトヲ説レト別ヲ、三七ニハ思ニ惟シ欲レコトヲ説レト通ヲ。皆無カカ機故ニ息レテ大ヲ施ス於ニ二蔵△ヲ矣。

次下算勘文等可思之。

始…也||正歳三四・六〇下

文句四云、始坐道場者至理無レトモ時仮時ヲ化レス物ヲ。為レス化ヲ之初也。故ニ言フ始ト也△矣。唐本二八五

卷始有之。

若…判||正歳三四・二五二上

記四云、若シ約ニセハ花嚴ヲ為ニ最初ト者皆須約ニシテ於ニ円別ニ以テ判△上ス矣。唐本二八五卷始有之。

過…諦||正歳三四・六一上

文句云、過去因果経云、仏成道シテ初ノ一七日ニハ思ニ惟シ我カ法妙ニシテ無レト能ク受ル者ノ、二七日ニハ

思ニ惟シ衆生ノ上中下根ヲ、三七日ニハ思ニ惟シ誰カ心聞レク法ヲ。即チ至テ波羅奈ニ為ニ五人ノ説下フ四諦△ヲ矣。

重難云、此事汝カ先師背ニ天台章安ニ。天台既ニ准ニ小雲ニ如何。義云、如上云云。但章安ノ釈ハ仏

惠同ノ方ヲ同也ト妙楽判マヘリ。所詮天台宗宗要ノ算題也。常義如ニ論義ニ。可見レ之云云。仍釈ノ前

後能々可見之。

小…也||正歳三四・六一上

文句云、小雲ノ疏ニ云ク、初ノ三七日ノ時キ已ニ是レ説マヘリ法花ヲ。下文ニ宿王花智仏在ニシテ七宝菩提

樹下ニ亦タ説マフ法花」経ヲ。当レ知ル今ノ仏在ニシテ菩提樹下ニ亦タ説マフ法花ヲ。而モ鈍根ノ衆生不レハ堪允ニ

同シテ諸仏ニ開シテニニ教化シ、後ニ於ニ王城ニ説マフ一乗ヲ耳。若シ推ニセハ智者ノ意ヲ是レ則チ先ツ在ニシテ菩提樹

行經等ハ七々日、五分ハ八七、大論ハ五十七、地論等ハ並ニ一七ナリ。機見不同也。不レ須ニ和会ス。

今ハ是レ終窮ノ極教也。故ニ且ツ依レ之ニ矣。

小…改||正藏三四・二五二上
今文次上有之。又云、小ハ見ルニ七停留セリト。大ハ觀ル始終無レト改[△]ルコト矣。

私云。法花二七日ハ小見過リ歟。如何。」

舍…||正藏九・九下
(二一〇丁裏) 經云、舍利弗当知、我聞聖師子、深淨微妙音、喜称南無仏矣。付之釈尊既ニ念仏ノ

行ヲ修シ玉ヘリ。何ソ云ニ無間業ト耶。

一義云、抑釈尊ノ念仏ハ謗ニ法花ヲ玉ケル歟。

一義云、抑指ニシテ釈尊ノ念仏ヲ無間業ト云ト聞ケル歟。大旨如ニ次上ノ一称南無仏一也。

一義云、釈尊ノ念仏ハ限ニ弥陀一仏ニ歟。

喜…仏||正藏三四・二四五下
記四云、喜称南無仏ト者酬順ノ中ニ称ニ南無諸仏[△]ト矣。

即…||正藏九・一〇上
三十九 經云、即趣波羅奈、諸法寂滅相、不可以言宣矣。

付之、予住山ノ時キ有ニテ修学者一難シテ云ク、諸法寂滅相ヲハ不レ可ニ以レ言ヲ宣ニ云故ニ今於ニ法花ニ為^ナニス
思量分別^一ヲ事背ニ大聖ノ金言ニ也^一。今文ハ於ニテ阿含小乘ニ説ニ法花經ヲ被レタリ得^是ニ。指ニシテ阿含小乘^一
云フ諸法寂滅相不可以言宣ト歟^是三。此ノ三ノ難如何。

得_レ異本「從」

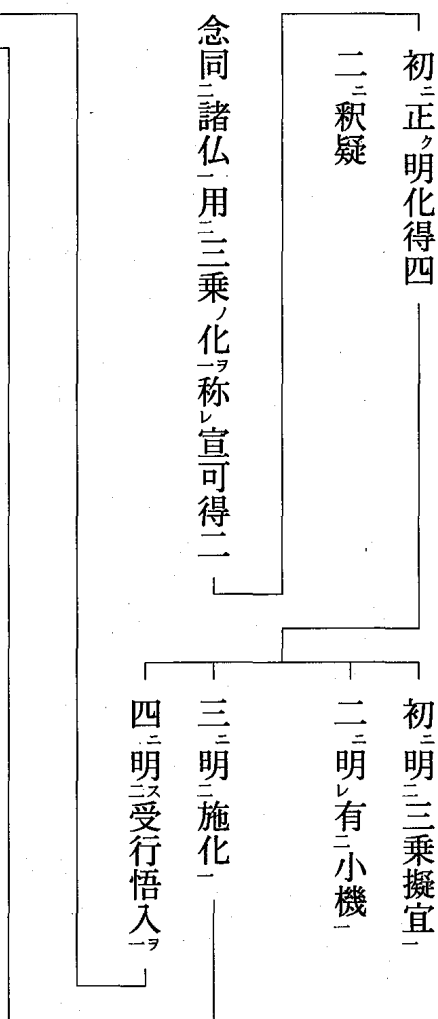
予示云、第一難者妙法当躰ハ唯仏能知ノ法ナレハ余人可得而未了知ノ法也。仍非難也。

第二難者甚非也。花嚴ニ尚_ラ不_レ説_ニ法花_一ヲ。(一一丁表)況_ヤ小乘阿含經ヲ耶。 釈尊并天台妙樂傳教等御

釈ニ□ル上ハ不可用之。勘文如_ニ次上於三七日中ノ算_一。

第三ノ難者不_レ然。諸法寂滅相_ト等者道場所_レ得_レノ妙法也。花嚴ノ時無_レ機未_レ至_レ時故_ニ不_レ説_ニ趣_一

波羅奈_ニ以_ニ方便ノ力_一為_ニ五比丘_一ノ説_ト四諦法_ヲ云故_ニ甚_ク不可也。



思惟是事已 即趣波羅奈 諸法寂滅相
 不可以言宣 以方便力故 為五比丘説_一

(一一丁裏)
 是名轉法輪○法僧差別名 示云、此等皆施權文段_{ナル}故_ニ不_レ説_ニ法花_一ヲ也。

諸_ニ大_一正藏三四・二五一下

記四云、卷末有之 諸法寂滅_ト等者、問_フ此_ノ中_ノ三_ノ釈義有_ニ何_ノ別_一カ。答_フ。然_モ初_ノ一_ノ説_ハ以_テ權

実ヲ相對ス。即チ実ハ不レ可レヲ説ク。説ヲハ属ニ於權ニ。三權ハ是レ數ナリ。故ニ一実ハ非レス數ニ。次ニ生滅不生滅相對ス。即チ不生滅ハ不レ可ニ言ヲ以宣フ○次ニ約ニテ実理權教ニ對弁ス。第二ハ即是レ偏真ノ之理。(異筆) 遍ノ四門ニ。偏実ノ理」亦不レ可レヲ宣フ。是レ則チ兩理俱ニ不レ可レ説ク。方便シテ為レ物ノ俱ニ可レ得レ説コトヲ。雖ニ俱ニ可レ説クレ仏意在レリ大ニ矣。

從：説||正蔵九・一〇上

四十 經云、從久遠劫來 讚示涅槃法 生死苦永尽 我常如是説矣。

僧||「相」

付之四諦十二因緣法若一向無得道ナラハ仏何ソ從久遠劫來讚示シ玉ヘル耶。又生死ノ苦何ソツク尽レレ之耶。又何ソ便有ニケル涅槃音及以阿羅漢法僧差別名ニ耶。正直捨權ノ法花經ニ正ク有リ此説一如何。

示云如「令離諸」著也。(一一二丁表)

得心云、仏三世ニ益レス物ヲ。先三後一ノ化儀不可ニ廢退一ス。若シ爾ハ開二ノ時キ何ソ不レ讚ニ示セ四諦十二緣ノ法ヲ耶。何ソ又無ニ四果等ニ耶。何ソ不レ斷ニ見思ヲ耶。但シ非ニ當教ノ益ニ。是レ過去ノ初業聞常ノ益也。次ニ実ニ稟ニ權教ヲ出レ界ヲ者其レハ虛出也。出界ノ益ハ實經ノ益ナルヘキ故也。次ニ正直ノ經ヲ説ク之ヲ事ハ為レ廢センカ也。為ニ開會ノ也。全ク非レス為レニハ立レシカ信ヲ也云。此等ノ義勢并問答作法如ニ令離諸著ノ也云。

從：道||正蔵三四・六二上

重難云、文句四云、從久遠劫來 下第二一行是 釈レレナリ疑ヲ。疑テ師ヲ云ク仏初ニ未ダ能レ鑒レト

機ヲ尋テ念ニ諸仏一始テ知ニ玉ヘルカト根性ヲ。即チ釈シテ云ク非ニ我レ不レニハ知ラ用ニコトヲ於方便一。特欲ニ引テ同セント

故念ニ諸仏一。非ニ始テ念シテ方ニ知ルニ。從ニ久遠劫ニ來テ見ニ其ノ樂レフコトヲ。小一已ニ為ニ讚示シテ令レムニ衆ノ

苦ヲ。所以ニ聞レテ小ヲ即チ得ニ解脱一也。疑ニ弟子ヲ云ク云何ノソノ衆生一世ニ暫ク聞テ即チ証ニト羅漢一ヲ。即チ

積シテ云ク從ニ久遠劫ニ來テ為レ其カ讚示ス。稱ニ於本習ニ。故ニ速ニ得レ道ヲ矣。(一ニ二丁裏ウ)

從言正藏三四・二五二上
敦原「熟」

記四云、從久遠劫來ト者久遠之言准ニ下ノ宿世ニ及ヒ指ニカ大通ノ之後ニ以レテ小敦※ス、メ故ニ。故ニ以テ一

文ヲ積ニ其ノ二ノ疑一。上文兼有其意ト者三乘ノ行人皆是レ仏ノ子ナリ也。上ノ諸仏ノ章ニ亦云ク有仏子心

淨等一。並ニ指ニ昔ノ教ヲ。聞ク方便一時已ニ名ニ仏子ト。然レトモ於ニ昔ノ教ニ未レタ可レ彰レハニス言ヲ矣。△

良常正藏四六・二五二下

示云、本末積能々可見。例ニ弘決等ノ積ニ良由久遠初業聞常ト云カ如也。又文句五云、

我也正藏三四・六二上

我見仏子ヨリ下ニ行頌ス人一ヲ。三乘ノ行人皆是レ仏子也。上ノ文ニ兼有ニ其ノ意一也矣。△

舍法正藏九・一〇上

四十一 經云、舍利弗當知、鈍根小智人、著相憍慢者、不能信是法矣。△付之鈍根小智人ト等

云今当ニ下品下生ノ者ニ云。不能信是法ノ道理極成セリ如何。

示云、至ニ無智人中ノ処ニ可注之也。

一義云、依ニ此文ニ謗ニ法花一歟。

者「云」

一義云、如難者、汝ハ鈍根小智著相憍慢ノ者歟。若然也ト』云ハ、サテハ墮獄無疑者也。(一ニ三丁表)

不正藏九・八中

是以テ經云、不聞仏名字亦不聞正法如是人難度矣。

当正藏九・一〇中

又云、当來世惡人聞仏說一乘迷惑不信受破法墮惡道矣。

若…正藏九・一五中

第二云、若人[※]不信^二云。

若…正藏九・四二上

第五云、若有於此經、生疑不信者、即當墮惡道矣。

釈…哉…伝全三・一〇

秀句上云、釈迦偈云、舍利弗當知、鈍根小智人、著相憍慢者、不能信是法^{已上}。經文。麤食者不能信^二法花^一為^レ權^ト亦為^レ密^ト。豈不^ア鈍根小智人著相憍慢^ノ者^ニ哉[△]。

重難云、經^{キヤウ}次下ニ云ク、有慚愧清淨、志求^レ仏道者、當為^レ如是等、広讚^一乘道矣。如何。

示云、至^テ無智人中ノ文^ニ可沙汰矣。

余…懷…正藏四六・七八六上

金毘論云、余曰、仏有^レ誠誠^一自^ラ可^レ為^レ規^ト。經云、若但讚^ニメハ^ハ衆生ノ没^ニ在^{セル}苦^ニ我^レ

寧^ロ不^レモ説^レ法^ヲ疾^ク入^ニト^於涅槃^ニヤ尋^テ念^ニテ^レ方便^一先^レシ小^ヲ後^レニスト大^ヲ。此^レ乃^チ以^レ偏^ラ助^レ円^ヲ方^ニ可^ニ

為^ニ説^ク。又云、当來世ノ惡人ハ破^シテ法^ヲ墮^{ナン}惡道^ニ。志^ニ求^{スル}仏道^ヲ者^ニハ広^ク讚^ニ一^乗ノ道^ヲ。此^レ

則^チ「簡^レテ人^ヲ方^ニ可^ニ為^ニ説^ク。然^ルニ末代ノ施化復^タ未知^レ根^ヲ、亦可^下如^ニク安樂行^ノ但^以テ大^{コト}答^上。亦^タ

可^下如^ニ不^レ輕喜根^ノ而強^テ毒^レ之^上。故^ニ首楞嚴ノ中^ニ聞^テ生^レ謗^ヲ者^後終^ニ獲^ク益^ヲ。如^ニ人ノ倒^レテ地^ニ還^テ從^レ

地起^一カ。応^下運^ニ大^悲無^レシテ惱^レコト他^ヲ説^ク。子^下應^ニ縱^容觀^ニ時^ノ進^不將^ニ護^シ彼^ノ意^ヲ順^中ス^上仏^ノ本^懷矣[△]。

「四十二」脱
於…正藏九・一〇上

四十二[※] 經云、於^レ諸菩薩中、正直捨方便矣。

付^レ之有難云、為^ニ菩薩^ノ捨^ニ方便^一故^ニ不^レ為^ニ我^等如何。

義云、如^レ難者為^ニ菩薩^ノ捨^ニ方便^一諸經^ノ之^ハ勿論也。觀音勢至等^ノ等覺^ノ菩薩尚^ヲ終^不得^成ノ

故ニ捨テ方便ヲ見タリ。何況ヤ我等凡夫以テ方便ヲ可レ為ニ出離生死ニ耶。

天台宗花嚴難云、於諸菩薩ト者是レ漸悟ノ菩薩也。是レ非ニ頓悟ニ。頓悟ハ法花已前ニ悟ル故也。

是ヲ以テ山家ノ妙法蓮花經義云、問フ、有頓菩薩者何ノ教ノ菩薩耶。答。藏通ニ教ノ菩薩也矣。如何。

一義云、如難者、惣シテ法花已前ノ諸經為ニ頓悟ノ菩薩ニ云ニ方便未顯真實歷劫終不得成ノ法ト。經

文有レ之如何。』

無量義文如常云云。註釈云、円教即是ノ菩薩等雖ニ是レ直道ナリト不ニ大直道ニ。今是一法門○故ニ

下文ニ云ニ四十余年未顯真實ト矣。

秀句上云、菩薩聞是法豈不ニ頓悟ナラヤ。与諸菩薩豈不ニ頓悟ナラ也。麤食者所レ立ル頓悟ハ聞ニテ法

花經一疑網皆已ニ除ル。又云ニ乘此宝乘直至道場ト。麤食者ノ頓悟ノ菩薩ハ法花ノ之前ニ未レ除ニ疑網ト

未レ乘ニ宝乘ト矣。

又云、麤食者ノ意ハ但為ニ小乘ノ人ノ説ニ此ノ法花經ヲ為ニ頓悟ノ人ノ不レ説ニ法花經ト。若シ爾ハ不レ免レ

先ノ失ヲ。歷劫頓悟ノ人已ニ除ニ疑網ト故ニ亦乘ニ宝乘ト故ニ矣。

重難云、三周ノ文中ニ唯有ニ声聞ノ領解ノ之言ニ都テ無ニ菩薩領解ノ之文ト故ニ矣。已上麤食者難也。

示云、秀句上云、彈シテ曰ク、此説不レ爾ヲ。以ニ自眼ノ不レ及ニ無ニ菩薩ノ領解ト。故ニ法花經ノ第

一周ノ末ニ帝釈梵王無數ノ天子領解シテ云ク、我等從昔來數聞世尊説未會聞如是深妙之上法ト。

当レ知是無數ノ天子ハ皆是レ菩薩也。言ニ我等從昔來數聞世尊説ト者謂ク、法花ノ之前ノ方等十二

頓異本「頓悟」

者「云」

円：実ニ伝全三・六〇六

菩：乘ニ伝全三・四七

麤：故ニ伝全三・四八

三：故ニ伝全三・四九

彈：哉ニ伝全三・四九

「般若」脱

乘||「樹」カ

部經摩訶般若花嚴海空ナリ。言ハ未曾聞如是深妙之上法ト者謂ク内証ノ法花經也。又經ニ云ニ我等亦如是必当作仏ト者豈不ヤ直道頓悟ノ諸大菩薩等ニ哉。其ノ第二周ノ迦葉ノ之領解ハ雖モ局レテ自ニ少分ナリト如来ノ之述成ハ上草ト与ニ小乘ニ及ヒ大樹等也。豈不ヤ頓悟ノ菩薩ニ哉。其ノ第三周ノ文ニ云ク、爾時ニ会中ノ新發意菩薩八千人○已上。當レ知ル新發意ノ菩薩不ニ頓悟ノ菩薩ニ哉。其ノ第三周ノ次ノ品ニ云ク。是大衆中無量諸天○我皆与授記當得ニ菩提已上。當レ知ル法花經ヲ得ニ仏記ト者豈不ヤ直道頓悟ノ諸菩薩等ニ哉矣。

千||正藏九・一〇上

重難云、千二百羅漢悉亦当作仏矣。是ハ約ニシテ不定ノ声聞ニ説也。非ニ定性ニ云云。

示云、如前々一云云。

法||仏||伝全三・三三三

示云、秀句上云、法花一乘ハ者通シテ被カ三乘ニ故ニ○入位ノ定性歴劫ノ菩薩ハ法花ノ所被ノ故也。是ノ

故ニ經ニ云フ菩薩聞是法疑網皆已除千二百羅漢悉亦当作仏ト矣。』

尚難云、本算ノ難未レ遮セ。當処ノ積モ正ク蔵通ニ教ノ菩薩也ト積ス。尚別教ノ菩薩ヲ不レ積セ。何

菩・備||正藏三四・六二下

況ヤ円ノ菩薩ヲヤ。是以テ文句四ニ云、菩薩聞是法ヨリ下一行明ニ受行悟入ヲ。六度ト通ト二ノ菩薩初テ

聞テ略説テ動ニシテ旧執一致ニ新疑ヲ。今マ悉ク已ニ除リヌ。非ニ独リ菩薩ニ。一ニ乗モ亦爾也。而モ云フ声聞皆當ニ

作仏ス者昔ノ教ニ不レキ説ニ二乗ノ作仏ヲ。今マ行ニ与ス授記ヲ。授記豈独リ二乗ナランヤ。除疑豈独リ菩

薩ナランヤ。互ニ存セレハ則チ両ナカラ備リヌ矣。

示云、如前々ノ約教ノ釈ナル故ニ且ク円ヲイタワル也。別教ハ証道同円ノ故ニ又不レ入也云云。

〔解〕押紙で抹消

有難云、文点ヲ可レキ読ム也。正直ニ方便ヲステ、ト後ノテヲ濁リテ読ムハ方便ハ不被レ捨也云云。

示云、無解述尽タル難ト聞タリ。然ルニ漢土ノ南三北七日本六宗等ノ中ニ如レ是文点ヲ未レタ聞也。

重難有難云、夫レ文ハ学者ノ執見也。就中依義読文ハ天台ノ正釈也。何ッ有レ失耶。汝モ如此

点ヲ可レキ読云事有之。謂ル但樂受持ノ文ヲ讀ニ余経ノ一偈ヲ受ケサレト讀ミ切レリ。此ノ点経釈意ニ

不_レ相叶_二汝力恣ニ讀ハ不_レ及_レ力ニ計也云云。

示云、挙一例諸ヲ也。汝カ義点ノ如ナラハ無ニ亦無三ヲハ有二亦無三ト可レキ読歟。又余ノ字ヲ

ハ収ムト可レキ読歟。又非真ヲハ有真ト可レキ読歟。又未顕ヲハ已顕、已顕ヲハ未顕ト可レキ読歟。

但至テハ不受余経一偈ニ者経文既ニ始終共ニ為_レ不_レ受ケ余経ヲ人ト可レト説ク見ヘタル故ニ受サレト讀

切ニ全分不_レ違ニ経文ニ也。

有難云、捨方便ト者廢權立実ノ証拠ニ引ク之ヲ。故ニ開權顕実ノ時ハ不_レ可_レ捨也云云。

示云、開廢俱時ノ義如_レ先云云。

過…道…正蔵三四・八六上

信解品疏云、過_ニ是已後_{ヨリ}下_ハ是_レ第四_ニ領_ニ付家業譬_ヲ、近_クハ領_ニ火宅_ノ等賜大車_ヲ遠_クハ領_ニ法説_ノ

中ノ無上道_ヲ矣。

於…本…正蔵三四・二八四上

記云、於_ニ諸菩薩中正直捨方便_{ヨリ}下_三句_ハ正是_レ顕実_也。為_レ今_ノ等賜譬_ノ本_ト。四_ニ從_ニ菩薩聞是

法_{ヨリ}下_モ一行_ハ明_ニ受行悟入_ヲ。為_レ今_ノ得車歡喜譬_ノ本_ト矣。

私云、此釈モ開廢一体タル故ニ今ハ正_ク是_レ顕実ト釈也。仍_テ開權顕実ト聞タリ。

尋云、花嚴等ノ大乘モ捨方便ト被レ云歟。』

法…道…伝全一・七一九

示云、決権実論云、法花ノ序分無量義經ニ明ニ已ニ説ニ井及池江及溪渠大海等ニ遮ニテ歴劫ノ大乘一

存セリ直道仏乗。況ヤ正説ノ之中ニ正直捨方便但説無上道矣。

今…融…正蔵三三・六八二中

玄一云、今ノ經ハ正直ニ捨テ不融一云云。此ノ釈上ニ四時ヲ挙ケテ結ル積也。誠証也云云。

乃…耳…正蔵三四・二下

疏一云、乃チ為ニ正直捨方便但説無上道ノ作レル耳矣。上約四味教不為序指釈耶

示…功…正蔵三四・一五七中

記一云、示教相ト者一教カ家ノ相也。故ニ云フ教相ト。五味ヲ以テ分別スルコトハ為レ醍醐ニカ醍醐ヲ。通シテ論セハ聖

言被レ下ニ俱ニ名テ為レス教ト。今ノ教ハ別シテ有リ顕実之功一矣。

正…正蔵三四・一五七下

又云、正直等者開權教也矣。

不…正…正蔵三四・二下

疏一云、不ス指ニシテ星月ノ道種智一ヲ為レ正上。乃チ指ニシテ日光ノ一切種智一ヲ為レ正下矣。

止一云、円頓止觀今ノ法花ハ正直ニ捨テ方便ヲ明仏惠開示悟入為一大事因縁正直之道非復三草兩木

方便之説是実事○一期出世利益事畢所化弟子皆以如来滅度而滅度之不示有人独説滅度因門則開

仏知見果門則増道損生故云我等今日得道得果安住実智中入如来室着如来衣」即事而真矣。

真…開…正蔵三四・一一一中

文句八云、真実既ニ顯ヌレハ則チ廢ニ除ス昔ノ教一。昔ノ教被レレ、廢セテ故ニ方便ノ門開

諸…正蔵九・一〇上
仏…難…正蔵三四・一中

四十三 經云、諸仏興出世等事 文句一云、仏出レテ世ニ難シ。仏説レ下フコト是ヲ難シ。伝ニ訳スルコト

此一難シ。自ラ開悟スルコト難シ。聞ニト師ノ講一難シ。一偏ニ記スルコト難シ矣。

出_下フコト名ニ弥勒ト。第十五劫ニ有_ニテ九百九十四仏一時ニ同_ク出_下フ。通_レテ前ニ九百九十九仏出世ス。

從_レリ此已後至_ニマテ二十住劫ニ無_ニシ仏出世_下フコト。便即壞劫也。○通前滿一千仏矣。」

從…也 正藏三四・六三上

(一七丁裏)

文句四三云、從_ニ汝等勿有疑_下第五ニ一行半ハ頌_ス上ノ不虛_ヲ。又_ニ一ッ。初ノ一行半ハ勿_下也於_ニテ可_レ信

人_ニ生_レコト疑_上ヲ。汝等舍利弗_{ヨリ}下一行_ハ勿_下也於_ニテ可_レ信_ス法_ニ起_レコト疑_上ヲ。法王_ト者夫_レ為_ニルサヘ人王_一言_{コト}則_チ

不_レ一ナラ。仏_ハ為_ニ法王_一。豈容_ニケンヤ虚説_一シ玉_ヲ。夫_レ方便_ハ可_ニシ是_レ權假_{ナル}。真實寧_ロ心_ニケンヤ是_レ妄_{ナル}。

聞_ニテ法王ノ説法_ヲ勿_レト生_レスルコト疑_ヲ也矣。

建武四年丁丑十一月二十六日夜夢見_ニ故僧_一。同夜夢_ニ或_ル僧問_レ予_ニ云。天台宗ノ祖師_ノ下_ニ何_ソ云_ニ

聖人_ト耶。予答云。抑難意_ハ拋_ハ天台聖人_ハ依_レ經_ハ一經_{ナレ}共_ニ所立_既各別也。何_ソ天台宗ノ祖師_ト云耶_ト

難_ル歟。条_ヲ取_テ然也_ト云時、サテハ以_ニテ所立_{各別}一_{ナル}ヲ一宗ノ師トスマシキナラハ不_レ輕_{菩薩}積尊

天台等_ヲハ法花ノ本師_ト不可_レ為_歟。所以_ニ不_レ輕_ハ二十四字、釈尊_ハ存略_ノ定六万九千三八四、天台_ハ

一心三觀一念三千、聖人_ハ只_五字_{ナル}故也_ト答成了。已上夢了。覺悟後思案之、_雖云相承法門改_轉

惠門_ニ已來既依大論_ノ釈_ヲハ始_トシテ用_与適時_等ノ衆_積案_之耶。

雖…論 正藏四六・一四九中
門 原「文」
用…時 正藏三三・七六三上
耶 異本「了」